

Printia *≈LASER*

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

Printia LASERプリンタユーティリティ ソフトウェアマニュアル

第1章 インストールの概要

第2章 プリンタドライバのインストール

第3章 プリンタドライバの設定

第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ

第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

第6章 Printianavi マネージャ

付 録

NetWare 編

第1章 インストールの概要

第2章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ

第3章 NetWare 印刷の設定

索 引

第1章

インストールの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアをインストールする前に必要となる基本的なことからについて説明します。

はじめに	4
CD-ROM の内容	5
Printianavi インストーラ	6
Printia XL ドライバディスクの作成	8
Printianavi について	9
ソフトウェアマニュアルについて	15
インストールの手順と設定の概要	16
プリンタケーブルで接続する場合	17
LAN ケーブルで接続する場合	20
インストールが終わったら	26

はじめに

本書では、次のプリンタについて説明します。

- ・XL-5320 (XL-5320A) (注)
- ・XL-5720 (XL-5720A) (注)
- ・XL-6100
- ・XL-6700

(注) XL-5720A/5320A は、XL-5720/5320 と共通モデルになっています。

本書の説明およびプリンタドライバ等で使用するプリンタ名は、XL-5720/5320 と読み替えてください。

画面表示の例について

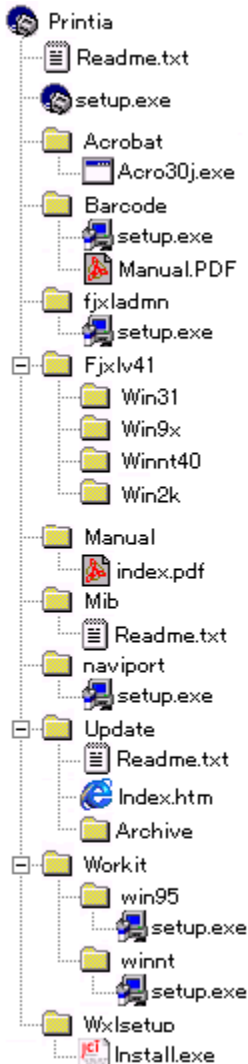
本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。

このときは、お使いのプリンタ名と読み替えてください。

また、機種によっては表示内容が一部異なることがあります。

CD-ROM の内容

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。



はじめにお読みください

Printianavi インストーラ

Acrobat Reader 3.0J 用フォルダ

- ・ Acrobat Reader 3.0J インストーラ

かんたんバーコード Lite 用フォルダ

- ・ かんたんバーコード Lite インストーラ
- ・ かんたんバーコード Lite ソフトウェアマニュアル (PDF 形式)

Printianavi マネージャ 用フォルダ

- ・ Printianavi マネージャ インストーラ

Printia XL ドライバ ディスク V4.1 用フォルダ

- ・ Windows 3.1 用 プリントドライバ
- ・ Windows 98/95 用 プリントドライバ
- ・ Windows NT4.0 用 プリントドライバ
- ・ Windows 2000 用 プリントドライバ

ソフトウェアマニュアル 用フォルダ

- ・ ソフトウェアマニュアル (PDF 形式)

SNMP/MIB 定義ファイル 用フォルダ

- ・ 説明ファイル

Printianavi ネットワークポート モニタ 用フォルダ

- ・ Printianavi ネットワークポート モニタ インストーラ

ソフトウェアライブラリ 用フォルダ

- ・ 説明ファイル
- ・ アップデート情報 ハイパーテキスト ページ
- ・ アップデートファイル 用フォルダ (自己解凍圧縮形式)

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ 用フォルダ

Windows 98/95 対応連携ユーティリティ 用フォルダ

- ・ Windows 98/95 用 インストーラ

Windows NT4.0/2000 対応連携ユーティリティ 用フォルダ

- ・ Windows NT4.0/2000 用 インストーラ

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ 用フォルダ

ネットワーク設定ユーティリティ インストーラ

▼ Printianavi インストーラ

Windows 98/95/2000/NT4.0 が動作するパソコンで「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動し、次の画面が表示されます。



メニュー：マウスカーソルをあわせた項目が黄色く光り、左下に説明が表示されます。操作を行うには、項目をクリックします。

終了：Printianavi インストーラを終了します。



ガイド

- ・Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。
- ・「はじめにお読みください」には、CD-ROM についての注意事項などが記載されています。各ソフトウェアのインストール等を行う前にお読みください。

Printianavi インストーラのメニューからは、次の操作が行えます。

▶ Printianavi 関連ソフトウェアのインストール

- ネットワークポートモニタ Printianavi ネットワークポートモニタおよびIPアドレス設定ユーティリティをインストールします。
- ネットワーク連携 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールします。
- Printianavi マネージャ Printianavi マネージャをインストールします。

➡ 詳細については、「[Printianavi について](#)」(9 ページ) 参照

▶ Printia XL プリントドライバのダウンロード

ソフトウェアライブラリ Web ブラウザから Printia LASER XL シリーズのプリントドライバのダウンロードが行えます。

本ライブラリをご使用になるには、Web ブラウザが必要です。ダウンロード方法やプリントドライバの使用方法については、Web ブラウザに表示される説明をご覧ください。また、CD-ROM の「Update」フォルダに収められたテキストファイル(Readme.txt)も併せてお読みください。

▶ かんたんバーコード Lite のインストール

かんたんバーコード Lite かんたんバーコード Lite をインストールします。

かんたんバーコード Lite は、OLE 連携可能なアプリケーションソフトにバーコードを貼り付け、バーコードの表示・印刷を行えるようにするソフトウェアです。MS-Word や MS-Excel、OASYS for Windows、一太郎など、OLE 連携に対応したアプリケーションソフトは多数あります。

本ソフトウェアがサポートするバーコードの種類は、次の 4 種類です。

- ・ JAN 標準
- ・ JAN 短縮
- ・ NW-7
- ・ カスタムバーコード

詳細については、CD-ROM の「Barcode」フォルダに収められた PDF 形式のオンラインマニュアル (Manual.pdf) およびテキストファイル (Readme.txt) をご覧ください。

▶ Acrobat Reader のインストールと

ソフトウェアマニュアルの表示

Adobe® Acrobat® Reader ソフトウェアマニュアルを表示するために必要な Acrobat Reader 3.0J をインストールします。(注)

ソフトウェアマニュアル ソフトウェアマニュアルを表示します。

注 : Windows 2000 をお使いの場合は、Acrobat Reader 4.05 以降を入手してお使いください。

➡ 詳細については、「ソフトウェアマニュアルについて」(15ページ)参照

Printia XL ドライバディスクの作成

Printia XL ドライバは、Windows環境でプリンタを使用するために必要なプリンタドライバです。

CD-ROM ドライブのないパソコンにインストールする場合は、CD-ROM ドライブのある他のパソコンを使って次の手順でプリンタドライバのフロッピーディスクを作成してください。

準備

次のものを用意してください。

- ・フォーマット済みのフロッピーディスク（2HD 1.44MB）
- ・圧縮データダウンロード用ディレクトリ（C:¥Temp など）
- ・CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」

また、ドライバディスクを作成するパソコンに、Web ブラウザがあらかじめインストールされている必要があります。

Web ブラウザをお使いになれない場合は、CD-ROM に収められているファイルを手作業でコピーしてください。方法についての詳細は、CD-ROM の「Update」フォルダに収められたテキストファイル（Readme.txt）をお読みください。

手順



1 CD-ROM をセットする
インストーラが自動的に起動します。

2 [ソフトウェアライブラリ] をクリックする

Web ブラウザが起動し、ソフトウェアライブラリの画面が表示されます。

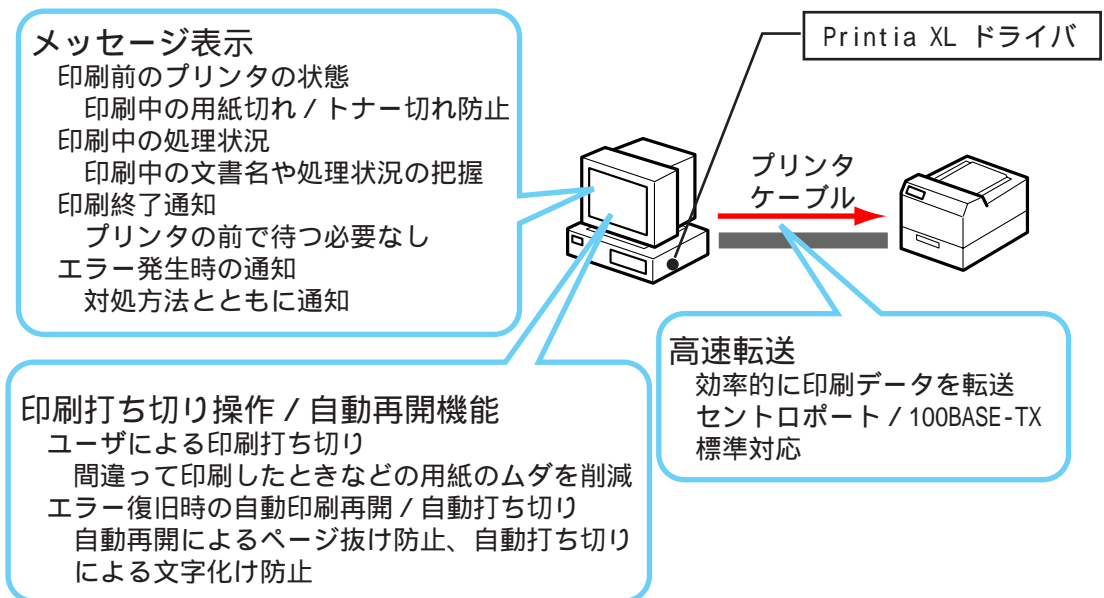
[プリンタドライバ] から作成するプリンタドライバをクリックし、画面の説明に従って操作してください。

▼ Printianavi について

Printianavi は、Windows 98/95/2000/NT4.0 の Printia XL ドライバに対応した双方向プリンティングシステムです。

Printianavi は、Windows 98/95/2000/NT4.0 のパソコンに Printia XL ドライバをインストールすることによって、自動的にインストールされ、次の機能を実現します。

■ Printianavi の基本機能

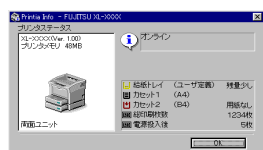


▶ メッセージ表示

プリンタの状態や印刷状況などに関するメッセージをグラフィカルに表示します。また、これらのメッセージの表示方法は、お使いの環境やお好みにあわせて設定できます。

～印刷前～

プリンタステータス



であらかじめ確認！

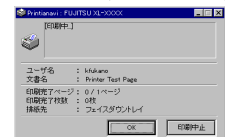
- ・用紙サイズと残量
- ・トナー切れ警告
- ・エラー状態かどうか

などのプリンタ状態

セットされている用紙サイズや残量、エラーが発生しているかどうかなどを、プリンタの設定画面であらかじめ確認することができます。また、印刷中の用紙切れやトナー切れなどを事前に防ぐこともできます。この画面は、印刷前に限らず、いつでも表示することができます。

～印刷中～

ステータス表示 ウィンドウ



で把握！

- ・印刷中の文書名
- ・何ページ目まで印刷したか
- ・エラーが発生したかどうか

などの印刷状況

印刷を実行したパソコンに、印刷中の文書名や何ページ目まで印刷が完了したかなどの印刷処理の状況を自動的に表示します。

また、表示を最小化(アイコン表示)することもできます。

～印刷終了～

印刷終了通知



でお知らせ！

- ・印刷が終わったときの
- ・文書名とページ数
- ・出力した排紙口

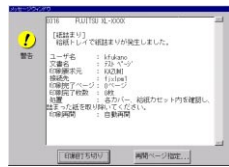
などの出力情報

印刷終了時の通知を自動的に表示します。

これにより、印刷が終わるまでプリンタの前で待たされることはなくなります。

～エラーが発生したとき～

エラーメッセージ



お知らせ！

- ・ エラー内容
- ・ 対処方法

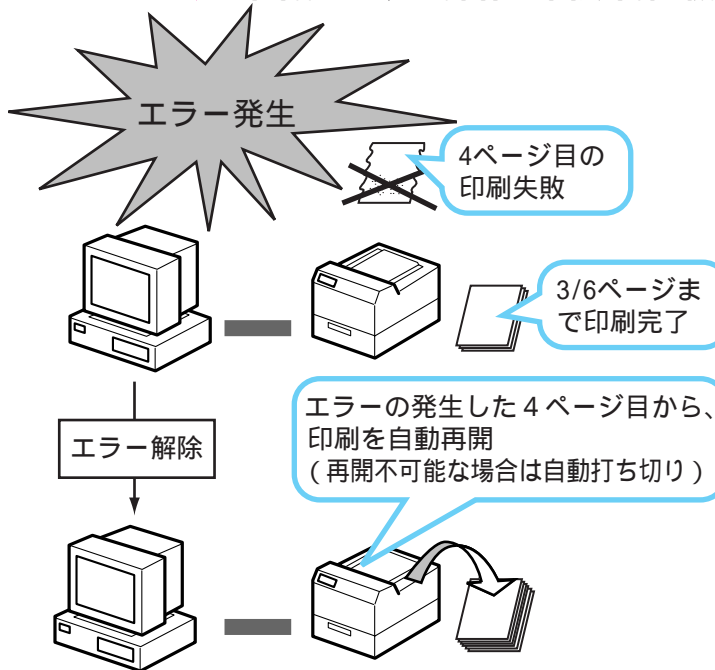
などのエラー情報



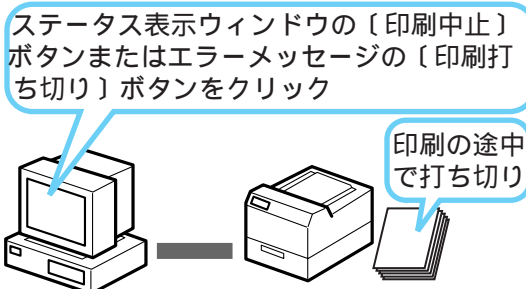
エラー発生時には、エラー内容と対処方法を記述したエラーメッセージを自動的に表示します。

エラー情報は、ステータス表示ウィンドウやプリンタステータスでも確認できます。

▶ 印刷打ち切り操作 / 自動再開機能



または



プリンタで紙詰まりなどのエラー状態を解除すると、エラーが発生したページから印刷を自動的に再開し、印刷抜けを防止します。OS が Windows 2000/NT4.0 の場合には、印刷を再開するページも指定できます。

また、再開不可能なエラーの場合は印刷を打ち切り、文字化けなどの印刷トラブルの発生を事前に防止します。

印刷中に、ステータス表示ウィンドウやエラーメッセージから、正常時 / エラー時を問わず印刷打ち切り操作を簡単に行えます。それにより誤印刷時の用紙のムダを削減します。

▶ 高速転送

- ・エラー発生や空きメモリ量などのプリンタ状態を確認しながら、効率よく印刷ジョブを転送します。
- ・100Mbpsの高速ネットワーク(100BASE-TX)に対応したプリンタ LAN インタフェースと、セントロポート(IEEE1284 準拠)に標準で対応します。

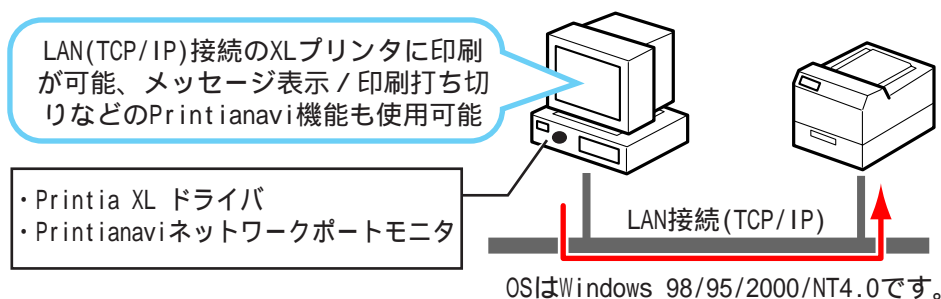
■ Printianavi 機能拡張ソフトウェア

「Printianavi プリンタユーティリティ」CD-ROM には、Printianavi 機能を拡張するために以下のユーティリティが収められています。

- ・Printianavi ネットワークポートモニタ
- ・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- ・Printianavi マネージャ

以降で、これらのユーティリティについての概要を説明します。

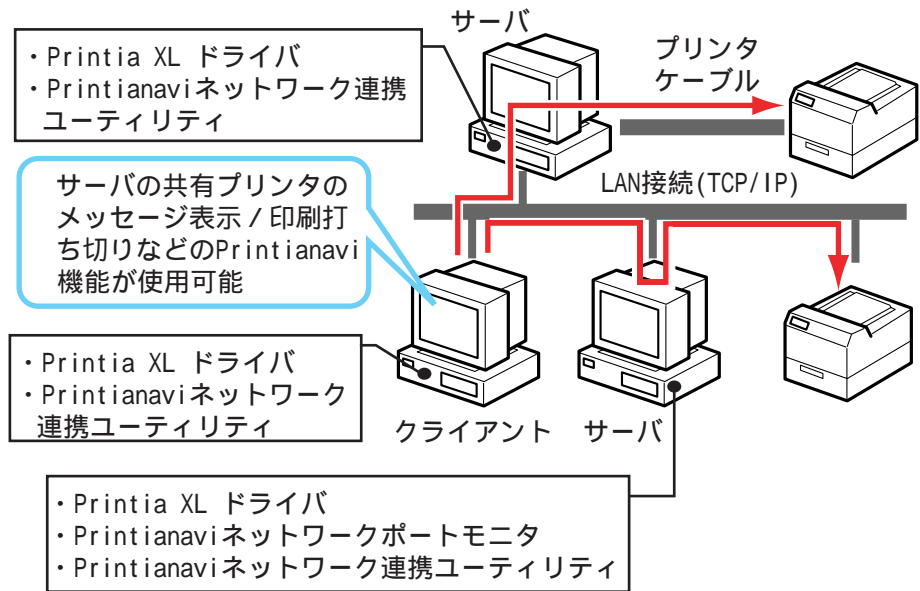
▶ Printianavi ネットワークポートモニタ



Printianavi ネットワークポートモニタは、LAN (TCP/IP) で接続した XL プリンタに対して、パソコンから直接印刷を行えるようにし、メッセージ表示 / 印刷打ち切りなどの Printianavi 機能を使用可能にします。

また、Printianavi ネットワークポートモニタに含まれる IP アドレス設定ユーティリティは、DHCP を利用してプリンタに IP アドレスを一時的に設定します。

▶ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ



OSはWindows 98/95/2000/NT4.0です。

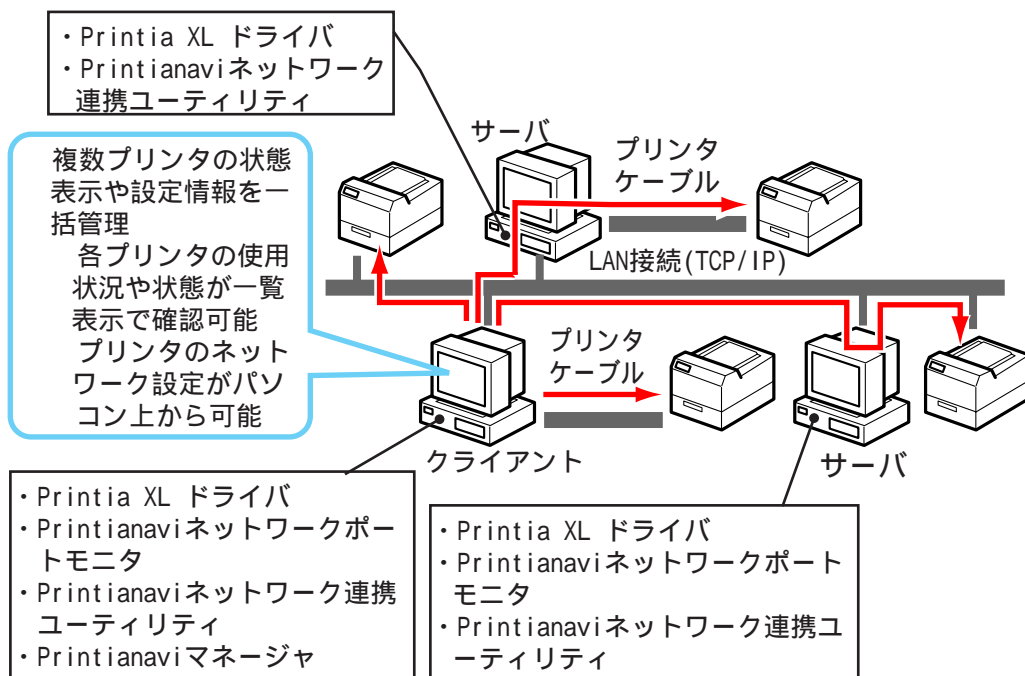
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは、LAN (TCP/IP) 上のサーバの共有プリンタに対して印刷を行ったパソコンで、メッセージ表示や印刷打ち切りなどのPrintianavi 機能を使用可能にします。



ガイド

本ユーティリティは、サーバとクライアントの両方にインストールする必要があります。本ユーティリティがサーバとクライアントの両方で正しく起動していない場合、メッセージ表示や印刷打ち切りなどの操作はサーバ上で行われます。

▶ Printianavi マネージャ



OSはWindows 98/95/2000/NT4.0です。

Printianavi マネージャは、ローカルプリンタやネットワークプリンタ、サーバの共有プリンタの情報参照や環境設定などのプリンタ管理を、パソコンから行えるようにします。

各プリンタの使用状況や状態が一覧で確認できるため、空いているプリンタやエラーが発生しているプリンタが目でわかります。また、管理者機能をインストールすると、プリンタのネットワーク設定を行うこともできます。

ガイド

本ソフトウェアは、XL プリンタ専用です。他のプリンタの情報参照や環境設定は行えません。また、次のようなXL プリンタは情報を取得できないため、表示できなかったり、エラー表示になったりします。

- 本ユーティリティを使用するパソコンで印刷可能な設定になっていないプリンタ(プリンタドライバがインストールされていないなど)
- NetWare 環境で使用しているプリンタ (XL-6100/6700 のみ、TCP/IP 環境との共有を含む)
- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティが正常に起動していないサーバの共有プリンタ

▼ ソフトウェアマニュアルについて

ソフトウェアマニュアルは、CD-ROM に収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載した PDF 形式のマニュアルです。プリンタに添付の取扱説明書とあわせてご活用ください。

■ Acrobat Reader について

ソフトウェアマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Acrobat Reader (3.0J またはそれ以降) があらかじめインストールされている必要があります。



Acrobat Reader は PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 3.0J は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。

▶ Windows98/95/NT4.0 の場合

添付の CD-ROM から次の手順で Acrobat Reader 3.0J をインストールすることができます。

1 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブ にセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

2 [Adobe[®] Acrobat[®] Reader] をクリックし、インストールする

Adobe Acrobat Reader 3.0J インストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。



Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「Acro30j.exe」をエクスプローラから実行し、インストールを行ってください。
なお、同フォルダ内に、インストール時の注意事項などが記載された Readme.txt が収められていますので、併せてご覧ください。

▶ Windows 2000 の場合

Acrobat Reader 4.05 以降をご使用ください。
なお、最新版の Acrobat Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。

インストールの手順と設定の概要

インストールの手順や必要なソフトウェアは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。

ここでは、プリンタケーブルで接続する場合と LAN ケーブルで接続 (TCP/IP プロトコルを使用) する場合のインストール手順および留意事項について、接続形態別に説明します。

接続形態 / 共有方法	サーバで共有しない	サーバで共有する
プリンタケーブルで接続	17 ページ	17 ページ
LAN ケーブルで接続	20 ページ	22 ページ



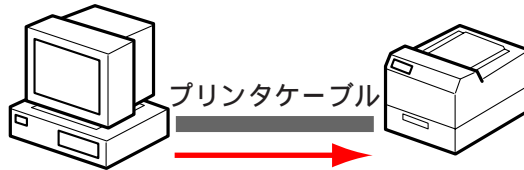
- ・ Windows 2000/NT4.0 で設定を行うときは、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。
 - ・ お使いの環境が NetWare であっても、ネットワークで TCP/IP プロトコルが使用できるときは、NetWare サーバを介さずにクライアントから直接本プリンタに印刷することができます。設定方法については、「[LAN ケーブルで接続する場合](#)」の「[サーバで共有しないとき](#)」([20 ページ](#)) を参照してください。
- また、NetWare5 の NDPS を使用した TCP/IP 環境での印刷については、付録の「[LPR Port 印刷について](#)」の「[Net Ware5 のとき](#)」([291 ページ](#)) を参照してください。



NetWare 環境でのインストール手順は、[NetWare 編「第1章 インストールの概要」](#)([315 ページ](#)) 参照

▼ プリンタケーブルで接続する場合

■ サーバで共有しないとき



プリンタケーブルでパソコンと接続して印刷し、他のパソコンとはプリンタを共有しません。

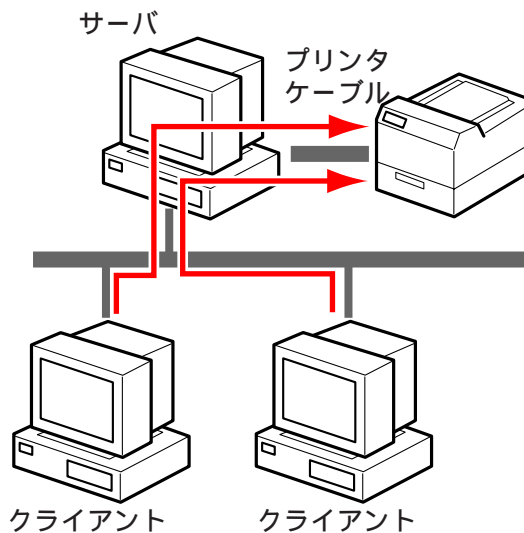
▶ パソコン側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

➡ 「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ) 参照
印刷先のポートは、ローカルポート（通常はLPT1）を選択します。

続いて、「インストールが終わったら」(26ページ)をご覧ください。

■ サーバで共有するとき



サーバとプリンタをプリンタケーブルで接続し、クライアントからはサーバ経由で印刷します。

▶ サーバ側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

▶▶▶ 「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ) 参照

印刷先のポートは、ローカルポート（通常はLPT1）を選択します。



ガイド

ネットワークインストールを行うことにより、クライアント側でのプリンタドライバのインストールを簡潔に行うことができますようになります。サーバのOSによって操作が異なりますので、詳しくは、以下を参照してください。（サーバとクライアントのOSが同一の場合、設定は不要です。）



サーバのOSがWindows 2000のとき

▶▶▶ 「追加ドライバとネットワークインストール」(54ページ) 参照

サーバのOSがWindows NT4.0のとき

▶▶▶ 「代替ドライバとネットワークインストール」(70ページ) 参照

2 プリンタを共有できるようにする

▶▶▶ 「プリンタを共有する」参照

Windows 98/95は33ページ、Windows 2000は47ページ、Windows NT4.0は65ページ

3 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示するための設定を行う

▶▶▶ 「第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」の「サーバ側の設定」(206ページ) 参照

サーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/2000/NT4.0で、TCP/IPプロトコルを使用している場合のみ設定できます。

▶ クライアント側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

▶▶▶ 「第2章 プリンタドライバのインストール」(27 ページ) 参照

印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート (LPT1 など) を選択します。

お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているので、テストページ等の印刷は行わないでください。



ガイド 「サーバ側の設定」で、プリンタを共有するサーバ (Windows 2000/NT4.0) にクライアント OS 用の追加 / 代替ドライバをインストールした場合や、サーバとクライアントの OS が同一の場合は、「ネットワークインストール」でインストールすることができます。

この場合は手順2の印刷先ポートの変更は不要です。

▶▶▶ 「ネットワークインストール」参照

Windows 98/95 は 39 ページ、Windows 2000 は 57 ページ、Windows NT4.0 は 73 ページ

2 印刷先のポートを変更する

▶▶▶ 「印刷先ポートの追加と変更」参照

Windows 98/95 は 35 ページ、Windows 2000 は 48 ページ、Windows NT4.0 は 66 ページ、Windows 3.1 は 79 ページ

「サーバ経由で印刷するとき」参照

Windows 98/95 は 36 ページ、Windows 2000 は 49 ページ、Windows NT4.0 は 67 ページ

手順1で仮に設定した印刷先を、サーバの共有プリンタのネットワークポートに変更します。

3 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示できるようにする

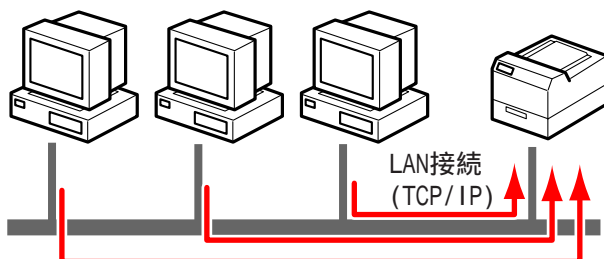
▶▶▶ 「第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」の「クライアント側の設定」(208 ページ) 参照

サーバおよびクライアントの OS が Windows 98/95/2000/NT4.0 で、TCP/IP プロトコルを使用している場合のみ設定できます。この設定を行うときは、「サーバ側の設定」の手順3の設定も行ってください。

これで、インストールは終了です。「インストールが終わったら」(26 ページ)をご覧ください。

LAN ケーブルで接続する場合

サーバで共有しないとき



LAN に直接接続し、サーバを経由しないで各パソコンから直接印刷します。

お願い

LAN 接続したプリンタで直接印刷するには、次の環境が必要です。設定を行う前に確認してください。

- ・TCP/IP プロトコルが使用できること
(あらかじめ印刷するパソコンに「TCP/IP プロトコル」および「Microsoft クライアントサービス (Windows 98/95 の場合)」を組み込んでください)
- ・印刷を行うパソコンの OS が Windows 98/95/2000/NT4.0 のいずれかであること

▶ プリンタ側の設定

1 プリンタに IP アドレス等の設定をする

➡「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「プリンタを LAN に直接接続する」(164 ページ) 参照

▶ パソコン側の設定

1 Printianavi ネットワークポートモニタをインストールし、印刷先のポートを作成する

➡「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「ネットワークポートモニタをインストールする」(174 ページ) 参照

Printianavi ネットワークポートモニタがすでにインストールしてある場合は、インストールは行わず、手順2に進んでください。

2 プリンタドライバをインストールする

▶▶▶ 「第2章 プリンタドライバのインストール」(27 ページ) 参照

印刷先のポートは、次のように設定してください。

- ・手順1でPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールした場合
印刷先のポートは、手順1で作成したポートを選択します。

これで、インストールは終了です。この場合は手順3の印刷先ポートの作成・変更は不要です。「インストールが終わったら」(26 ページ)を参照してください。

- ・手順1でPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールしなかった場合(ネットワークポートモニタがすでにインストールされていた場合)

印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート(LPT1など)を選択します。プリンタドライバのインストールが終わったら、手順3に進んでください。



お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているので、テストページ等の印刷は行わないでください。

3 印刷先ポートを作成・変更する

▶▶▶ 「印刷先ポートの追加と変更」参照

Windows 98/95 は 35 ページ、Windows 2000 は 48 ページ、
Windows NT4.0 は 66 ページ

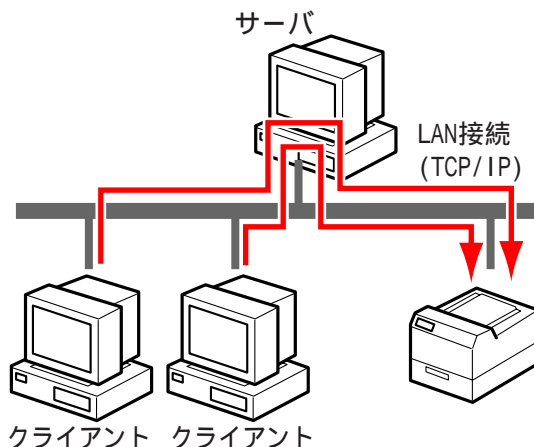
「LAN 接続プリンタに印刷するとき」参照

Windows 98/95 は 36 ページ、Windows 2000 は 49 ページ、
Windows NT4.0 は 67 ページ

手順2で仮に設定した印刷先を、Printianavi ネットワークポートに変更します。

これで、インストールは終了です。「インストールが終わったら」(26 ページ)をご覧ください。

■ サーバで共有するとき



LAN に直接接続し、サーバ経由で印刷します。

▶ お問い合わせ

LAN 接続したプリンタに印刷するには、次の環境が必要です。設定を行う前に確認してください。

- ・サーバで TCP/IP プロトコルが使用できること（あらかじめ「TCP/IP プロトコル」および「Microsoft クライアントサービス（Windows 98/95 の場合）」を組み込んでください）
- ・サーバの OS が Windows 98/95/2000/NT4.0 のいずれかであること

▶ プリンタ側の設定

1 プリンタに IP アドレス等の設定をする

➡「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「プリンタを LAN に直接接続する」（164 ページ）参照

▶ サーバ側の設定

1 Printianavi ネットワークポートモニタをインストールし、印刷先のポートを作成する

➡「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「ネットワークポートモニタをインストールする」（174 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタがすでにインストールしてある場合は、インストールは行わず、手順2に進んでください。

2 プリンタドライバをインストールする

▶▶▶ 「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ) 参照

印刷先のポートは、次のように設定してください。

- ・手順1でPrintianaviネットワークポートモニタをインストールした場合
印刷先のポートは、手順1で作成したポートを選択します。
インストールが終わったら、手順4に進んでください。

- ・手順1でPrintianavi ネットワークポートモニタをインストールしなかった場合(ネットワークポートモニタがすでにインストールされていた場合)
印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート(LPT1など)を選択します。プリンタドライバのインストールが終わったら、手順3に進んでください。



お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているので、テストページ等の印刷は行わないでください。



ガイド

ネットワークインストールを行うことにより、クライアント側でのプリンタドライバのインストールを簡潔に行うことができますようになります。サーバのOSによって操作が異なりますので、詳しくは、以下を参照してください。(サーバとクライアントのOSが同一の場合、設定は不要です。)



▶▶▶ サーバのOSがWindows 2000のとき

「追加ドライバとネットワークインストール」(54ページ) 参照

サーバのOSがWindows NT4.0のとき

「代替ドライバとネットワークインストール」(70ページ) 参照

3 印刷先ポートを作成・変更する

▶▶▶ 「印刷先ポートの追加と変更」参照

Windows 98/95は35ページ、Windows 2000は48ページ、
Windows NT4.0は66ページ

「LAN接続プリンタに印刷するとき」参照

Windows 98/95は36ページ、Windows 2000は49ページ、
Windows NT4.0は67ページ

手順2で仮に設定した印刷先を、Printianaviネットワークポートに変更します。

4 プリンタを共有できるようにする

▶▶▶ 「プリンタを共有する」参照

Windows 98/95 は [33 ページ](#)、Windows 2000 は [47 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [65 ページ](#)

5 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示するための設定を行う

▶▶▶ 「第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」の「サーバ側の設定」([206 ページ](#))参照

サーバおよびクライアントのOS がWindows 98/95/2000/NT4.0 で、TCP/IP プロトコルを使用している場合のみ設定できます。

▶ クライアント側の設定

1 プリンタドライバをインストールする

▶▶▶ 「第2章 プリンタドライバのインストール」([27 ページ](#))参照

印刷先のポートは、仮のポートとしてローカルポート (LPT1 など) を選択します。

▶お願い

ここでは、実際には接続されていないポートを仮の印刷先として指定しているので、テストページ等の印刷は行わないでください。



ガイド

「サーバ側の設定」で、プリンタを共有するサーバ(Windows 2000/NT4.0)にクライアントOS用の追加/代替ドライバをインストールした場合や、サーバとクライアントのOSが同一の場合は、「ネットワークインストール」でインストールすることができます。

この場合は手順2の印刷先ポートの変更は不要です。

▶▶▶ 「ネットワークインストール」参照

Windows 98/95 は [39 ページ](#)、Windows 2000 は [57 ページ](#)、Windows NT4.0 は [73 ページ](#)

2 印刷先のポートを変更する

➡ 「印刷先ポートの追加と変更」参照

Windows 98/95 は [35 ページ](#)、Windows 2000 は [48 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [66 ページ](#)、Windows 3.1 は [79 ページ](#)

「サーバ経由で印刷するとき」参照

Windows 98/95 は [36 ページ](#)、Windows 2000 は [49 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [67 ページ](#)

手順 1 で仮に設定した印刷先をサーバの共有プリンタのネットワークポートに変更します。

3 Printianaviのメッセージをクライアント側で表示できるようにする

➡ 「第5章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」の「クライアント側の設定」([208 ページ](#))参照

サーバおよびクライアントのOSがWindows 98/95/2000/NT4.0で、TCP/IP プロトコルを使用している場合のみ設定できます。この設定を行うときは、「サーバ側の設定」の手順 5 の設定を行っておいてください。

これで、インストールは終了です。「[インストールが終わったら](#)」([26 ページ](#))をご覧ください。

インストールが終わったら

インストールが終わったら、必要に応じて以下のページを参照して、設定を行ってください。

- ・プリンタドライバの設定方法や機能を知りたいとき
「[第3章 プリンタドライバの設定](#)」(81 ページ)を参照してください。
- ・プリンタドライバの印刷機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「[第3章 プリンタドライバの設定](#)」(81 ページ)を参照してください。
- ・プリンタの管理を行いたいとき
Printianavi マネージャを使うと、Printianavi 対応の XL プリンタの情報参照や環境設定を行うことができます。
Printianavi マネージャについては、「[第6章 Printianavi マネージャ](#)」(219 ページ)を参照してください。

第2章

プリンタドライバの インストール

この章では、パソコンにプリンタドライバ(Printia XL ドライバ) をインストールし、印刷できるようにするまでの操作について説明します。

Windows 98/95 のとき	28
インストール	28
プリンタを共有する	33
印刷先ポートの追加と変更	35
プリンタドライバの削除	38
新しいドライバに置き換えるとき	39
ネットワークインストール	39
Windows 2000 のとき	42
インストール	42
プリンタを共有する	47
印刷先ポートの追加と変更	48
プリンタドライバの削除	51
新しいドライバに置き換えるとき	53
追加ドライバとネットワークインストール	54
Windows NT4.0 のとき	60
インストール	60
プリンタを共有する	65
印刷先ポートの追加と変更	66
プリンタドライバの削除	69
新しいドライバに置き換えるとき	69
代替ドライバとネットワークインストール	70
Windows 3.1 のとき	75
インストール	75
印刷先ポートの追加と変更	79
プリンタドライバの削除	80
新しいドライバに置き換えるとき	80

Windows 98/95 のとき

ここでは、Windows 98/95 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリントドライバのインストール方法と設定方法について説明します。



ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98/95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読み替えてください。

▼ インストール

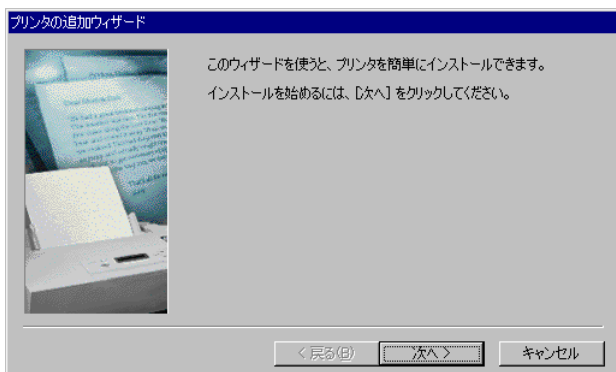
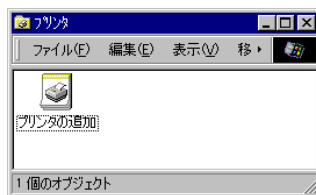
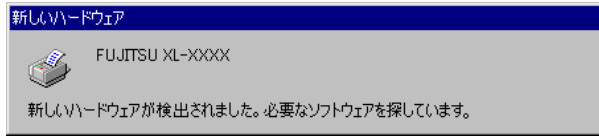
プリントドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。

画面の例は Windows 98 のものです。



お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLV41」フォルダにある「WIN9X.TXT」をお読みください。
- ・Windows 3.1で本プリントドライバをインストールして使用されていた方で、本プリントドライバを削除せず Windows 98/95 にアップグレードしている場合は、Windows 98/95 の〔プリンタ〕フォルダに残っている本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。



1 Windows 98/95を起動する

プリンタケーブルで接続している場合は、Windows 起動後、Plug & Playによって左のような画面が表示されることがあります。

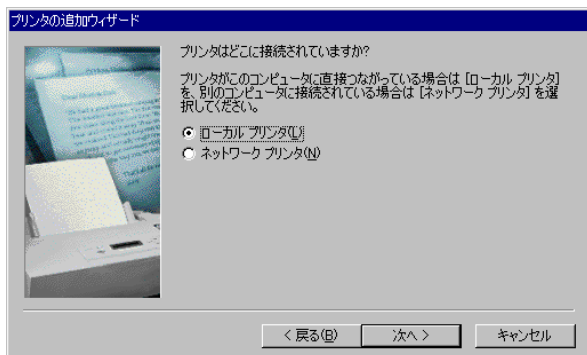
このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

3 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

4 〔次へ〕をクリックする



5 ローカルプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ、表示されます。

ガイド

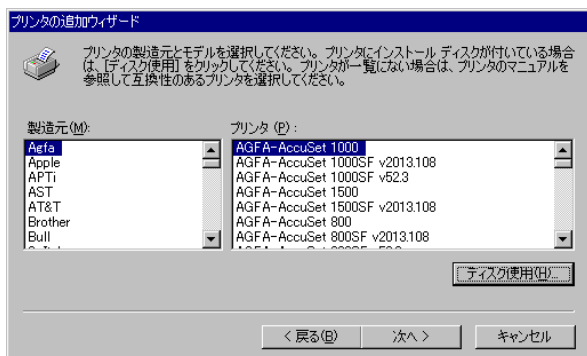
・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。

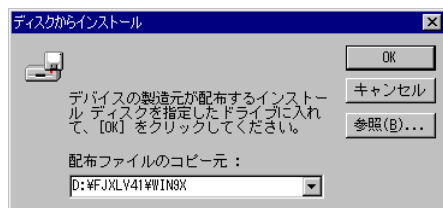
・〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

➡ サーバの OS が Windows 2000 のとき
「追加ドライバとネットワークインストール」(54 ページ) 参照

サーバの OS が Windows NT4.0 のとき
「代替ドライバとネットワークインストール」(70 ページ) 参照



6 〔ディスク使用〕をクリックする

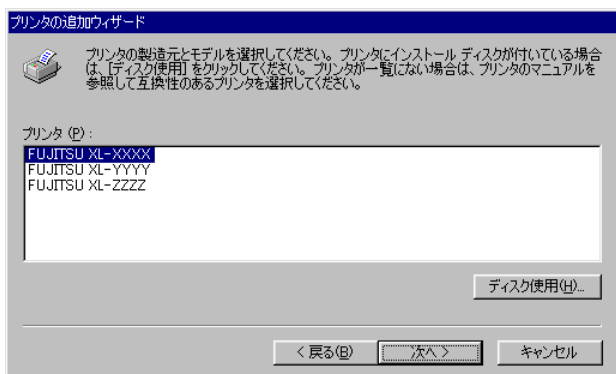


- 7 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥FJXLV41¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV41¥WIN9X」を選択し、〔OK〕をクリックする（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

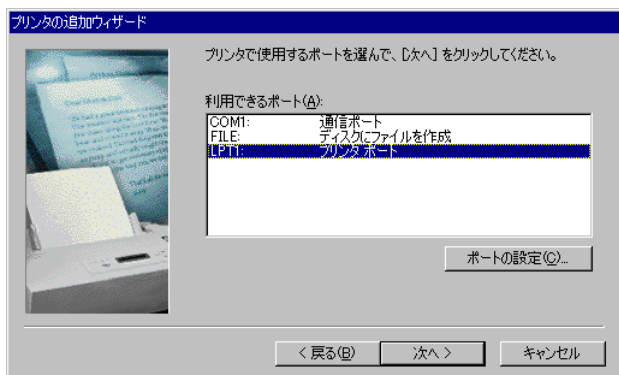


フロッピーディスクを使用する場合は、「配布ファイルのコピー元」に「A:¥WIN9X」と指定します。（フロッピーディスクドライブがA:のとき）



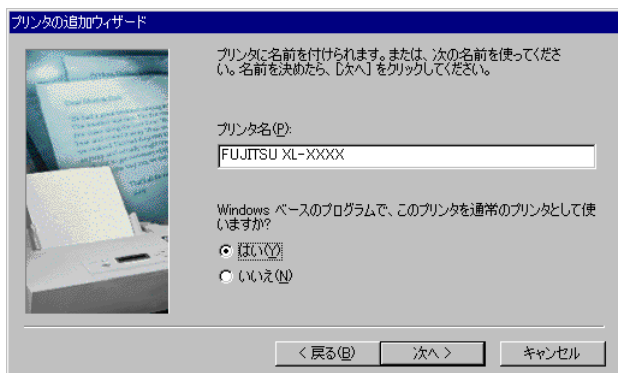
- 8 インストールするプリンタを選択して、〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



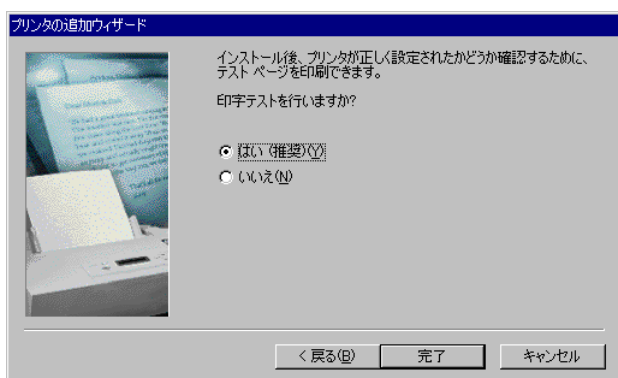
- 9 使用するポートを選択して〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。



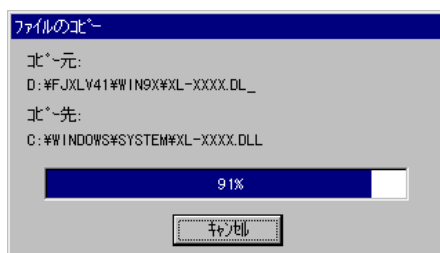
10 本プリンタに名前を付け、通常のプリンタに設定する場合は、「はい」を選択し、「次へ」をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタに設定されます。

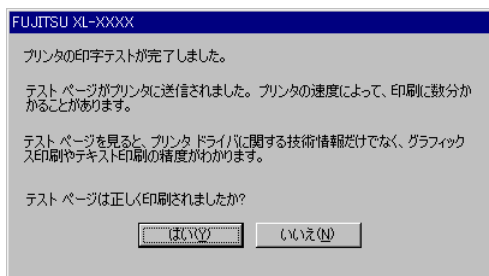


11 テストページを印刷するか、しないか選択して「完了」をクリックする
手順9で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「印字テストを行いますか？」で「はい (推奨)」を選択した場合は以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら「はい」をクリックし、インストールを終了する

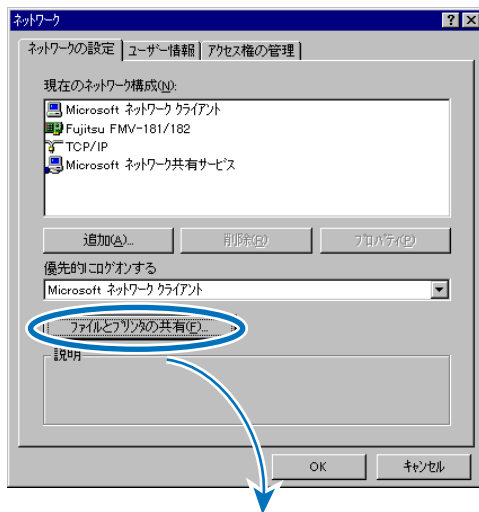
▼ プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコンから印刷可能なプリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有できるようにするための設定について説明します。
この設定は、他のパソコン（クライアント）からサーバ経由で印刷を行うときのサーバ側でのみ必要です。

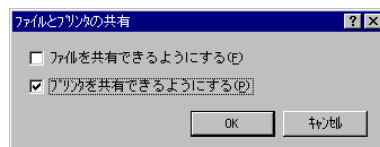
■ 設定の前に

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定してください。

1 {スタート}から{設定}{コントロールパネル}の順に選択し、{ネットワーク}をダブルクリックする



2 {ファイルとプリンタの共有}をクリックし、「プリンタを共有できるようにする」を選択する



■ 設定方法

- 1 「スタート」から「設定」〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 2 「ファイル」メニューから「共有」を選択する
- 3 「共有する」を選択し、共有名と必要に応じてコメント、パスワードを入力する



- 共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
- コメント プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。
- パスワード 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、「OK」をクリックしてください。

印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタがLAN (TCP/IP) に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



2 [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択し、[詳細] タブをクリックする

3 「印刷先のポート」のをクリックして、一覧を表示する

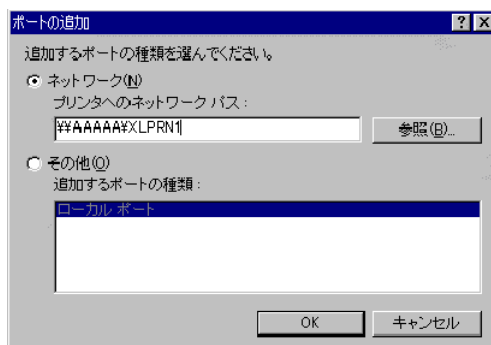
新しい印刷先に指定するポートが一覧にある場合は、選択して [OK] をクリックしてください。一覧にない場合は、手順4に進んでください。

4 [ポートの追加] をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法 (印刷方法) によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



「ネットワーク」を選択後、〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックする

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

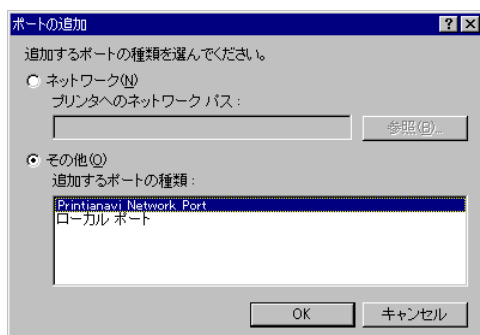


ガイド

NetWareで印刷する場合の入力形式は、「¥¥ファイルサーバ名¥プリントキュー名」です。(XL-6100/6700のみ)

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用してLAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianavi ネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」(163ページ)を参照してください。



2 ポート名とプリンタのIP アドレスまたはホスト名を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

〔参照〕でネットワークに接続されているプリンタを検索し、IPアドレスを自動入力することもできます。



・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」(163ページ)を参照してください。

・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔追加するポートの種類〕で「XL-LN100」を、プリンタLANアダプタFM-LNA100の場合は「FM-LNA100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100、またはFM-LNA100のマニュアルを参照してください)

〔詳細〕ダイアログの「印刷先のポート」に新しく追加したポートが表示されていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

▼ プリントドライバの削除

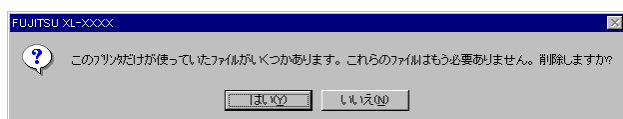
他のWindowsで本プリンタを使用していて、そのままWindows 98/95にアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリントドライバを置き換えるときは、古いプリントドライバを削除してから新しいプリントドライバをインストールします。

古いプリントドライバは、次の操作で削除します。

- 1 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 〔はい〕をクリックする



続いて左のメッセージが表示された場合は、〔はい〕をクリックします。



通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

- 4 Windows 98/95 を再起動する

古いプリントドライバを削除したら、Windows 98/95を再起動します。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップによりプリンタドライバを置き換えるときは、次の手順で行います。

- 1 古いプリンタドライバを「[プリンタドライバの削除](#)」(38ページ)の手順で削除する
- 2 新しいプリンタドライバを、「[インストール](#)」(28ページ)の手順でインストールする
- 3 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 98/95を再起動する

ネットワークインストール

Windows 98/95/2000/NT4.0上の共有のプリンタをWindows 98/95のパソコンから利用する場合、ネットワークインストールによって簡単にWindows 98/95のパソコンにプリンタドライバをインストールすることができます。

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

お願い

サーバがWindows 2000/NT4.0の場合は、ネットワークインストールを行う前に、サーバにWindows 98/95用の追加/代替プリンタドライバをインストールしてください。方法については、以下を参照してください。



Windows 2000 のとき

「[追加ドライバとネットワークインストール](#)」(54ページ) 参照

Windows NT4.0 のとき

「[代替ドライバとネットワークインストール](#)」(70ページ) 参照

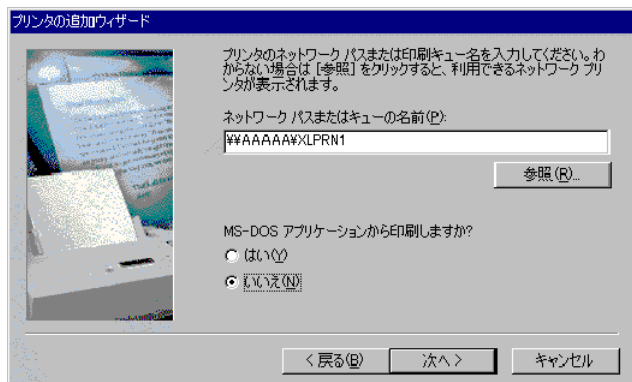
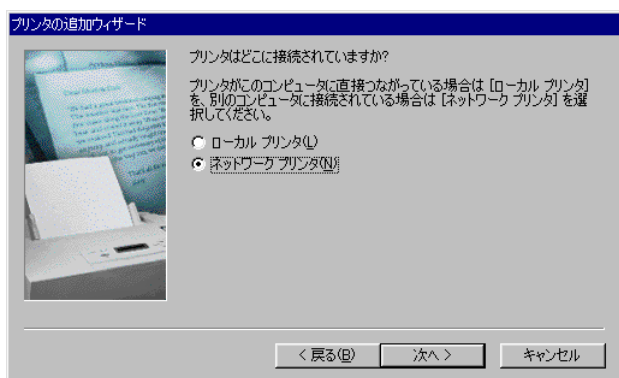
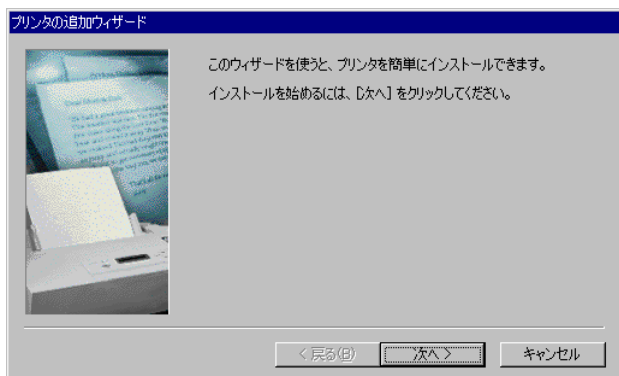
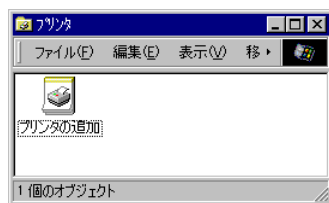


〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順に選択し、〔ネットワークコンピュータ〕からサーバに接続されたプリンタをダブルクリックしてインストールする方法もあります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

1 Windows 98/95を起動する

2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 〔次へ〕をクリックする



4 「ネットワークプリンタ」を選択して〔次へ〕をクリックする

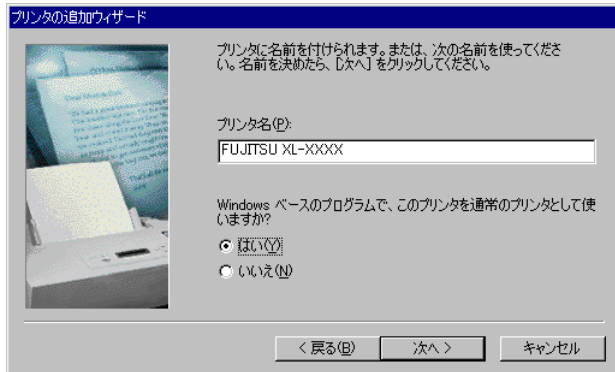
この画面はパソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

表示されないときは、〔キャンセル〕をクリックしてインストールを中断し、ネットワークの設定を確認してください。

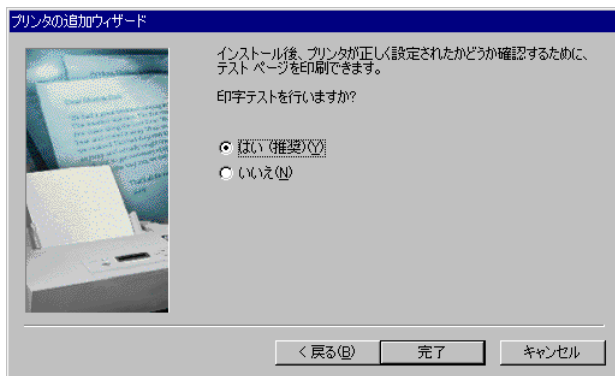
5 〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力する

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

入力が終わったら〔次へ〕をクリックします。

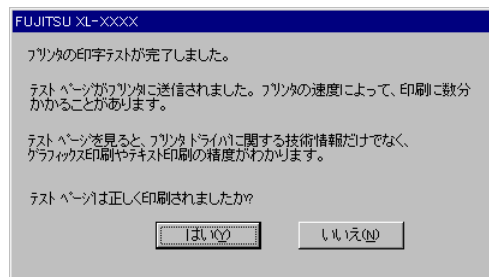


- 6 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



- 7 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする

「印字テストを行いますか？」で「はい (推奨)」を選択した場合は、以下の操作を行います。



- 8 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリントドライバのインストール方法と設定方法について説明します。



画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読みかえてください。

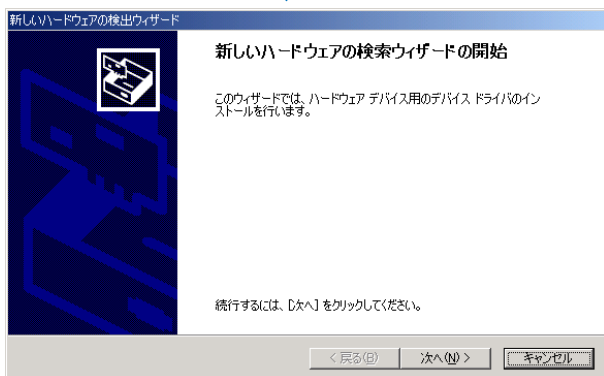
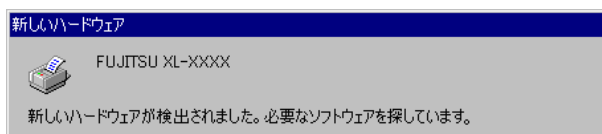
インストール

プリントドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。



- ・ インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLV41」フォルダにある「WIN2K.TXT」をお読みください。
- ・ 他の Windows で本プリントドライバをインストールして使用されていた方で、本プリントドライバを削除せず Windows 2000 にアップグレードしている場合は、Windows 2000 の〔プリンタ〕フォルダに残っている本プリンタを削除してからインストールを行ってください。

➡「[プリントドライバの削除](#)」(51 ページ) 参照



1 Windows 2000 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

プリンタケーブルで接続している場合は、Windows 起動後、Plug & Play によって左のような画面が表示されることがあります。このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

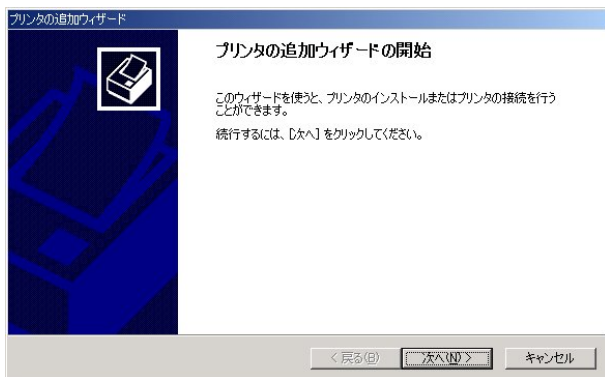


2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する

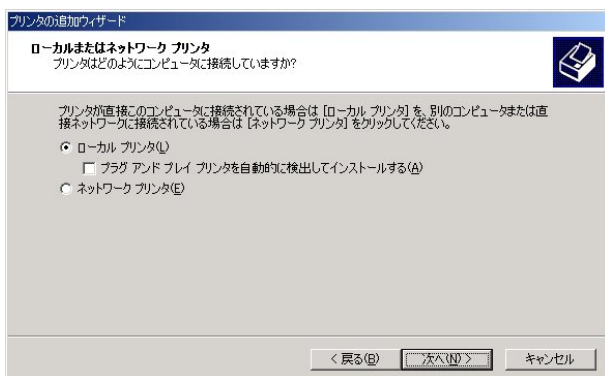
CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



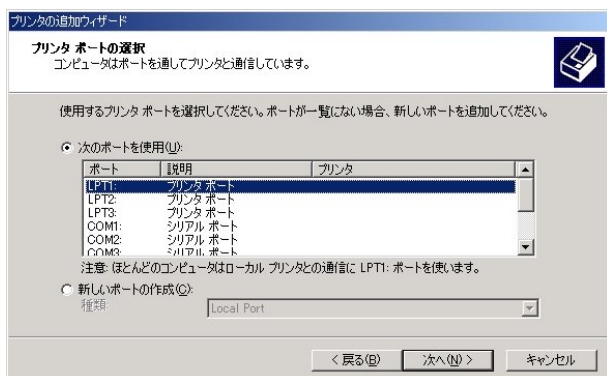
3 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択し、[プリンタの追加] をダブルクリックする



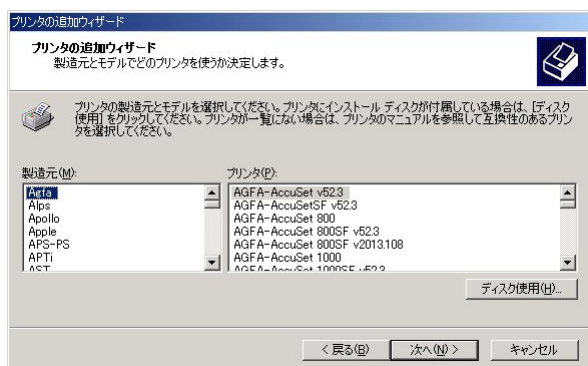
4 [次へ] をクリックする



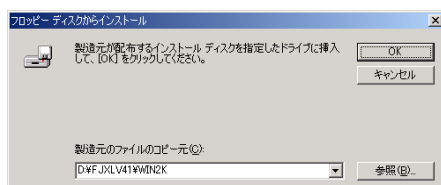
5 「ローカルプリンタ」を選択して「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、[次へ] をクリックする



6 「次のポートを使用」を選択し、プリンタを接続するポートを指定して〔次へ〕をクリックする
リストからプリンタを接続するポートを選択します。まだ、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。



7 〔ディスク使用〕をクリックする



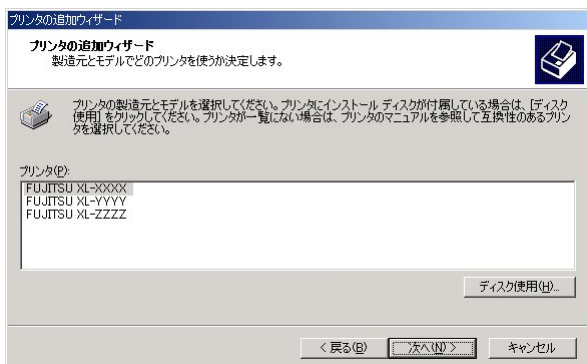
8 「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥FJXL V41 ¥WIN2K」と直接入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXL V41 ¥WIN2K」を選択し、〔開く〕をクリックする (CD-ROM ドライブが D: のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



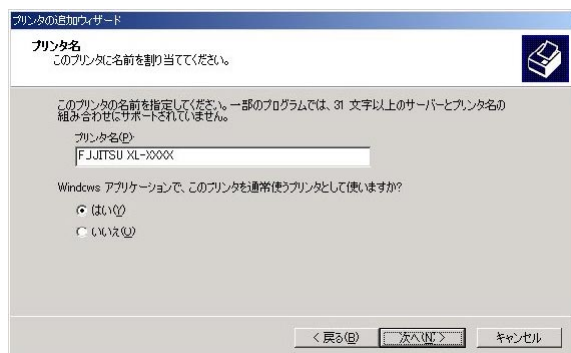
ガイド

フロッピーディスクを使用する場合は、「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥WIN2K」と指定します。(フロッピーディスクドライブが A: のとき)



9 インストールするプリンタをクリックして、〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



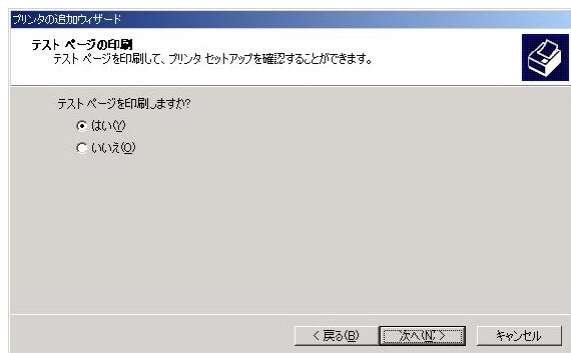
10 本プリンタに名前を付け、通常使うプリンタに設定する場合は、「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタに設定されます。



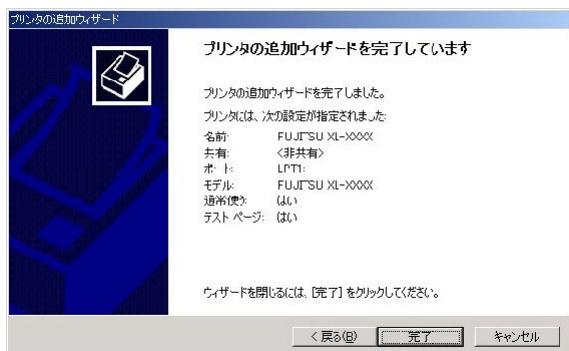
11 「このプリンタを共有しない」をクリックして、〔次へ〕をクリックする

プリンタを共有するかどうかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、「このプリンタを共有しない」を選択します。



12 テストページを印刷するか、しないか選択して〔次へ〕をクリックする

手順6で仮のポートを選択した場合やLPRポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

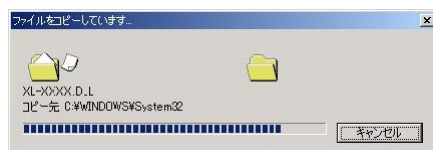


13 設定内容を確認して〔完了〕をクリックする

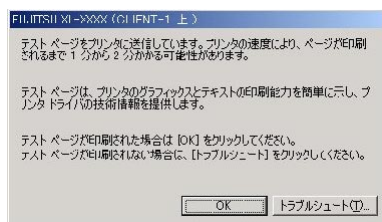


左の画面が表示されたときは、〔はい〕をクリックしてください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で「はい」を選択した場合には以下の操作を行います。



14 テストページが正しく印刷されたら〔OK〕をクリックし、インストールを終了する

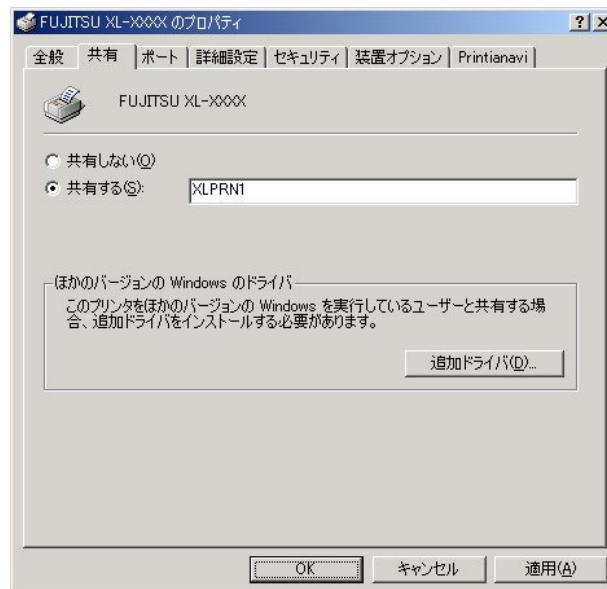
▼ プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコンから印刷可能なプリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有できるようにするための設定について説明します。
この設定は、他のパソコン（クライアント）からサーバ経由で印刷を行うときのサーバ側でのみ必要です。

■ 設定方法

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 「スタート」から「設定」[プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 2 「ファイル」メニューから「共有」を選択する
- 3 「共有する」を選択し、共有名を入力する



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 98/95のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

入力が終わったら、「OK」をクリックしてください。

印刷先ポートの追加と変更

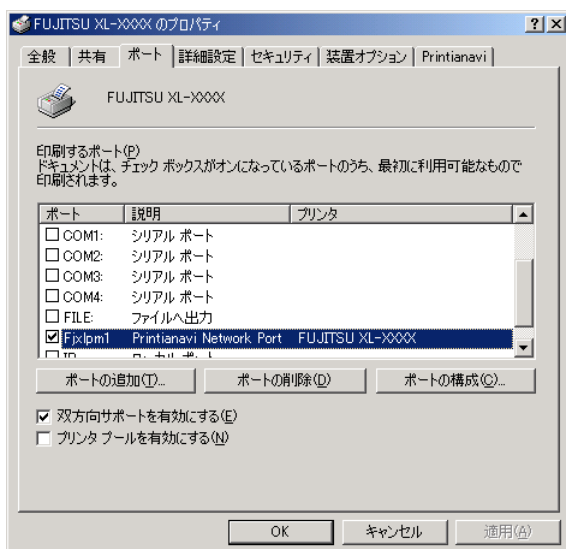
プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタがLAN（TCP/IP）に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 「スタート」から「設定」〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



- 2 「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択し、「ポート」タブをクリックする

- 3 「印刷するポート」の一覧から、新しい印刷ポートを選択する

一覧にある場合は、ポートの横をチェックして「OK」をクリックしてください。

一覧にない場合は、手順4に進んでください。

- 4 「ポートの追加」をクリックする

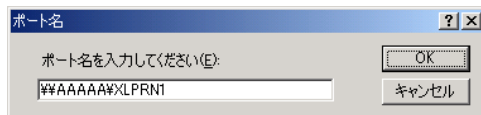
以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なポートの種類」から「Local Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする



2 ネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックする

入力形式は「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名 ¥ プリンタの共有名」です。

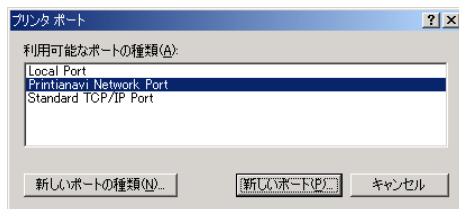


ガイド

NetWare で印刷する場合の入力形式は、「¥¥ ファイルサーバ名 ¥ プリントキュー名」です。(XL-6100/6700 のみ)

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用して LAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。

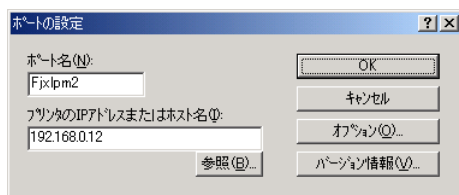


1 「利用可能なポートの種類」から「Printianavi Network Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする



ガイド

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianavi ネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」(163ページ)を参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

〔参照〕でネットワークに接続されているプリンタを検索し、IPアドレスを自動入力することもできます。



・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」(163ページ)を参照してください。

・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔利用可能なポートの種類〕で「XL-LN100」を、プリンタLANアダプタFM-LNA100の場合は「FM-LNA100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100またはFM-LNA100のマニュアルを参照してください)

〔ポート〕ダイアログの「印刷するポート」に新しく追加したポートが表示かつチェックされていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

▼ プリンタドライバの削除

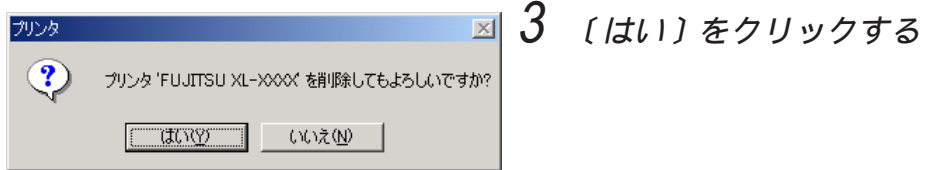
他のWindowsで本プリンタを使用していて、そのままWindows 2000にアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択し、削除するプリンタをクリックする

2 [ファイル] メニューから [削除] を選択する



通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4 [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] を選択し、[ドライバ] タブをクリックする

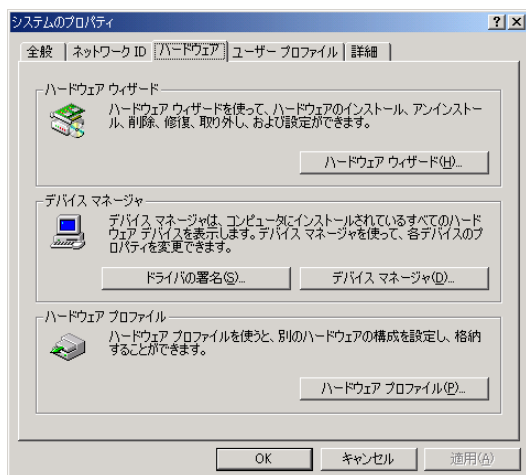


5 「インストールされたプリンタドライバ」リストから、手順2で削除したプリンタ名を選択し、〔削除〕をクリックする



6 〔はい〕をクリックする
ドライバの削除後、〔プリントサーバーのプロパティ〕ダイアログに戻ります。
〔閉じる〕をクリックします。

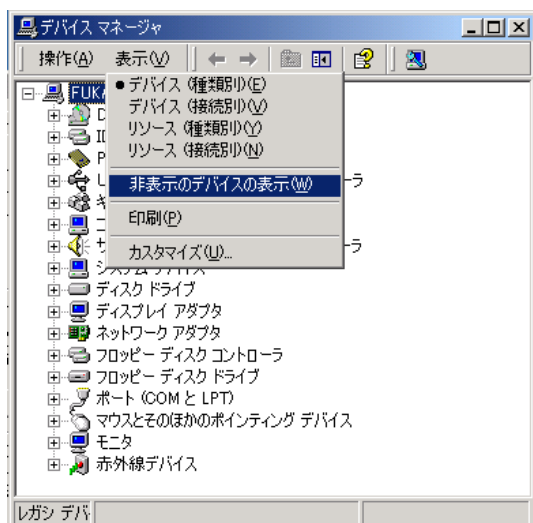
7 〔マイコンピュータ〕を
右クリックし、〔プロパティ〕を選択する
〔システムのプロパティ〕ダイアログが表示されます。



8 〔ハードウェア〕タブを
クリックし、〔デバイス
マネージャ〕をクリック
する

9 「表示」メニューの「非表示のデバイスの表示」を選択し、「プリンタ」に削除したXLプリンタが表示された場合はアンインストールする

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで「削除」を選択します。
処理が終わったら「デバイス マネージャ」および「システムのプロパティ」ダイアログを終了します。



ガイド

プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

10 Windows 2000 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000を再起動します。



お願い

プリンタをプリンタケーブルで接続時、再起動後に Plug & Play によって XL ドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、[キャンセル] をクリックしてください。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップによりプリンタドライバを置き換えるときは、次の手順で行います。

管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 1 古いプリンタドライバを「**プリンタドライバの削除**」(51 ページ) の手順で削除する
- 2 新しいプリンタドライバを「**インストール**」(42 ページ) の手順でインストールする
- 3 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 2000 を再起動する

追加ドライバとネットワークインストール

プリンタを共有するサーバ(Windows 2000)に追加ドライバをインストールしておく、クライアントでのプリンタドライバのインストールが簡潔に行えるようになります。

例えば、Windows 2000 上の共有プリンタを Windows 98/95 のパソコンから利用したい場合に、Windows 2000 のパソコンにあらかじめ Windows 98/95 用のプリンタドライバを追加ドライバとしてインストールしておけば、Windows 98/95 のパソコンにプリンタドライバをインストールする際に添付の CD-ROM や作成したプリンタドライバのフロッピーディスクが不要となります。

追加ドライバのインストール

追加ドライバのインストールは、次の手順で行います。

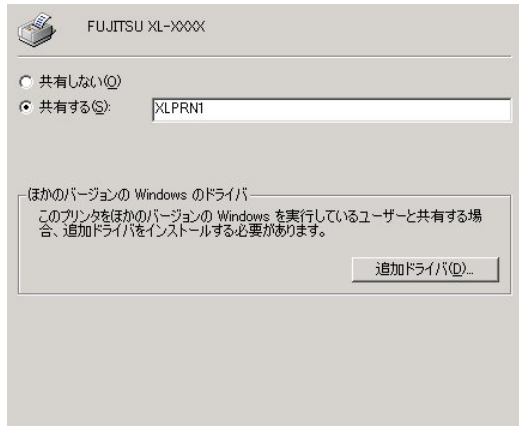
添付の CD-ROM を準備してください。

ここでは、Windows 2000 上の共有プリンタに、Windows 98/95 または Windows NT4.0 の追加ドライバをインストールするときの手順を説明します。

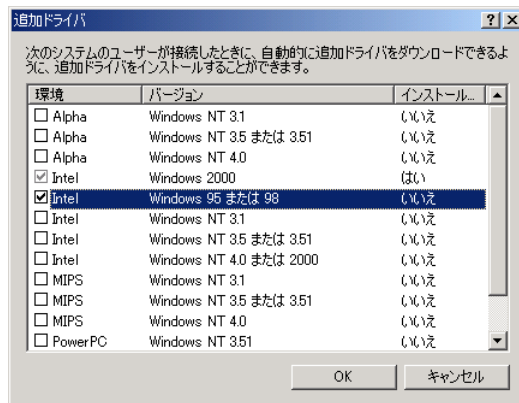


プリンタドライバのバージョンアップにより、新しい追加ドライバに置き換える場合は、先に古いプリンタドライバを削除し、プリンタドライバをインストールし直してから行ってください。「[プリンタドライバの削除](#)」(51 ページ)、「[新しいドライバに置き換えるとき](#)」(53 ページ) 参照。

- 1 Windows 2000 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択する
- 3 追加ドライバをインストールするプリンタをクリックし、[ファイル] メニューから [共有] を選択する

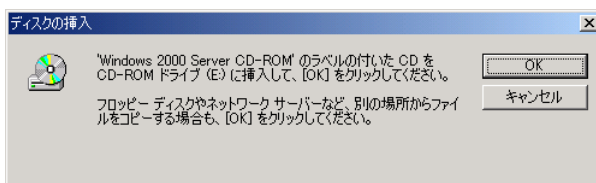


4 「追加ドライバ」をクリックする



5 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSをチェックする
(画面はWindows 98/95 のとき)

6 [OK] をクリックする

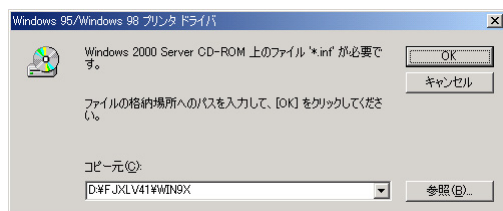


7 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

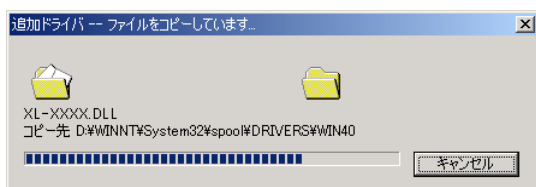
CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
セットしたら [OK] をクリックします。



CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリントユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



8 「コピー元」にクライアントのOS用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。



ガイド

プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。
(CD-ROMドライブがD:、フロッピーディスクドライブがA:の場合)

クライアントの OS	フォルダ名	フォルダ名
	(CD-ROMの場合)	(フロッピーの場合)
Windows 98/95	D:\¥FJXLV41¥WIN9X	A:\¥WIN9X
Windows NT4.0	D:\¥FJXLV41¥WINNT40	A:\¥WINNT40

■ ネットワークインストール

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

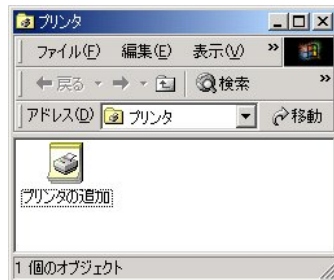
お願い

サーバが Windows NT4.0 でクライアントが Windows 2000 の場合は、サーバ (Windows NT4.0) の共有プリンタをネットワークインストールしないでください。この環境でネットワークインストールを行うと、Printianavi機能が正常に機能しません。また、サーバが Windows 98/95 の場合は、ネットワークインストールの途中で失敗します。これらの場合は、クライアント (Windows 2000) に直接ローカルポートでプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

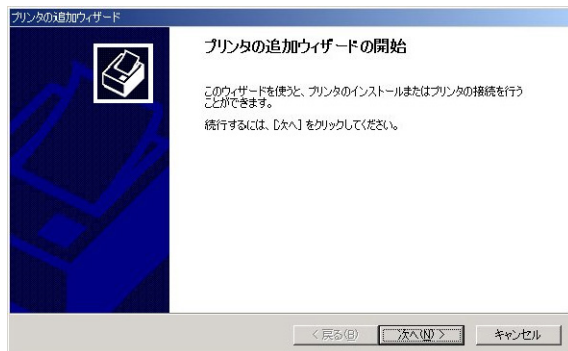
➡「印刷先ポートの追加と変更」の「サーバ経由で印刷するとき」(49 ページ) 参照

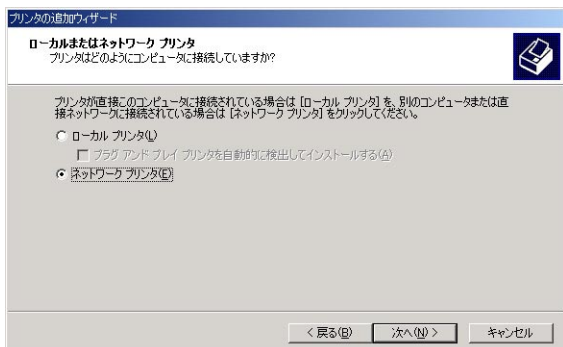
1 Windows 2000 を起動する

2 [スタート] から [設定]
[プリンタ] の順に選択し、
[プリンタの追加] を
ダブルクリックする

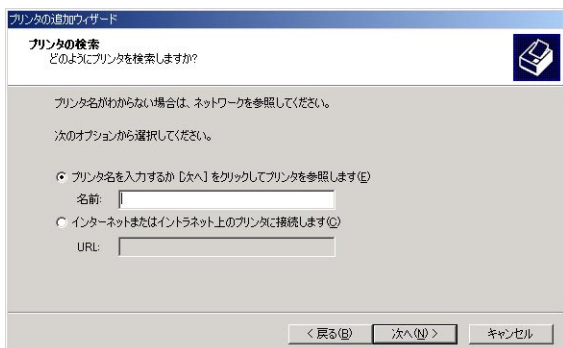


3 [次へ] をクリックする

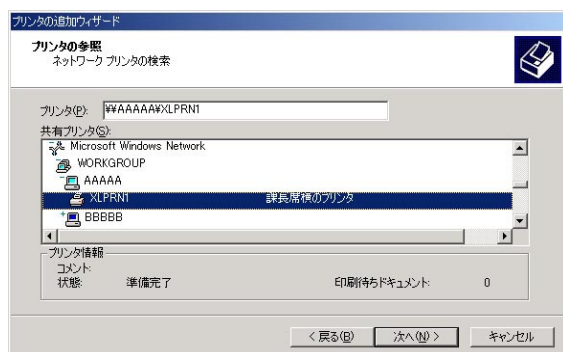




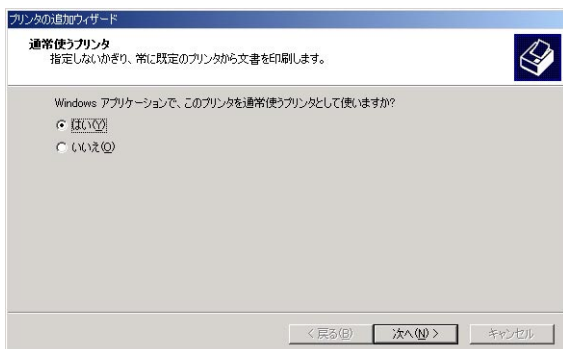
4 「ネットワーク プリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



5 「プリンタ名を入力するか〔次へ〕をクリックしてプリンタを参照します」を選択し、〔次へ〕をクリックする

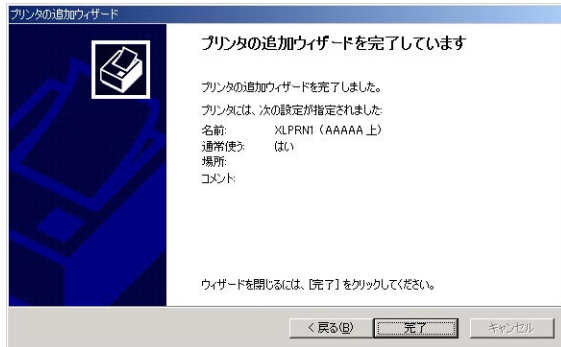


6 「共有プリンタ」リストから接続する共有プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする



7 本プリンタを通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

8 「完了」をクリックする



Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。



ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読みかえてください。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。



お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLV41」フォルダにある「WINNT40.TXT」をお読みください。
- ・Windows NT3.51 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows NT4.0 にアップグレードしている場合は、Windows NT4.0 の〔プリンタ〕フォルダに残っているプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする



2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



3 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



4 「このコンピュータ」を選択して〔次へ〕をクリックする



「ネットワークプリンタサーバー」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



サーバの OS が Windows 2000 のとき

「追加ドライバとネットワークインストール」(54 ページ) 参照

(サーバの OS が Windows NT4.0 のときは、代替ドライバのインストールは不要です。)

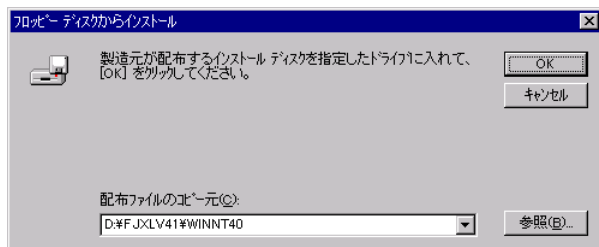


5 プリンタを接続するポートを指定して〔次へ〕をクリックする

「利用可能なポート」から、プリンタを接続するポートを選択します。まだ、ポートを作成していない場合は、仮のポートをチェックしてください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。



6 〔ディスク使用〕をクリックする



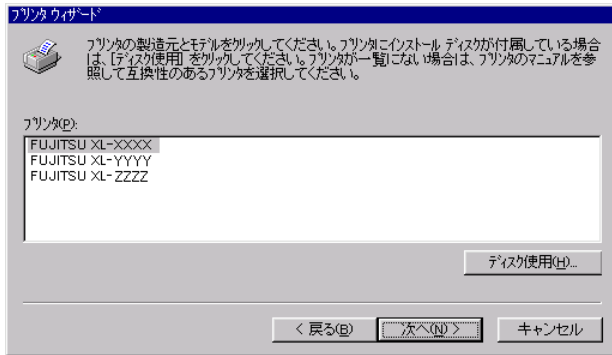
7 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥FJXLV41 ¥WINNT40」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV41 ¥WINNT40」を選択し、〔開く〕をクリックする（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



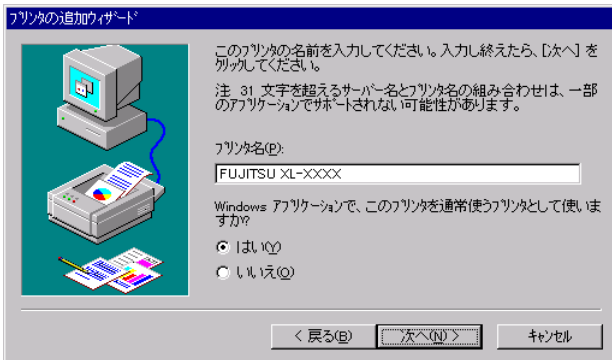
ガイド

フロッピーディスクを使用する場合は、「配布ファイルのコピー元」に「A:¥WINNT40」と指定します。（フロッピーディスクドライブがA:のとき）



8 インストールするプリンタをクリックして、〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



9 本プリンタに名前を付け、通常使うプリンタに設定する場合は、「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタに設定されます。



10 「共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、「共有しない」を選択します。



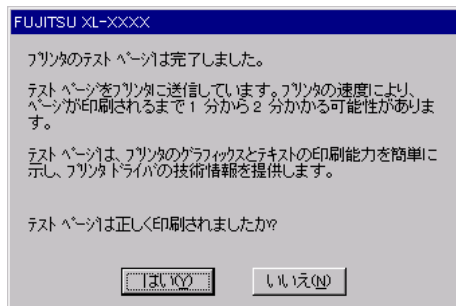
11 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする

手順5で仮のポートを選択した場合やLPRポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合には以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

▼ プリンタを共有する

ここでは、プリンタドライバをインストールしたパソコンから印刷可能なプリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有できるようにするための設定について説明します。
この設定は、他のパソコン（クライアント）からサーバ経由で印刷を行うときのサーバ側でのみ必要です。

■ 設定方法

- 1 「スタート」から「設定」〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 2 「ファイル」メニューから、「共有」を選択する
- 3 「共有する」を選択し、共有名を入力する



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 98/95のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

入力が終わったら、「OK」をクリックしてください。

印刷先ポートの追加と変更

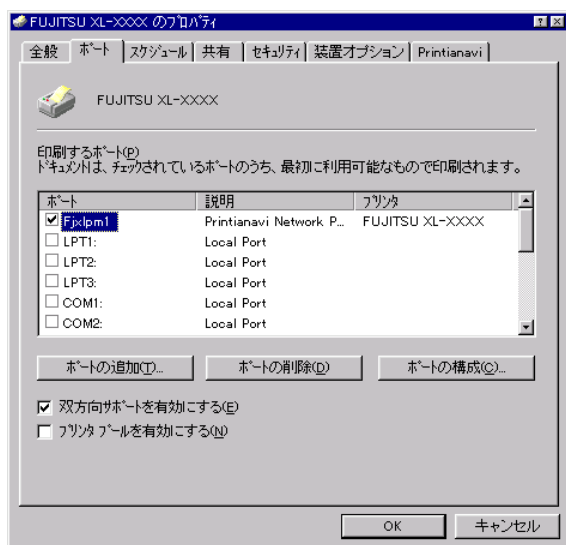
プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、プリンタが LAN (TCP/IP) に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作をします。

- 1 「スタート」から「設定」〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



- 2 「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択し、「ポート」タブをクリックする

- 3 「印刷するポート」の一覧から、新しい印刷ポートを選択する

一覧にある場合は、ポートの横をチェックして「OK」をクリックしてください。

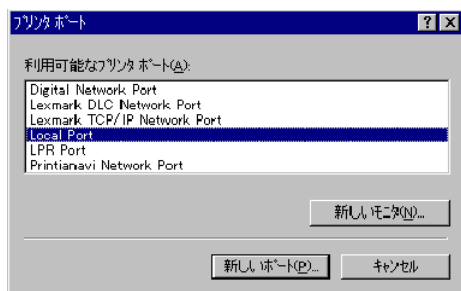
一覧にない場合は、手順 4 に進んでください

- 4 「ポートの追加」をクリックする

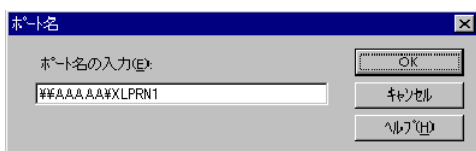
以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

▶ サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なプリンタポート」から「Local Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする



2 ネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックする

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

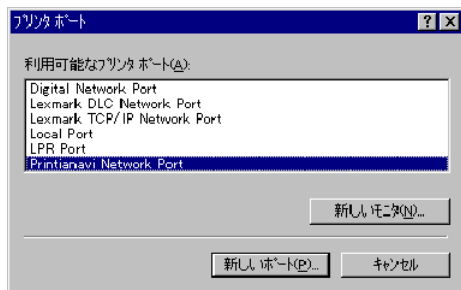


ガイド

NetWare で印刷する場合の入力形式は、「¥¥ファイルサーバ名¥プリントキュー名」です。(XL-6100/6700のみ)

▶ LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用して LAN (TCP/IP) に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なプリンタポート」から「Printianavi Network Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする



ガイド

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタのインストールを先に行ってください。Printianavi ネットワークポートモニタのインストールおよび設定方法については、「第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ」(163ページ)を参照してください。



2 ポート名とプリンタのIPアドレスまたはホスト名を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

ポート名 半角の英数字で8文字以内で指定してください。

プリンタのIPアドレスまたはホスト名 IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。

ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

〔参照〕でネットワークに接続されているプリンタを検索し、IPアドレスを自動入力することもできます。



ガイド

・〔ポートの設定〕についてのさらに詳しい説明は、「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」(163ページ)を参照してください。

・プリンタLANカードXL-LN100で接続されたプリンタの場合は、〔利用可能なプリンタポート〕で「XL-LN100」を、プリンタLANアダプタFM-LNA100の場合は「FM-LNA100」を選択してください。(設定の詳細はXL-LN100またはFM-LNA100のマニュアルを参照してください)

〔ポート〕ダイアログの〔印刷するポート〕に新しく追加したポートが表示かつチェックされていることを確認して、〔OK〕をクリックしてください。

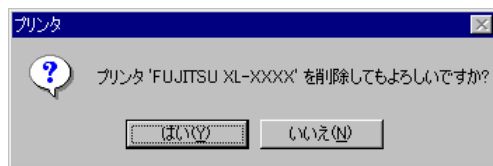
▼ プリントドライバの削除

他のWindowsで本プリンタを使用していて、そのままWindows NT4.0にアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリントドライバを置き換えるときは、古いプリントドライバを削除してから新しいプリントドライバをインストールします。

古いプリントドライバは、次の操作で削除します。

管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 1 マイ コンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
- 2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する



- 3 〔はい〕をクリックする



通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

- 4 Windows NT4.0を再起動する

古いプリントドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップによりプリントドライバを置き換えるときは、次の手順で行います。

- 1 古いプリントドライバを「[プリントドライバの削除](#)」(69ページ)の手順で削除する
- 2 新しいプリントドライバを「[インストール](#)」(60ページ)の手順でインストールする
- 3 新しいプリントドライバをインストール後、Windows NT4.0を再起動する

▼ 代替ドライバとネットワークインストール

プリンタを共有するサーバ（Windows NT4.0）に代替ドライバをインストールしておくと、クライアントのプリンタドライバのインストールが簡潔に行えるようになります。

例えば、Windows NT4.0 上の共有プリンタを Windows 98/95 のパソコンから利用したい場合に、Windows NT4.0 のパソコンにあらかじめ Windows 98/95 用のプリンタドライバを代替ドライバとしてインストールしておけば、Windows 98/95 のパソコンにプリンタドライバをインストールする際に添付の CD-ROM や作成したプリンタドライバのフロッピーディスクが不要となります。

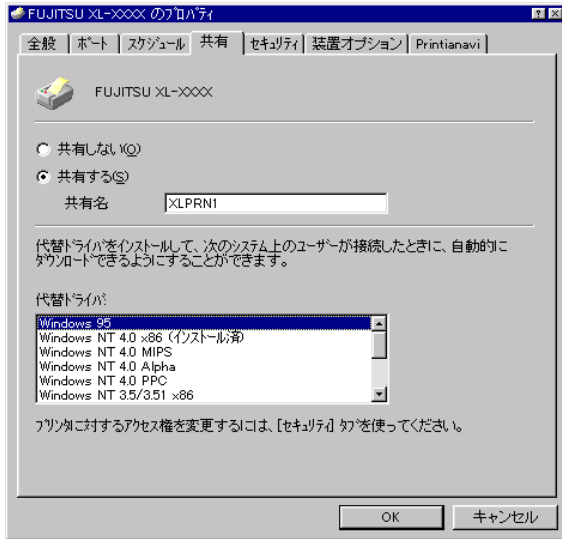
■ 代替ドライバのインストール

代替ドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付の CD-ROM を準備してください。

ここでは、Windows NT4.0 上の共有プリンタに、Windows 98/95 の代替ドライバをインストールするときの手順を説明します。プリンタドライバのバージョンアップにより新しい代替ドライバに置き換える場合も同様です。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする
- 3 代替ドライバをインストールするプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する



4 「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択する

クリックした部分が反転表示されます。

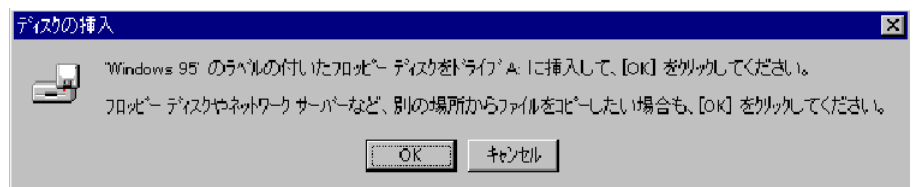


ガイド Windows 98 の代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択します。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

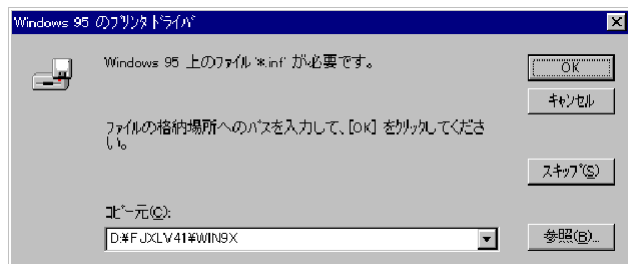
5 [OK] をクリックする

6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

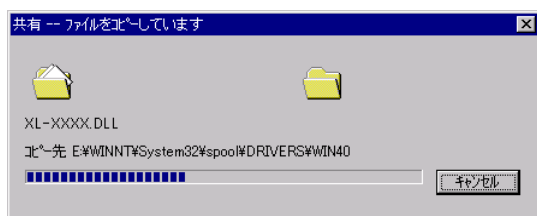
CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。セットしたら、[OK] をクリックします。



ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリントユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、[終了] を選択して画面を閉じてください。



7 「コピー元」にクライアントのOS用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

ガイド

- ・プリンタドライバのフォルダ名は、「D:¥FJXLV41¥WIN9X」を入力または選択してください。(CD-ROMドライブがD:のとき)
- ・フロッピーディスクを使用する場合は、「コピー元」に「A:¥WIN9X」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)

■ ネットワークインストール

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

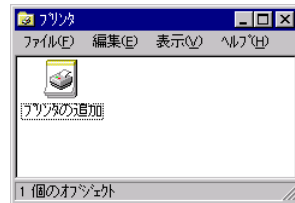
ガイド

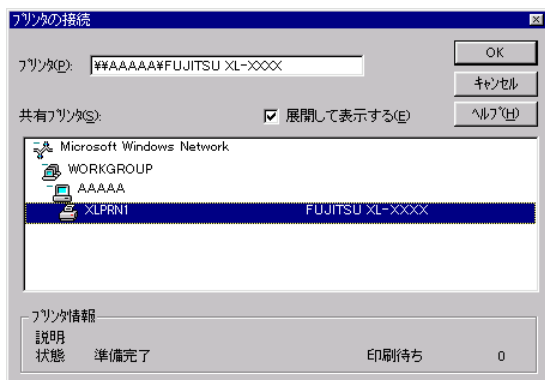
- ・〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順に選択し、〔ネットワークコンピュータ〕からサーバに接続されたプリンタをダブルクリックしてインストールする方法もあります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- ・管理者権限でログオンしても、ネットワークインストールしたプリンタは同じパソコンにログオンした他のユーザからは使用できませんので、ユーザごとにインストールする必要があります。

1 Windows NT4.0 を起動する

2 マイ コンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「ネットワークプリンタサーバー」を選択して〔次へ〕をクリックする





4 「共有プリンタ」リストから接続する共有プリンタを選択する、または「プリンタ」にネットワークパスを入力する

入力形式は「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



5 本プリンタを通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする



6 〔完了〕をクリックする

Windows 3.1 のとき

ここでは、Windows 3.1 をご使用の場合の、プリントドライバのインストール方法と設定方法について説明します。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 3.1のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読み替えてください。



インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「FJXLV41」フォルダにある「WIN31.TXT」をお読みください。

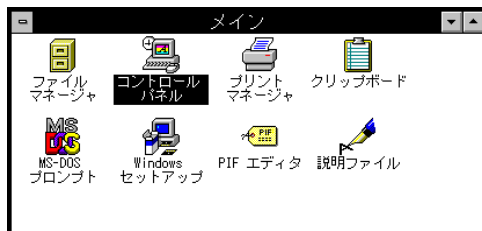
インストール

プリントドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROMを準備してください。

1 Windows 3.1 を起動する

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

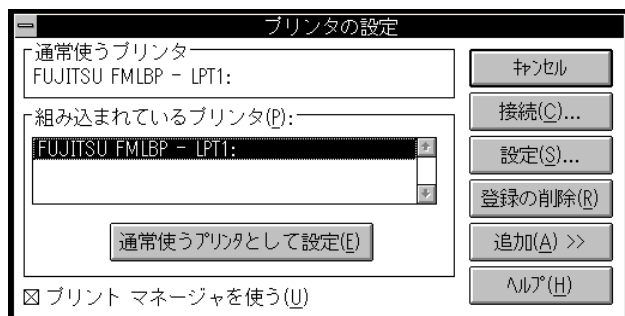
CD-ROMから作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。



3 [メイン]グループの[コントロールパネル]をダブルクリックする



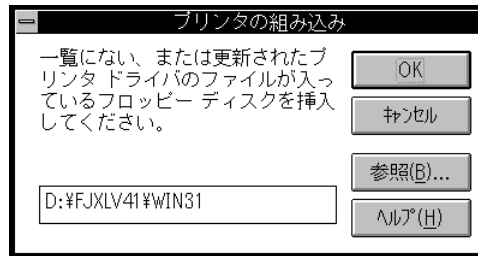
4 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックする、または「設定」メニューの「プリンタ」を選択する



5 「プリンタの設定」ダイアログボックスの「追加」をクリックする



6 「組み込むプリンタの選択」リストボックス中の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、「組み込み」をクリックする

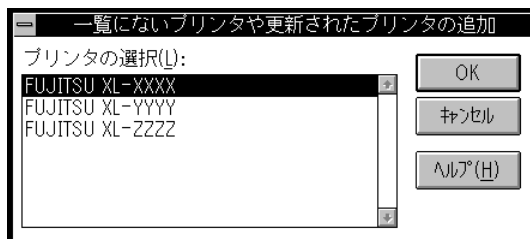


- 7 [プリンタの組み込み]
ダイアログボックスのテキストボックスに、「D:¥FJXLV41¥WIN31」と入力する、または[参照]をクリックして「D:¥FJXLV41¥WIN31」を選択し、[OK]をクリックする。(CD-ROMドライバがD:のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。



- ガイド フロッピーディスクを使用する場合は、[プリンタの組み込み]ダイアログボックスのテキストボックスに「A:¥WIN31」と指定します。(フロッピーディスクドライブがA:のとき)



- 8 インストールするプリンタをクリックして、[OK]をクリックする
[プリンタの設定]ダイアログの「組み込まれているプリンタ」に、選択したプリンタ名が表示されます。



- ガイド 実際の画面では、インストール可能なプリンタ名がリストアップされます。



9 本プリンタを通常使うプリンタに設定する場合は、プリンタ名をクリックし、〔通常使うプリンタとして設定〕をクリックする

選択したプリンタが「通常使うプリンタ」に表示され、ドライバが有効になります。

10〔プリンタの設定〕ダイアログボックスの〔終了〕をクリックし、インストールを終了する

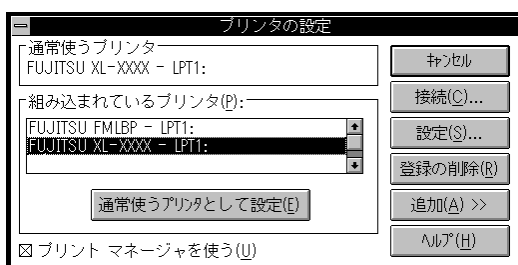
印刷先ポートの追加と変更

プリンタの接続方法を変更するときには、印刷先のポートを変更する必要があります。また、サーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

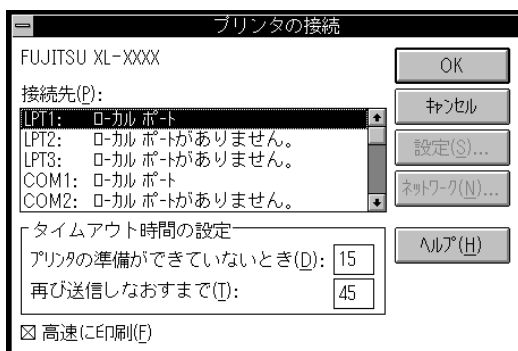
ここでは、プリンタの印刷先ポートの追加および変更方法を説明します。

設定方法

- 1 [メイン]グループの[コントロールパネル]をダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル]の[プリンタ]をダブルクリックする



- 3 [プリンタの設定] ダイアログボックスの「組み込まれているプリンタ」で接続先を変更するプリンタを選択し、[接続]をクリックする



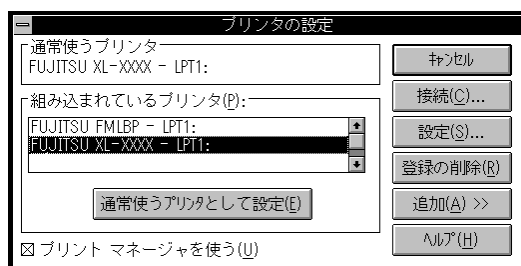
- 4 [プリンタの接続] ダイアログボックスの「接続先」リストから新しいポートを選択する、またはネットワークに接続する場合は[ネットワーク]をクリックして接続先を指定する

▼ プリントドライバの削除

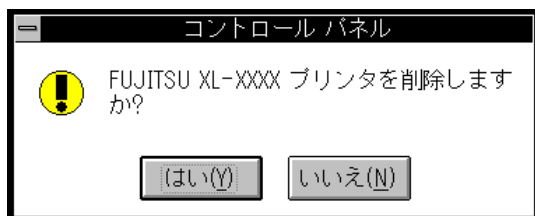
バージョンアップにより、プリントドライバを置き換えるときは、古いプリントドライバを削除してから新しいプリントドライバをインストールします。

古いプリントドライバは、次の手順で削除します。

- 1 「メイン」グループの「コントロールパネル」をダブルクリックする
- 2 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックする



- 3 「プリンタの設定」ダイアログボックスの、「組み込まれているプリンタ」で削除するプリンタを選択し、「登録の削除」をクリックする



「FUJITSU XL-XXXX プリンタを削除しますか?」というダイアログボックスが表示されます。削除する場合は「はい」を、キャンセルする場合は「いいえ」をクリックします。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップによりプリントドライバを置き換えるときは、次の手順で行います。

- 1 古いプリントドライバを「[プリントドライバの削除](#)」(80ページ)の手順で削除する
- 2 新しいプリントドライバを「[インストール](#)」(75ページ)の手順でインストールする
- 3 新しいプリントドライバをインストール後、Windows 3.1を再起動する

第3章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバ (Printia XL ドライバ) の設定項目および設定方法について説明します。

設定画面について	83
Windows 98/95 の設定画面	83
Windows 2000 の設定画面	90
Windows NT4.0 の設定画面	98
Windows 3.1 の設定画面	106
プリンタドライバの機能と設定の概要	109
印刷するときの設定	109
より便利にお使いいただくための設定	112
注意事項	113
印刷するときの基本的な設定	117
用紙サイズと向きを指定する	117
給紙 / 排紙方法を指定する	119
便利な印刷機能	121
拡大 / 縮小印刷 (Windows 98/95/2000/NT4.0)	121
縮小印刷 (Windows 3.1)	125
1 枚の用紙に複数ページを配置して印刷する (N-up 印刷) (Windows 98/95/2000/NT4.0)	126
複数部数 / 部単位印刷	129
両面印刷 (XL-6100/6700 プリンタのみ)	133
拡張スタッカを使った印刷 (XL-6700 のみ)	136

印刷の調整に関する設定	142
きれいに印刷する	142
高速に印刷する	146
オプション機能を設定する	148
Printianavi の設定 (Windows 98/95/2000/NT4.0)	151
Printianavi を有効にする	151
メッセージの表示方法を変更する	153
プリンタの状態を表示する	157
プリンタの状態を設定値に反映する	159
プリンタドライバに関する設定	160
オプションの装着状態を設定する (Windows 98/95/2000/NT4.0)	160
プリンタドライバのバージョンを確認する	162

設定画面について

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

Windows 98/95 の設定画面

Windows 98/95 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティを表示するには、次の2つの方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定(プリンタドライバの設定を含む)を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
(XL-6100/6700のみ)
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

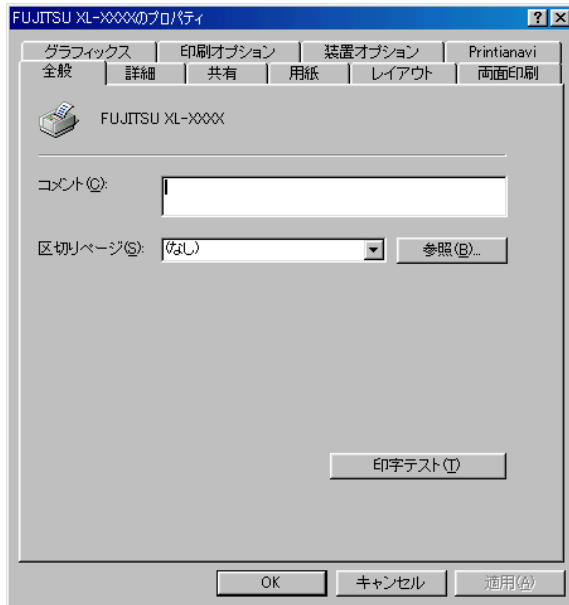
- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ 「スタート」からの設定画面（プリンタのプロパティ）



次のダイアログの表示を切り換えます。



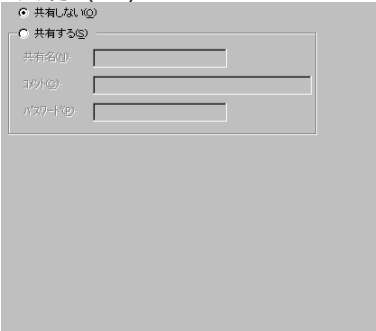
- ・〔全般〕（または〔情報〕）
- ・〔詳細〕
- ・〔共有〕
- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
（XL-6100/6700のみ）
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕
- ・〔装置オプション〕
- ・〔Printianavi〕

プリンタドライバやポートの選択、Printianavi機能の設定が行えます。
また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

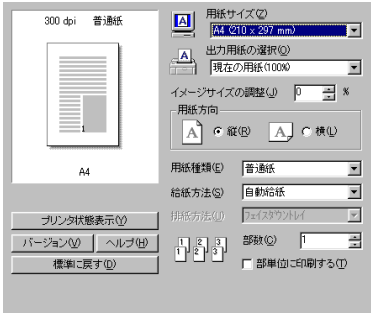
▶ 設定画面の表示と設定の変更

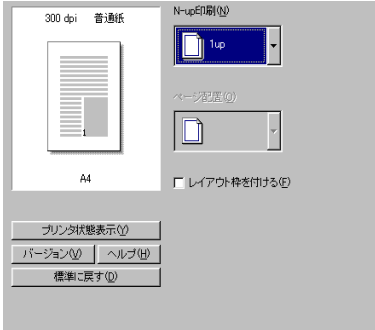
- 1 「スタート」から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

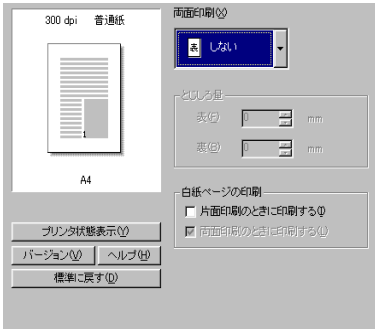
ダイアログ一覧 (Windows 98/95)

画 面	説 明	備 考
<p>〔全般〕(または〔情報〕)(*1)</p> 	プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。	区切りページは、印刷を行うパソコンにプリンタが直接接続されている場合のみ使用できます。また、B5より小さいサイズの用紙では、周囲の一部が欠けて印刷されます。
<p>〔詳細〕(*1)</p> 	印刷先のポートに関する設定や、使用しているプリンタドライバの表示を行います。	印刷先ポートの追加と変更 (35 ページ) 参照 「Printianavi を有効にする」 (151 ページ) 参照
<p>〔共有〕(*1)</p> 	プリンタの共有に関する設定を行います。 このダイアログは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。	「プリンタを共有する」 (33 ページ) 参照

*1：「プリンタのプロパティ」からのみ表示されます。

画面	説明	備考
<p>〔用紙〕(*2)(*3)</p> 	<p>用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙 / 排紙、部数印刷に関する設定を行います。</p>	<p>「用紙サイズと向きを指定する」(117 ページ) 参照 「給紙 / 排紙方法を指定する」(119 ページ) 参照 「複数部数 / 部単位印刷」(129 ページ) 参照</p>

<p>〔レイアウト〕(*2)(*3)</p> 	<p>1 枚の用紙に複数ページを配置する N-up 印刷に関する設定を行います。</p>	<p>「1 枚の用紙に複数ページを配置して印刷する (N-up 印刷)」(126 ページ) 参照</p>
---	--	--

<p>〔両面印刷〕(*2)(*3)</p> 	<p>両面印刷に関する設定を行います。 このダイアログは、XL-6100/6700 のみ表示されます。</p>	<p>「両面印刷」(133 ページ) 参照</p>
---	---	---------------------------

- *2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「[プリンタの状態を表示する](#)」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。
- *3 :〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「[プリンタドライバのバージョンを確認する](#)」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

画 面	説 明	備 考
-----	-----	-----

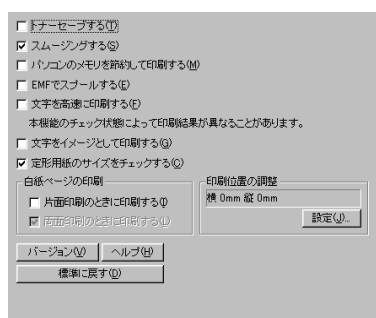
〔グラフィックス〕(*2)(*3)



解像度やディザパターンなどを設定します。

「きれいに印刷する」
(142 ページ) 参照
「高速に印刷する」
(146 ページ) 参照

〔印刷オプション〕(*3)



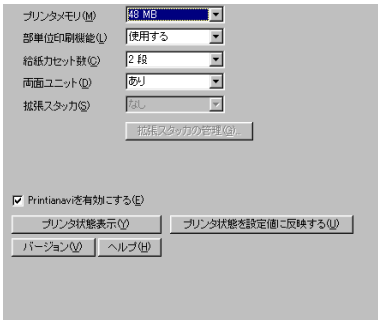
以下の印刷に関するオプション設定を行います。

- 1) トナーセーブ、白紙ページの扱い、印刷位置の調整、スプールに関する設定
- 2) スムージング
- 3) 文字データの高速印刷

- 1) 「オプション機能を設定する」(148 ページ) 参照
- 2) 「きれいに印刷する」(142 ページ) 参照
- 3) 「高速に印刷する」(146 ページ) 参照

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。

*3 :〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

画 面	説 明	備 考
<p>〔装置オプション〕(*1)(*2)(*3)</p> 	<p>オプションの装着状態や、Printianavi を有効にするかどうかの設定を行います。</p>	<p>「プリンタの状態を設定値に反映する」 (159 ページ) 参照 「オプションの装着状態を設定する」 (160 ページ) 参照 「高速に印刷する」 (146 ページ) 参照 「Printianavi を有効にする」(151 ページ) 参照 「拡張スタックを使った印刷」(136 ページ) 参照</p>

〔Printianavi〕(*1)(*2)(*3)



エラーメッセージの表示方法や印刷完了時のメッセージ通知などの、Printianavi に関する設定を行います。

「メッセージの表示方法を変更する」(153 ページ) 参照

- *1 : 「プリンタのプロパティ」からのみ表示されます。
- *2 : 〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。
- *3 : 〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

Windows 2000 の設定画面

Windows 2000 でのプリンタドライバの設定は、次の3つの設定画面で行います。

設定画面によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

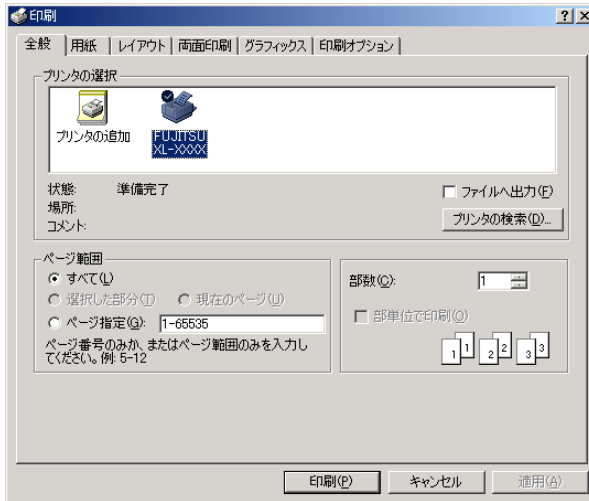


- ・一般ユーザは、アプリケーションソフトと印刷設定画面からのみプリンタの設定を変更できます。

また、サーバ共有のプリンタのすべての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。

- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔全般〕
- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
(XL-6100/6700のみ)
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタの設定画面を表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する
- 2 〔プリンタの選択〕で、印刷を行うプリンタをクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔印刷〕をクリックすると、変更した設定で印刷を行った後、設定画面を終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで設定画面を終了します。

〔適用〕をクリックすると、設定画面を開いたまま変更内容を保存します。

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



次のダイアログの表示を切り換えます。

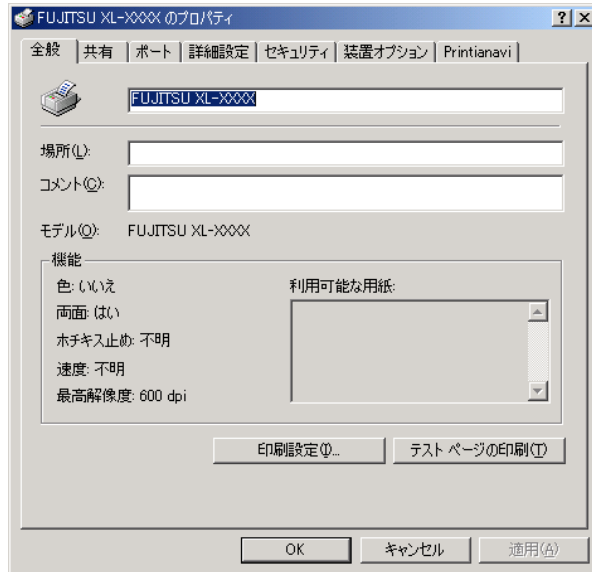
- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
- （XL-6100/6700のみ）
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔印刷設定〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して設定画面を終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで設定画面を終了します。
〔適用〕をクリックすると、設定画面を開いたまま変更内容を保存します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

プリンタのプロパティ



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔全般〕
- ・〔共有〕
- ・〔ポート〕
- ・〔詳細設定〕
- ・〔セキュリティ〕
- ・〔装置オプション〕
- ・〔Printianavi〕

プリンタドライバやポートの選択、Printianavi 機能の設定が行えます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると、設定画面を開いたまま変更内容を保存します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。
また、〔全般〕ダイアログの〔印刷設定〕をクリックすると、印刷設定画面（〔スタート〕からの設定画面と同じもの）が表示されます。

ダイアログ一覧(Windows 2000)

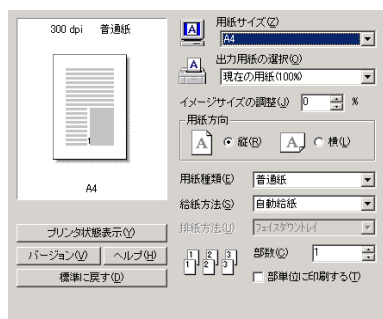
画面	説明	備考
----	----	----

〔全般〕(*1)〔アプリケーション〕



アプリケーションから印刷するときに、どのプリンタに印刷するかなどを選択します。ここで選択したプリンタの印刷設定画面が後に表示されます。

〔用紙〕(*2)(*3)



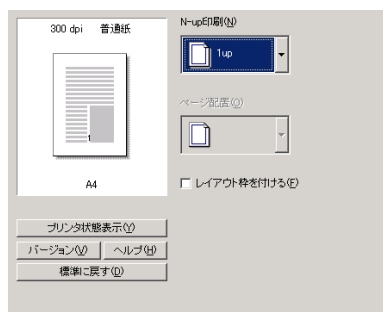
用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙 / 排紙、部数印刷に関する設定を行います。

「用紙サイズと向きを設定する」(117 ページ) 参照

「給紙 / 排紙方法を指定する」(119 ページ) 参照

「複数部数 / 部単位印刷」(129 ページ) 参照

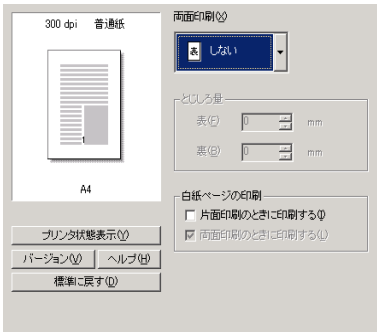
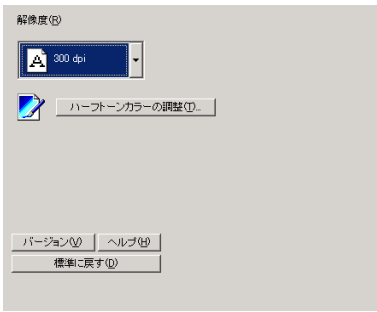
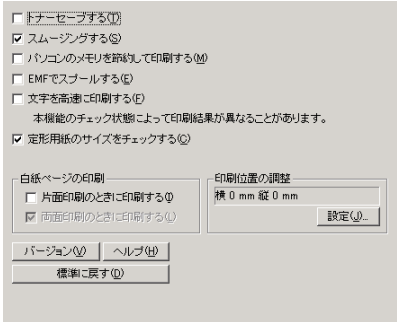
〔レイアウト〕(*2)(*3)

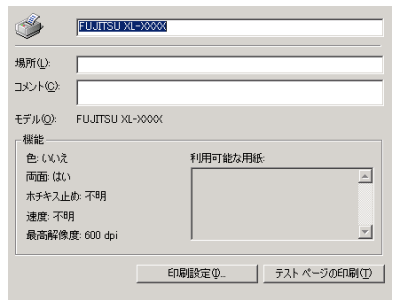
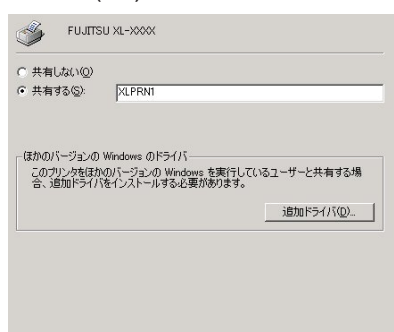
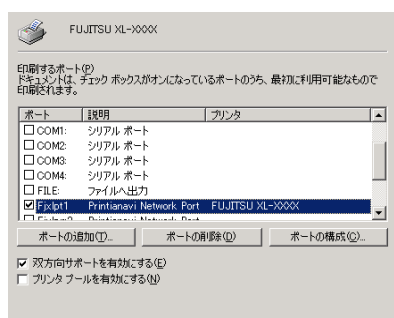
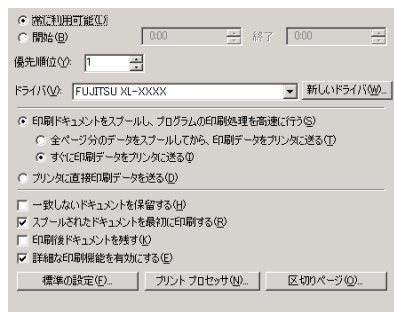


1 枚の用紙に複数ページを配置する N-up 印刷に関する設定を行います。

「1 枚の用紙に複数ページを配置して印刷する (N-up 印刷)」(126 ページ) 参照

- *1 : ダイアログをアプリケーションから開いたときのみ表示されます。
- *2 : 〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。
- *3 : 〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

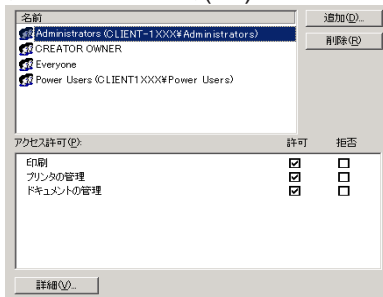
画 面	説 明	備 考
<p>〔両面印刷〕(*2)(*3)</p> 	<p>両面印刷に関する設定を行います。</p> <p>このダイアログは、XL-6100/6700 のみ表示されます。</p>	<p>「両面印刷」(133 ページ) 参照</p>
<p>〔グラフィックス〕(*3)</p> 	<p>解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。</p>	<p>「きれいに印刷する」(142 ページ) 参照</p> <p>「高速に印刷する」(146 ページ) 参照</p>
<p>〔印刷オプション〕(*3)</p> 	<p>以下の印刷に関するオプション設定を行います。</p> <p>1) トナーセーブ、白紙ページの扱い、印刷位置の調整、スプールに関する設定</p> <p>2) スムージング</p> <p>3) 文字データの高速印刷</p>	<p>1) 「オプション機能を設定する」(148 ページ) 参照</p> <p>2) 「きれいに印刷する」(142 ページ) 参照</p> <p>3) 「高速に印刷する」(146 ページ) 参照</p>
<p>*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。</p> <p>*3 :〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。</p>		

画 面	説 明	備 考
〔全般〕(*4) プリンタのプロパティ		
	プリンタに関するコメントの入力やテストページ印刷を行います。	詳細については、Windows のマニュアル・ヘルプ等を参照してください。
〔共有〕(*4)		
	プリンタの共有に関する設定や追加ドライバのインストールを行います。	「プリンタを共有する」(47 ページ) 参照 「追加ドライバとネットワークインストール」(54 ページ) 参照
〔ポート〕(*4)		
	印刷先のポートに関する設定を行います。	「印刷先ポートの追加と変更」(48 ページ) 参照 「Printianavi を有効にする」(151 ページ) 参照
〔詳細設定〕(*4)		
	プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。	通常お使いになる際はこの設定の変更は不要です。 また、本プリンタでは「一致しないドキュメントを保留する」設定は無効、Windows 2000 の区切りページ印刷はサポートしていません。

*4 : 「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

画面	説明	備考
----	----	----

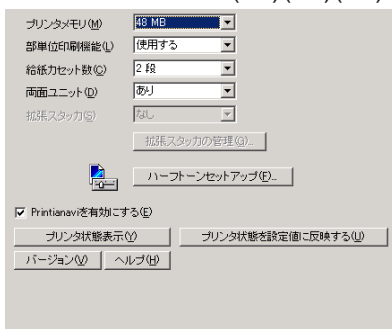
〔セキュリティ〕(*4)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

通常お使いになる際はこの設定の変更は必要ありません。
詳細については、Windows 2000 のマニュアル・ヘルプなどを参照してください。

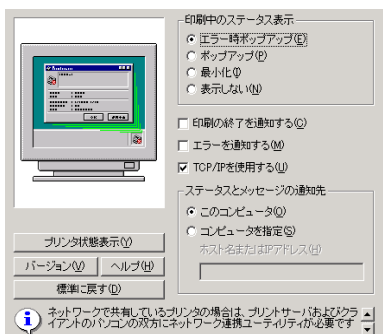
〔装置オプション〕(*2)(*3)(*4)



オプションの装着状態や、ハーフトーンに関する設定、Printianavi を有効にするかどうかの設定を行います。

「プリンタの状態を設定値に反映する」(159 ページ) 参照
「オプションの装着状態を設定する」(160 ページ) 参照
「高速に印刷する」(146 ページ) 参照
「きれいに印刷する」(142 ページ) 参照
「Printianavi を有効にする」(151 ページ) 参照
「拡張スタッカを使った印刷」(136 ページ) 参照

〔Printianavi〕(*2)(*3)(*4)



エラーメッセージの表示方法や、印刷完了時のメッセージ通知などの Printianavi に関する設定を行います。

「メッセージの表示方法を変更する」(153 ページ) 参照

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。

*3 :〔バージョン〕でプリントドライバのバージョン情報(「プリントドライバのバージョンを確認する」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

*4 :「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0 でのプリンタドライバの設定は、次の3つのプロパティで行います。

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

・一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。

また、サーバ共有のプリンタのすべての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



次のダイアログの表示を切り換えます。

- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

〔スタート〕からの設定画面（ドキュメントの既定値）



次のダイアログの表示を切り換えます。

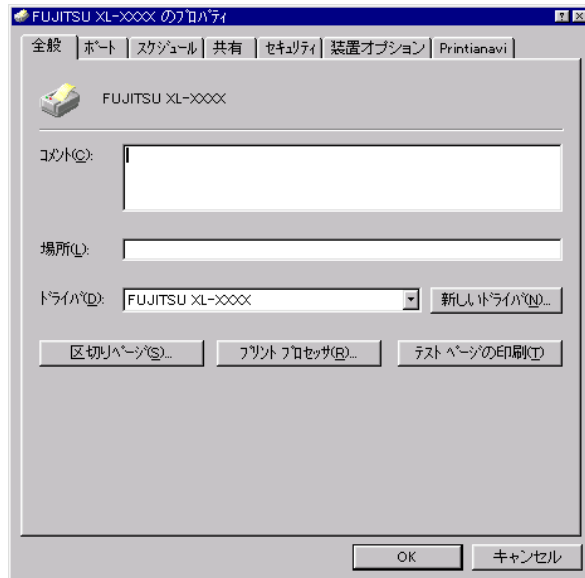
- ・〔用紙〕
- ・〔レイアウト〕
- ・〔両面印刷〕
- ・〔グラフィックス〕
- ・〔印刷オプション〕

用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔ドキュメントの既定値〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

■ プリンタのプロパティ



次のダイアログの表示を切り換えます。

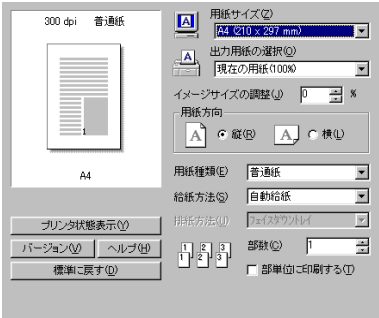
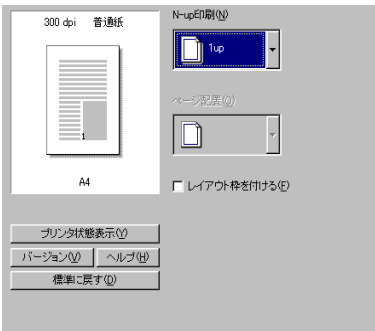
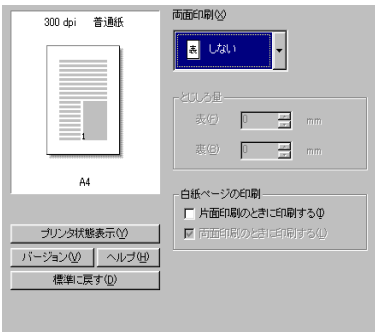
- ・ [全般]
- ・ [ポート]
- ・ [スケジュール]
- ・ [共有]
- ・ [セキュリティ]
- ・ [装置オプション]
- ・ [Printianavi]

プリンタドライバやポートの選択、Printianavi 機能の設定が行えます。

▶ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
[標準に戻す] のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

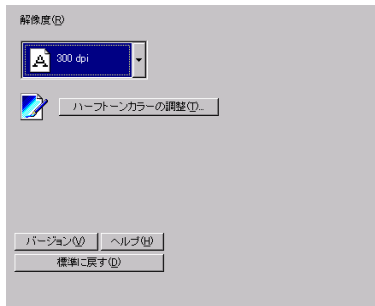
ダイアログ一覧(Windows NT4.0)

画面	説明	備考
<p>〔用紙〕(*1)(*2)(*3)</p> 	<p>用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙 / 排紙、部数印刷に関する設定を行います。</p>	<p>「用紙サイズと向きを指定する」(117 ページ) 参照</p> <p>「給紙 / 排紙方法を指定する」(119 ページ) 参照</p> <p>「複数部数 / 部単位印刷」(129 ページ) 参照</p>
<p>〔レイアウト〕(*1)(*2)(*3)</p> 	<p>1 枚の用紙に複数ページを配置する N-up 印刷に関する設定を行います。</p>	<p>「1 枚の用紙に複数ページを配置して印刷する (N-up 印刷)」(126 ページ) 参照</p>
<p>〔両面印刷〕(*1)(*2)(*3)</p> 	<p>両面印刷に関する設定を行います。</p> <p>このダイアログは、XL-6100/6700 のみ表示されます。</p>	<p>「両面印刷」(133 ページ) 参照</p>

- *1 : ダイアログをアプリケーションから開いたとき、または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
- *2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「[プリンタの状態を表示する](#)」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。
- *3 :〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「[プリンタドライバのバージョンを確認する](#)」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

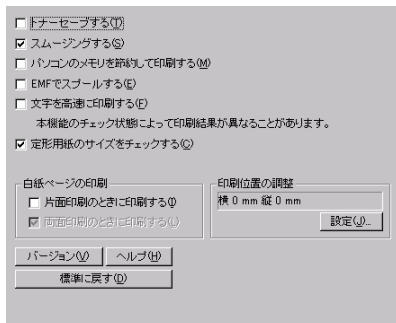
画 面	説 明	備 考
-----	-----	-----

〔グラフィックス〕(*1)(*3)



解像度やハーフトーンカラーの調整などを設定します。
「きれいに印刷する」(142 ページ) 参照
「高速に印刷する」(146 ページ) 参照

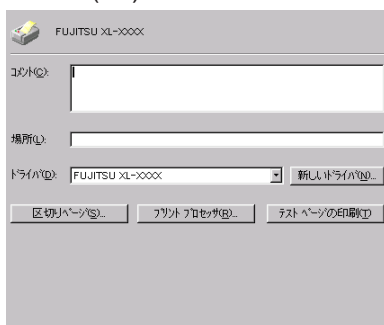
〔印刷オプション〕(*1)(*3)



以下の印刷に関するオプション設定を行います。

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1) トナーセーブ、白紙ページの扱い、印刷位置の調整、スプールに関する設定 | 1) 「オプション機能を設定する」(160 ページ) 参照 |
| 2) スムージング | 2) 「きれいに印刷する」(142 ページ) 参照 |
| 3) 文字データの高速印刷 | 3) 「高速に印刷する」(146 ページ) 参照 |

〔全般〕(*4)



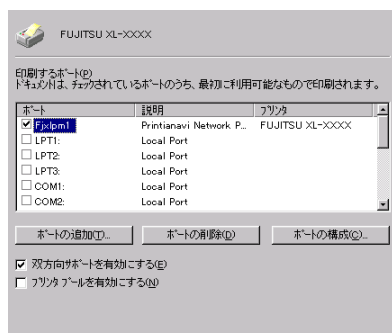
プリンタに関するコメントの入力やテストページ印刷を行います。

本プリンタでは Windows NT4.0 の区切りページ印刷はサポートしていません。

- *1 : ダイアログをアプリケーションから開いたとき、または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
- *2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「プリンタの状態を表示する」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。
- *3 :〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「プリンタドライバのバージョンを確認する」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。
- *4 :「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

画 面	説 明	備 考
-----	-----	-----

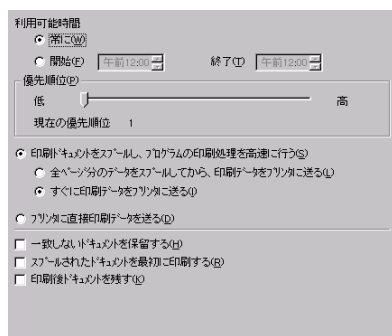
〔ポート〕(*4)



印刷先のポートに関する設定を行います。

「印刷先ポートの追加と変更」(66 ページ) 参照
「Printianavi を有効にする」(151 ページ) 参照

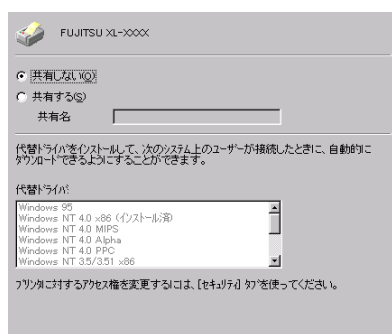
〔スケジュール〕(*4)



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

通常お使いになる際はこの設定の変更は不要です。
また、本プリンタでは「一致しないドキュメントを保留する」設定は無効です。

〔共有〕(*4)



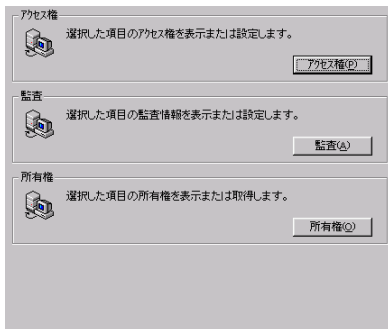
プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。

「プリンタを共有する」(65 ページ) 参照
「代替ドライバとネットワークインストール」(70 ページ) 参照

*4 : 「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

画 面	説 明	備 考
-----	-----	-----

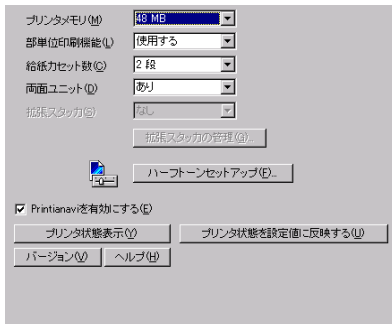
〔セキュリティ〕(*4)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

通常お使いになる際はこの設定の変更は必要ありません。
詳細については、Windows NT4.0 のマニュアル・ヘルプなどを参照してください。

〔装置オプション〕(*2)(*3)(*4)



オプションの装着状態や、ハーフトーンに関する設定、Printianavi を有効にするかどうかの設定を行います。

「[プリンタの状態を設定値に反映する](#)」
(159 ページ) 参照
「[オプションの装着状態を設定する](#)」
(160 ページ) 参照
「[高速に印刷する](#)」
(146 ページ) 参照
「[きれいに印刷する](#)」
(142 ページ) 参照
「[Printianavi を有効にする](#)」(151 ページ) 参照
「[拡張スタッカを使った印刷](#)」(136 ページ) 参照

〔Printianavi〕(*2)(*3)(*4)



エラーメッセージの表示方法や、印刷完了時のメッセージ通知などの Printianavi に関する設定を行います。

「[メッセージの表示方法を変更する](#)」(153 ページ) 参照

*2 :〔プリンタ状態表示〕でプリンタの状態(「[プリンタの状態を表示する](#)」(157 ページ) 参照)を表示させることができます。

*3 :〔バージョン〕でプリンタドライバのバージョン情報(「[プリンタドライバのバージョンを確認する](#)」(162 ページ) 参照)を表示させることができます。

*4 :「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

Windows 3.1 の設定画面

Windows 3.1 での本プリントドライバの設定画面は、次のとおりです。

▶ 設定画面の表示方法と設定の変更

- 1 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックするか、「設定」メニューの「プリンタ」を選択する
「プリンタの設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「プリンタの設定」ダイアログボックスで、「組み込まれているプリンタ」から、本プリンタをクリックし、「設定」をクリックする

「FUJITSU XL-XXXX」ダイアログボックスが表示されます。

「オプション」をクリックすると、「オプション」ダイアログが表示されます。

「オプション」ダイアログの「印刷部数設定」「両面印刷設定」「排紙方法設定」をクリックすると、それぞれの設定ダイアログが表示されます。（「両面印刷設定」はXL-6100/6700のみ、「排紙方法設定」はXL-6700のみ）

「FUJITSU XL-XXXX」ダイアログ

「オプション」ダイアログ

「印刷部数設定」ダイアログ

「両面印刷設定」ダイアログ

「排紙方法設定」ダイアログ

各ダイアログで、「OK」をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。

「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。

ダイアログ一覧 (Windows 3.1)

画面	説明	備考
<p>〔FUJITSU XL-XXXX〕</p>	<p>以下の印刷に関する設定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 用紙サイズ、印刷方向 2) 給紙方法 3) 解像度 4) 両面印刷の設定 (XL-6100/6700 のみ) 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「用紙サイズと向きを指定する」(117 ページ) 参照 2) 「給紙 / 排紙方法を指定する」 (119 ページ) 参照 3) 「きれいに印刷する」 (142 ページ) 参照 「高速に印刷する」 (146 ページ) 参照 4) 「両面印刷」 (133 ページ) 参照
<p>〔オプション〕</p>	<p>以下の印刷に関する設定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) デザリング、スムージング 2) 不定形用紙のサイズ 3) 縮小印刷 4) 用紙種類 5) トナーセーブ 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「きれいに印刷する」 (142 ページ) 参照 2) 「用紙サイズと向きを指定する」(117 ページ) 参照 3) 「縮小印刷」 (125 ページ) 参照 4) 「給紙 / 排紙方法を指定する」 (119 ページ) 参照 5) 「オプション機能を設定する」 (148 ページ) 参照
<p>〔印刷部数設定〕</p>	<p>印刷部数や部単位印刷の設定を行います。 (部単位印刷は XL-6100/6700 のみ)</p>	<p>「複数部数 / 部単位印刷」 (129 ページ) 参照</p>

画 面	説 明	備 考
-----	-----	-----

〔両面印刷設定〕

両面印刷に関する設定を行います。
このダイアログは、XL-6100/6700 のみ表示されます。

「[両面印刷](#)」
(134 ページ) 参照

〔排紙方法設定〕

排紙方法の設定を行います。
このダイアログは、XL-6700 のみ表示されます。

「[給紙 / 排紙方法を指定する](#)」
(119 ページ) 参照
「[拡張スタッカを使った印刷](#)」
(136 ページ) 参照

プリンタドライバの機能と設定の概要

ここでは、プリンタドライバの機能や設定についての概要を説明します。

設定の詳細については、各参照ページをお読みください。

▼ 印刷するときの設定

ここでは、実際に印刷を行うときの設定および機能の概要を、印刷の流れに沿って説明します。

1 データ（文書）の用紙サイズ、向きを指定する

アプリケーションで作成したデータ（文書）をそのまま印刷したときに、どのサイズの用紙に収まるようにするかを指定します。

（「[用紙サイズと向きを指定する](#)」（117 ページ）参照）

2 出力用紙、給紙／排紙方法を指定する

どの用紙（サイズ・種類）をどの給紙口から、どの排紙トレイに出力するかを指定します。

（「[給紙／排紙方法を指定する](#)」（119 ページ）参照）



アプリケーション側でこれらの設定が行える場合は、アプリケーション側の設定値が優先されます。このとき、プリンタドライバでの設定は不要です。

3 出力方法を指定する

どのように印刷するかを必要に応じて指定します。

■ 便利な印刷機能

アプリケーションの機能を使わずに、次の印刷を行うことができます。

機 能	概 要	参照先
拡大 / 縮小印刷	データを拡大または縮小して印刷します。(Windows 3.1 は縮小のみ) 例 : B4 サイズに収まるように作成した文書を、A4 サイズの用紙に収まるように縮小して印刷したいときなど	121 ページ
N-up 印刷	1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷します。(Windows 98/95/2000/NT4.0 のみ) 例 : 10 ページの文書を、1 枚の用紙に 2 ページ分ずつ、計 5 枚に印刷したいときなど	126 ページ
複数部数 / 部単位印刷	1 つの文書を 2 部以上印刷します。また、それらを部単位ごとに印刷することもできます。(XL-6100/6700 のみ。ただし、Printianavi ホスト連携による部単位印刷は XL-5720/5320 でも可能)	129 ページ
両面印刷	両面印刷を行います。(XL-6100/6700 のみ)	133 ページ
拡張スタッカを使った印刷	拡張スタッカを用途によって使い分けます。(XL-6700 のみ) 1) メールボックスとして使う ユーザごとに別々の拡張トレイを割り当てます。 2) 大容量排紙スタッカとして使う 指定した範囲の拡張トレイを 1 つの出力先として扱い、最大約 1000 枚の連続出力が行えます。 3) マルチソータとして使う 部単位印刷時に指定した範囲の拡張トレイに 1 部ずつ出力します。	136 ページ



アプリケーション側でこれらの設定が行える場合は、アプリケーション側の設定値が優先されたり、組み合わせられることがあります。

■ 印刷の調整に関する設定

印刷に関する細かい調整や設定を、行うことができます。

項 目	内 容	参照先
きれいに印刷する	画質を優先して印刷を行いたいときや、印刷データにあわせた画質の調整を行いたいときの設定について説明します。	142 ページ
高速に印刷する	印刷速度を優先して印刷を行いたいときについて説明します。	146 ページ
オプション機能を設定する	トナーセーブ印刷、文書中の白紙ページを印刷（出力）しないなど、オプション機能について説明します。	148 ページ

▼ より便利にお使いいただくための設定

ここでは、より便利にお使いいただくための機能や設定の概要について説明します。

■ Printianavi の設定（Windows 98/95/2000/NT4.0）

Printianaviによるメッセージの表示方法の設定を変更したり、プリンタの状態を表示したりすることができます。

項 目	内 容	参照先
Printianavi を有効にする	Printianavi をお使いになるために必要な設定について説明します。	151 ページ
メッセージの表示方法を変更する	Printianavi 機能により表示されるメッセージの表示方法を変更したいときや表示の有無の設定、表示画面について説明します。	153 ページ
プリンタの状態を表示する	プリンタの状態を確認するときの設定と操作、表示画面について説明します。	157 ページ
プリンタの状態を設定値に反映する	プリンタに装着されたオプションの情報をプリンタドライバに設定します。 (Printianavi による自動設定)	159 ページ

■ プリントドライバに関する設定

プリンタドライバのバージョン表示や、プリンタドライバを正しく使うための設定について説明します。

項 目	内 容	参照先
オプションの装着状態を設定する	プリンタに装着されたオプションの情報をプリンタドライバに設定します。 (手動設定、Windows 98/95/2000/NT4.0 のみ)	160 ページ
プリンタドライバのバージョンを確認する	プリンタドライバのバージョンを表示する方法について説明します。	162 ページ

注意事項

ここでは、プリントドライバの設定を行う際の注意事項について説明します。

用紙と給紙口の機能の組み合わせについて


用紙や給紙口の指定によっては、次の設定や機能との組み合わせが行えませんのでご注意ください。

▶ XL-6100/5720/5320 での組み合わせ

はがき、不定形用紙、厚紙、OHP フィルムに印刷するときは、必ず用紙を給紙トレイにセットしてください。

- ・ Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき
設定によって限定される組み合わせは、次のとおりです。
(用紙サイズ 用紙種類 給紙方法 機能の順に優先されます。)

用紙サイズ	A3, A4, A5, B4, B5, Legal, Letter		はがき	ユーザ定義サイズ
用紙種類	普通紙	厚紙 OHPフィルム	厚紙 限定	普通紙 厚紙 OHPフィルム
給紙方法	手差し 給紙カセット × 自動給紙	手差し限定		
出力用紙の 選択	有効			「現在の用紙(100%)」 限定
N-up印刷	有効			1up限定
両面印刷	有効	なし限定		

- ・ 「××限定」は、設定項目「××」でグレイアウトされて他の項目が選択できなくなることを示します。また、「給紙カセット×」の「×」は給紙カセットの番号を示します。
- ・  は設定が限定されることを示します。

・Windows 3.1 のとき

設定によって限定される組み合わせは、次のとおりです。

(給紙方法 用紙サイズ 用紙種類 機能の順に優先されます。)

給紙方法	給紙カセット × 自動給紙	手差し			
用紙サイズ	A3, A4, A5 B4, B5, Legal, Letter 限定	A3, A4, A5 B4, B5, Legal, Letter	はがき	User Defined Size	
用紙種類	普通紙限定	普通紙	厚紙 OHPフィルム	厚紙 限定	普通紙 厚紙 OHPフィルム
両面印刷	有効	なし限定			

・「××限定」は、設定項目が「××」で固定されて他の項目の選択ができなくなることを示します。また、「給紙カセット×」の「×」は給紙カセットの番号を示します。

・は設定が限定されることを示します。

▶ XL-6700 での組み合わせ

以下の用紙は必ず給紙可能な給紙口にセットしてください。

- ・給紙トレイからのみ給紙可能な用紙
はがき、Legal、不定形用紙、厚紙、OHP フィルム
- ・給紙可能なカセットの制限がある用紙サイズ
A5 サイズ 給紙トレイまたは給紙カセット 1 のみ給紙可能
A3/B4 サイズ 給紙トレイまたは給紙カセット 1 ~ 3 のみ給紙可能

- ・Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき
設定によって限定される組み合わせは、次のとおりです。
(用紙サイズ 用紙種類 給紙方法 機能 / 排紙方法の順に優先されます。)

用紙サイズ + 用紙種類	A3,B4	A4,B5, Letter	A5	Legal	A3,A4, A5, B4,B5, Legal, Letter	はがき	ユーザ 定義 サイズ
	普通紙				厚紙 OHPフィルム	厚紙 限定	普通紙 厚紙 OHPフィルム
給紙方法	手差し 給紙カセット1~3 自動給紙	手差し 給紙カセット x 自動給紙	手差し 給紙カセット 1 自動給紙	手差し限定			
出力用紙の 選択	有効						「現在の用紙 (100%)」限定
N-up印刷	有効						1up限定
両面印刷	有効		なし限定	有効	なし限定		
排紙方法	拡張トレイ フェイスアップトレイ				フェイスアップトレイ限定		


- ・「XX 限定」は、設定項目「XX」でグレーアウトされて他の項目が選択できなくなること示します。また、「給紙カセット X」の「X」は給紙カセットの番号を示します。
- ・☐ は設定が限定されることを示します。

・Windows 3.1 のとき

設定によって限定される組み合わせは、次のとおりです。

(給紙方法 用紙サイズ 用紙種類 機能 / 排紙方法の順に優先されます。)

給紙方法	給紙セット 1 自動給紙	給紙セット 2 給紙セット 3	給紙セット 4 給紙セット 5	手差し				
用紙 サイズ	A3,A4,A5, B4,B5, Letter 限定	A3,A4, B4,B5, Letter 限定	A4, B5, Letter 限定	A3,A4, B4,B5, Legal, Letter	A5	A3,A4,A5, B4,B5, Legal, Letter	はがき	User Defined Size
用紙種類	普通紙限定			普通紙		厚紙 OHPフィルム	厚紙 限定	普通紙 厚紙 OHPフィルム
両面印刷	有効				なし限定			
排紙方法	拡張トレイ フェイスダウントレイ					フェイスダウントレイ限定		

- ・「X X 限定」は、設定項目が「X X」で固定されて他の項目の選択ができなくなることを示します。また、「給紙カセットX」の「X」は給紙カセットの番号を示します。
- ・  は設定が限定されることを示します。

印刷するときの基本的な設定

ここでは、印刷を行うときに必要な基本的な設定について説明します。



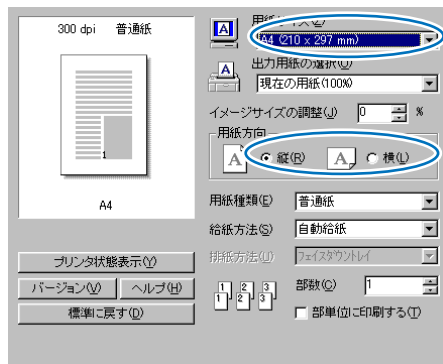
アプリケーション側でこれらの設定が行える場合は、アプリケーション側の設定値が優先されます。

用紙サイズと向きを指定する

アプリケーションで作成したデータ（文書）をそのまま印刷したときに、どのサイズの用紙に収まるようにするかを次の画面で指定します。

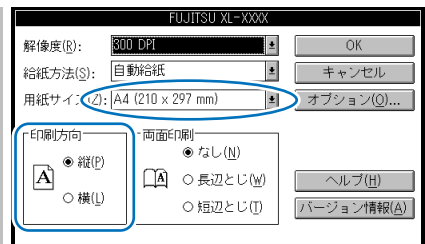
Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。

印刷可能な用紙サイズは、次のとおりです。

定型サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Legal、Letter、はがき

不定形サイズ：ユーザ定義サイズ（幅：100～297mm 長さ：148～420mm）

（Windows 3.1 の場合は「User Defined Size」）

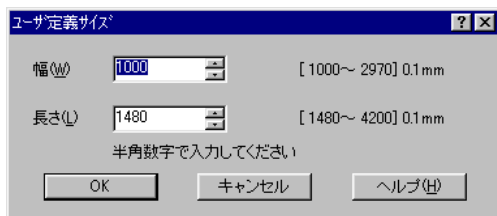


お願い

- ・はがきや不定形サイズの用紙は、給紙トレイ（「手差し」）にセットしてください。
- ・Windows 3.1 ではがきや不定形サイズ（「User Defined Size」）の用紙を指定するときは、先に給紙方法で「手差し」を選択してください。「手差し」以外の給紙方法では、用紙サイズの「はがき」「User Defined Size」が選択できません。

■ 不定形サイズの用紙に印刷するとき

Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

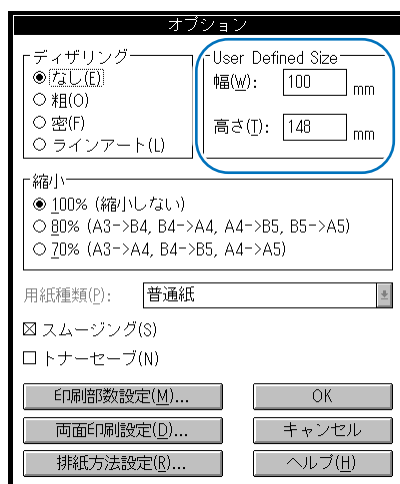


「ユーザ定義サイズ」を選択すると、用紙サイズを入力するダイアログボックスが表示されます。不定形用紙のサイズを入力して、〔OK〕をクリックしてください。



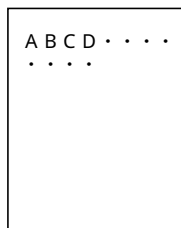
設定したサイズが定型用紙のサイズと一致するときは、定型サイズの用紙として扱います。

Windows 3.1 のとき

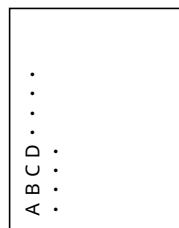


給紙方法で「手差し」を選択してから、用紙サイズで「User Defined Size」を選択します。印刷する不定形用紙のサイズは、〔オプション〕をクリックして表示されるダイアログの〔User Defined Size〕で入力し、〔OK〕をクリックしてください。（幅：100～297mm、高さ：148～420mmの範囲で設定できます。）

▶ **用紙方向**(Windows 98/95/2000/NT4.0)/**印刷方向**(Windows 3.1)
用紙の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。



用紙方向 縦
(ポートレイト)



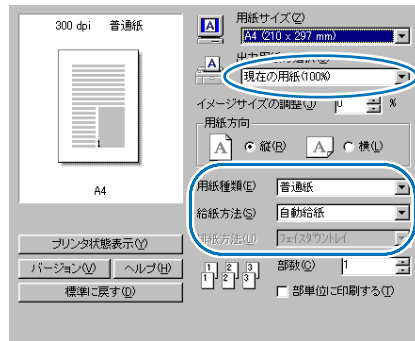
用紙方向 横
(ランドスケープ)

給紙 / 排紙方法を指定する

どの用紙（サイズ・種類）をどの給紙口から、どの排紙トレイに出力するかを次の画面で指定します。

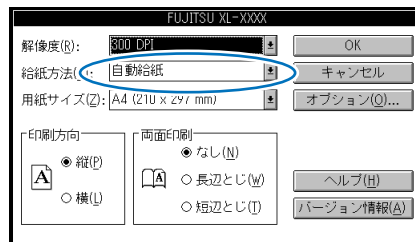
Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

〔用紙〕ダイアログ

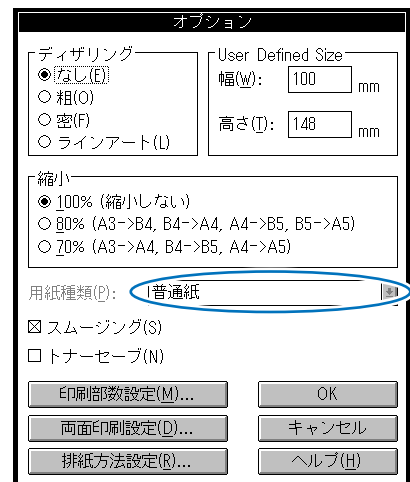


Windows 3.1 のとき

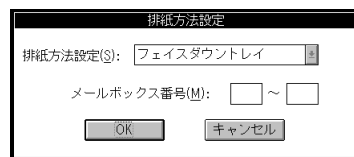
〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



〔オプション〕ダイアログ



〔排紙方法〕ダイアログ



▶ 出力用紙の選択（Windows 98/95/2000/NT4.0）

実際に印刷される用紙サイズを指定します。Windows 98/95/2000/NT4.0 では、この設定によって拡大 / 縮小印刷が可能になります。（「[拡大 / 縮小印刷](#)」（121 ページ）参照）

通常の印刷の場合（「用紙サイズ」で指定したサイズの用紙に印刷する）は、「現在の用紙（100%）」を選択します。

▶ 用紙種類

用紙の種類を指定します。

普通紙 厚みが、60 ~ 90g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。

厚紙（はがきを含む）... 厚みが、90 ~ 135g/ m²の範囲内の用紙をお使いください。

OHP フィルム ページプリンタ用の OHP フィルムをお使いください。

▶ お問い合わせ

- ・厚紙やOHPフィルムの用紙は、給紙トレイ（「手差し」）にセットしてください。
- ・用紙サイズが「はがき」のときは、用紙種類は厚紙に限定されます。普通紙やOHPフィルムを指定するときは、はがき以外の用紙サイズを選択してください。
- ・Windows 3.1で厚紙やOHPフィルムを指定するときは、先に給紙方法で「手差し」を選択してください。「手差し」以外の給紙方法では、用紙種類の「厚紙」「OHPフィルム」を選択できません。

▶ 給紙方法

プリンタのどの給紙口から用紙を給紙するかを指定します。

自動給紙 出力するサイズ of 用紙がセットされている給紙口を自動的に選択します。

給紙力セット × 給紙力セット × から給紙します。（×は給紙力セットの番号）

手差し 給紙トレイから給紙します。



ガイド

Windows 98/95/2000/NT4.0 で Printianavi 有効時は、「プリンタ状態表示」をクリックすると、各給紙口にセットされている用紙サイズや残量を確認することができます。（「[プリンタの状態を表示する](#)」（157 ページ）参照）

▶ 排紙方法

印刷した用紙をどこに排紙するかを指定します。



ガイド

排紙トレイが1つ（フェイスダウントレイのみ）のプリンタでは、排紙方法の指定は不要です。

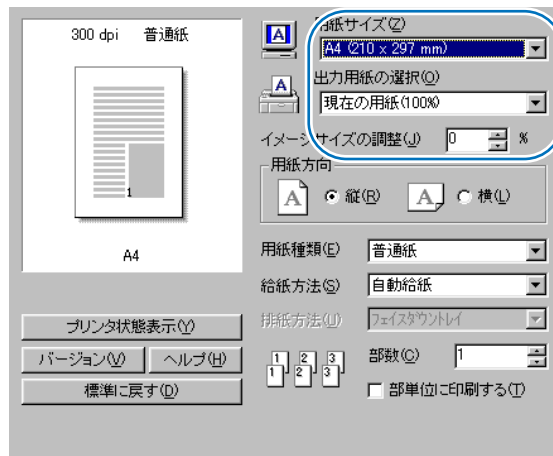
便利な印刷機能

ここでは、本プリントドライバで行える便利な印刷機能の設定について説明します。

▼ 拡大／縮小印刷(Windows 98/95/2000/NT4.0)

アプリケーションで作成したデータ(文書)を拡大または縮小して印刷します。

〔用紙〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

拡大／縮小する前の、用紙サイズを指定します。



アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。

▶ 出力用紙の選択

拡大／縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。

現在の用紙(100%)..... 拡大／縮小印刷は行いません。

固定 用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大／縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを に固定して出力します。

自動 %拡大 拡大率を指定して拡大印刷します。

自動 %縮小 縮小率を指定して縮小印刷します。



出力用紙の設定を行うと、〔用紙〕ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。

例えば、「B4 A4」と表示されているときは、B4 の用紙に収まるように作成した文書を、A4 の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。

プリンタの給紙口に出力用紙で指定したサイズの入っていることを確認してから印刷してください。



拡大 / 縮小率を算出した結果、印刷可能な用紙サイズにならないときは、自動的に印刷可能な用紙サイズの範囲内に設定します。この場合、拡大 / 縮小率も変更されます。

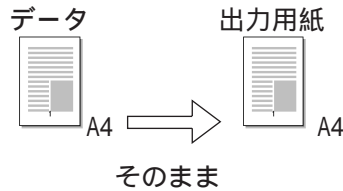
▶ イメージサイズの調整

実際に出力する用紙サイズを変更せずに、- 50 % ~ + 50 % の範囲で印刷イメージだけの拡大 / 縮小率を設定します。

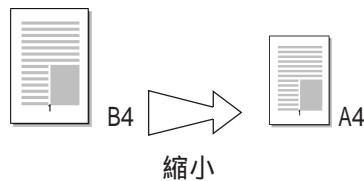
印刷結果が用紙にうまくおさまっていないときの調整用として設定することもできます。

■ 拡大 / 縮小印刷の設定例

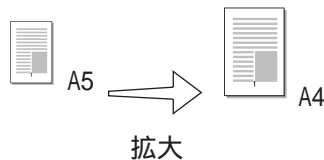
▶ 印刷する用紙サイズを固定する 例：



- ・ A4 サイズに収まるように作成したデータは、A4サイズ
の用紙に収まるように印刷



- ・ B4 サイズに収まるように作成したデータは、縮小してA4
サイズの用紙に収まるように
印刷



- ・ A5 サイズに収まるように作成したデータは、拡大してA4
サイズの用紙に収まるように
印刷

このようなときは、次の設定をします。

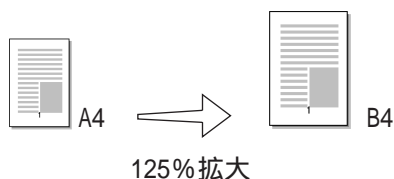
用紙サイズ 拡大 / 縮小前の用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

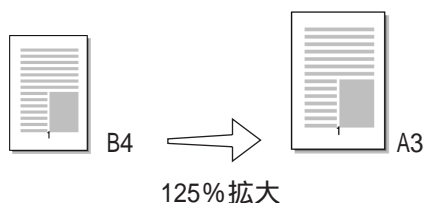
イメージサイズの調整 拡大 / 縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

▶ データを決まった拡大率で印刷する

例：



- ・ A4 サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大して B4 サイズの用紙に印刷



- ・ B4 サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大して A3 サイズの用紙に印刷

このようなときは、次の設定をします。

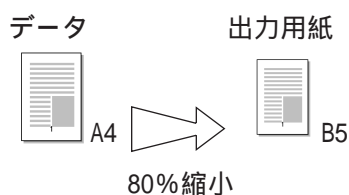
用紙サイズ 拡大前の用紙サイズを選択します。

出力用紙の選択 「自動 125% 拡大」を選択します。

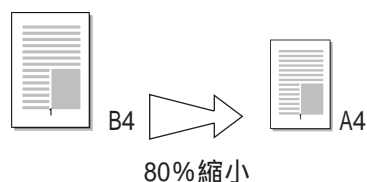
イメージサイズの調整 拡大した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

▶ データを決まった縮小率で印刷する

例：



- ・ A4 サイズに収まるように作成したデータを、80%縮小して B5 サイズの用紙に印刷



- ・ B4 サイズに収まるように作成したデータを、80%縮小して A4 サイズの用紙に印刷

このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ 縮小前の用紙サイズを選択します。

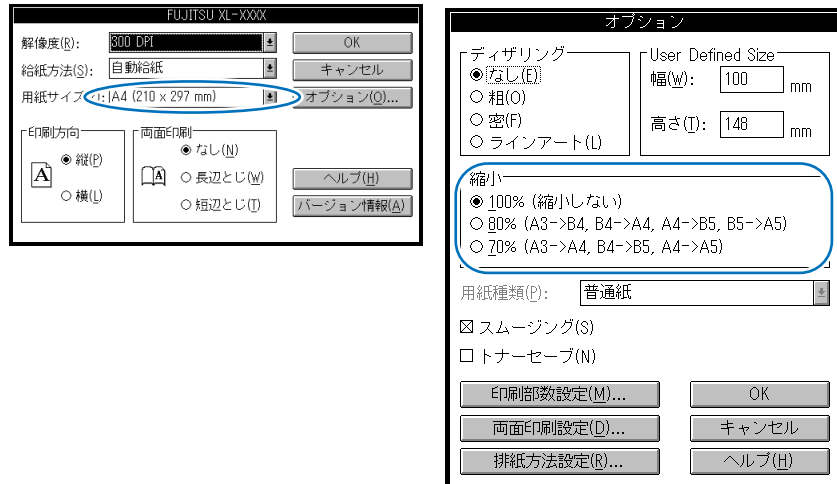
出力用紙の選択 「自動 80% 縮小」を選択します。

イメージサイズの調整 縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

縮小印刷(Windows 3.1)

アプリケーションで作成したデータ（文書）を縮小して印刷します。

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ 〔オプション〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

拡大／縮小する前の、用紙サイズを指定します。



ガイド アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常アプリケーション側の設定値が優先されます。

▶ 縮小

縮小印刷について指定します。

縮小印刷は、次の用紙サイズのときに行われます。

80%縮小 A3、B4、A4 または B5 用紙

(A3 は B4 に、B4 は A4 に、A4 は B5 に、B5 は A5 に縮小)

70%縮小 A3、B4 または A4 用紙

(A3 は A4 に、B4 は B5 に、A4 は A5 に縮小)

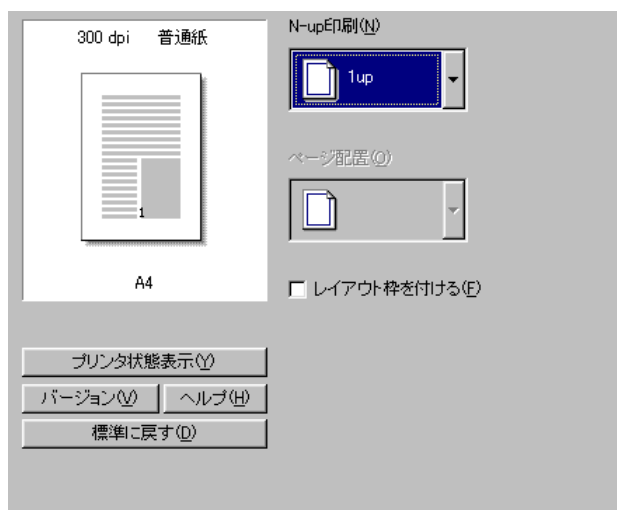
上記以外の用紙（A5、はがき、リーガル、レター、不定形用紙（User Defined Size）、および70%縮小指定時のB5用紙）を指定したときは縮小印刷を行いません。用紙サイズを確認のうえ、印刷してください。

▼ 1 枚の用紙に複数ページを配置して印刷する (N-up 印刷) (Windows 98/95/2000/NT4.0)

1 枚の用紙に複数のページを配置して印刷するには、N up 印刷機能を使います。

Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

〔レイアウト〕ダイアログ



▶ N-up 印刷

N-up 印刷を行うときは、1up ~ 16up の中から 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

▶ ページ配置

N-up 印刷を行うときに、1 枚の用紙上のページの配置のしかたを指定します。

▶ レイアウト枠を付ける

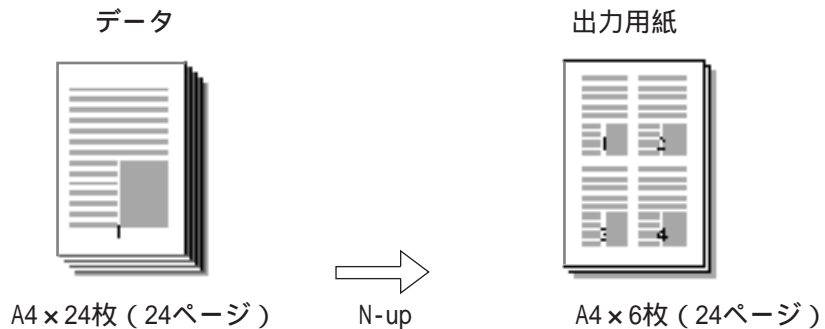
通常の 1 ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。
レイアウト枠を付ける場合は、チェックします。



- ・ ユーザ定義サイズ用の紙には、N-up 印刷できません。
- ・ アプリケーションによっては、「N-up 印刷」や「出力用紙の選択」を使用して印刷結果を拡大 / 縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。このようなときには、「イメージサイズの調整」で調整してください。
- ・ 解像度の違いによってN-up印刷で印刷されるページの位置が異なる（ページ間の余白が異なる）場合があります。
- ・ アプリケーションによっては、独自でページレイアウト機能を持っている場合があります。このようなアプリケーションで印刷するときには、アプリケーションのページレイアウト機能か、プリンタドライバのN-up 機能かのどちらかを使用してください。両方の機能を使用してページレイアウトを行うと、二重にレイアウトされてしまいます。

N-up 印刷の設定例

▶ 作成したデータと出力する用紙のサイズが同じとき 例：



A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるよう縮小し、左上 右上 左下 右下の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

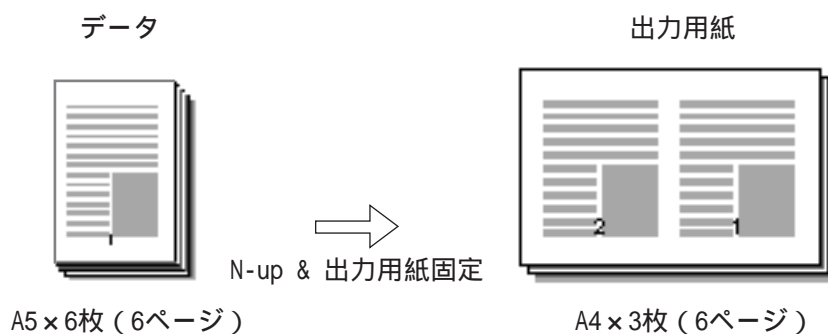
〔レイアウト〕ダイアログ

- N-up 印刷.....「4up」を選択します。
- ページ配置.....「右下」を選択します。
- レイアウト枠を付ける 1 ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

〔用紙〕ダイアログ

- 用紙サイズ.....「A4」を選択します。
- 出力用紙の選択「現在の用紙（100%）」を選択します。
- イメージサイズの調整 印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

▶ 作成したデータと出力する用紙のサイズが違うとき 例：



A5 サイズに収まるように作成した 6 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 2 ページ分ずつ、合計 3 枚に収まるように、右 左の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

〔レイアウト〕ダイアログ

N-up 印刷 「2up」を選択します。

ページ配置 「右 左」を選択します。

レイアウト枠を付ける 1 ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

〔用紙〕ダイアログ

用紙サイズ 「A5」を選択します。

出力用紙の選択 「A4 固定」を選択します。

イメージサイズの調整 印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

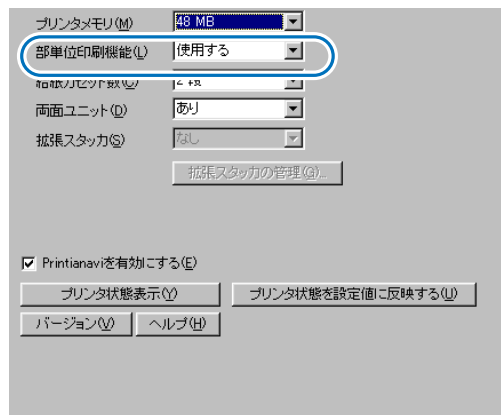
▼ 複数部数 / 部単位印刷

1 回の印刷で同じ文書を 2 部以上印刷したいときは、複数部数印刷を、さらにそれらを部単位に出力させるときは部単位印刷を行います。

■ Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

(画面の例は Windows 98/95 の場合)

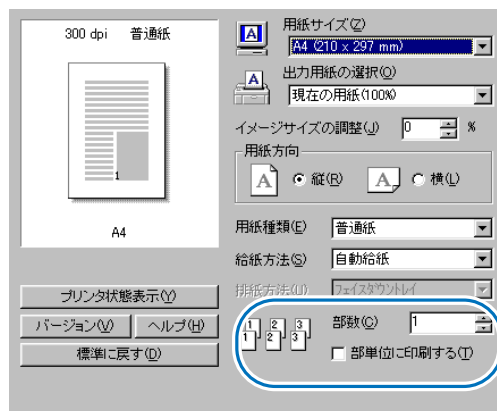
〔装置オプション〕ダイアログ



▶ 部単位印刷機能

部単位印刷をする場合は、「使用する」に設定します。

〔用紙〕ダイアログ



▶ 部数

印刷する部数を、1 ~ 999 部の範囲で指定します。

▶ 部単位に印刷する

2部以上印刷するときに、部単位で出力するかページ単位で出力するかを指定します。

部単位で印刷するときは、チェックします。



ガイド

Windows 98/95/2000/NT4.0での部単位印刷には、次の2種類あります。お使いのプリンタや環境によっては、部単位印刷が行えない場合もありますのでご注意ください。

・プリンタメモリを使用した部単位印刷 (XL-6100/6700)

増設したプリンタRAMモジュール (XL-6100では64MB、XL-6700では32MB以上)のメモリに印刷データを保持し、必要部数分コピーするため高速に部単位印刷が行えます。

・Printianavi ホスト連携による部単位印刷 (XL-5320/5720/6100/6700)

スプールした印刷データをパソコン側で保持し、プリンタに必要部数分繰り返し送信します。

Printianavi が有効で次の1) または2) の条件を満たすことが必要です。

1) OS が Windows 2000/NT4.0

プリンタのプロパティで〔詳細設定〕(Windows NT4.0は〔スケジュール〕) ダイアログの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」が選択されていることが必要です。

2) 1)の共有プリンタに印刷を行うとき

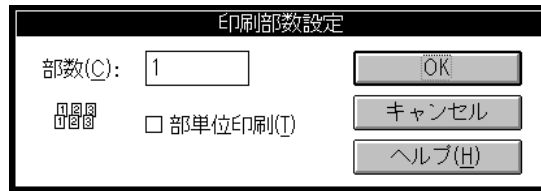
なお、お使いのプリンタで部単位印刷ができるかどうかは、〔装置オプション〕ダイアログで「プリンタ状態を設定値に反映する」をクリックし、取得した状態を反映すると簡単に調べることができます。(Printianavi 有効時)

「部単位印刷機能」に「使用する」と表示されているとき：プリンタドライバの機能による部単位印刷を行うことができます。

「部単位印刷機能」に「使用しない」と表示されているとき：プリンタドライバの機能による部単位印刷は行えません。

■ Windows 3.1 のとき

〔印刷部数設定〕ダイアログ



▶ 部数

印刷する部数を、1 ～ 999 部の範囲で指定します。

▶ 部単位印刷 (XL-6100/6700 のみ)

2 部以上印刷するときに、部単位で出力するかページ単位で出力するかを指定します。

部単位で印刷するときは、チェックします。



部単位印刷を行うには、XL-6100 は 64MB、XL-6700 は 32MB 以上のプリンタ RAM モジュールの増設が必要です。

部単位印刷時の注意事項

▶ 部単位印刷をサポートしているアプリケーションからの印刷

使用するアプリケーションによっては、アプリケーション自身が部単位の印刷を行うため、ドライバの部単位印刷が働かず、期待どおりの印刷結果が得られないことがあります。このような場合には、アプリケーションの印刷設定で部単位印刷が無効になっていることを確認してから、プリンタのプロパティで、ドライバの部単位印刷を有効にしてください。部数指定はアプリケーションの印刷設定画面で再確認してください。

▶ メモリ不足時の動作

XL-6100/6700では、プリンタRAMモジュールの増設によってプリンタ側で部単位印刷用のメモリを確保します。

また、増設するメモリ量が多いほど部単位印刷用のメモリも多く確保できるようになります。

部単位印刷用のメモリがプリンタに十分確保できない状態で部単位印刷を行うと、お使いの環境によっては、部単位印刷が行えなかったり、印刷に時間がかかったりする場合がありますのでご注意ください。

- 1) OSがWindows 2000/NT4.0で、Printianaviが有効()のとき
部単位印刷は行えますが、パソコン側で印刷データを指定部数分送信するため、印刷に時間がかかることがあります。
- 2) Printianaviが有効のWindows 98/95のクライアントから、Printianaviが有効()のWindows 2000/NT4.0のサーバ経由で印刷を行うとき
1)と同様に部単位印刷は行えますが、パソコン側で印刷データを指定部数分送信するため、印刷に時間がかかることがあります。

プリンタのプロパティで〔スケジュール〕ダイアログの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」が選択されていることが必要です。

- 3) 1)、2)以外のとき

プリンタの液晶画面に次のメッセージが表示され、印刷を一時中断します。(Printianaviが有効の場合は、パソコンの画面にも同様のメッセージを表示します)

プリンタ RAM モジュール メモリ不足のメッセージが表示される
の増設なしの場合 ます。

部単位印刷を行う文書の印 メモリオーバーのメッセージが表示
刷データ量が部単位印刷用 されます。
のメモリより多い場合

どちらの場合も、プリンタのオペレータパネルにあるいずれかのスイッチを押すと1部のみ印刷します。

また、プリンタのセットアップモードの環境設定で、「メモリ不足解除」を「スル」に設定している場合は、3秒経過すると自動的に1部のみ印刷します。

両面印刷 (XL-6100/6700 プリンタのみ)

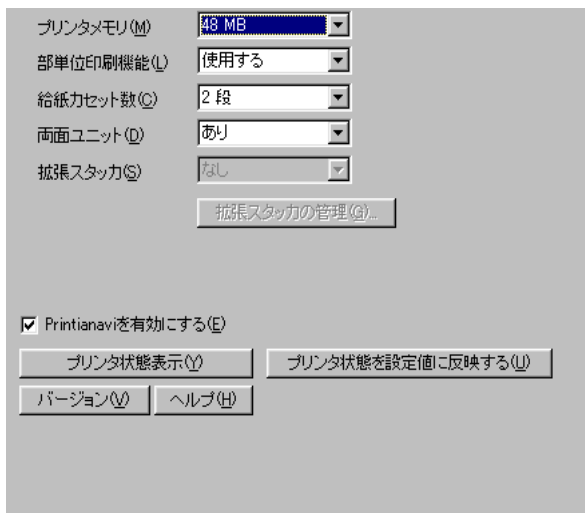
両面印刷を行うには、次の設定を行います。



- ・次の用紙には、両面印刷できません。
はがき、不定形用紙(「ユーザ定義サイズ」(Windows3.1は「User Defined Size」))、厚紙、OHP フィルム、A5 サイズの用紙 (XL- 6700 のみ不可)
- ・XL-6100/6700 で両面印刷を行うには、両面印刷ユニットの装着が必要です。

設定手順

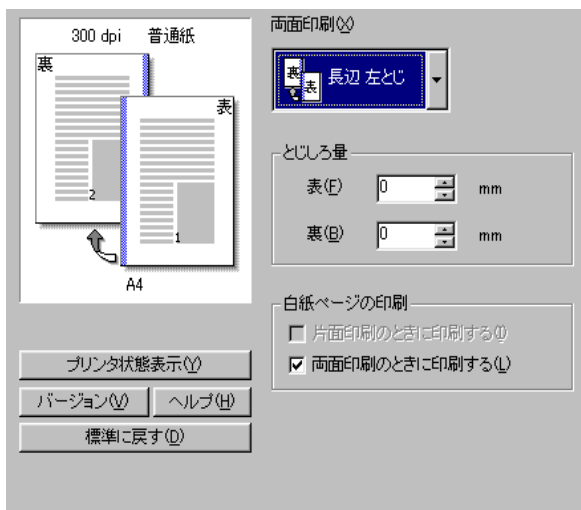
Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき



1 〔装置オプション〕ダイアログで「両面ユニット」を「あり」に設定する

〔両面印刷〕ダイアログの設定が行えるようになります。

画面の例はWindows 98/95 のものです。



2 〔両面印刷〕ダイアログで両面印刷に関する設定を行う

▶ 両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷の場合はとじしろ位置を設定します。

しない 片面印刷をします。

長辺左とじ / 長辺右とじ / 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。

とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは左か右、横のときは上か下を選択します。

短辺上とじ / 短辺下とじ / 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。

とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは上か下、横のときは左か右を選択します。

▶ とじしろ量

両面印刷時のとじしろ量を、0 ~ 30mmの範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

▶ 白紙ページの印刷

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

片面、両面それぞれの場合について設定できます。

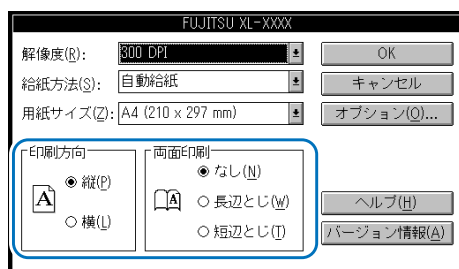


・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。

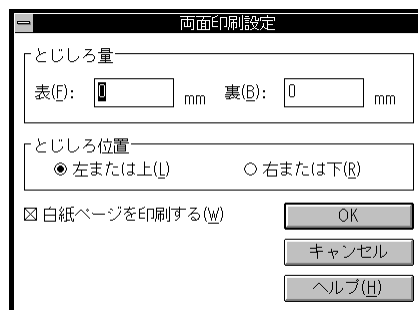
・〔印刷オプション〕ダイアログでも設定できます。

Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



〔両面印刷設定〕ダイアログ



▶ 両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷の場合は用紙の長い辺でとじるか、短い辺でとじるかを設定します。

なし 片面印刷をします。

長辺とじ 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。

短辺とじ 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。

▶ とじしろ量

両面印刷時のとじしろ量を、0 ~ 30mm の範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

▶ とじしろ位置

両面印刷時のとじしろ位置を設定します。

▶ 白紙ページの印刷

両面印刷を行う文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。



ガイド

解像度が 600dpi の場合、XL-6100 では印刷する用紙サイズや方法によってはプリンタ RAM モジュールの増設が必要ですのでご注意ください。

XL-6100	
プリンタ RAM モジュールの増設が必要な場合	A3、B4、リーガル用紙に 600dpi で両面印刷するとき
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処 (Printianavi 有効時)	自動的に片面印刷で続行します。
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処 (Printianavi 無効時)	プリンタの液晶画面に RAM 不足のメッセージが表示されます。 プリンタの何かのスイッチを押すと片面印刷で印刷を続行します。 また、プリンタのセットアップモードの環境設定で、「メモリ不足解除」を「スル」に設定している場合は 3 秒経過すると自動的に片面印刷で印刷を続行します。
再度印刷するときは	解像度の設定を 300dpi に変更するか、A4 サイズの用紙に収まるように縮小設定にして印刷し直してください。

拡張スタッカを使った印刷 (XL-6700 のみ)

ここでは、拡張スタッカを使った印刷と設定方法について説明します。



ガイド

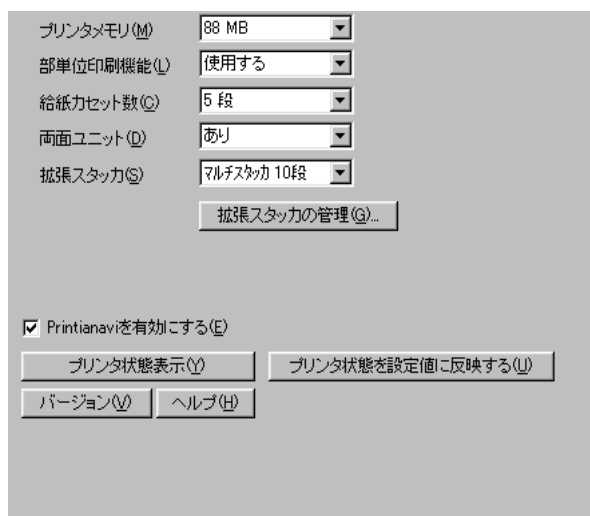
- ・次の用紙は、拡張スタッカに出力できません。(フェイスダウントレイに出力されます。)
はがき、不定形用紙(「ユーザ定義サイズ」(Windows 3.1はUser Defined Size))、厚紙、OHP フィルム
- ・拡張スタッカの装着が必要です。

設定手順

拡張スタッカに出力するには、出力先の拡張トレイをどこ(またはどこからどこまで)にするかの設定が必要です。

拡張トレイの設定は、次の手順で行います。

Windows 98/95/2000/NT4.0 の場合



1 「装置オプション」ダイアログで「拡張スタッカ」を設定する

「マルチスタッカ 10 段」を選択します。

〔拡張スタッカの管理〕が有効になります。

画面の例は Windows 98/95 のものです。

2 「装置オプション」ダイアログで〔拡張スタッカの管理〕をクリックする

〔拡張スタッカ管理〕ダイアログが表示されます。



3 「拡張スタッカ管理」ダイアログで拡張トレイの開始番号と終了番号を指定し、「追加」をクリックする

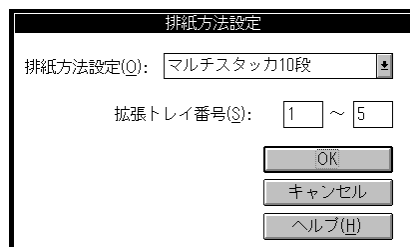
リストに設定内容が追加されます。設定内容は、「用紙」ダイアログの「排紙方法」リストボックスに追加されます。設定は20種類まで登録できます。設定が終わったら、「OK」をクリックします。



4 「用紙」ダイアログで「排紙方法」を選択する

手順3で登録した設定を選択してください。

Windows 3.1 の場合



1 「排紙方法設定」ダイアログで「拡張スタッカ」を設定する

「マルチスタッカ 10 段」を選択します。

〔排紙方法設定〕ダイアログは、プリンタの設定画面〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログから〔オプション〕〔排紙方法設定〕で表示されます。

2 拡張トレイの開始番号と終了番号を指定し、〔OK〕をクリックする



拡張スタッカは拡張トレイの設定と運用方法によってさまざまに使い分けることができます。

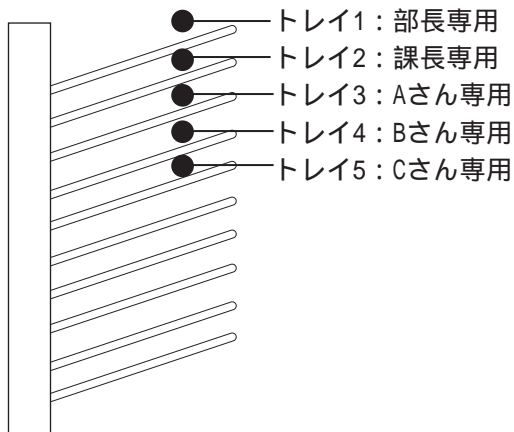
詳細については、次ページの「拡張スタッカのさまざまな使い方」を参照してください。

■ 拡張スタッカのさまざまな使い方

拡張スタッカの使い方は、大きく分けてメールボックス、大容量排紙スタッカ、マルチソータの3通りがあります。

これらの使い方を組み合わせることも可能ですので、用途に合わせて自由に設定してください。

▶ メールボックスとして使う



拡張スタッカ

ユーザやグループごと（最大10）に別々の拡張トレイを割り当てると、メールボックスとして使うことができます。

これにより、他の人やグループの文書を誤って持っていったり、自分が出力した文書を探すことがなくなります。

設定方法：

別々に割り当てられた拡張トレイ番号を、排紙方法として設定します。

例：

上の図のように割り当てる場合は、各自の設定を次のようにします。

	拡張トレイ番号(開始～終了)	排紙方法(注)
部長	1～1	拡張トレイ 1
課長	2～2	拡張トレイ 2
Aさん	3～3	拡張トレイ 3
Bさん	4～4	拡張トレイ 4
Cさん	5～5	拡張トレイ 5

注：Windows 3.1 の場合は、排紙方法を「マルチスタッカ 10 段」に設定してください。

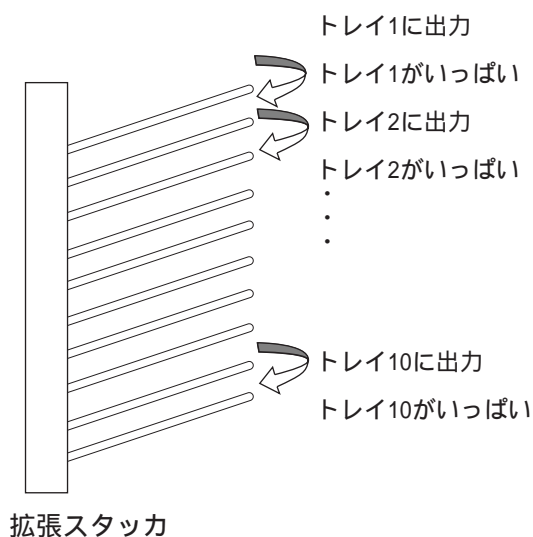
お願い

拡張トレイの開始番号と終了番号の割り当ては、他の人やグループと重複しない（文書が混ざらない）よう、あらかじめプリンタ管理者と相談して行ってください。



排出先のトレイに用紙がいっぱいになったときは、トレイフルのエラーを表示して用紙が取り除かれるまで印刷を一時中断します。他に空いている拡張トレイがあっても出力しません。用紙を取り除くと、印刷を再開します。

▶ 大容量排紙スタッカとして使う



指定した範囲(最大1～10)の拡張トレイを1つの排出先として設定すると、大容量排紙スタッカとして使うことができます。

フェイスダウントレイの連続出力可能枚数約500枚に対し、各拡張トレイ約100枚ずつ、合計最大約1000枚の連続出力が可能となります。

ご使用の用紙の質や、湿度の影響によるカールにより、排紙できる枚数はばらつきます。

設定方法：

大容量排紙スタッカとして使う拡張トレイ番号を、連続した範囲で排紙方法として設定します。

例：

1～10(拡張トレイ1-10)の場合 拡張トレイ1～10に連続で約1000枚まで出力します。

2～8(拡張トレイ2-8)の場合 拡張トレイ2～8に連続で約700枚まで出力します。

お願い

印刷を行う前に、指定範囲の拡張トレイに残されている用紙は取り除いてください。用紙が残ったまま印刷を行うと、その上に別の排紙を行うため文書が混ざってしまいます。

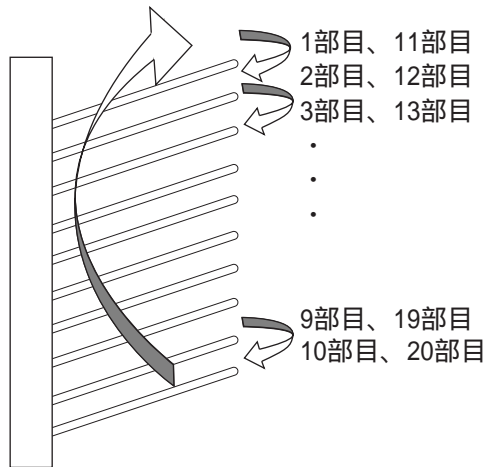
ガイド

印刷中に排出先のトレイが用紙でいっぱいになったときは、指定範囲内の次のトレイに排出先を切り替えます。

切り替え先のトレイがすでにいっぱいのときは、トレイフルのエラーを表示して用紙が取り除かれるまで印刷を一時中断します。用紙を取り除くと、印刷を再開します。

印刷開始時に開始トレイがいっぱいのときは、範囲内で空いているトレイから排紙します。

▶ マルチソータとして使う



拡張スタッカ

指定した範囲（最大1～10）の拡張トレイを、1つの排出先として設定した状態で部単位印刷を行うと、マルチソータとして使うことができます。

このとき、指定した範囲の拡張トレイには1部ずつソート出力します。拡張トレイ数より部数の方が多い場合は、開始トレイからのソート出力を繰り返し行います。

設定方法：

マルチソータとして使う拡張トレイ番号を、連続した範囲で排紙方法として設定した後、部単位印刷を行います。

部単位印刷の設定方法については、「[複数部数 / 部単位印刷](#)」(129ページ)を参照してください。

例：

排紙方法が1～8（拡張トレイ1～8）..... 拡張トレイ1～8に1部ずつで、8部の部単位印刷を行った場合 出力します。

排紙方法が2～8（拡張トレイ2～8）..... 拡張トレイ2～8に1部ずつで、9部の部単位印刷を行った場合 出力後、拡張トレイ2～3にさらに1部ずつ出力します。

お願い

印刷を行う前に、指定範囲の拡張トレイに残されている用紙は取り除いてください。用紙が残ったまま印刷を行うと、その上に別の排紙を行うため文書が混ざってしまいます。

ガイド

印刷開始時の開始トレイがいっぱいだったときや、印刷中の排出先のトレイが用紙でいっぱいになったときは、トレイフルのエラーを表示して用紙が取り除かれるまで印刷を一時中断します。用紙を取り除くと、印刷を再開します。

印刷の調整に関する設定

ここでは、印刷に関する細かい設定やその他の設定について説明します。

きれいに印刷する

文字やグラフィックをきれいに印刷するための設定について説明します。

解像度

グラフィックは解像度を上げると鮮明に印刷できます。
解像度は、次の画面で設定します。

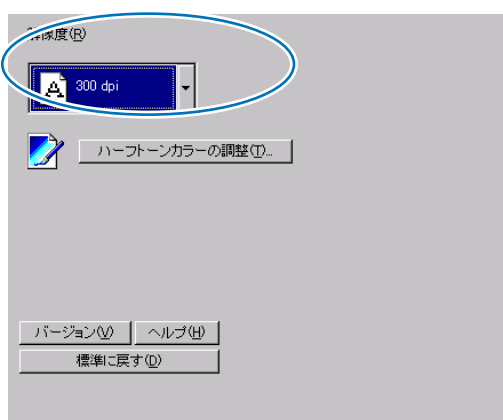
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



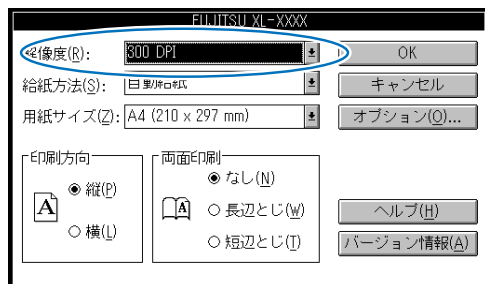
Windows 2000/NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



いずれの画面でも、プリンタの解像度を、1インチあたりのドット数で指定します。

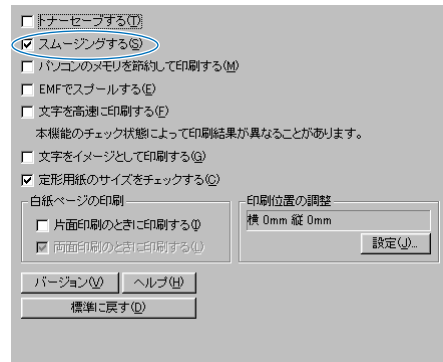
値の大きい方が細かいドットで印刷できますが、印刷に時間がかかることがあります。

■ スムージング

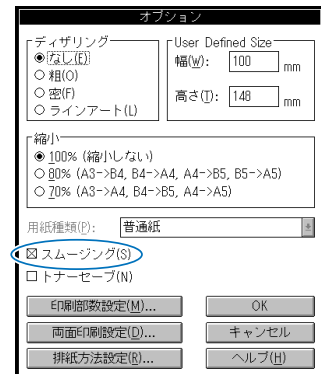
文字や図形のギザギザ(ジャギー)をなめらかに印刷するかどうかを設定できます。

スムージングは、次の画面で設定します。

Windows 98/95/2000/NT4.0のとき
〔印刷オプション〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき
〔オプション〕ダイアログ



(画面の例は Windows 98/95 の場合)

スムージングするときは、チェックします。

■ ディザ (ディザリング) 明るさ、ハーフトーンカラー

以下の設定で、必要に応じてカラーのデータをモノクロで印刷したときの階調や明るさの調整を行うことができます。(通常は変更する必要はありません。)

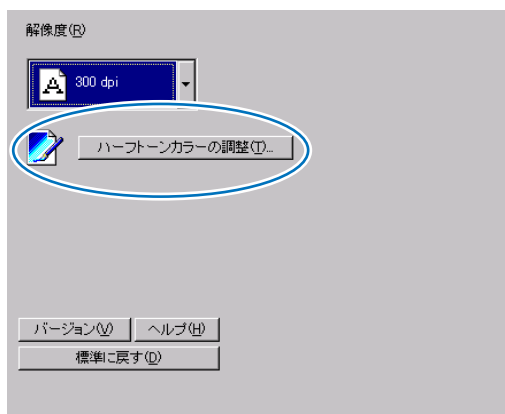
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



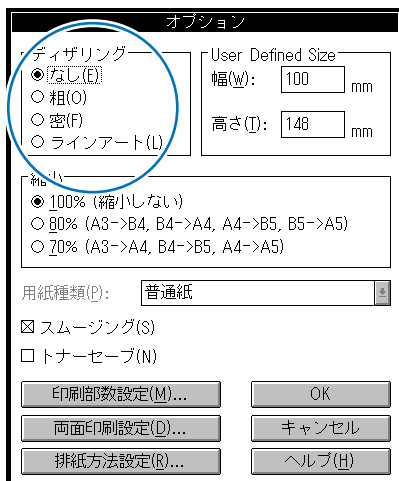
Windows 2000/NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔オプション〕ダイアログ



▶ **写真をきれいに印刷する (Windows 98/95)**

写真に適したディザパターンで印刷します。

写真をよりきれいに印刷したいときは、チェックします。



- ・「写真をきれいに印刷する」は、解像度が 600dpi の場合のみ設定できます。
- ・「写真をきれいに印刷する」をチェックすると、〔印刷オプション〕ダイアログのトナーセーブ、スムージングの設定は無効となります。

▶ **ディザ (ディザリング) (Windows 98/95/3.1)**

グラフィックスを印刷するときに、カラーの部分をモノクロのディザパターンに置き換えて階調をつけます。

▶ **明るさ (Windows 98/95)**

グラフィックスを印刷する明るさを指定します。

▶ **ハーフトーンカラーの調整 (Windows 2000/NT4.0)**

ハーフトーンの階調を設定します。



- Windows 2000/NT4.0 のとき、プリンタが使用するハーフトーンを選択は、〔装置オプション〕ダイアログで行います。

高速に印刷する

印刷を速くしたい場合は、次の設定を行います。

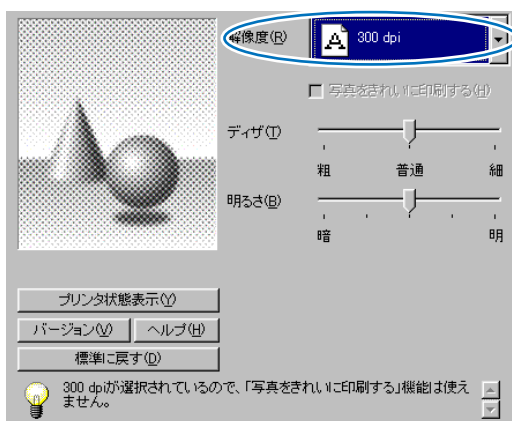
解像度

解像度を下げると、印刷が速くなります。

解像度は、次の画面で設定します。

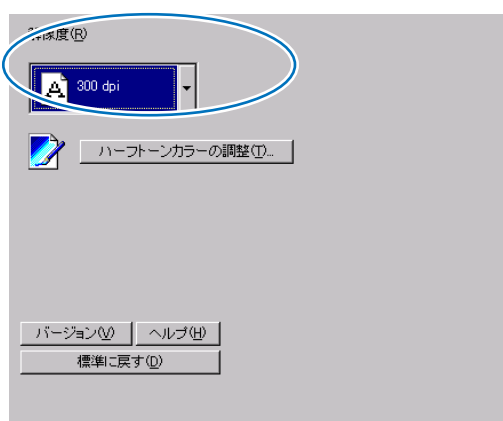
Windows 98/95 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 2000/NT4.0 のとき

〔グラフィックス〕ダイアログ



Windows 3.1 のとき

〔FUJITSU XL-xxxx〕ダイアログ

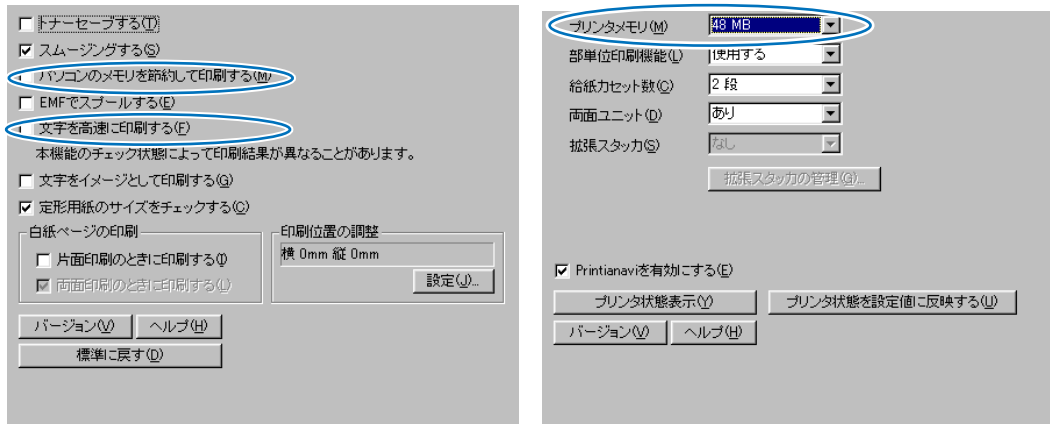


プリンタの解像度を、1 インチあたりのドット数で指定します。

値が小さい方が高速に印刷できますが、写真などのデータはドットが粗くなります。

■ 文字を高速に印刷する / プリンタメモリ (Windows 98/95/2000/NT4.0)

〔印刷オプション〕ダイアログ 〔装置オプション〕ダイアログ (画面の例は Windows 98/95 の場合)



文書中で使用されている文字をプリンタに登録することによって、文字データを高速印字します。

文字を高速に印刷するときは、次の設定を行ってください。

1 〔装置オプション〕ダイアログで「プリンタメモリ」の設定を行う (XL-5720/5320 のみ)

XL-5720/5320 では、プリンタ RAM モジュールの増設が必要です。
プリンタ RAM モジュールの増設後、「プリンタメモリ」の設定を行ってください。

2 〔印刷オプション〕ダイアログで「パソコンのメモリを節約して印刷する」のチェックをはずす

この設定がチェックされていると、「文字を高速に印刷する」の設定は行えません。

3 〔印刷オプション〕ダイアログで「文字を高速に印刷する」をチェックする



・「文字を高速に印刷する」をチェックすると、「文字をイメージとして印刷する」設定は無効になります。(Windows 98/95のみ)

・「文字を高速に印刷する」を設定したときに、とくに効果があるのは、同一文字が何度も使用されていて、文字以外のデータが少ないデータです。

印刷するデータによっては、期待された効果がでないことや、グラフィックスと文字が重なっている部分の印刷結果が異なることがあります。このようなときは、チェックをはずして使用してください。

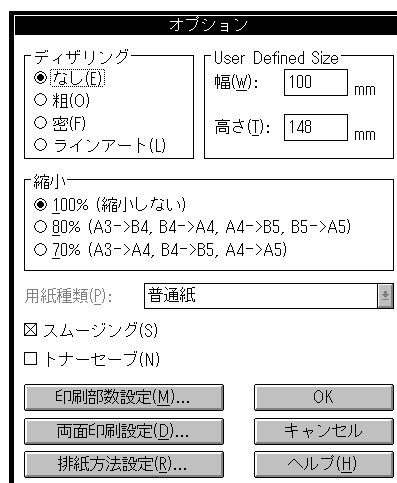
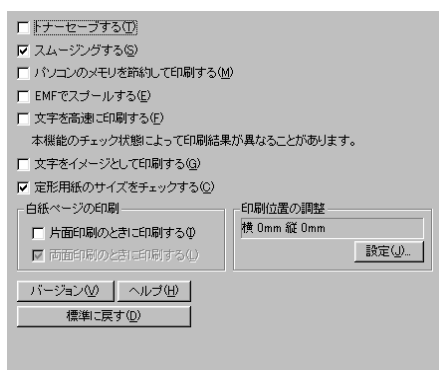
▼ オプション機能を設定する

ここでは、これまでに説明した以外の印刷に関する機能について説明します。

Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき Windows 3.1 のとき

〔印刷オプション〕ダイアログ

〔オプション〕ダイアログ



(画面の例は Windows 98/95 の場合)

▶ トナーセーブする（トナーセーブ）

印刷時のトナーの量を少なくし、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

トナーセーブするときは、チェックします。

▶ パソコンのメモリを節約して印刷する（Windows 98/95/2000/NT4.0）

メモリ搭載量が少ないパソコンなどで、用紙サイズ1枚分のイメージデータ展開用のメモリをパソコン側に確保したくないときにチェックします。



ガイド

- ・「パソコンのメモリを節約して印刷する」がチェックされていると、一部のアプリケーションで正しく印刷できない場合があります。このようなときは、チェックをはずしてください。
- ・「パソコンのメモリを節約して印刷する」をチェックすると、「文字を高速に印刷する」機能は無効になります。また、「EMFでスプールする」がチェックされた状態でグレースケールアウトされます。
- ・メモリ搭載量が少ないパソコンで、「パソコンのメモリを節約して印刷する」のチェックがはずれていると、印刷開始までに時間がかかる場合があります。

▶ EMFでスプールする（Windows 98/95/2000/NT4.0）

スプールデータ形式をEMFに指定します。この設定は、Windows 98/95の場合は〔詳細〕ダイアログの「スプールの設定」、Windows 2000/NT4.0の場合は〔全般〕ダイアログの「プリントプロセッサ」で「常にRAWデータをスプールする」のチェックが外されているときのみチェックすると有効になります。



ガイド

- ・「パソコンのメモリを節約して印刷する」をチェックすると、EMFでスプールします。
- ・EMF形式で印刷したときに問題が起こる場合は、チェックを外してご使用ください。

▶ 文字をイメージとして印刷する（Windows 98/95）

文字データをイメージデータとして扱います。

文字をイメージデータとして扱うときは、チェックします。



ガイド

- ・「文字を高速に印刷する」をチェックすると、この設定は無効になります。

▶ 白紙ページの印刷 (Windows 98/95/2000/NT4.0)

印刷するページに白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷 (出力) するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

両面印刷対応プリンタの場合、片面、両面それぞれの場合について設定できます。



ガイド

・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。

・XL-6700/6100の場合、〔両面印刷〕ダイアログでも設定できます。

▶ 定型用紙のサイズをチェックする (Windows 98/95/2000/NT4.0) (XL-5320/5720/6700 のみ)

給紙トレイ (手差し) から定型サイズ of 用紙に印刷するときに、実際にセットされている用紙のサイズをチェックします。セットされている用紙のサイズが違うときはエラーとなります。

定型サイズしか指定できない特殊なアプリケーションからユーザ定義サイズ (不定形) の用紙に印刷する際は、この機能が働いていると印刷できない場合があります。このときは、チェックをはずしてください。

▶ 印刷位置の調整 (Windows 98/95/2000/NT4.0)

印刷位置の調整を行います。

〔設定〕ボタンをクリックすると、〔印刷位置の調整〕ダイアログが表示されます。調整する幅を入力して、〔OK〕をクリックしてください。

横 印刷位置を用紙に対して左右方向に移動します。値をマイナスにすると印刷結果は左方向に移動します。値を増やすと印刷結果は右方向に移動します。

縦 印刷位置を用紙に対して上下方向に移動します。値をマイナスにすると印刷結果は上方向に移動します。値を増やすと印刷結果は下方向に移動します。



ガイド

・この設定はPrintia XL ドライバディスク V4.1L12以降のプリンタドライバで対応しています。

・調整の結果、印字可能領域からはみ出した部分は印刷されません。

Printianavi の設定 (Windows 98/95/2000/NT4.0)

プリンタの状態を見たり、エラー時のメッセージの表示方法などを変更したりするには、Printianavi の設定を行います。
また、Printianaviを利用してプリンタドライバに設定値を反映することもできます。



Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてから設定を行ってください。

Printianavi を有効にする

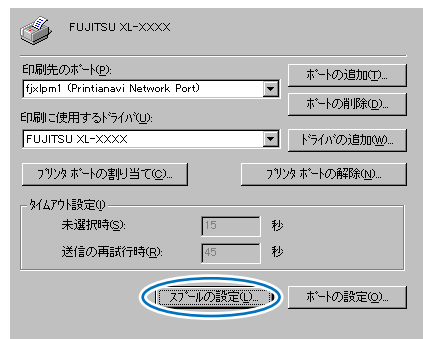
Printianavi 機能をお使いになるには、次の設定が必要です。

1 プリンタのプロパティを開く

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択して、プリンタフォルダを開き、設定を行うプリンタを選択した後、〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕を選択します。

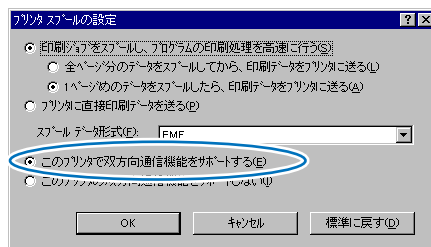
2 双方向通信機能を有効にする

・ Windows 98/95 のとき



1〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックする

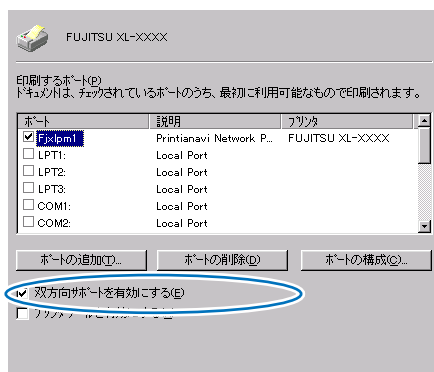
〔プリンタスプールの設定〕ダイアログが表示されます。



2「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」をチェックする

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

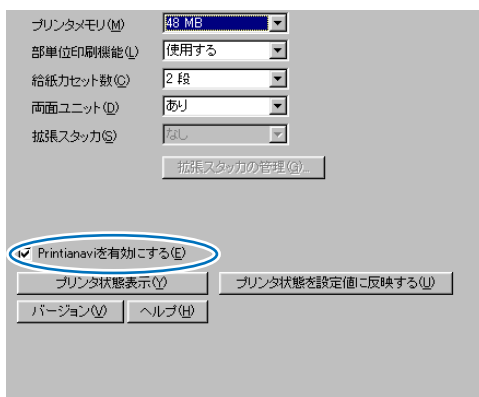
・ Windows 2000/NT4.0 のとき



〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」をチェックします。

3 Printianavi を有効にする

〔装置オプション〕ダイアログの「Printianavi を有効にする」をチェックします。(画面の例は Windows 98/95)
設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。



サーバ共有のプリンタで Printianavi 機能を使用するには、サーバ側のプリンタドライバも同様に設定してください。また、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをサーバとクライアントの両方にインストールしてください。

▼ メッセージの表示方法を変更する

Printianaviによるメッセージをどこに、どのように表示するかを設定します。



- Printianaviの設定を行うには、〔装置オプション〕ダイアログの「Printianaviを有効にする」がチェックされている必要があります。（「[Printianaviを有効にする](#)」（151ページ）参照）
- 表示されるアイコンやメッセージの詳細は、付録の「[メッセージ一覧](#)」（252ページ）を参照してください。

〔Printianavi〕ダイアログ



▶ 印刷中のステータス表示

印刷中のプリンタのステータスの表示方法を指定します。

ステータス表示の種類については、「[印刷中のステータス表示について](#)」（154ページ）を参照してください。

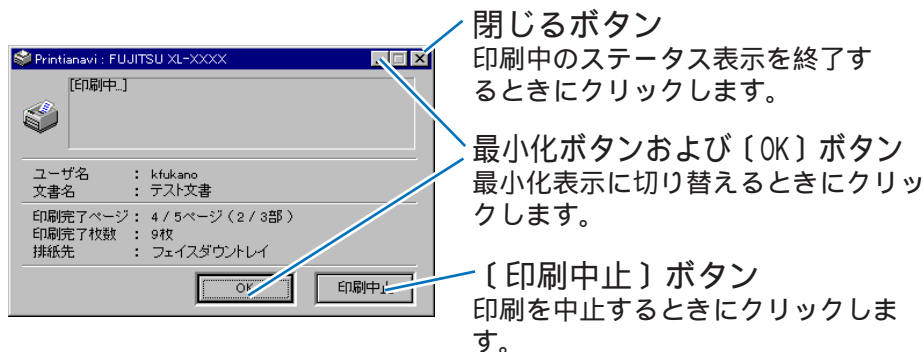
- エラー時ポップアップ 印刷中のステータスを、通常はタスクトレイにアイコン表示し、エラー発生時のみポップアップ表示します。エラーが解除されると自動的にタスクトレイでのアイコン表示に戻ります。
- ポップアップ 印刷中のステータスを、常にポップアップ表示します。
- 最小化 印刷中のステータスを、常にタスクトレイにアイコン表示します。
- 表示しない 印刷中にステータスを表示しません。

印刷中のステータス表示について

印刷中のステータス表示には、次の2つがあります。
どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

ポップアップ表示

画面上にウィンドウで表示します。



印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。

最小化表示

タスクトレイにアイコンで表示します。

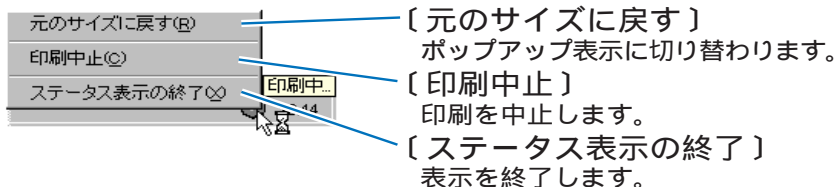


・ダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替わります。

・マウスカーソルを合わせると、簡単なステータスを表示します。



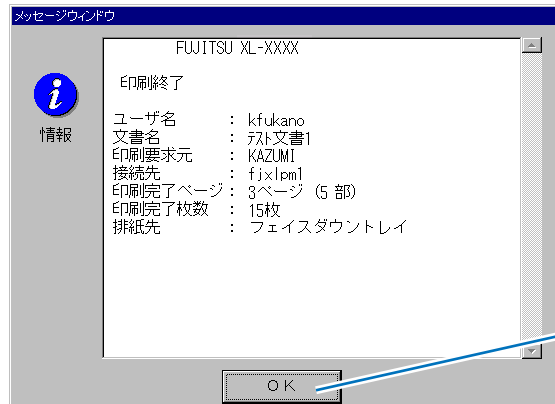
・右クリックすると、次のメニューが表示されます。



▶ 印刷の終了を通知する

印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

印刷終了のメッセージ例



〔OK〕ボタン
クリックすると、
表示を終了します

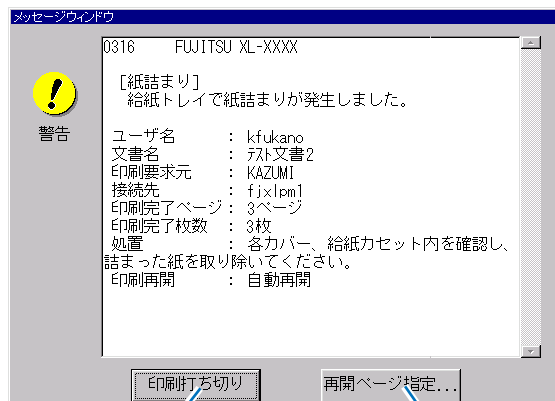
印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。

▶ エラーを通知する

エラーメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

このエラーメッセージはエラーが発生したときにのみ表示され、エラーを解除するか、または印刷を打ち切るまで表示を終了しません。

エラーメッセージ例



〔印刷打ち切り〕ボタン
クリックすると、印刷を打
ち切ります。

〔再開ページ指定〕ボタン
クリックすると、エラー解除後に何ペー
ジ目から印刷し直すかを指定すること
ができます。（再開ページ指定が可能な場
合のみ表示されます。）



- ・「印刷中のステータス表示」で「表示しない」をチェックしたときは、チェックされた状態でグレーアウトされ、必ずエラーメッセージを表示します。
- ・エラーメッセージには、「警告」(リカバリ可能なエラー)と「停止」(リカバリ不可能なエラー)の2種類があります。これらはメッセージウィンドウの左側にアイコンと文字で表示されます。また、次のエラーは「エラーを通知する」の設定に関係なくエラーメッセージを通知します。
 - 「停止」エラー：必ず通知します。
 - 「警告」エラー：Printianavi ネットワーク連携ユーティリティでサーバ共有のプリンタに対してPrintianavi機能を使用している場合は通知します。
- ・部単位印刷を行っているときは、「印刷完了ページ」のページ数の後ろに「(印刷中の部数 / 印刷総部数)」の形式で、現在何部目の印刷を行っているかを表示します。また、部単位印刷時は再開ページの指定は行えません。

▶ TCP/IP を使用する

通信(メッセージの通知)にTCP/IPを使用するかどうかを指定します。LAN(TCP/IP)で接続されたプリンタ、またはサーバの共有プリンタで印刷するときはチェックします。

チェックすると、Printianaviが通知するメッセージをどのパソコンで表示するかを指定することができます。

通常は、「このコンピュータ」を選択します。現在設定操作をしているパソコン以外に表示させたい場合は、「コンピュータを指定」をクリックして、「ホスト名またはIPアドレス」に、表示先のホスト名またはIPアドレス(半角数字とピリオドで「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式)を指定します。

▼ プリンタの状態を表示する

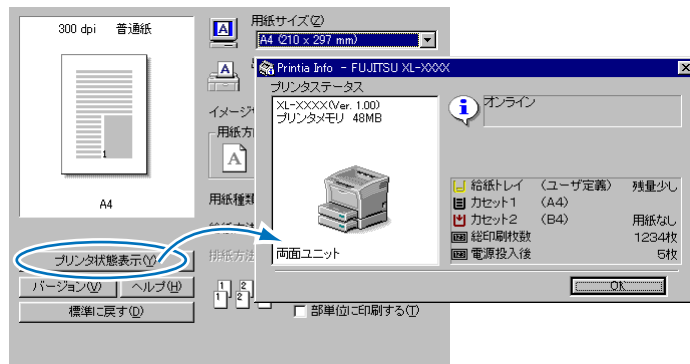
ここでは、プリンタの状態を表示する操作と表示画面について説明します。



ガイド

- ・プリンタの状態を表示するには、Printianavi が有効になっている必要があります。(「[Printianavi を有効にする](#)」(151 ページ) 参照)
- ・表示されるアイコンやメッセージの詳細は、[付録の「メッセージ一覧」](#)(252 ページ) を参照してください。

表示方法

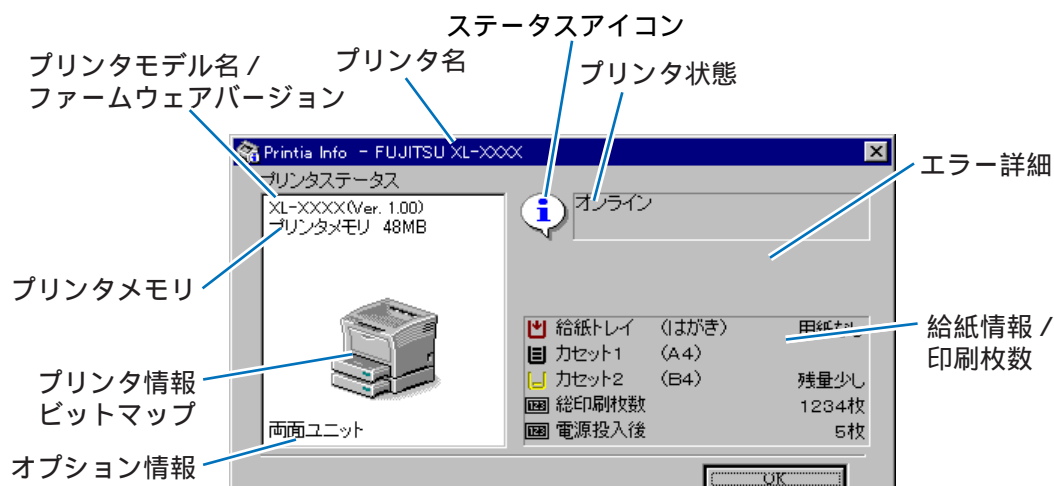


画面の例は「用紙」ダイアログです。

「プリンタ状態表示」をクリックします。

「プリンタ状態表示」は、「用紙」「レイアウト」「両面印刷」「グラフィックス」(Windows 98/95 のみ)「装置オプション」「Printianavi」の各ダイアログにあります。

画面の説明



プリンタ名 プリンタにつけた名前 (〔全般〕または〔情報〕ダイアログに表示される名前) を表示します。

プリンタモデル名 / プリンタ本体のモデル名とファームウェアバージョンを表示します。

プリンタメモリ プリンタに搭載されているメモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ プリンタモデルや給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

オプション情報 プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。

ステータスアイコン プリンタの状態をアイコンで表示します。

プリンタ状態 プリンタの状態を文字で表示します。

エラー詳細 プリンタ状態の詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙情報 / 印刷枚数 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。(両面印刷時は、表 / 裏を各 1 枚としてカウントします。)

ステータスウィンドウを閉じるには、〔OK〕をクリックします。

表示されるメッセージやアイコンの詳細については、[付録の「メッセージ一覧」\(252 ページ\)](#) を参照してください。



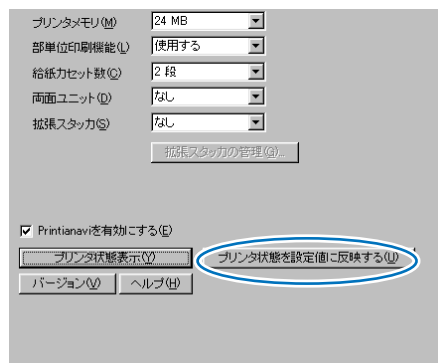
ステータスウィンドウで「給紙トレイ」と表示される給紙口は、〔用紙〕ダイアログの「給紙方法」の「手差し」と対応しています。

▼ プリンタの状態を設定値に反映する

ここでは、プリンタに装着されたメモリや給紙カセットの段数などを、Printianaviを利用してプリントドライバの設定値に反映する操作について説明します。



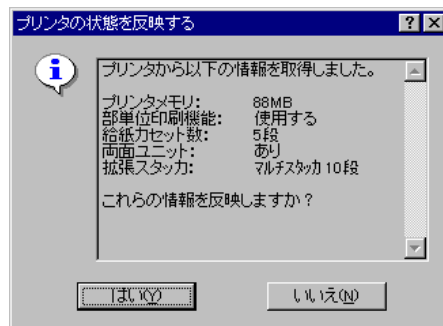
- ・プリンタの状態を設定値に反映するには、Printianavi が有効になっている必要があります。(「[Printianavi を有効にする](#)」(151 ページ) 参照)
また、プリントドライバと実際に接続されているプリンタのモデルが同じであることが必要です。モデルが異なる場合は、設定を反映できません。
- ・手で設定値を設定するときは、「[オプションの装着状態を設定する](#)」(160 ページ) を参照してください。



- 1 「[装置オプション] ダイアログで、[プリンタ状態を設定値に反映する] をクリックする
画面の例は Windows 98/95 の場合です。



- 2 「通信中です...」というダイアログが表示される
中止するときは、[キャンセル] をクリックしてください。



- 3 「はい」をクリックする
取得した情報が「[装置オプション] ダイアログ」の各設定値に反映されます。設定値に反映したくないときは、「いいえ」をクリックしてください。

プリンタドライバに関する設定

ここでは、プリンタドライバのバージョンを見たり、プリンタドライバを正しく使用するための設定について説明します。

▼ オプションの装着状態を設定する (Windows 98/95/2000/NT4.0)

プリンタに装着されたメモリや給紙カセットの段数などをプリンタドライバに正しく設定すると、オプションの装着状態によって使用できる機能の設定が行えるようになりますと同時に、使用できない機能を誤って設定することができないようになります。

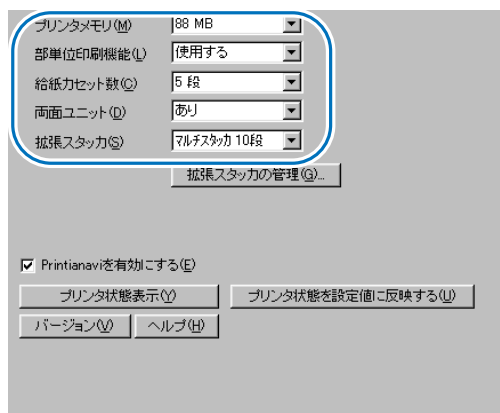
**ガイド**

Printianavi が有効のときは、プリンタと通信を行って情報を取得し、設定値に反映することもできます。

(「[プリンタの状態を設定値に反映する](#)」(159 ページ) 参照)

〔装置オプション〕ダイアログ

(画面の例は Windows 98/95 の場合)



▶ プリンタメモリ

プリンタに装着されているメモリの容量を設定します。

**ガイド**

- ・プリンタメモリの容量は、プリンタ状態表示 (Printianavi 有効時) またはプリンタ装置から行う設定の印刷 (メニュー印刷) の RAM 容量で確認することができます。
- ・プリンタメモリの容量が少ないと、機種によっては〔印刷オプション〕の「文字を高速に印刷する」機能が使用できない場合があります。このときは、オプションのプリンタ RAM モジュール増設後、この設定値を変更してください。

▶ 部単位印刷機能

部単位印刷機能を使用するかどうかを設定します。

使用しない場合は、〔用紙〕ダイアログの「部単位に印刷する」の設定がグレーアウトされます。



「プリンタ状態を設定値に反映する」で部単位印刷が「使用する」と反映される場合は、お使いのプリンタで部単位印刷を行うことができます。

「使用しない」と反映された場合でも、手動で「使用する」に設定できますが、部単位印刷を行うには制限があります。

詳細については、「複数部数 / 部単位印刷」(129 ページ)を参照してください。

▶ 給紙カセット数

プリンタに装着されている給紙カセットの段数を設定します。

設定した段数分だけ、〔用紙〕ダイアログの「給紙方法」に設定可能な給紙カセットの名前が表示されます。

▶ 両面ユニット

両面ユニットが装着されているかどうかを設定します。

両面ユニット「あり」(装着されている)の場合は、〔両面印刷〕ダイアログの設定が可能になります。



両面ユニットをサポートしない機種では、この項目はグレーアウトされます。

▶ 拡張スタッカ

拡張スタッカが装着されているかどうかを設定します。

拡張スタッカが「なし」以外の(装着されている)場合は、〔拡張スタッカの管理〕の設定が可能になります。

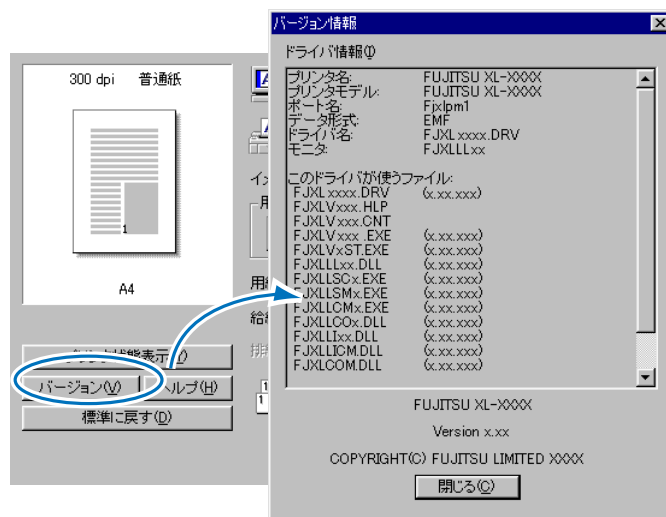


拡張スタッカをサポートしない機種では、この項目はグレーアウトされます。

▼ プリンタドライバのバージョンを確認する

プリンタドライバのバージョンは、次の画面で確認します。

■ Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

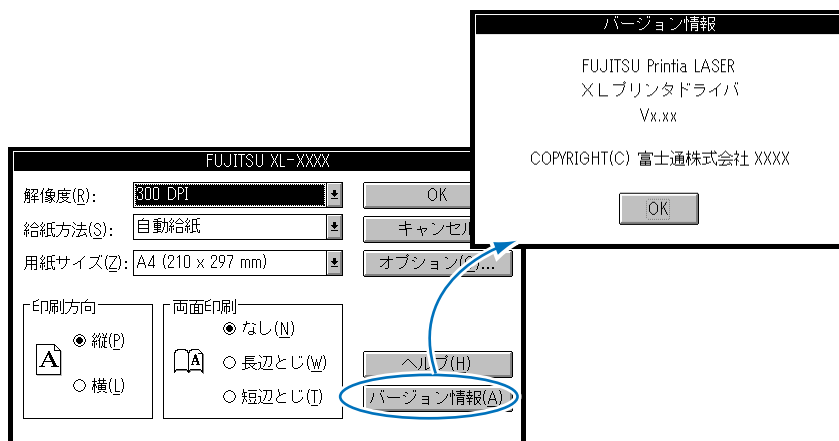


画面の例は〔用紙〕ダイアログです。

〔バージョン〕をクリックします。

〔バージョン〕は、〔用紙〕〔レイアウト〕〔両面印刷〕〔グラフィックス〕〔印刷オプション〕〔装置オプション〕〔Printianavi〕の各ダイアログにあります。

■ Windows 3.1 のとき

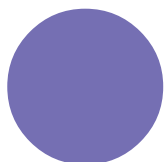


〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログの〔バージョン情報〕をクリックします。

第4章

Printianavi

ネットワークポートモニタ



Printianavi ネットワークポートモニタは、LAN（TCP/IP）に接続したプリンタに、パソコンから直接印刷できるようにします。この章では、プリンタの設定と Printianavi ネットワークポートモニタの使いかたについて説明します。

本章の中では、Printianavi ネットワークポートモニタを「ネットワークポートモニタ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

プリンタを LAN に直接接続する（管理者のみ）.....	164
DHCP によるアドレス自動取得	166
添付ソフトウェアによる設定	168
ネットワークポートモニタをインストールする	174
インストール	174
アンインストール	177
ネットワークポートモニタを設定する	179
ネットワークポートモニタを起動する	179
ポートに関する設定項目	188

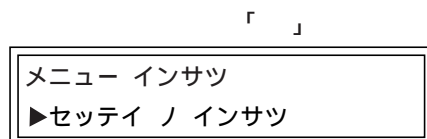
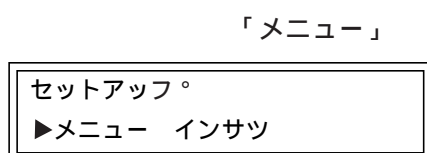
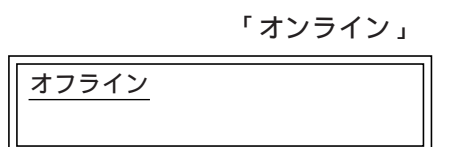
プリンタをLANに直接接続する（管理者のみ）

プリンタをネットワークケーブルでLANに直接接続して印刷を行えるようにするには、プリンタにIPアドレスを設定する必要があります。

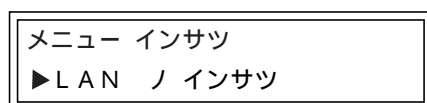
■ 設定の前に（LANの設定内容の印刷）

IPアドレスを設定する際に必要な情報を、あらかじめプリンタから印刷しておきます。

ネットワークに接続したプリンタに用紙をセットして電源を投入し、オペレータパネルから次の操作を行います。（詳細については、取扱説明書を参照してください。）



印刷終了



1 プリンタをオフライン状態にする

「オンライン」スイッチを押して、プリンタをオフライン状態にします。

2 「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする

3 「▼」スイッチを1回押す

4 「▶」または「◀」スイッチを押し、「LANノインサツ」を表示する

5 「設定」を押す

LANの設定内容の一覧が開始されます。

印刷が終わったら、「オンライン」スイッチを2回押して、プリンタをオンライン状態に戻してください。

■ 設定方法の種類

本プリンタにIPアドレスを設定する方法には、次の3つがあります。
ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

▶ DHCP によるアドレス自動取得

プリンタの電源投入時にDHCPサーバからIPアドレスを自動的に取得します。DHCPサーバのある環境では、最も簡単な方法です。

▶ 添付ソフトウェアによる設定

添付のCD-ROMに収められている次の2つのソフトウェアを使用して設定を行います。(Windows 98/95/2000/NT4.0)

- ・IPアドレス設定ユーティリティ

LANに接続されたIPアドレス未設定のプリンタに対し、一時的に（プリンタの電源を切るまでの間）IPアドレスを割り当てます。これにより、Printianaviマネージャからプリンタの設定操作が可能になります。本ユーティリティは、Printianaviネットワークポートモニタと同時にインストールします。

- ・Printianavi マネージャ

プリンタの設定/管理をパソコン上から行うソフトウェアです。
IPアドレス設定ユーティリティによって割り当てられたIPアドレスを電源切断後も有効にする設定を含め、ネットワークに関する設定変更をオペレータパネルから入力するより簡単に行うことができます。

▶ プリンタのオペレータパネルによる設定

プリンタのオペレータパネルから直接操作を行います。
プリンタ単体で設定することができます。

ここでは、「[DHCP によるアドレス自動取得](#)」(166 ページ)と「[添付ソフトウェアによる設定](#)」(168 ページ)について説明します。

プリンタのオペレータパネルによる設定方法については、取扱説明書を参照してください。

DHCP によるアドレス自動取得

ここでは、DHCP によりアドレスを自動的に取得する方法について説明します。

準備

IP アドレスを自動取得する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内 容
LAN の設定内容	プリンタのネットワークに関する設定情報を印刷しておきます。(「 設定の前に(LAN の設定内容の印刷) 」(164 ページ) 参照)
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスです。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて準備しておきます。
環境	DHCP サーバとプリンタを、ネットワーク上に接続しておきます。

設定方法

1 LAN の設定内容を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う

次の設定になっているか確認します。

項 目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP 設定 = 有効
TCP/IP 設定	DHCP 自動取得 = 設定



工場出荷時の初期値は上記の設定になっていますので、通常、設定は不要です。設定が必要な場合は取扱説明書を参照してください。

2 DHCP サーバの設定を行う

DHCP マネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定してください。

- ・ 開始アドレス
- ・ 終了アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ リース期間（無期限を推奨）

設定が終わったら、〔スコープ〕をアクティブにします。

割り当てる IP アドレスを固定させるときは、〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し、次の項目を設定します。

IP アドレス 設定したい IP アドレス

一意の ID MAC アドレス(LAN の設定内容に印刷されています。「:」を使用せずに、半角英数字 12 文字で入力してください。)

クライアント名 ... 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

3 プリンタの電源を再投入する

プリンタがネットワークに接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。

以上で、DHCP によるアドレス自動取得の設定は終了です。

添付ソフトウェアによる設定

ここでは、添付ソフトウェアを使用してIPアドレスを設定する方法について説明します。

準備

IPアドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内 容
LANの設定内容	プリンタのネットワークに関する設定情報を印刷しておきます。 (「設定の前に(LANの設定内容の印刷)」(164 ページ) 参照)
IP アドレス	プリンタに設定するIP アドレスです。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて準備しておきます。
CD-ROM	本プリンタに添付されているCD-ROM です。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定を行うパソコン DHCP サーバとして運用しているパソコンでは設定できませんのでご注意ください。 ・ プリンタ 設定を行うパソコンと同一ネットワーク上に接続してください。

設定方法

1 必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする

以下のソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールしてください。

- ・ Printianavi ネットワークポートモニタ (IP アドレス設定ユーティリティを含む)
[「ネットワークポートモニタをインストールする」\(174 ページ \) 参照](#) IP アドレス設定ユーティリティを追加してインストールしてください。
- ・ プリンタドライバ
[「第2章 プリンタドライバのインストール」\(27 ページ \) 参照](#)
- ・ Printianavi マネージャ
[「第6章 Printianavi マネージャ」\(219 ページ \) 参照](#) 管理者機能を追加してインストールしてください。

2 LANの設定内容を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う

次の設定になっているか確認します。

項 目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP 設定 = 有効
TCP/IP 設定	DHCP 自動取得 = 設定

工場出荷時の初期値は上記の設定になっていますので、通常、設定は不要です。設定が必要な場合は、取扱説明書を参照してください。

3 ネットワークに接続したままプリンタの電源を切る

4 Windows を起動する

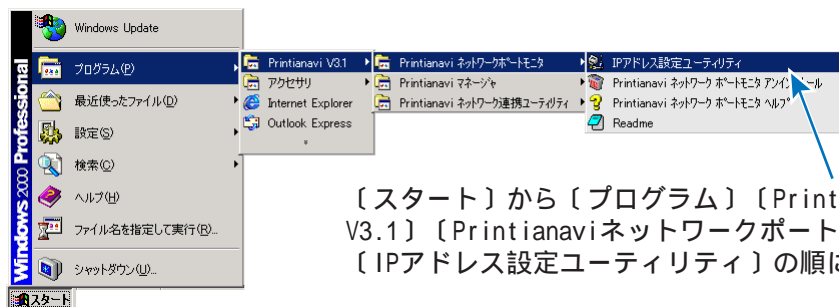
Windows 2000/NT4.0の場合は管理者グループのメンバーとしてログインしてください。



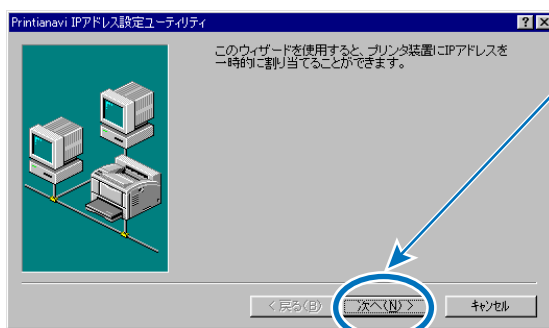
実行中のアプリケーションがある場合は、終了させておいてください。

5 IPアドレス設定ユーティリティを起動する

画面の例は Windows 2000 です

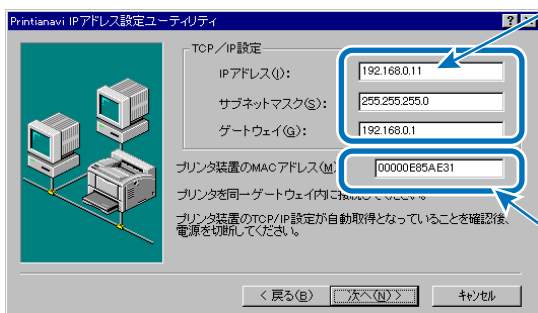


IPアドレス設定ユーティリティが起動します。



〔次へ〕をクリックして
次の画面に進む

6 IPアドレスを入力し、「次へ」をクリックする



IPアドレスを入力する

半角数字とピリオドで、「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。IPアドレス以外は省略可能です。

MACアドレスを入力する

半角英数字 12 文字（間に「:」を入れない）で入力してください。
MACアドレスは印刷した LAN の設定内容を参照してください。

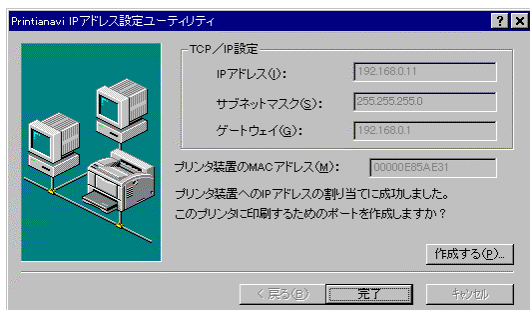
7 プリンタの電源を入れる



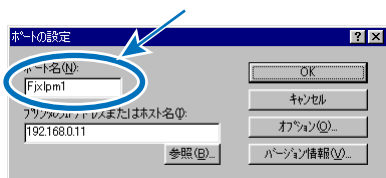
手順 3 で切断したプリンタの電源を入れます。

「ステータス」欄の表示が「受け中」から「通信中」に変わります。

8 ポートを作成するときは「作成する」を、すでに作成済みの場合は「完了」をクリックする



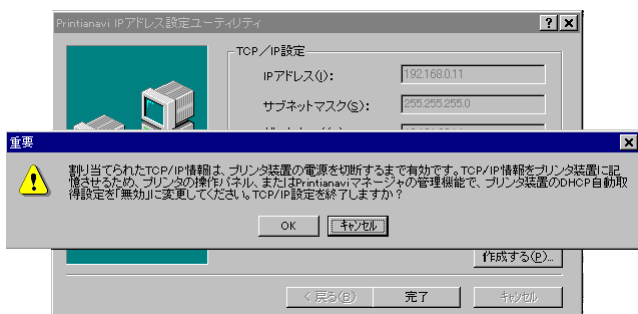
「完了」をクリックしたときは、手順 9 に進んでください。



「作成する」をクリックしたときは、ポートの作成画面が表示されます。

表示されているポート名を変更する場合は、半角英数字 8 文字以内で入力してください。

9 [OK]をクリックして、IPアドレス設定ユーティリティを終了する



以降の手順では、Printianavi マネージャからIPアドレスを確定する操作について説明します。IPアドレスを確定するまで、プリンタの電源は切らないでください。

10 プリンタドライバの印刷先を、作成したポートに変更する (プリンタドライバで仮のポートが設定されている場合のみ)

プリンタドライバをインストールしたときに、仮のポート(LPT1など)を指定した場合は、IPアドレスの設定を行ったプリンタへのポート(手順8で作成したポートまたはPrintianaviネットワークポートモニタインストール時に作成したポート)に変更します。

すでにポートが正しく設定されている場合は、手順 11 に進んでください。



「印刷先ポートの追加と変更」参照

Windows 98/95 は [35 ページ](#)、Windows 2000 は [48 ページ](#)、Windows NT4.0 は [66 ページ](#)

「LAN 接続プリンタに印刷するとき」参照

Windows 98/95 は [36 ページ](#)、Windows 2000 は [49 ページ](#)、Windows NT4.0 は [67 ページ](#)

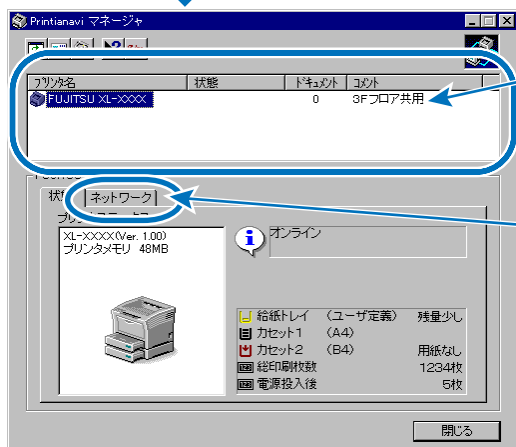
11 Printianaviマネージャを起動し、設定を行うプリンタのネットワーク情報を表示させる



Printianavi マネージャ

デスクトップにある
〔Printianavi マネージャ〕アイ
コンをダブルクリックする

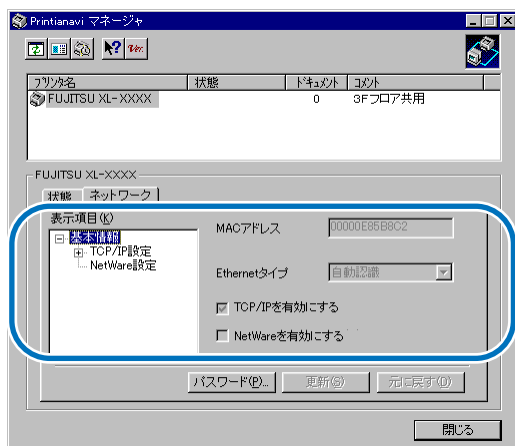
Printianavi マネージャが
起動します。



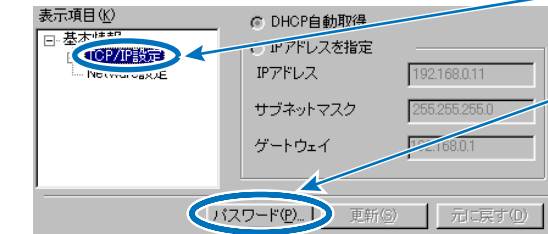
一覧から設定するプリンタを
選択する

〔ネットワーク〕タブをク
リックする

ネットワーク情報が
表示されます。

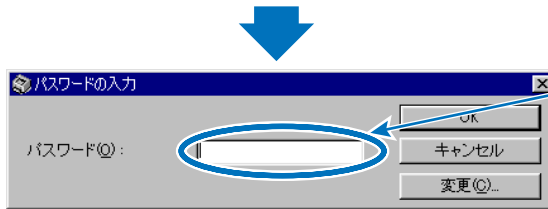


12 TCP/IP 設定を変更できるようにパスワードを入力する



「TCP/IP 設定」を選択する

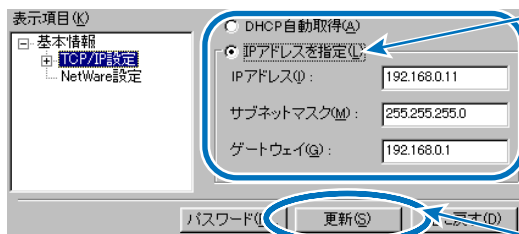
〔パスワード〕をクリックする



パスワードを入力後〔OK〕をクリックする

初期設定ではパスワードが設定されていません。何も入力しないで〔OK〕をクリックしてください。

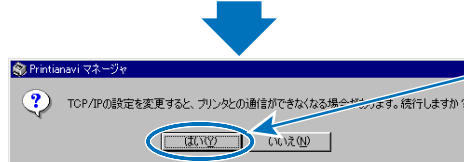
13 TCP/IP 設定を変更する



設定を変更する

IP アドレス設定ユーティリティで一時的に割り当てたIPアドレスを確定するには、「IPアドレスを指定」に変更します。

〔更新〕をクリックする



〔はい〕をクリックする

プリンタに設定内容が反映されます。

以上で、添付ソフトウェアによる IP アドレスの設定は終了です。



ガイド Printianaviマネージャには、他にもいろいろな管理機能があります。詳細は、「第6章 Printianavi マネージャ」(219 ページ)を参照してください。

ネットワークポートモニタをインストールする

ネットワークポートモニタは、Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。



ガイド

上書きインストールは、通常のインストールと同じ手順で行いますが、次の点に注意してください。

- ・ Printianavi Network Portを印刷先に指定しているプリンタがある場合は、印刷先を別のポートに変更してください。
- ・ Windows 起動後、何も印刷をしていない状態からネットワークポートモニタをインストールしてください。
- ・ 上書きインストールが正常に終了したら、Windows を再起動してください。再起動せずに再度上書きインストールを行うと、エラーが発生する場合があります。



お願い

同一ネットワーク上で本プリンタと旧 Printianavi 対応プリンタを混在運用する場合は、[付録の「Printia XL トラブルシューティング」の「旧バージョン・レベルとの混在運用について」\(312 ページ\)](#)をお読みください。

インストール

Windows 98/95/2000/NT4.0 が動作するパソコンに、ネットワークポートモニタをインストールする操作について説明します。



お願い

インストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1

Windows 98/95/2000/NT4.0 を起動する

Windows 2000/NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2

添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

インストーラが自動的に起動します。



3 [ネットワークポートモニタ]をクリックする



4 内容を確認し、[次へ]をクリックする



5 表示されたディレクトリにネットワークポートモニタをインストールしてよければ、[次へ]をクリックする

他のディレクトリにインストールするときは、[参照]をクリックして指定します。

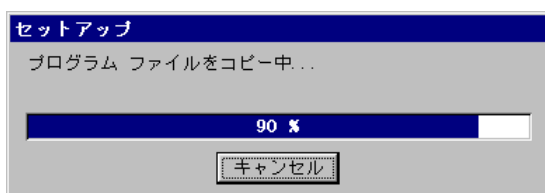


6 IPアドレス設定ユーティリティを追加するかしないかを選択し、[次へ]をクリックする

IPアドレス設定ユーティリティは、プリンタにIPアドレスを一時的に設定する管理者用のユーティリティです。(「[プリンタをLANに直接接続する \(164ページ\)](#)」を参照してください。)



- 7 表示されたプログラムフォルダにインストールしてよければ〔次へ〕をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。

変更するとき
半角英数字8文字以内で入力



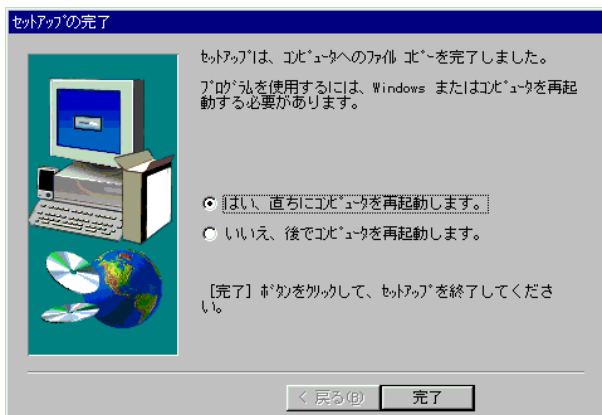
IPアドレス(半角英数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式)
またはホスト名を入力

- 8 ポートに関する設定を行う

〔参照〕でネットワークに接続されているプリンタを検索し、IPアドレスを自動入力することもできます。

設定項目の詳細については、「[ポートに関する設定項目](#)」(188 ページ)を参照してください。インストールが終わってから設定することもできます。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



- 9 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、〔完了〕をクリックする

▼ アンインストール

Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンから、ネットワークポートモニタをアンインストールする操作について説明します。

お願い

- ・ネットワークポートモニタのポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ネットワークポートモニタのアンインストールは行えません。アンインストールの前に、他の印刷先ポートに変更してください。
- ・アンインストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了してください。

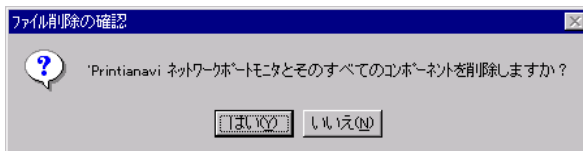
1 Windows を起動する

Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

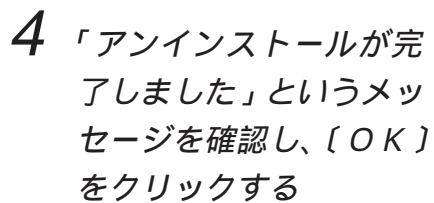
2 アンインストールプログラムを実行する

アンインストールプログラムを実行するには、次の2つの方法があります。

- ・〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi ネットワークポートモニタ〕〔Printianavi ネットワークポートモニタアンインストール〕の順に選択します。
- ・コントロールパネルの〔アプリケーションの追加と削除〕を起動し、〔アプリケーションの追加と削除のプロパティ〕の「インストールと削除」(Windows 95の場合は「セットアップと削除」、Windows 2000の場合は「現在インストールされているプログラム」)の一覧から〔Printianavi ネットワークポートモニタ〕を選択し、〔追加と削除〕(Windows 2000の場合は〔変更 / 削除〕)をクリックします。



3 〔はい〕をクリックする アンインストールが開始されます。



ネットワークポートモニタを設定する

ネットワークポートモニタを起動し、設定を行う操作について説明します。

なお、本設定を行うには、Printia XL ドライバをインストールしてあることが必要です。

▼ ネットワークポートモニタを起動する

本ユーティリティを起動する操作を、Windows 98/95/2000/NT4.0それぞれの場合について説明します。

■ Windows 98/95 のとき

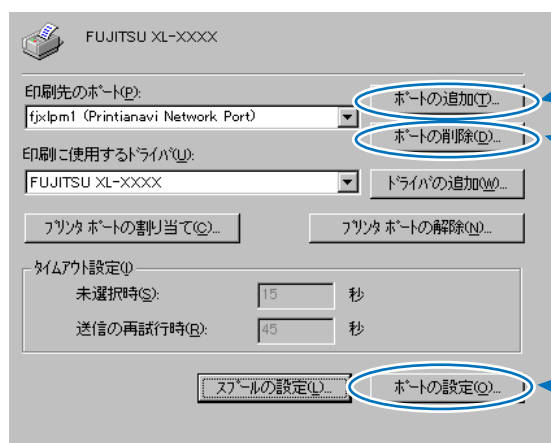
1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する



2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択する



3 〔詳細〕タブをクリックし、「印刷先のポート」で「Printianavi Network Port」を選択する

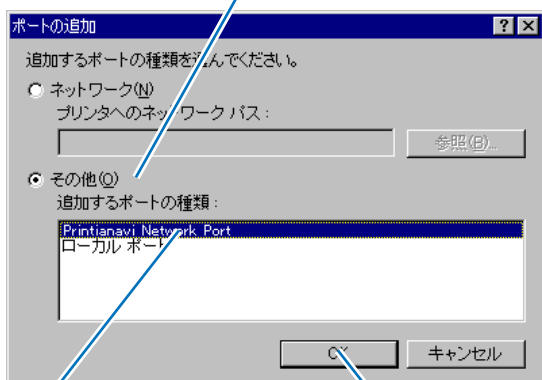


4 目的の機能のボタンをクリックする

▶ ポートの追加

〔詳細〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔ポートの追加〕ダイアログが表示されます。

1. 〔その他〕をクリック



〔その他〕をクリックし、「追加するポートの種類」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックします。

2. 「Printianavi Network Port」を選択
3. 〔OK〕ボタンをクリック

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「[ポートに関する設定項目](#)」(188 ページ)を参照してください。

▶ ポートの削除

〔詳細〕ダイアログで〔ポートの削除〕をクリックすると、〔ポートの削除〕ダイアログが表示されます。



「Printianavi Network Port」を選択し、〔OK〕をクリックします。



ガイド

〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先のポートに設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。
なお、ポート削除後に同じ名前のポートを追加する場合は、パソコンを再起動してから行ってください。

▶ ポートの設定

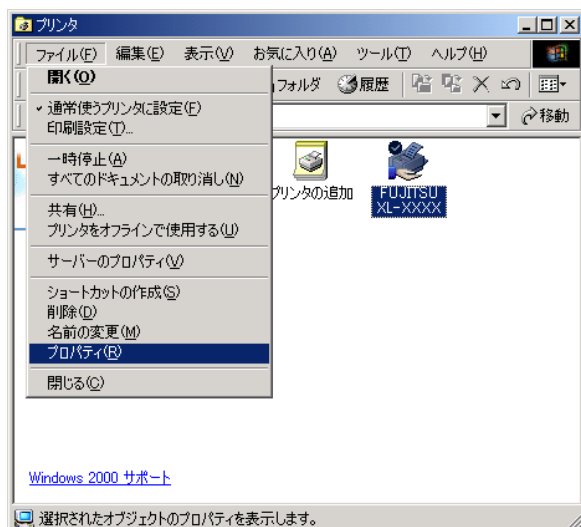
「印刷先のポート」の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの設定〕をクリックします。

〔ポートの設定〕をクリックしたときに設定できる項目については、「[ポートに関する設定項目](#)」(188 ページ)を参照してください。

Windows 2000 のとき

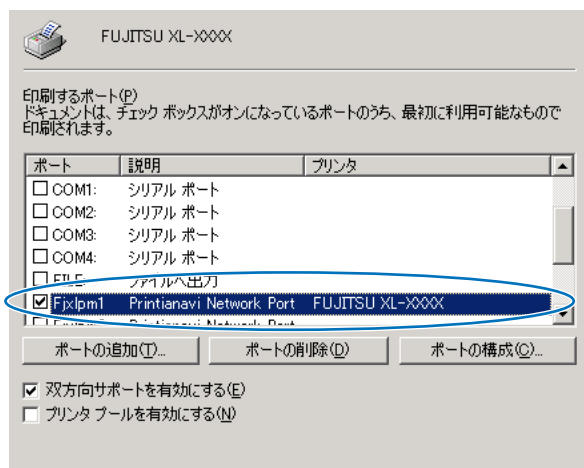
管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作を行います。

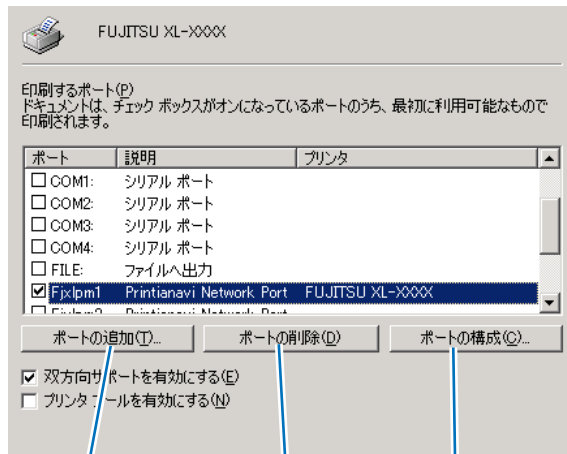
1 「スタート」から「設定」[プリンタ]の順に選択する



2 該当するプリンタをクリックし、「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択する

3 「ポート」タブをクリックし、「印刷するポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択する





4 目的の機能のボタンをクリックする

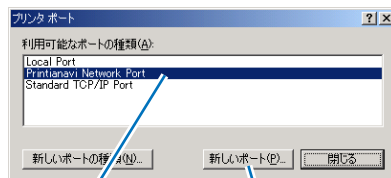
ポートを追加する

ポートを削除する

ポートの設定を変更する

▶ ポートの追加

〔ポート〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔プリンタポート〕ダイアログが表示されます。



1. 「Printianavi Network Port」を選択

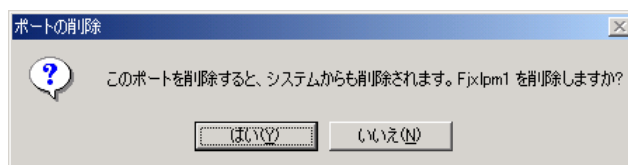
2. 〔新しいポート〕をクリック

「利用可能なポートの種類」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「[ポートに関する設定項目](#)」(188 ページ)を参照してください。

▶ ポートの削除

〔ポート〕ダイアログの〔印刷するポート〕の一覧から〔Printianavi Network Port〕を選択して〔ポートの削除〕をクリックします。



削除してよければ、〔はい〕をクリックします。



〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先に設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。

▶ ポートの構成

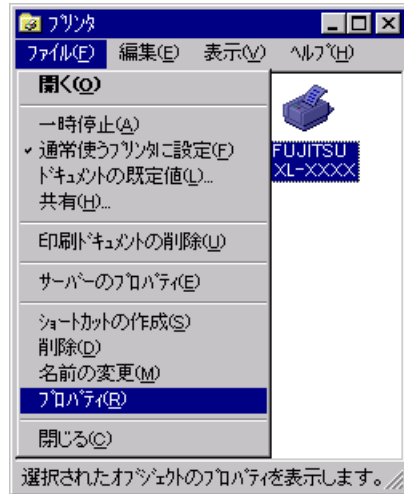
「印刷するポート」の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックします。

〔ポートの構成〕をクリックしたときに設定できる項目については、[「ポートに関する設定項目」\(188 ページ\)](#)を参照してください。

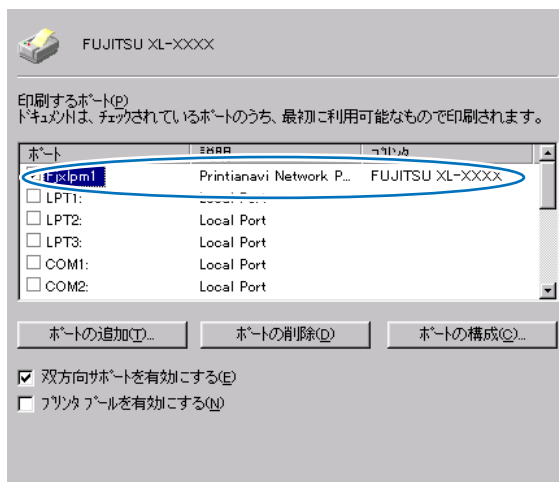
Windows NT4.0 のとき

管理者グループのメンバーとしてログオンし、以下の操作を行います。

1 「スタート」から「設定」〔プリンタ〕の順に選択する

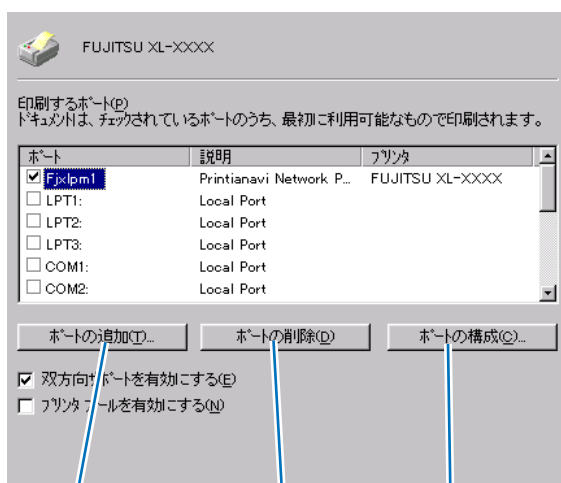


2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する



3 「ポート」タブをクリックし、「印刷するポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択する

4 目的の機能のボタンをクリックする



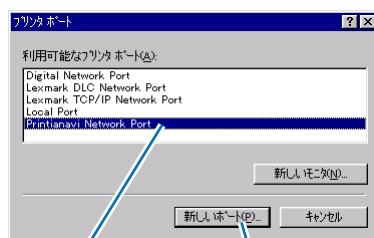
ポートを
追加する

ポートを
削除する

ポートの設定を
変更する

▶ ポートの追加

〔ポート〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔プリンタポート〕ダイアログが表示されます。



1. 「Printianavi
Network Port」
を選択

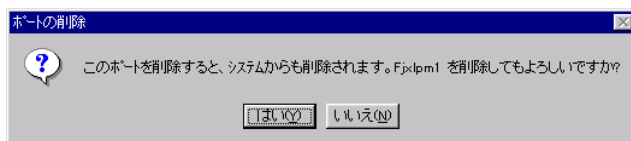
2. 〔新しいポート〕を
クリック

「利用可能なプリンタポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「[ポートに関する設定項目](#)」(188 ページ)を参照してください。

▶ ポートの削除

〔ポート〕ダイアログの「印刷するポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択して〔ポートの削除〕をクリックします。



削除してよければ、〔はい〕をクリックします。



〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先に設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。

▶ ポートの構成

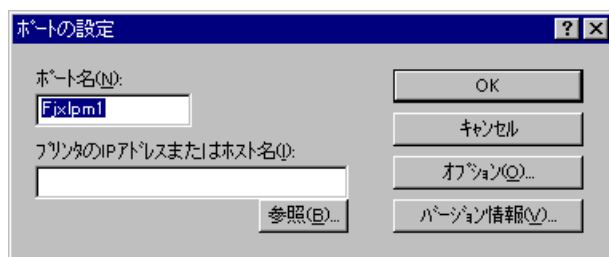
「印刷するポート」の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックします。

〔ポートの構成〕をクリックしたときに設定できる項目については、「[ポートに関する設定項目](#)」(188 ページ)を参照してください。

ポートに関する設定項目

ポートに関する設定項目について説明します。

ポートの設定



ポート名 ポート名を任意に指定します。(ポート追加時のみ指定可能)
半角の英数字で、8文字以内で指定します。

プリンタのIPアドレス プリンタのIPアドレス、またはネットワーク上またはホスト名
のホスト名を指定します。
IPアドレスは、半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。
ホスト名は、ネットワーク上で設定されているプリンタのホスト名を指定します。

オプション ポート番号や監視時間を設定するオプション画面を表示します。(「[オプションの設定](#)」(189ページ)参照)

バージョン情報 本ユーティリティのバージョン情報を表示します。

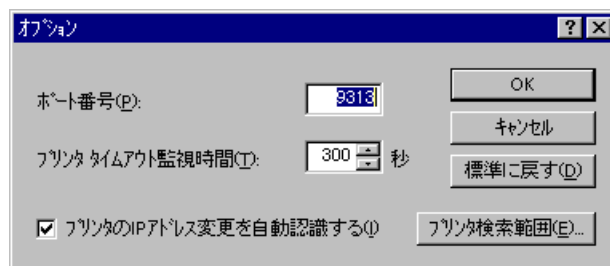
参照 設定するパソコンと同一ネットワークセグメント内に接続されているXLプリンタを一覧画面に表示します。表示された一覧で選択したプリンタのIPアドレスを「プリンタのIPアドレスまたはホスト名」に自動入力することができます。(「[プリンタの検索](#)」(190ページ)参照)



・[参照] で検索するプリンタは電源が入った状態で正しくネットワークに接続されていることが必要です。また、IPルータを超えたところに接続されたプリンタを検索する場合は、検索範囲の設定を追加してください。(「[検索範囲の設定](#)」(191ページ)参照)

・[ポート名] には、「.」(ピリオド)のみの名前は指定できません。

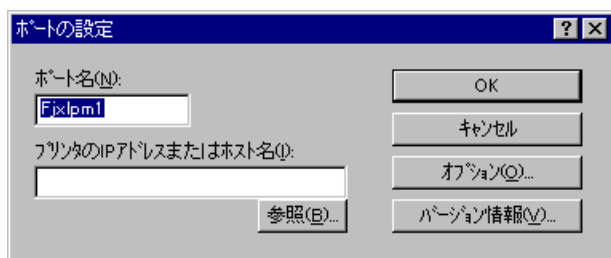
オプションの設定



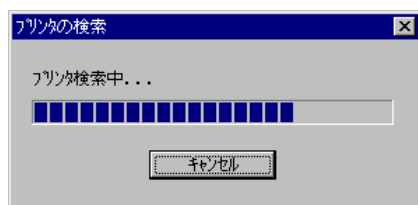
- ポート番号 プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。
通常は、標準値の 9313 のままにします。
変更する場合は、プリンタ側の設定 (ポート番号 1) と同じ値にしてください。
- プリンタタイムアウト ... プリンタ装置からの応答を待ち合わせる時間
監視時間
を、60 ~ 7200 の範囲で設定します。
ここで指定した時間、プリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。
標準値は 300 秒です。
- 標準に戻す この画面での設定値を次の設定に戻します。
ポート番号 : 9313
プリンタタイムアウト監視時間
: 300 秒
プリンタの IP アドレス変更を自動認識する
: チェックあり
- プリンタの IP アドレス ... この項目がチェックされた状態のときは、プリンタとの通信異常を検出すると、ネットワークに接続された XL プリンタを検索します。そして、XL プリンタの IP アドレスが変更された場合には変更後の IP アドレスを自動認識し、プリンタとの通信を続行します。
変更を自動認識する
なお、IP アドレスの変更以外で通信異常となっている場合 (プリンタの電源が入っていないなど) は、「プリンタ検索範囲」で設定した「タイムアウト時間」の分、エラーが通知されるまでに時間がかかります。
- プリンタ検索範囲 ネットワークに接続された XL プリンタの検索範囲を設定する画面を表示します。 ([「検索範囲の設定」](#) (191 ページ) 参照)

■ プリンタの検索

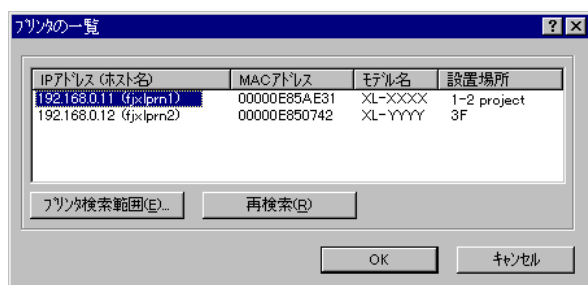
プリンタの検索は、〔ポートの設定〕ダイアログから次の手順で行います。



1 〔参照〕をクリックする



〔プリンタの検索〕ダイアログが表示され、検索範囲内のネットワークに接続されたプリンタを検索します。



2 印刷先に指定するプリンタを選択し、〔OK〕をクリックする

〔ポートの設定〕ダイアログの「プリンタのIPアドレスまたはホスト名」に、選択したプリンタのIPアドレスが自動入力されます。



プリンタが見つからなかったときは、次の手順で再度検索してください。

1 プリンタがネットワークに正しく接続されているか確認する

プリンタの電源が入っているか、ネットワークケーブルが接続されているか、IP アドレスが正しく設定されているかなどを確認してください。

2 検索範囲が正しく設定されているか確認する

IP ルータを超えたところに接続されたプリンタを検索する場合は、検索範囲の設定を追加する必要があります。
〔プリンタの一覧〕ダイアログの〔プリンタ検索範囲〕をクリックして、検索範囲が正しく設定されているか確認します。「[検索範囲の設定](#)」の手順3（192 ページ）からの操作を行ってください。

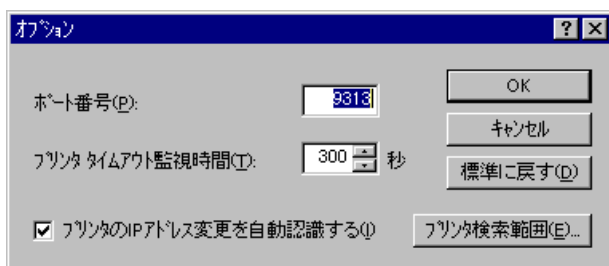
3 〔プリンタの一覧〕ダイアログの〔再検索〕をクリックして再検索を行う

検索範囲の設定

プリンタの検索範囲の設定は、〔ポートの設定〕ダイアログから次の手順で行います。



1 〔オプション〕をクリックする



2 〔プリンタ検索範囲〕をクリックする



3 検索範囲を設定する

設定済みの検索範囲の一覧が表示されます。次のいずれかの操作を行います。

- 追加 検索範囲を追加します。IPルータを超えたところに接続されたプリンタの検索範囲を追加してください。
- 変更 一覧から選択した検索範囲の設定内容を変更します。
- 削除 一覧から選択した検索範囲を削除します。
- 標準に戻す 選択範囲を次の設定のみに戻します。

ネットワークアドレス : ***.***.***.***

サブネットマスク : ***.***.***.***

ポート番号 : 9313

タイムアウト時間 : 5 秒

〔追加〕〔変更〕の操作を行ったときは手順4に、〔削除〕〔標準に戻す〕の操作を行ったときは、手順5に進んでください。



初期値として設定されている「***.***.***.***」の検索範囲は、設定を行うパソコンと同一ネットワークセグメント上のプリンタを検索するためのもので、削除することはできません。ポート番号とタイムアウト時間のみ変更可能です。

プリンタ検索範囲の追加

ネットワークアドレス(N): 192.168.1.0 OK

サブネットマスク(M): 255.255.255.0 キャンセル

ポート番号(P): 9313

タイムアウト時間(T): 5 秒

4 ネットワークアドレスおよびサブネットマスクを入力する

プリンタを検索するネットワーク上の範囲を示すIPアドレスとサブネットマスクを、半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。設定値については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ポート番号 初期値は 9313 です。通常は変更の必要はありませんが、プリンタ側の設定(ポート番号 2)に合わせてください。

タイムアウト時間 検索時にプリンタからの応答を待ち合わせる時間を設定します。初期値は 5 秒です。



ガイド オプションの設定で、「プリンタのIP アドレス変更を自動認識する」がチェックされているときは、プリンタの電源が入っていないなどで通信異常を検出した際にもプリンタの検索を行うため、タイムアウト時間の分、エラーが通知されるまでに時間がかかります。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックします。

プリンタ検索範囲の一覧

ネットワークアドレス	サブネットマスク	ポート番号	タイムアウト時間
..***.***	***.***.***.***	9313	5
192.168.1.0	255.255.255.0	9313	5

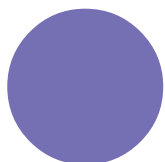
追加(A)... 変更(C)... 削除(R)

標準に戻す(D) OK キャンセル

5 検索範囲が正しく設定されたことを確認して、〔OK〕をクリックする〔プリンタ検索範囲〕をクリックした画面に戻ります。

第5章

Printianavi ネットワーク連携 ユーティリティ



Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは、サーバ経由で印刷するクライアントが Printianavi の機能を使えるようにします。この章では、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティの使い方について説明します。

本章の中では、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを「ネットワーク連携ユーティリティ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

Printianavi をネットワークで使用する	196
ネットワーク連携ユーティリティの機能	196
接続形態	197
必要なソフトウェアと設定	198
インストールと設定	199
インストール	199
アンインストール	204
環境設定	206
到着通知パネルの操作方法	216

Printianavi をネットワークで使用する

Printianaviをネットワークで使用するために必要な設定について説明します。

Printianavi をネットワークで使用するときは、添付の CD-ROM の中のネットワーク連携ユーティリティをインストールする必要があります。

お願い

同一ネットワーク上で本プリンタと旧 Printianavi 対応プリンタを混在運用する場合は、付録の「Printia XL トラブルシューティング」の「旧バージョン・レベルの混在運用について」(312 ページ) をお読みください。

▼ ネットワーク連携ユーティリティの機能

ネットワーク連携ユーティリティは、Printianaviの機能を、LAN 接続した Windows 98/95/2000/NT4.0 のクライアント / サーバシステムに拡張するための機能拡張ソフトウェアです。

Printianavi には、次の機能があります。

- ・印刷中のエラーメッセージ通知
- ・エラーリカバリ (自動再開、再開ページ指定、および印刷打ち切り操作)
- ・印刷終了の通知
- ・印刷中のプリンタの状態表示

ネットワーク連携ユーティリティにより、これらのメッセージ通知や、プリンタへの操作を、印刷を依頼したクライアントから行うことができます。

お願い

ネットワーク連携ユーティリティにより、メッセージ通知やプリンタへの操作を依頼中は、クライアント / サーバシステムのネットワーク連携ユーティリティを終了させないでください。

▼ 接続形態

ネットワーク連携ユーティリティを利用するネットワークでは、次の条件を満たす必要があります。

■ プリンタの接続

プリンタは、次のように接続します。

- ・プリントサーバとなるパソコンのプリンタポートに、プリンタケーブルで直接接続する
- ・LAN に接続する



LAN接続機構を標準装備していないプリンタをお使いの場合は、Printianavi対応のプリンタLANカード（オプション）が必要です。

■ プrintサーバとなるパソコン

Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンを、Printサーバとして使用できます。本ユーティリティにおけるPrintサーバを、とくにメッセージサーバといいます。

■ クライアントとなるパソコン

Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンを、クライアントとして使用できます。

必要なソフトウェアと設定

ネットワーク連携ユーティリティを利用するときは、次のソフトウェアおよび設定が必要です。

必要なソフトウェア

本ユーティリティとともに、Printia XL ドライバ (Printianavi) が必要です。

Printia XL ドライバは、プリンタに添付されている CD-ROM の中にあります。Printia XL ドライバのインストールについては、「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(27 ページ) を参照してください。



ネットワーク連携ユーティリティは、その機能を利用するすべてのサーバおよびクライアントにインストールします。

必要な設定

設定は、システム管理者が行います。

- ・ネットワークプロトコル (TCP/IP) の設定
ネットワークのプロトコルは、TCP/IPを使用してください。
- ・プリンタ共有の設定
サーバでは、プリンタを共有する設定が必要です。

インストールと設定

ネットワーク上で Printianavi を使用するためには、ネットワーク連携ユーティリティをサーバおよびクライアントにインストールする必要があります。

お願い

以前のバージョンのネットワーク連携ユーティリティやプリンタユーティリティ V1.1がすでにインストールされている場合は、アンインストールを行ってから新しいネットワーク連携ユーティリティをインストールしてください。

インストール

Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンに、ネットワーク連携ユーティリティをインストールする操作について説明します。

画面の例は Windows NT4.0 の場合です。

お願い

インストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

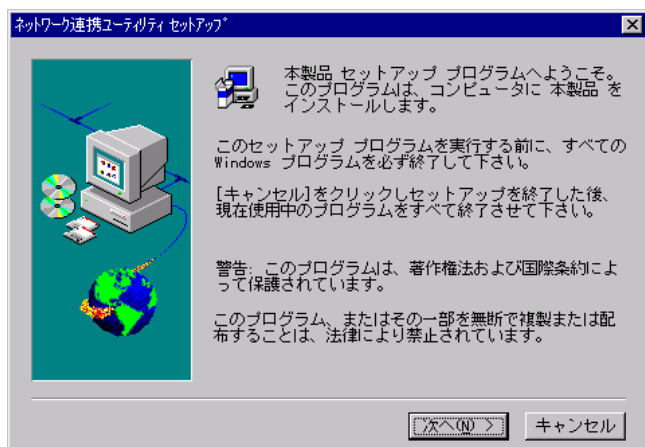
1 Windows 98/95/2000/NT4.0 を起動する

Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

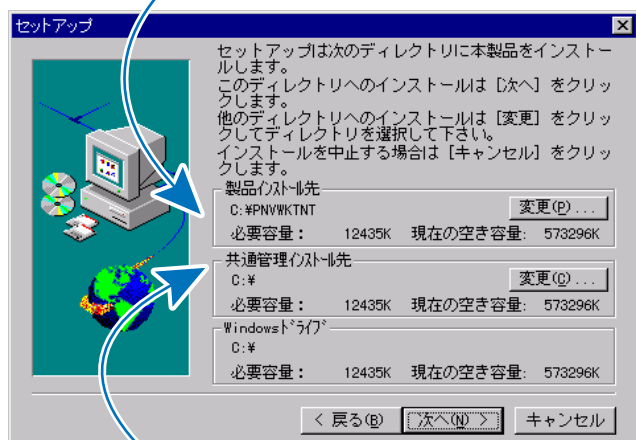


3 [ネットワーク連携ユーティリティ] をクリックする



4 内容を確認し、〔次へ〕をクリックする

ネットワーク連携ユーティリティをインストールするディレクトリ



5 表示されたディレクトリにインストールしてよければ、〔次へ〕をクリックする

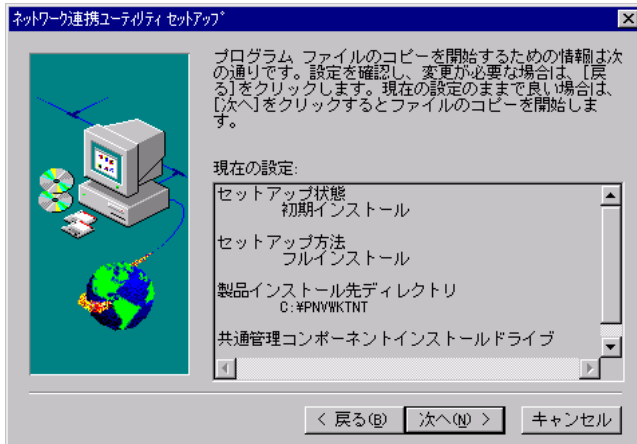
他のディレクトリにインストールするときは、〔変更〕をクリックして指定します。

他の製品として登録済みかどうかをチェックする必要がある製品をインストールするディレクトリ

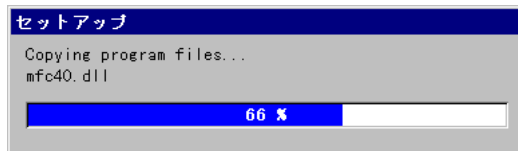


ガイド

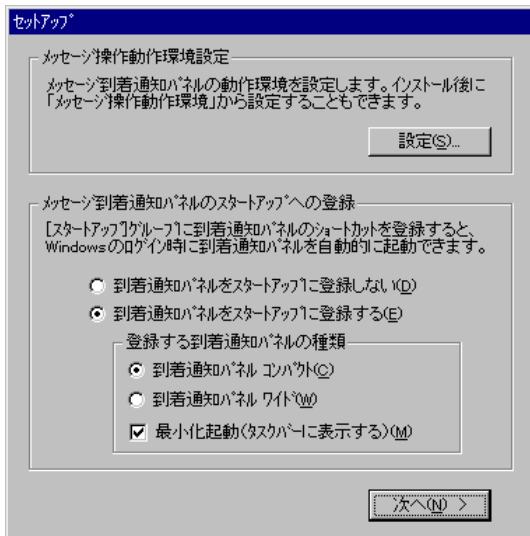
- ・インストール先のドライブに空き領域があることを確認して指定してください。
- ・ドライブ名は、すでに存在するローカルドライブを指定します。
- ・ディレクトリ名は8文字以内の英数字で、重複しない名前を指定します。
- ・ドライブ名とディレクトリ名は、小文字で入力しても大文字に変換されます。
- ・多階層(例えば、C:\aaa¥bbb¥ccc)のディレクトリは、指定できません。
- ・再インストールのときは、インストール先は変更できません。
- ・共通管理コンポーネントがインストール済みの場合は、共通管理インストール先は変更できません。



6 表示された設定でインストールしてよければ、〔次へ〕をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



7 「メッセージ操作動作環境設定」と、「メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録」の設定を確認し、〔次へ〕をクリックする

・メッセージ操作動作環境設定

サーバで発生したメッセージを通知するときのメッセージサーバとなるホストを定義します。通常、ホストは自動認識されるので、この設定は不要です。設定を行う場合は〔設定〕をクリックして、メッセージサーバのホストを設定してください。



〔設定〕をクリックすると、〔メッセージ操作動作環境〕ウィンドウが表示されます。メッセージ操作動作環境の設定方法については、「[クライアント側の設定](#)」(208ページ)を参照してください。

- ・メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録
メッセージ到着通知パネルとは、プリンタから送られてきたメッセージを画面上に表示させるためのアプリケーションです。このメッセージ到着通知パネルのショートカットをスタートアップへ登録すると、Windowsのログオン時に自動的に起動されるので便利です。
- ・登録する到着通知パネルの種類
スタートアップに登録する到着通知パネルの種類として、次のいずれかを選択します。

〔到着通知パネルコンパクト〕



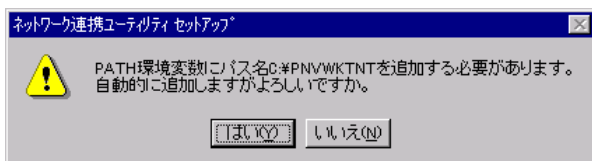
〔到着通知パネルワイド〕



- ・最小化起動（タスクバーに表示する）
到着通知パネルを最小化して起動する場合にチェックします。

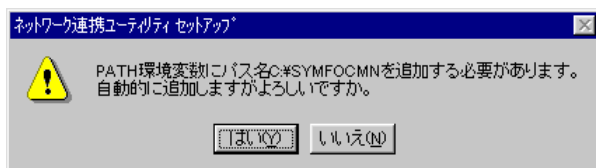
**ガイド**

〔メッセージ操作動作環境〕ウィンドウの〔表示モード〕ダイアログの〔最小化時にタスクバーにインジケータを表示する〕と組み合わせて指定することにより、到着通知パネルの起動時、タスクバーにインジケータが表示されるようになります。



8 ネットワーク連携ユーティリティのパスの設定を確認し、〔はい〕をクリックする

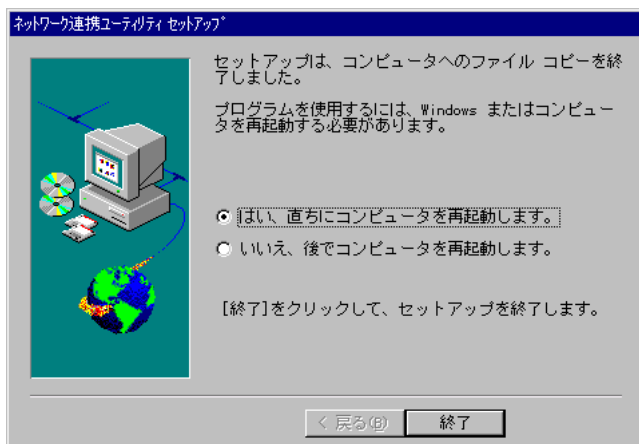
〔いいえ〕をクリックしたときは、インストール完了後に、ネットワーク連携ユーティリティのパスを手動で追加してください。



9 共通管理コンポーネントのパスの設定を確認し、〔はい〕をクリックする

〔いいえ〕をクリックしたときは、インストール完了後に、共通管理コンポーネントのパスを手動で設定してください。

上の画面は、再インストールのときは、表示されません。(本ユーティリティの動作に必要なパスの情報が設定されていないときに表示されます。)



10 パソコンを再起動するかどうかを選択し、〔終了〕をクリックする

他の製品を続けてインストールするときは、「いいえ、後でコンピュータを再起動します」を選択し直しておきます。

▼ アンインストール

Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンから、ネットワーク連携ユーティリティをアンインストールする操作について説明します。

画面の例は Windows NT4.0 の場合です。

▶ おお願い

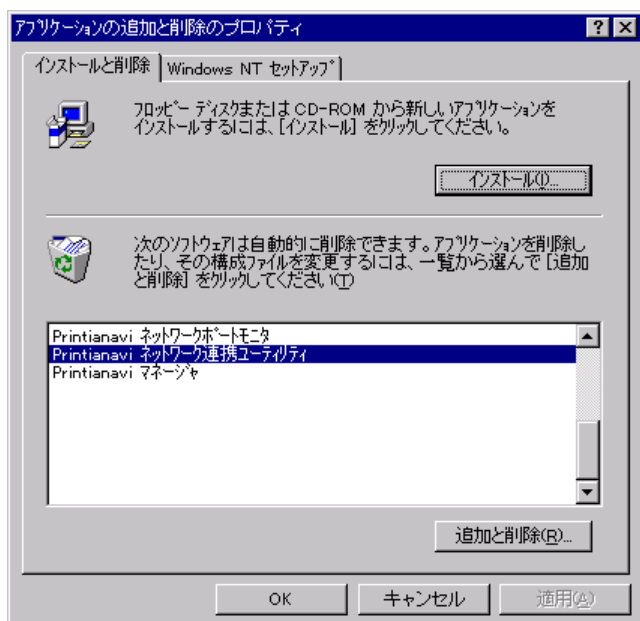
アンインストールの前に、「到着通知パネル」および起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows 98/95/2000/NT4.0 を起動する

Windows 2000/NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

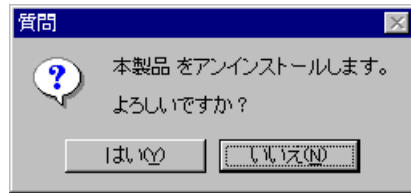


2 [スタート] から [設定] [コントロールパネル] の順で選択してコントロールパネルを開き、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする

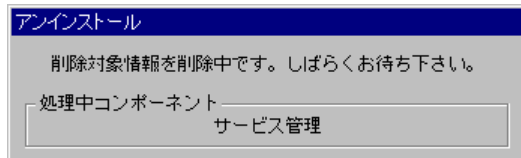


3 [Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ] を選択し、[追加と削除] をクリックする

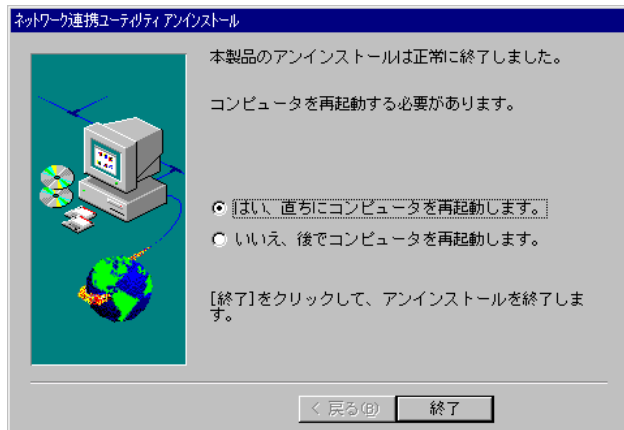
Windows 2000の場合は[変更 / 削除] をクリックします。



4 「はい」をクリックする



アンインストールが開始されます。



5 パソコンを再起動するかどうかを選択し、「終了」をクリックする

他の製品を続けてアンインストールするときは、「いいえ、後でコンピュータを再起動します」を選択し直しておきます。

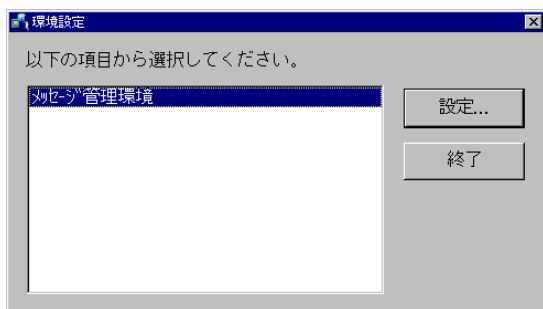
環境設定

ネットワーク連携ユーティリティのメッセージ操作機能を利用するときに必要な環境設定について説明します。

サーバ側の設定

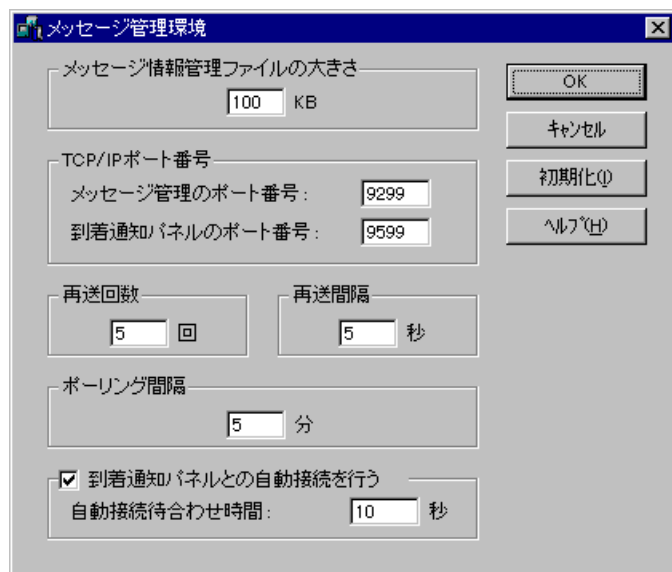
サーバ側に必要な設定のための操作と、設定内容について説明します。通常は、サーバ側の設定は不要です。

- 1 [スタート]から[プログラム][Printianavi V3.1][Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ][環境設定]の順に選択する



- 2 [メッセージ管理環境]を選択し、[設定]をクリックする

[メッセージ管理環境]ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスの内容を設定するときは、次の点に注意してください。

ポート番号の設定 ..メッセージ管理のサーバと到着通知パネルで使用する TCP/IP のポート番号を設定します。クライアント（到着通知パネル）と同じポート番号を設定します。

初期値は「9299」と「9599」です。通常は変更する必要はありません。

その他の設定メッセージ管理環境のその他の設定については、[メッセージ管理環境]のヘルプを参照してください。

クライアント側の設定

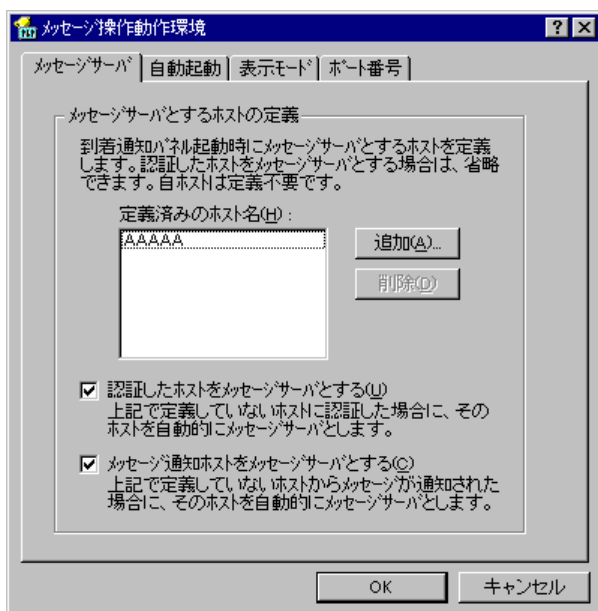
クライアント側に必要な設定のための操作と、設定内容について説明します。

1 [スタート]から[プログラム][Printianavi V3.1][Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ][メッセージ操作動作環境]の順に選択する

[メッセージ操作動作環境]ウィンドウが表示されます。

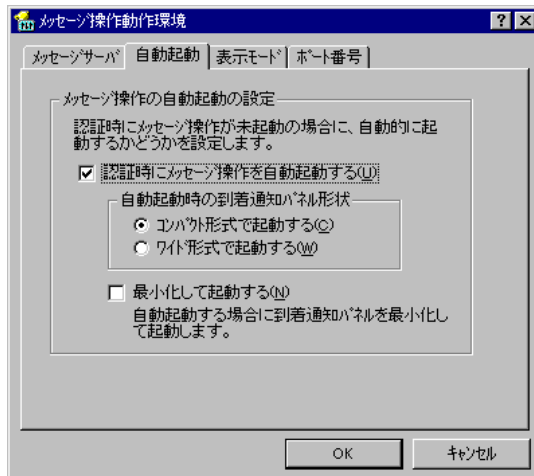
このウィンドウには、4つのダイアログがあります。各ダイアログの内容を設定するときは、次の点に注意してください。

▶ [メッセージサーバ] ダイアログ



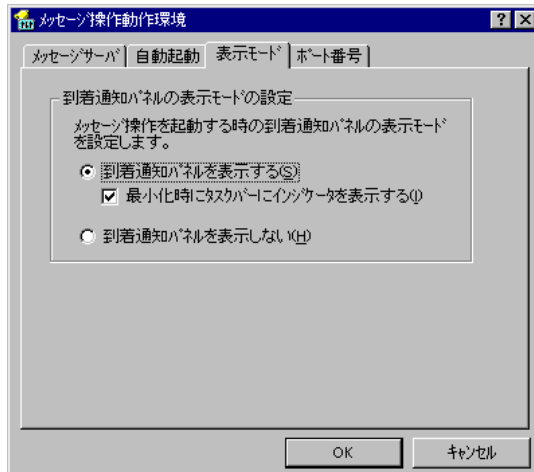
連携を行うメッセージサーバを登録します。「メッセージ通知ホストをメッセージサーバとする」をチェックすると、メッセージサーバとして定義していないプリントサーバで発生したメッセージも到着通知パネルに通知されます。通常はこの設定になっており、メッセージサーバを定義しなくてもクライアントにメッセージが表示されるため、設定は不要です。メッセージサーバを特定したい場合は、[メッセージ通知ホストをメッセージサーバとする]のチェックをはずし、[追加]をクリックしてサーバ名を入力してください。サーバ名を入力しない場合は、サーバ上にメッセージが表示されます。

▶〔自動起動〕ダイアログ



このダイアログの設定は通常は有効になりません。メッセージ操作を自動的に起動する場合は「[到着通知パネルの操作方法](#)」(216ページ)を参照してください。

▶〔表示モード〕ダイアログ



メッセージ操作を起動するときの到着通知パネルの表示モードを指定します。

- ・ 到着通知パネルを表示する
メッセージ操作を起動する場合で、到着通知パネルを表示するときに選択します。
- ・ 最小化時にタスクバーにインジケータを表示する
到着通知パネルの最小化を指定した場合で、タスクバーに到着通知インジケータを表示するときにチェックします。
- ・ 到着通知パネルを表示しない
メッセージ操作を起動する場合で、到着通知パネルを表示しないときに選択します。

▶〔ポート番号〕ダイアログ



メッセージ操作（到着通知パネル）とメッセージ管理のサーバ側で使用する TCP/IP のポート番号を設定します。サーバ側と同じポート番号を設定します。初期値は「9299」と「9599」です。通常は変更する必要はありません。

■ クライアント専用機の設定（Windows 98/95）

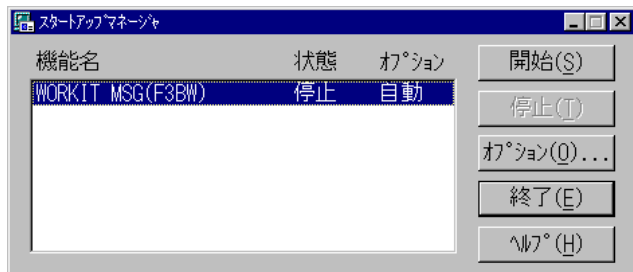
Windows 98/95 が動作するパソコンを、クライアントの専用端末にする場合に必要な操作について説明します。以降で説明する操作を行うと、サーバ機能は停止し、サーバ機能が使用するメモリ資源を解放します。

Windows 2000 の設定は「[クライアント専用機の設定（Windows 2000）](#)」（212 ページ）、Windows NT4.0 の設定は「[クライアント専用機の設定（Windows NT4.0）](#)」（214 ページ）を参照してください。

1 パソコンを再起動する

ネットワーク連携ユーティリティをインストール後、パソコンを再起動します。

2 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ〕〔スタートアップマネージャ〕の順に選択する

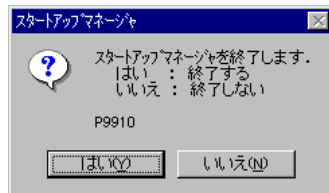


3 機能名から〔WORKIT MSG (F3BW)〕を選択し、〔オプション〕をクリックする



4 [オプションの種類]を
[手動]に変更し、[OK]
をクリックする

5 [終了]をクリックする
[スタートアップマネージャ]ダイアログボックスで[終了]をクリックします。



6 [はい]をクリックする



上記の操作をせずにクライアント専用機として運用した場合も、本ユーティリティの動作には、問題ありません。

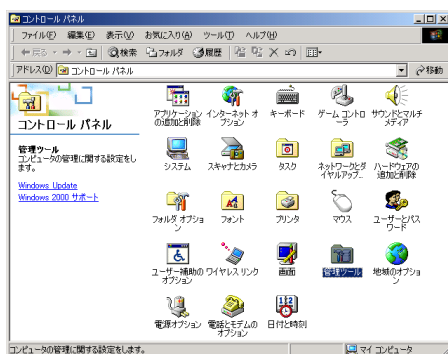
クライアント専用機の設定 (Windows 2000)

Windows 2000 が動作するパソコンを、クライアントの専用端末にする場合に必要な操作について説明します。以降で説明する操作を行うと、サーバ機能は停止し、サーバ機能が使用するメモリ資源を解放します。

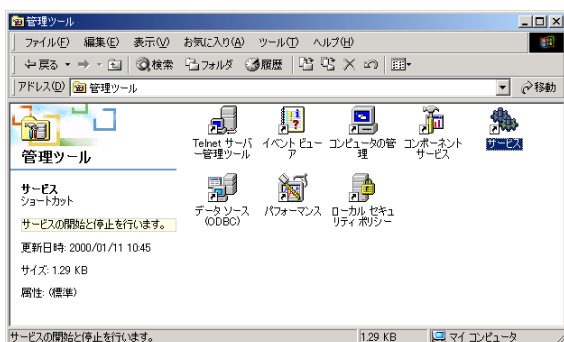
Windows 98 / 95 の設定は「[クライアント専用機の設定 \(Windows 98/95 \(210 ページ \)](#)」 Windows NT4.0 の設定は「[クライアント専用機の設定 \(Winodws NT4.0 \)](#)」(214 ページ) を参照してください。

1 パソコンを再起動する

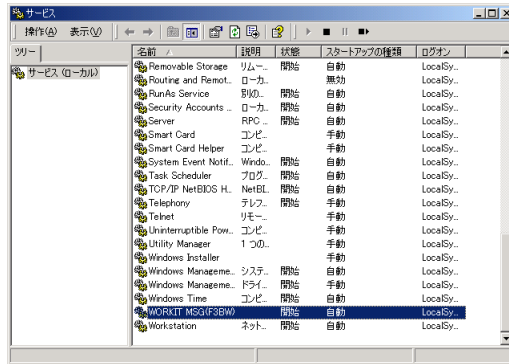
ネットワーク連携ユーティリティをインストール後、パソコンを再起動します。



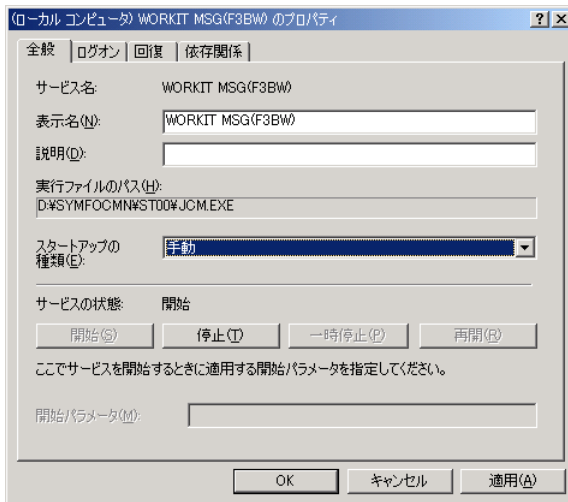
2 [スタート] から [設定] [コントロールパネル] の順で選択してコントロールパネルを開き、[管理ツール] をダブルクリックする



3 [サービス] をダブルクリックする



4 **〔WORKIT MSG(F3BW)〕**
をダブルクリックする



5 **〔スタートアップの種類〕**
を〔手動〕に変更し、
〔OK〕をクリックする

6 **〔Advanced Message Service(F3BW)〕**サービ
スを、手順4～5と同様
に設定する

〔Advanced Message Service (F3BW)〕をダブルクリックし、
〔スタートアップの種類〕を、
〔手動〕に変更して〔OK〕をク
リックします。

7 **コンピュータを再起動す
る**



ガイド

上記の操作をせずにクライアント専用機として運用した場合
も、本ユーティリティの動作には、問題ありません。

クライアント専用機の設定 (Windows NT4.0)

Windows NT4.0 が動作するパソコンを、クライアントの専用端末にする場合に必要な操作について説明します。以降で説明する操作を行うと、サーバ機能は停止し、サーバ機能が使用するメモリ資源を解放します。

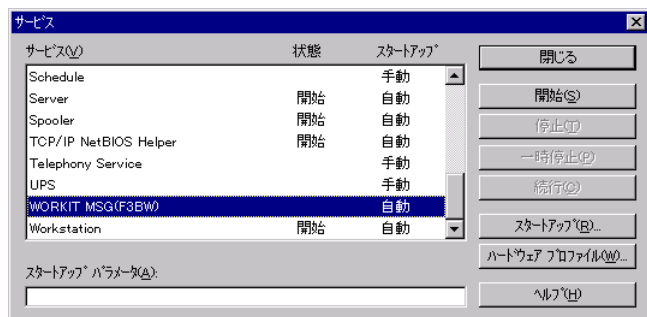
Windows 98/95 の設定は「クライアント専用機の設定 (Windows 98/95)」(210 ページ)、Windows 2000 の設定は「クライアント専用機の設定 (Windows 2000)」(212 ページ) を参照してください。

1 パソコンを再起動する

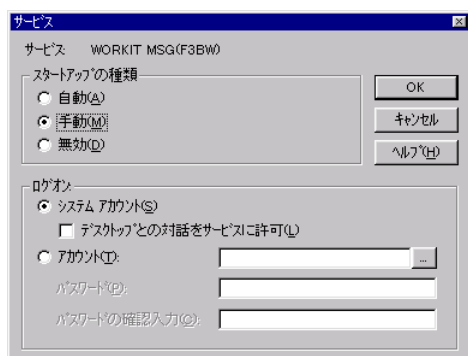
ネットワーク連携ユーティリティをインストール後、パソコンを再起動します。



2 [スタート] から [設定] [コントロールパネル] の順で選択してコントロールパネルを開き、[サービス] をダブルクリックする



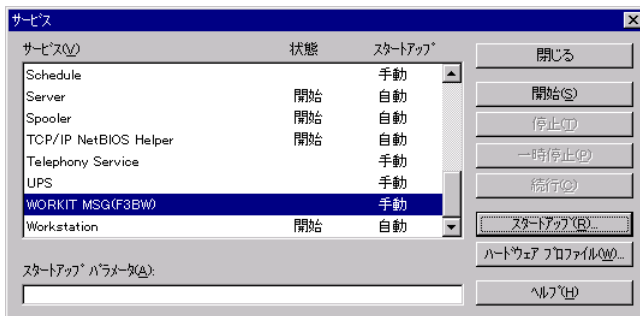
3 [WORKIT MSG (F3BW)] を選択し、[スタートアップ] をクリックする



4 [スタートアップの種類] を [手動] に変更し、[OK] をクリックする

5 [Advanced Message Service(F3BW)]サービスを、手順3～4と同様に設定する

[Advanced Message Service (F3BW)]を選択し、[スタートアップ]をクリックし、[スタートアップの種類]を[手動]に変更して、[OK]をクリックします。



6 [閉じる]をクリックする

7 コンピュータを再起動する



上記の操作をせずにクライアント専用機として運用した場合も、本ユーティリティの動作には、問題ありません。

到着通知パネルの操作方法

ネットワーク連携ユーティリティの到着通知パネルの操作方法について説明します。

到着通知パネルの起動

プリンタから送られてきたメッセージを画面上に表示させるには、到着通知パネルを起動する必要があります。到着通知パネルの表示方法は、次の2とおりあります。

〔到着通知パネルコンパクト〕



〔到着通知パネルワイド〕



到着通知パネルの起動は、次の手順で行います。

- 1 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ〕の順に選択する
- 2 〔到着通知パネルコンパクト〕または〔到着通知パネルワイド〕を選択する

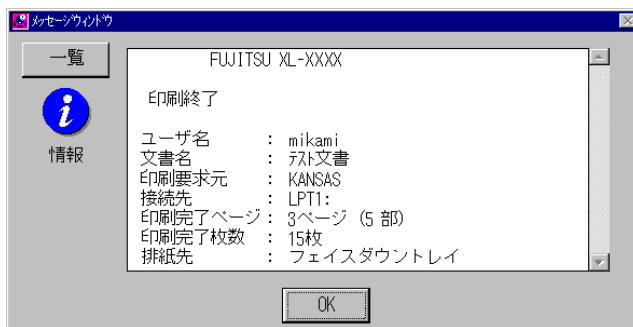
到着通知パネルの操作

通常、到着通知パネル上のアイコンは灰色で表示されています。このアイコンは、プリンタからメッセージが届くと点滅します。点滅するアイコンをクリックすると、ダイアログボックスが表示され、詳細な情報を見ることができます。

各アイコンの意味は次のとおりです。



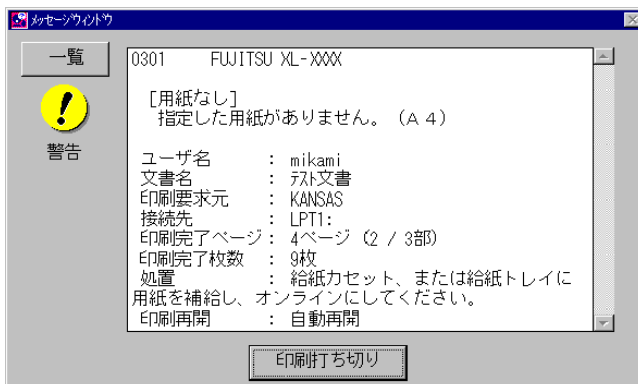
通知メッセージアイコン



印刷が終了したときに表示されます。クリックすると通知されたメッセージを見ることができます。なお、Printianaviの設定で「印刷の終了を通知する」が選択されていることが必要です。（「第3章 プリンタドライバの設定」の「Printianaviの設定」（151ページ）参照）



返答メッセージアイコン



エラーが発生したときに表示されます。クリックするとエラーメッセージを見ることができます。



- ・Windows の〔スタートアップ〕グループに到着通知パネルのショートカットを登録すると、Windows とともに到着通知パネルを起動できます。
- ・到着通知パネルを最小化して起動する場合は、到着通知パネルのショートカットアイコンのプロパティを開き、〔ショートカット〕ダイアログの〔実行時の大きさ〕を「最小化」に設定します。
- ・〔スタートアップ〕グループや、〔Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ〕グループは、次のフォルダを参照してください。(Windows 98/95 を ¥WINDOWS フォルダ、Windows NT4.0 を ¥WINNT フォルダにインストールした場合)

〔スタートアップ〕グループ

Windows 98/95:

¥WINDOWS¥スタート メニュー¥プログラム¥スタートアップ

Windows 2000:

¥Documents and Settings¥All Users

¥スタート メニュー¥プログラム¥スタートアップ

Windows NT4.0:

¥WINNT¥PROFILES¥ALL USERS¥スタート メニュー

¥プログラム¥スタートアップ

〔Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ〕グループ

Windows 98/95:

¥WINDOWS¥スタート メニュー¥プログラム¥Printianavi V3.1

¥Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

Windows 2000:

¥Documents and Settings¥All Users

¥スタート メニュー¥プログラム¥スタートアップ

¥Printianavi V3.1¥Printianavi ネットワーク連携

ユーティリティ

Windows NT4.0:

¥WINNT¥PROFILES¥ALL USERS¥スタート メニュー

¥プログラム¥Printianavi V3.1¥Printianavi ネットワーク連携

ユーティリティ

第6章

Printianavi マネージャ

Printianavi マネージャは、ローカル、LAN 接続、およびサーバ共有の Printianavi 対応 XL プリンタの情報参照や環境設定などを、パソコンから行えるようにします。この章では、Printianavi マネージャの使い方について説明します。

Printianavi マネージャをインストールする	220
動作環境と制限事項	220
必要なソフトウェアと設定	221
インストールの操作	222
インストール	222
管理者機能の追加・削除	225
アンインストール	227
再インストール	229
Printianavi マネージャの使い方	230
Printianavi マネージャを起動する	230
プリンタの状態や情報を表示する	234
プリントスプーラを操作する	236
メンテナンス情報について	237
管理者機能の使い方	239
ネットワークの設定を行う	239
ネットワーク情報の詳細	243

Printianavi マネージャをインストールする

動作環境と制限事項

▶ 動作環境

Printianavi マネージャは、次の環境で使用できます。

- ・ OS が Windows 98/95/2000/NT4.0

LAN接続されているプリンタまたはサーバの共有プリンタを管理する場合は、TCP/IP 環境が必要です。

▶ 制限事項

- ・ 本ソフトウェアは、XL プリンタ専用です。他のプリンタの情報参照や環境設定は行えません。
- ・ 情報参照や環境設定を行うプリンタは、すべて本ソフトウェアを起動するパソコンから印刷可能な設定になっている必要があります。Printianavi対応のPrintia XL プリンタドライバを必ずインストールしてください。

ただし、次のようなプリンタは、情報を取得できないため、エラー表示となります。

- ・ NetWare 環境で使用している（TCP/IP 環境との共有も含む）プリンタ
- ・ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティが正常に起動していないサーバの共有プリンタ

また、双方向機能が使用できない接続形態（NetWare 接続など）のプリンタがエラー表示される場合、以下の方法でPrintianaviマネージャのプリンター一覧表示から削除できます。

Windows 98/95

プリンタプロパティの〔詳細〕の「スプールの設定」で、「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」を選択してください。

Windows 2000/NT4.0

プリンタプロパティの〔ポート〕で、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。

▼ 必要なソフトウェアと設定

■ 必要なソフトウェア

- **Printia XL ドライバ**

本ソフトウェアとともに、Printia XL ドライバ (Printianavi) が必要です。

- **Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ**

プリンタをクライアント / サーバ接続した環境のときに必要です。

- **Printianavi ネットワークポートモニタ**

LAN接続されているプリンタを使用する場合に必要です。

各ソフトウェアは、プリンタに添付されている CD-ROM の中にあります。

Printia XLドライバのインストールについては、「[第2章 プリンタドライバのインストール](#)」(27 ページ)、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールについては、「[第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ](#)」(195 ページ)、Printianavi ネットワークポートモニタのインストールについては、「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」(163 ページ)を参照してください。

■ 必要な設定

- **ネットワークプロトコル (TCP/IP) の設定**

サーバの共有プリンタやLAN接続されているプリンタの管理を行う場合は、TCP/IP環境の設定が必要です。設定は、システム管理者が行います。

ネットワークのプロトコルは、TCP/IPを使用してください。

インストールの操作

ここでは、Printianaviマネージャのインストール方法やアンインストールの方法などを説明します。

それぞれの場合について、以下のページを参照してください。

- ・Printianavi マネージャがインストールされていない状態からインストールするとき
「インストール」（このページ）
- ・Printianavi マネージャをインストールした後に管理者機能を追加または削除するとき
「管理者機能の追加・削除」（225ページ）
- ・インストールされている Printianavi マネージャを削除するとき
「アンインストール」（227ページ）
- ・Printianavi マネージャを再インストールするとき
「再インストール」（229ページ）

▼ インストール

Windows 98/95/2000/NT4.0 が動作するパソコンに、Printianavi マネージャをインストールする操作について説明します。



インストールの前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows を起動する

Windows 2000/NT4.0 の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする



3 [Printianavi マネージャ]
をクリックする



4 内容を確認し、[次へ]
をクリックする



5 表示されたディレクトリ
にインストールしてよ
ければ、[次へ]をクリッ
クする

他のディレクトリにインストールするときは、[参照]をクリックして指定します。



ガイド インストール先のドライブに空き領域があることを確認して指定してください。



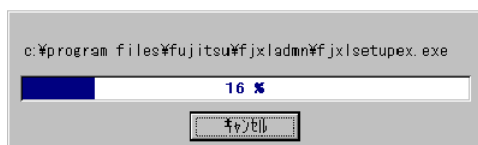
6 管理者機能をインストールするかしないかを選択して、「次へ」をクリックする

管理者機能をインストールすると、プリンタのネットワークに関する情報の参照や設定を行うことができます。(「[管理者機能の使い方](#)」(239ページ)を参照してください。)

ガイド 管理者機能は、インストール後でも追加 / 削除できます。
(「[管理者機能の追加・削除](#)」(225ページ))



7 必要に応じてプログラムフォルダを変更し、「次へ」をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



8 「完了」をクリックする

管理者機能の追加・削除

Printianaviマネージャインストール後に、管理者機能を追加 / 削除する操作について説明します。

お願い

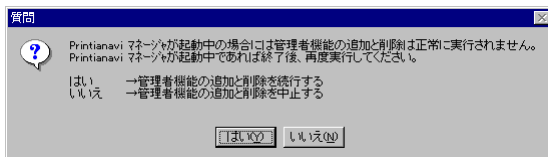
インストールの前に、Printianavi マネージャおよび起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows 98/95/2000/NT4.0 を起動する

Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2 追加と削除プログラムを起動する

本ソフトウェアがインストールされている状態で、
〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi マネージャ〕〔追加と削除〕の順に選択します。



3 Printianavi マネージャを起動していない場合は、〔はい〕をクリックする

Printianavi マネージャを起動している場合は、〔いいえ〕をクリックして処理を中止し、Printianavi マネージャを終了します。



4 処理を選択して、〔次へ〕をクリックする



5 「完了」をクリックする

指定した処理が実施され、処理が終了したことを示すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックします。

(図は管理者機能を追加インストールした場合の例)

▼ アンインストール

Windows 98/95/2000/NT4.0が動作するパソコンから、Printianaviマネージャをアンインストールする操作について説明します。

お願い

インストールの前に、Printianavi マネージャおよび起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

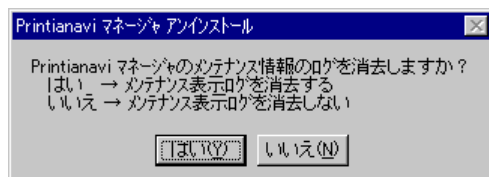
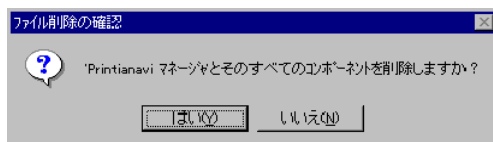
1 Windows 98/95/2000/NT4.0 を起動する

Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2 アンインストールプログラムを実行する

アンインストールプログラムを実行するには、次の2つの方法があります。

- ・〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi マネージャ〕〔すべて削除〕の順に選択します。
- ・コントロールパネルの〔アプリケーションの追加と削除〕を起動し、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の「インストールと削除」(Windows 95の場合は「セットアップと削除」、Windows 2000の場合は「現在インストールされているプログラム」)の一覧から〔Printianavi マネージャ〕を選択し、〔追加と削除〕(Windows 2000の場合は「変更 / 削除」)をクリックします。



3 「はい」をクリックする アンインストールが開始されます。

Printianavi マネージャ使用中にメンテナンス情報のログが作成された場合は、ログを消去するかどうかの画面が表示されます。

ログを消去する場合は「はい」を、残す場合は「いいえ」をクリックしてください。



4 「アンインストールが完了しました」というメッセージを確認し、[OK]をクリックする

再インストール

Printianavi マネージャを再インストールする操作について説明します。

お願い

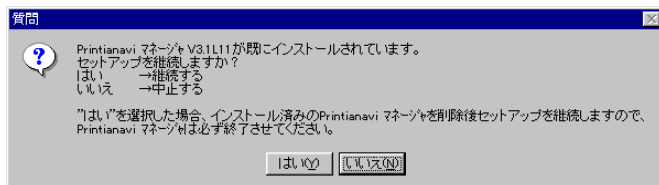
インストールの前に、Printianavi マネージャおよび起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

1 Windows 98/95/2000/NT4.0 を起動する

Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

3 [Printianavi マネージャ] をクリックする



すでに Printianavi マネージャがインストールされている場合は、次のような画面が表示されます。(画面は Printianavi マネージャ V3.1L11 がインストールされていた場合)

4 「はい」をクリックする

Printianavi マネージャがアンインストールされます。

アンインストールが終了すると、続けてインストールを開始します。

インストール操作については、「インストール」の手順 4 (223 ページ) 以降と同様です。

Printianavi マネージャの使い方

Printianaviマネージャを起動し、情報表示や各設定を行う操作について説明します。

Printianavi マネージャを起動する

Printianavi マネージャを起動するには、次の2つの方法があります。

- ・ デスクトップに作成された〔Printianaviマネージャ〕のショートカットをダブルクリックする
- ・ 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi マネージャ〕〔Printianavi マネージャ〕の順に選択する

画面の説明

Printianavi マネージャを起動すると、次のような画面が表示されます。



〔閉じる〕ボタン: Printianavi マネージャを終了します。

▶ プリンター一覧

Windows 上に定義されたプリンタの一覧および状態を表示します。
(「[プリンター一覧](#)」(234 ページ)を参照してください。)

また、通常使うプリンタの指定やプリントスプーラの一時停止 / 印刷再開も行うことができます。(「[プリントスプーラを操作する](#)」(236 ページ)を参照してください)

▶ プリンタ個別情報

プリンター一覧で選択したプリンタの詳細情報を表示します。

〔状態〕..... プリンタの状態や情報を表示します。
(「[プリンタ個別情報 \(〔状態〕\)](#)」(235 ページ)を参照してください。)


〔ネットワーク〕..... プリンタのネットワーク環境の表示、設定を行います。(「[プリンタ個別情報 \(〔ネットワーク〕\)](#)」(239 ページ)を参照してください。)




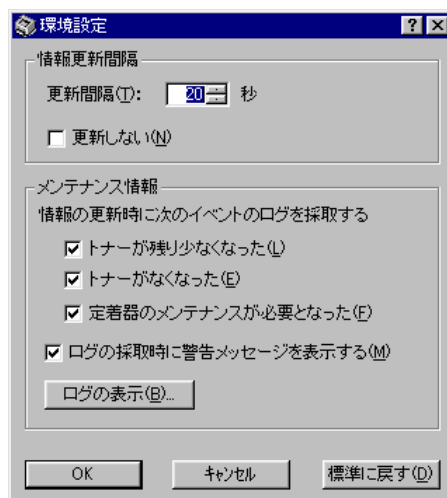
〔ネットワーク〕は、管理者機能をインストールしたときのみ表示されます。

ツールバー

ツールバー上の各ボタンの機能について説明します。

 最新の情報に更新 クリックすると、プリンター一覧、プリンタ個別情報の〔状態〕、および〔ネットワーク〕の情報を最新に更新します。

 環境設定 クリックすると、次の環境設定画面を表示します。



更新間隔 プリンター一覧および〔状態〕の情報更新間隔（5秒～999秒）を設定します
初期値は、20秒です。

更新しない プリンター一覧および〔状態〕の情報更新を行わないときにチェックします。

トナーが残り少なくなった
プリンタのトナーが残り少ないことを示すログを採取するときにチェックします。

トナーがなくなった
(XL-6700のみ)
プリンタのトナーの残りがなくなったことを示すログを採取するときにチェックします。

定着器のメンテナンスが必要となった
(XL-6100のみ) プリンタの定着器の交換時期
がきたことを示すログを採取
するときにチェックします。

ログの採取時に警告メッセージを表示する
..... ログの採取と同時に警告メッ
セージを表示するときに
チェックします。

ログの表示 プリンタのトナーや定着器の
警告情報を保存したログを表
示したりテキストに保存した
りするときにクリックします。



- ・環境設定は、〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V3.1〕〔Printianavi マネージャ〕〔環境設定〕の順に選択してもできます。
- ・メンテナンス情報に関する詳細は、「[メンテナンス情報について](#)」(237 ページ) を参照してください。



プレスタート プリンター一覧で選択されているプリンタの
(XL-6100のみ) ウォームアップを開始します。プリンタが
パワーセーブ状態になっていると、通常は
印刷データがプリンタに送られてから
ウォームアップを開始するため印刷までに
余分に時間がかかりますが、印刷前にこの
ボタンを使用するとあらかじめウォーム
アップさせておくことができます。



ヘルプ クリックするとマウスカーソルの形状がヘル
プ形式のものとなります。この状態で説
明を表示したいフィールドをクリックする
と、ヘルプを表示します。






バージョン情報 バージョン情報を表示します。
バージョン情報表示画面の中をクリックす
ると、表示を終了します。



▼ プリンタの状態や情報を表示する

■ プリンター一覧

Windows 上に定義されたプリンタのうち、XL プリンタの一覧を表示します。

プリンタ名	状態	ドキュメント	コメント
 FUJITSU XL-XXXX	カバーオープン	0	3Fフロア共用
 FUJITSU XL-YYYY		0	課長席横のプリンタ
 FUJITSU XL-ZZZZ	パワーセーブ	0	

◆ ガイド

プリンター一覧には、XL プリンタのうち、以下の条件を満たすもののみ表示されます。

- ・プリンタのプロパティで、双方向通信をするように設定されている。(Windows 98/95 のときは〔詳細〕ダイアログの「スプールの設定」、Windows 2000/NT4.0 のときは〔ポート〕ダイアログ)
- ・印刷可能なポートのうち、設定されている印刷先ポートが以下でないこと
 - ・FILE
 - ・LPR (Windows 2000/NT4.0)
 - ・Standard TCP/IP (Windows 2000)
 - ・FM-LNA100
 - ・XL-LN100

また、Windows では同一ポートに複数のプリンタを定義することができますが、Printianavi マネージャで表示されるプリンタは混乱を避けるため、次のようにすることをお勧めします。

- ・実際に接続されていないプリンタを削除する
 - ・実際に接続されていないプリンタの印刷先ポートをFILE:に変更し、Printianavi マネージャの管理対象から外す
- 例：LPT1 に XL-5320 と XL-5720 を定義しているが、実際に接続されているプリンタが XL-5720 のとき、XL-5320 を削除する

プリンタ名 プリンタの状態を示すアイコンの横にプリンタ名が表示されます。
 ここには、プリンタにつけた名前(〔スタート〕〔設定〕〔プリンタ〕で表示されるプリンタの名前)が表示されます。
 また、この一覧で選択したプリンタは、プリンタ個別情報でさらに詳しい情報の参照や設定を行うことができます。

状態 プリンタの状態を表示します。

詳細については、[付録の「メッセージ一覧」\(252 ページ\)](#)を参照してください。

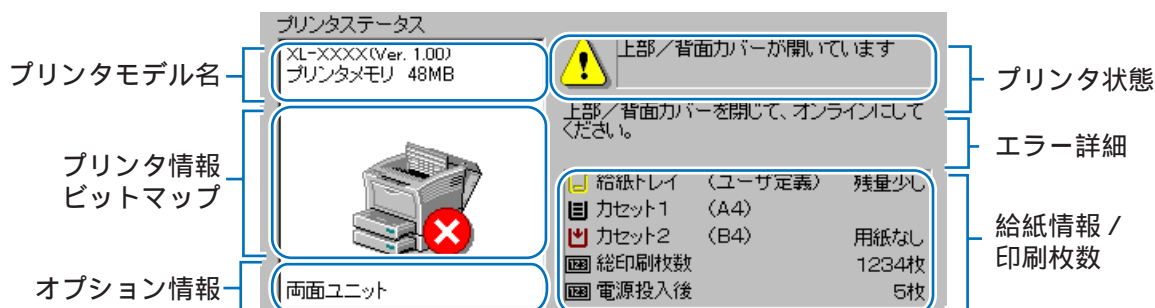
ドキュメント Printianavi マネージャを起動したコンピュータから印刷を行い、印刷中または印刷待ち状態となっているドキュメントの数を表示します。(ネットワークプリンタの場合は、プリントサーバ上のスプーラ中に存在するドキュメントの数を表示します。)

コメント プリンタのプロパティで入力されたプリンタのコメントを表示します。

■ プリンタ個別情報 (〔状態〕)

参照したいプリンタをプリンター一覧から選択すると、詳細情報が〔状態〕に表示されます。

〔状態〕に表示される情報は、次のとおりです。



プリンタモデル名 プリンタのモデル名、ファームウェアバージョン、メモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ プリンタの状態をビットマップで表示します。

オプション情報 プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。

プリンタ状態 プリンタ本体のオペレータパネルの情報を表示します。

プリンタとの双方向通信ができない場合は、その旨のエラーメッセージを表示します。

エラー詳細 エラーの詳細やリカバリ方法を表示します。

給紙情報 / 印刷枚数 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。(両面印刷時は、表 / 裏を各 1 枚としてカウントします。)

表示されるメッセージやアイコンの詳細については、[付録の「メッセージ一覧」\(252 ページ\)](#)を参照してください。

▼ プリントスプーラを操作する

プリンター一覧から操作するプリンタを選択し、マウスの右ボタンをクリックすると、次のようなメニューが表示されます。

プリンタ名	状態	ドキュメント	コメント
FUJITSU	一時停止(A)	0	3Fフロア共用
FUJITSU	✓ 通常使うプリンタに設定(E)	0	課長席横のプリンタ
FUJITSU	プロパティ(P)	0	

各メニューの機能は、次のとおりです。

一時停止 スプーラの一時停止、印刷再開を行います。
一時停止状態のときは、メニューの前に
チェックマーク (✓) が表示されます。

ガイド プリンタ操作を行う権限のないユーザでログオンした場合や、サーバ共有のプリンタに対しては一時停止の操作は行えません。

通常使うプリンタに設定 通常使うプリンタに設定します。
通常使うプリンタに設定されているときは、
メニューの前にチェックマーク (✓) が表示
されます。

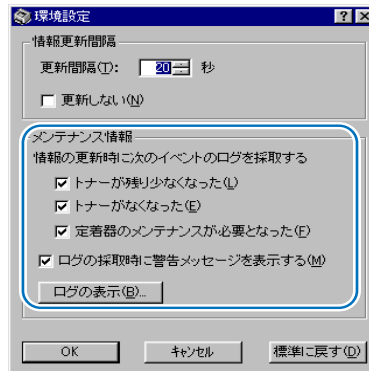
ガイド [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択し、プリンタを選択して [ファイル] メニューから「通常使うプリンタに設定」を選んで同じ設定になります。

プロパティ プリンタのプロパティを表示します。
ただし、表示 / 設定できるダイアログは、次のように限定されます。(Windows 98/95/2000/NT4.0)
用紙、レイアウト、グラフィックス、印刷オプションなど、ここで設定した内容は、Windows 98/95 のときは「[スタート] からの設定画面 (プリンタのプロパティ)」(85 ページ)、Windows 2000 のときは「[スタート] からの設定画面 (印刷設定)」(92 ページ)、Windows NT4.0 のときは「[スタート] からの設定画面 (ドキュメントの既定値)」(100 ページ) に反映されます。


ガイド Windows 2000/NT4.0 のとき、一般ユーザは印刷設定 (Windows NT4.0 はドキュメントの既定値) およびここで表示されるプロパティの内容は変更できません。

▼ メンテナンス情報について

環境設定のメンテナンス情報では、プリンタのトナーカートリッジや定着器の交換時期などの情報を管理することができます。



環境設定の表示方法は、次の2つの方法があります。

- ・ Printianavi マネージャを起動し、ツールバーの環境設定ボタン() をクリックする
- ・ [スタート] から [プログラム] [Printianavi V3.1] [Printianavi マネージャ] [環境設定] の順に選択する

▶ 管理するメンテナンス情報を指定する

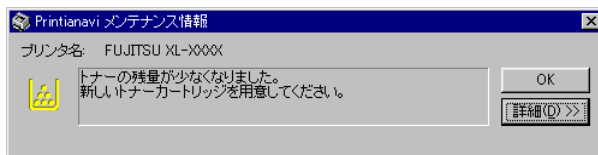
Printianavi マネージャ起動中に発生した以下のメンテナンス情報のログを採取するかどうかを設定します。

トナーが残り少なくなった プリンタのトナーが残り少ないことを示すログを採取するときにチェックします。

トナーがなくなった プリンタのトナーの残りがなくなったことを示すログを採取するときにチェックします。(XL-6700のみ)

定着器のメンテナンスが必要となった ... 定着器の交換時期がきたことを示すログを採取するときにチェックします。(XL-6100のみ)

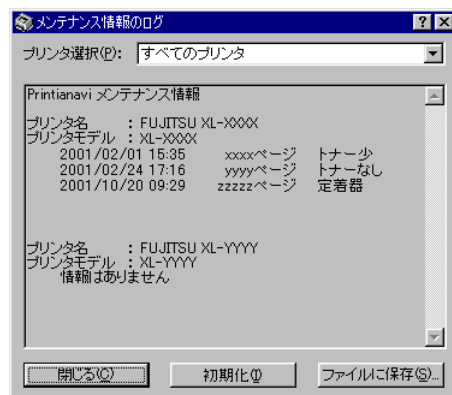
また「ログの採取時に警告メッセージを表示する」をチェックすると、ログを採取するメンテナンス情報が発生したときに、次のようなトナーや定着器に関するメンテナンス情報のメッセージを表示します。
(画面の例はトナーの残りが少なくなったときのメッセージ)



さらに、表示されたメッセージで「詳細」をクリックすると、メンテナンス情報の発生日時、印刷枚数やメッセージの履歴、処置方法などのより詳細な情報を見ることができます。

▶ ログを表示 / 保存 / 初期化する

採取したログは「ログの表示」をクリックして表示 / 保存 / 初期化することができます。



- ・ログを表示するとき
メンテナンス情報のログを表示するプリンタを「プリンタ選択」で選択します。
「すべてのプリンタ」を選択すると、Printianaviマネージャのプリンター一覧に表示されているすべてのプリンタの情報を表示します。
- ・ログを保存するとき
表示されたログを保存するときは、「ファイルに保存」をクリックし、「メンテナンス情報を保存」ダイアログで、保存先のフォルダとファイル名を指定して「保存」をクリックします。
ログは、テキスト形式で保存されます。
- ・ログを初期化するとき
表示されたログを初期化するときは、「初期化」をクリックします。

管理者機能の使い方

ここでは、管理者機能をインストールしたときに行える情報表示や各設定の操作について説明します。

▼ ネットワークの設定を行う

Printianaviマネージャに管理者機能をインストールすると、プリンタ個別情報に〔ネットワーク〕が追加表示されます。

〔ネットワーク〕では、プリンタのネットワークに関する情報の参照や設定を行うことができます。

プリンター一覧で設定または参照したいプリンタを選択して、プリンタ個別情報の〔ネットワーク〕のタブをクリックしてください。

■ プリンタ個別情報 (〔ネットワーク〕)

プリンタ個別情報の〔ネットワーク〕タブに表示される情報と基本的な操作について説明します。



▶ ネットワーク情報を参照する

「表示項目」から参照する情報を選択すると、情報表示部にその情報が表示されます。

基本情報 ネットワークの基本情報を表示します。

TCP/IP 設定 TCP/IP の設定内容を表示します。

ポート番号 TCP/IP で使用するポート番号を表示します。

SNMP 設定 TCP/IP の SNMP コミュニティ情報を表示します。

トラップ 1 SNMP のトラップ通知に関する設定内容を表示しま
〜トラップ 4 ます。

情報 SNMP 設定内容を表示します。

NetWare 設定 NetWare の設定内容を表示します。

(XL-6100/6700 のみ)

各項目の詳細については、「[ネットワーク情報の詳細](#)」(243 ページ)を参照してください。

▶ ネットワーク情報を変更する

目的のネットワーク情報を表示し、設定を変更して〔更新〕をクリックします。変更した内容がプリンタに設定されます。

〔元に戻す〕をクリックすると、変更前の設定内容に戻します。



- ・ネットワーク情報を変更するには、プリンタに設定されたパスワードの入力が必要です。〔パスワード〕をクリックして、パスワードを入力してください。詳細については、「[セキュリティについて](#)」(241 ページ)を参照してください。
- ・設定を行うプリンタが印刷中やエラー状態でないことを確認してください。
- ・TCP/IPの設定を変更すると、プリンタとの通信ができなくなる場合があります。設定変更後に「プリンタからの応答がありません」と表示される場合は、プリンタ/パソコン双方のネットワーク設定を確認してください。

以下に画面遷移を示します。

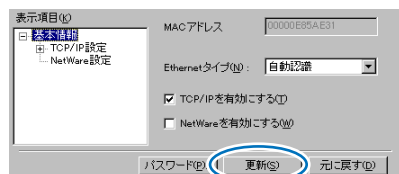
〔ネットワーク〕を表示した直後は、設定は変更できません。



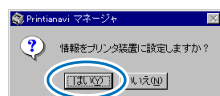
↓ 〔パスワード〕をクリック



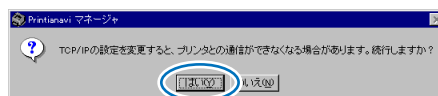
↓ パスワードを入力して〔OK〕をクリック
設定を変更できるようになります。



↓ 設定を変更し、〔更新〕をクリック
(LAN接続のプリンタに対してTCP/IPの設定変更時)



または



〔はい〕をクリックすると、変更内容がプリンタに反映されます。

お願い

- ・複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。設定変更に失敗する場合があります。
- ・ネットワーク設定の変更を行うと、プリンタは変更情報を反映するために初期化処理を行います。その際、プリンタが受信した印字データも初期化してしまいます。絶対にネットワーク設定変更中に印刷操作を行わないでください。

また、初期化処理終了後に文字化けなどの印刷異常が発生する場合があります。特にパラレルポートとLAN両方を接続した運用では注意が必要です。ネットワーク設定を変更する場合、必要のないポートのケーブルは外してください。

セキュリティについて

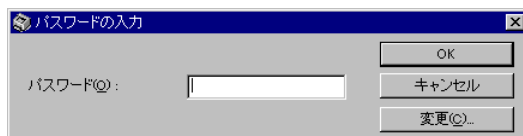
〔ネットワーク〕では、ネットワーク情報の参照はできますが、設定を変更するには、パスワードの入力が必要です。

ガイド

- ・プリンタが工場出荷時の初期状態は、パスワードは設定されていません。
〔パスワードの入力〕ダイアログが表示されたら、「パスワード」には何も入力せず、〔変更〕をクリックして、パスワード設定してください。パスワードは、設定を行ったプリンタに記憶されます。プリンタが複数台ある場合は、それぞれ設定してください。
- ・パスワードを入力すると、次のいずれかの操作を行うまで設定の変更を行うことができます。
 - ・〔最新の情報に更新〕ボタンをクリックする
 - ・〔状態〕タブを選択する
 - ・「プリンター一覧」で他のプリンタを選択する

▶ パスワードを入力する

〔パスワード〕をクリックすると、〔パスワードの入力〕ダイアログが表示されます。



「パスワード」にパスワードを入力し、〔OK〕をクリックすると、プリンタにパスワードを確認します。パスワードが正しければ、設定を変更できるようになります。パスワードが誤っていると、「パスワードが違います」というエラーダイアログが表示されます。〔OK〕をクリックすると、再度、パスワード入力する画面が表示されます。

〔変更〕をクリックすると、〔パスワードの変更〕ダイアログが表示されます。（次項参照）

〔キャンセル〕をクリックすると、〔パスワードの入力〕ダイアログを閉じ、元の画面に戻ります。

▶ パスワードを変更する

〔パスワードの入力〕ダイアログで、〔変更〕をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



「古いパスワード」に、現在設定されているパスワードを入力します。（設定されていない場合は、何も入力しない。）

「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に、変更後のパスワードを半角英数字 15 文字以内で入力します。

〔OK〕をクリックすると、プリンタにパスワードを確認します。パスワードが正しければ、「新しいパスワード」に入力したパスワードに変更されます。

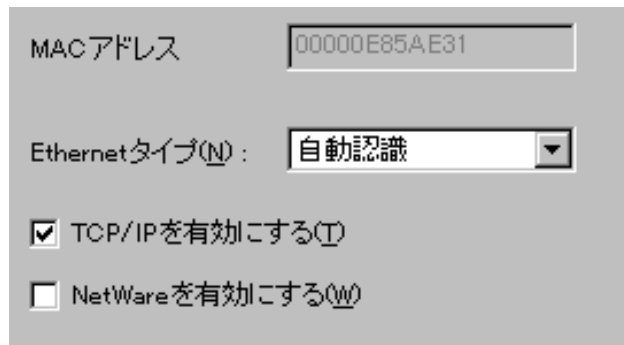
〔キャンセル〕をクリックすると、〔パスワードの変更〕ダイアログを閉じ、元の画面に戻ります。

▼ ネットワーク情報の詳細

情報表示部に表示される情報について説明します。

■ TCP/IP、NetWare 共通の設定

▶ 基本情報



MACアドレス 00000E85AE31

Ethernetタイプ(N): 自動認識 ▼

☒ TCP/IPを有効にする(T)

☐ NetWareを有効にする(W)

MAC アドレス プリンタのMAC アドレスを表示します。変更はできません。

Ethernet タイプ プリンタの Ethernet タイプを次の中から設定します。

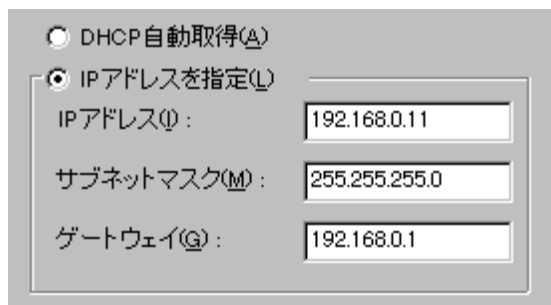
自動認識、100Mbps Full、
100Mbps Half、10Mbps

TCP/IP を有効にする TCP/IP の使用、未使用を設定します。

NetWare を有効にする NetWare の使用、未使用を設定します。
(XL-6100/6700 のみ)

TCP/IP の設定

▶ TCP/IP 設定

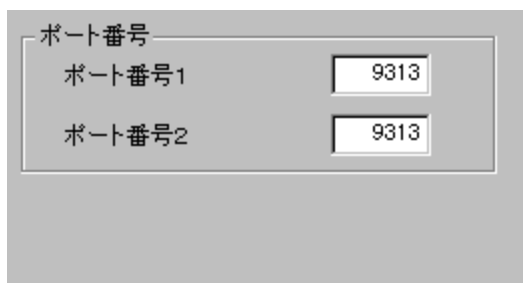


DHCP 自動取得 IP アドレスを DHCP より取得します。

IP アドレスを指定 IP アドレスを手動で指定します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを、半角数字とピリオドで設定します。形式は、「XXX.XXX.XXX.XXX」です。

▶ ポート番号



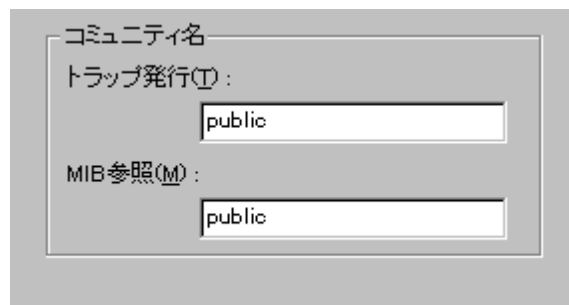
ポート番号 1 印刷を受け付けるときに使用するポート番号を、半角数字 (1 ~ 65535 の範囲) で設定します。初期値は 9313 です。

ポート番号 2 ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を、半角数字 (1 ~ 65535 の範囲) で設定します。初期値は 9313 です。



ポート番号は通常お使いになる場合は変更の必要はありません。変更した場合は、Printianavi ネットワークポートモニタの設定も同じ値に変更してください。

▶ SNMP 設定



The image shows a dialog box for SNMP settings. It has a title bar and a main area with two labels and text input fields. The first label is 'コミュニティ名' (Community Name) and the second is 'MIB参照(M)' (MIB Reference). Both fields contain the text 'public'. Above the first field is the label 'トラップ発行(T):' (Trap Sending).

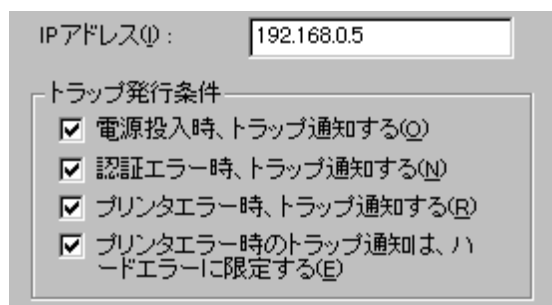
トラップ発行 トラップ発行時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で設定します。

初期値は public です。

MIB 参照 MIB 参照時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で設定します。

初期値は public です。

▶ トラップ 1 ~ トラップ 4



The image shows a dialog box for trap settings. It has a title bar and a main area. At the top is a label 'IPアドレス(I):' (IP Address) with a text input field containing '192.168.0.5'. Below this is a section titled 'トラップ発行条件' (Trap Sending Conditions) with four checkboxes, all of which are checked. The checkboxes are: '電源投入時、トラップ通知する(Q)' (When power is turned on, send trap notification), '認証エラー時、トラップ通知する(N)' (When authentication error occurs, send trap notification), 'プリンタエラー時、トラップ通知する(R)' (When printer error occurs, send trap notification), and 'プリンタエラー時のトラップ通知は、ハードエラーに限定する(E)' (Trap notification at printer error is limited to hard error).

IP アドレス トラップ発行先の IP アドレスを設定します。
半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で設定してください。

トラップ発行条件 トラップ発行を行うときの条件を設定します。



「プリンタエラー時のトラップ通知は、ハードエラーに限定する」は、トラップ 1 ~ トラップ 4 まで同一設定となります。変更は、トラップ 1 の画面より行ってください。

▶ 情報

情報	設定値
システム管理者	
プリンタ装置名	
設置場所	
プリンタ管理者	
故障時の連絡先	

変更(C)...

情報を変更するときは、目的の情報を選択し、〔変更〕をクリックします。

システム管理者 SNMP マネージャに通知するシステム管理者名を半角 63 文字以内で設定します。

プリンタ装置名 SNMP マネージャに通知するプリンタ装置名を半角 63 文字以内で設定します。

設置場所 SNMP マネージャに通知する設置場所を半角 63 文字以内で設定します。

プリンタ管理者 SNMP マネージャに通知するプリンタ管理者名を半角 63 文字以内で設定します。

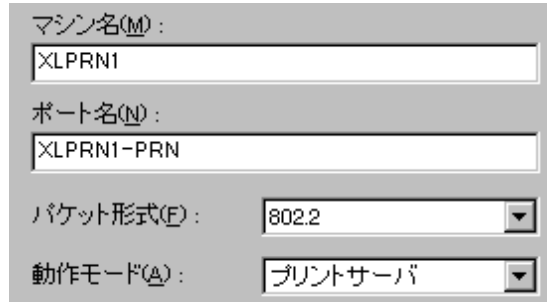
故障時の連絡先 SNMP マネージャに通知する故障時の連絡先を半角 63 文字以内で設定します。



情報の設定は、全角 31 文字以内での入力も可能ですが、記号（「(株)」や「Tel.」など）や半角カナには対応しておりません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をおすすめします。

■ NetWare の設定

▶ NetWare 設定



マシ名(M):
XLPRN1

ポート名(P):
XLPRN1-PRN

パケット形式(F): 802.2

動作モード(A): プリントサーバ

- マシン名 マシン名を半角英数字 31 文字以内で設定します。
- ポート名 プリンタの NetWare プリンタポート名を、半角英数字 31 文字以内で設定します。
- パケット形式 プリンタが使用するパケットのフレームタイプを次の中から設定します。
Ethernet- 、802.3、802.2、SNAP
- 動作モード プリンタの動作モードをリモートプリンタモードとプリントサーバモードのどちらにするか設定します。



ガイド

Printianavi マネージャで設定できる内容だけでは、NetWare 環境で使用することはできません。NetWare 環境で使用するためには、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティで設定を行ってください。

■ エラー表示

情報を取得できなかったときには、次のエラーを表示します。

▶ 情報表示時

「プリンタからの応答がありません」

意味：プリンタの電源が投入されていない、あるいはプリンタとの接続が正しく行われていません。

- 対処：1. プリンタの電源を確認してください。
2. プリンタとの接続（プリンタケーブル、LANケーブル）が正しく行われているか確認してください。
3. LAN 接続の場合は、プリンタ装置と印刷先ポートのIPアドレスが同じになっているか確認してください。

「プリンタからの情報取得ができません」

意味：パソコン側の環境設定が異常です。

- 対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。
2. プリンタの設定を確認してください。
3. サーバ共有のプリンタの場合、サーバ上に「ネットワーク連携ユーティリティ」がインストールされていて、「Printianavi LM Rpcss」サービスが起動されていることを確認してください。

「システムエラーが発生しました」

意味：Printianavi マネージャで異常が発生しました。

- 対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。
2. 対処1で復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。

▶ 情報設定時

「プリンタからの応答がありません」

意味：情報設定中にプリンタの電源が切断された可能性があります。

対処：1. プリンタの電源を確認してください。

2. Printianavi マネージャを再起動し、再度設定し直してください。

「情報設定ができません」

意味：パソコン側の環境設定が異常です。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. プリンタの設定を確認してください。

3. サーバ共有のプリンタの場合、サーバ上に「ネットワーク連携ユーティリティ」がインストールされていて、「Printianavi LM Rpcss」サービスが起動されていることを確認してください。

「プリンタ装置が他で使用中です」

意味：プリンタが他で使用中のため、設定できません。

対処：1. プリンタが他で使用されていないことを確認後、再度設定し直してください。

「システムエラーが発生しました」

意味：Printianavi マネージャで異常が発生しました。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. 対処1で復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。

付 録

Printianavi から通知されるエラーメッセージとステータスの一覧、および問題が発生した場合の対処方法（トラブルシューティング）について示します。





メッセージ一覧	252
プリンター一覧 (Printianavi マネージャ).....	252
プリンタステータス (Printianavi マネージャ、 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、 Printia XL ドライバ).....	254
Printianavi によるメッセージ表示一覧	264
ネットワーク用語の解説	280
LPR Port 印刷について	282
Windows 2000 のとき	282
Windows NT4.0 のとき	287
NetWare5 のとき	291
ソフトウェアに関するトラブルシューティング	294
セットアップ時のトラブルシューティング	294
運用時のトラブルシューティング	298
ソフトウェアに関する留意事項	308
他の Windows OS から Windows 2000 へ アップグレードする場合	308
Windows 2000 環境で使用時の留意事項	309



メッセージ一覧

▼ プリンター一覧 (Printianavi マネージャ)



Printianavi マネージャの
〔プリンター一覧〕

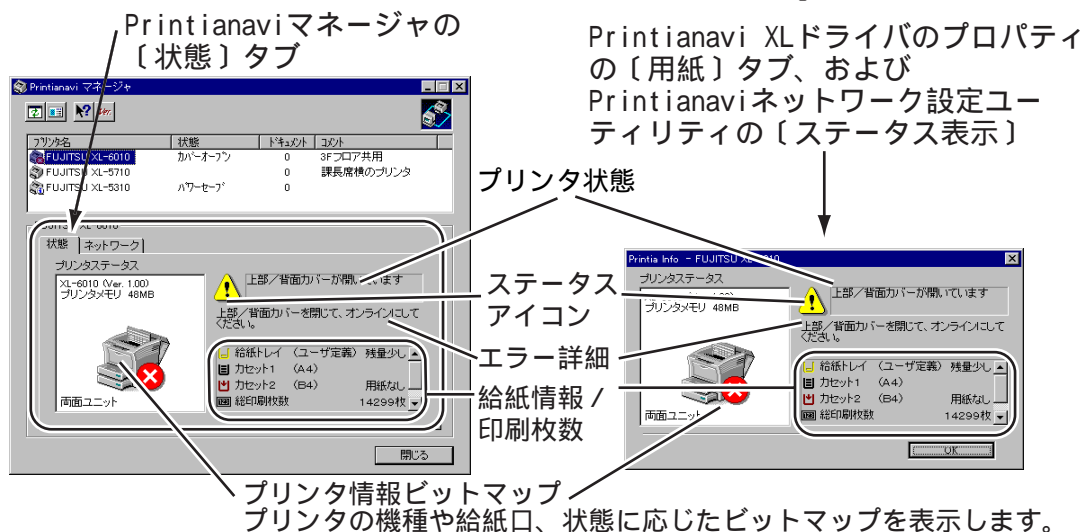
表示内容	意味	アイコン	備考
(空白)	プリンタは正常状態です。		プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
印刷中	印刷中です。		
停止中	プリンタが一時停止状態となっています。		
他で使用中	プリンタが他のコンピュータより使用されています。		情報あり
セットアップ 中	プリンタがセットアップ中です。		
プリンタ空き待ち	プリンタが他のコンピュータより使用されており、その終了を待ち合せています。		
準備中	プリンタの印刷準備完了を待ち合せています。		警告あり
パワーセーブ	プリンタがパワーセーブ状態です。		
印刷設定中	プリンタが印刷設定中です。		
トナー少	トナーが残り少なくなっています。		
印刷中 (トナー少)	印刷中かつトナーが残り少なくなった状態です。		

表示内容	意味	アイコン	備考
オフライン	プリンタがオフライン状態です。		プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
用紙なし	プリンタの用紙がありません。		
カセットなし	プリンタのカセットがセットされていません。		
カバーオープン	プリンタがカバーオープン状態です。		
ユニット確認 (注1)	プリンタの給紙トレイ (XL-6100/6700) 両面ユニット (XL-6100) または定着器 (XL-6100) が外れています。	異常状態	
用紙交換	プリンタの用紙を交換してください。		
用紙サイズエラー	プリンタの用紙サイズが違います。		
紙詰まり	プリンタが紙詰まり状態です。		
トナーなし (注2)	プリンタのトナーがなくなりました。		
カートリッジなし	プリンタのプロセスカートリッジが正しくセットされていません。		
カートリッジ交換 (注2)	プリンタのプロセスカートリッジを交換してください。		
トレイフル (注1)	プリンタの排紙トレイ (XL-6100) フェイスダウントレイまたは拡張トレイ (XL-6700) に用紙がたまっています。		
解像度指定無効 (注1)	プリンタで印刷できない解像度が指定されました。		
メモリ不足	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えない状態です。		
メモリオーバー	プリンタでメモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。		
プリンタリセット	プリンタがプリンタリセットエラー状態です。		
カセット故障 (注2)	プリンタのカセットが故障しています。		
ユニット故障 (注2)	プリンタのユニットが故障しています。		
ハードエラー	プリンタがハードエラー状態です。		
通信エラー	プリンタとの通信が異常となりました。		
応答なし	プリンタからの応答がありません。	その他	
エラー	その他のエラーが発生しています。		
(空白)	プリンタの情報を取得中です。		

注1: XL-6100/6700のみ表示されます。






注2: XL-6700のみ表示されます。

▼ プリントステータス (Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定 ユーティリティ、Printia XL ドライバ)



給紙情報

給紙情報で表示されるアイコンは、次のとおりです。

アイコン (色)	説明
 (黒)	用紙が入っています。XL-6700 の給紙カセットの場合は、用紙サイズの横に「残量 4/4 」、「残量 3/4 」、「残量 1/2 」、「のいずれかが表示されます。
 (黄色)	用紙が残り少なくなっています。用紙サイズの横に「残量少し」(XL-5320/5720/6100)、「残量 1/4」(XL-6700)(注1)と表示されます。
 (暗い赤色)	用紙がありません。この給紙口から印刷を行う前に、用紙を補給してください。用紙サイズの横に「用紙なし」と表示されます。
 (暗い赤色)	給紙カセットが正しくセットされていません。 (注2) 表示されたメッセージにしたがってエラーの原因を取り除いてください。
	用紙サイズエラー 給紙カセットにサポート外の用紙がセットされています。
	カセットなし 給紙カセットが正しく装着されていません。
	ユニットなし 給紙トレイが正しく装着されていません。(XL-6100 のみ)
	故障 給紙カセット / トレイが故障しています。(XL-6700 のみ)
 (グレー)	プリンタからの情報をまだ取得していないか、取得に失敗したため、給紙情報が不明です。(注2)

注1：給紙トレイの場合は、この表示はされません。

注2：用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。

また、次のプリンタ状態（エラー）の場合は、エラーが発生している給紙口情報の文字が暗い赤色で表示されます。




プリンタ状態	暗い赤色で表示される給紙口
給紙トレイが外れています（注１）	給紙トレイ
給紙カセットがセットされていません	カセットなしの給紙口すべて
給紙カセット×が正しくセットされていません	カセット×
給紙トレイの用紙サイズが違います	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙サイズが違います	カセット×
給紙トレイの用紙がありません	給紙トレイ
給紙カセット×の用紙がありません	カセット×
給紙トレイで紙詰まりが発生しました（注２）	給紙トレイ
給紙カセット×で紙詰まりが発生しました（注２）	カセット×

注１：XL-6100 のみ表示されます。

注２：XL-5320/5720/6100 のみ表示されます。

ただし、これらはプリンタ状態の表示内容と同期しているため、給紙口のエラーが解除されないまま他のエラーが発生した場合は、給紙口情報の文字は黒色になります。（例えば、プリンタ状態が「給紙カセットがセットされていません」のとき、カセットをセットしないで上部／背面カバーを開くと、プリンタ状態は「上部／背面カバーが開いています」に変わり、同時に暗い赤色で表示された給紙情報の文字は黒色になります。）

■ ステータスアイコン / プリンタ状態 / エラー詳細

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 正常	オンライン	
	パワーセーブ中 ...	
	準備中 ...	
	印刷中 ...	
	情報取得中 ...	しばらくおまちください。
	他で使用	プリンタ装置が他で使用です。
	情報設定中 ... (注 1)	しばらくおまちください。
	情報の設定が完了しました (注 1)	しばらくおまちください。
 トナー少 (黄色)	オンライン	トナーが残り少なくなりました。
	パワーセーブ中 ...	
	準備中 ...	
	印刷中 ...	
 エラー、警告	プリンタからの応答がありません (注 2)	
	プリンタが印刷設定中です	
	上部カバーが開いています (注 3)	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	上部 / 背面カバーが開いています (注 4)	上部 / 背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	カバー A が開いています (注 5)	カバー A を閉じて、オンラインにしてください。
	カバー B が開いています (注 5)	カバー B を閉じて、オンラインにしてください。
	両面ユニットが開いています (注 5)	両面ユニットを閉じて、オンラインにしてください。
	カバー A が開いています (注 5)	カバー A および両面ユニットを閉じて、オンラインにしてください。
	カバー C が開いています (注 5)	カバー C を閉じて、オンラインにしてください。


注 1 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕で、設定を行ったときのみ表示されます。

注 2 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でも表示されます。

注 3 : XL-5320/5720 のみ表示されます。

注 4 : XL-6100 のみ表示されます。

注 5 : XL-6700 のみ表示されます。



ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 エラー、警告	カバー D が開いています (注 5)	カバー D を閉じて、オンラインにしてください。
	複数のカバーが開いています (注 5)(注 6)	開いているカバーをすべて閉じて、オンラインにしてください。
	給紙トレイが外れています (注 4)	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。
	両面ユニットが外れています (注 4)	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。
	定着器が外れています (注 4)	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。
	排紙トレイが用紙でいっぱいです (注 4)	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	フェイスダウントレイが用紙でいっぱいです (注 5)	フェイスダウントレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	拡張トレイ x が用紙でいっぱいです (注 5)	拡張トレイ x の用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	プリンタがオフラインと なっています	プリンタをオンラインにしてください。
	プリンタがリセットされました	プリンタをオンラインにしてください。
	リモート設定中です	しばらくおまちください。
	初期化中です	しばらくおまちください。
	印刷できない解像度が指定 されました(Virtual FM) (注 7)	アプリケーションの設定等を確認してください。
	メモリーオーバーが発生 しました(ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。

注 4 : XL-6100 のみ表示されます。

注 5 : XL-6700 のみ表示されます。

注 6 : プリンタのオペレータパネルには、1ヶ所のカバーオープンエラーが優先度の高いカバー順に表示されます。

注 7 : XL-6100/6700 のみ表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 エラー、警告	プリンタメモリが不足しています(注 3)	プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。
	プリンタメモリが不足しています(注 3)	プリンタドライバの「文字を高速に印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。
	プリンタメモリが不足しています(注 4)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。
	メモリオーバーが発生しました(部単位印刷)(注 7)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	プリンタメモリが不足しています(注 7)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	プリンタからの情報取得ができません(注 2)	環境を確認してください。
	システムエラーが発生しました(注 2)	(注 8)
	プリンタで異常が発生しました	プリンタの状態を確認してください。
 用紙なし	プリンタからの応答が異常です(注 9)	(注 8)
	指定した用紙がありません(用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙カセット X に用紙がありません(用紙サイズ)	給紙カセット X に用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙トレイに用紙がありません(用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。

注 2 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でも表示されます。





注 3 : XL-5320/5720 のみ表示されます。

注 4 : XL-6100 のみ表示されます。

注 7 : XL-6100/6700 のみ表示されます。

注 8 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕では、エラー詳細に「エラー詳細：コード」の形式でエラーコードが表示されます。

注 9 : Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でのみ表示されます。


ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 カセット エラー (暗い赤色)	給紙カセットがセットされていません	給紙カセットをセットしてください。
	給紙カセット×が正しくセットされていません(注 5)	給紙カセット×をセットし直してください。
	用紙サイズが違います (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	給紙カセット×の用紙サイズが違います (用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。
 紙詰まり	給紙カセット×で紙詰まりが発生しました(注 10)	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	給紙トレイで紙詰まりが発生しました(注 10)	
	プリンタ内部で紙詰まりが発生しました(注 10)	
	排紙部で紙詰まりが発生しました(注 10)	
	両面ユニットで紙詰まりが発生しました(注 4)	
 カートリッジエラー (注 10)	プロセスカートリッジが正しくセットされていません	プロセスカートリッジをセットし直してください。
 ハードエラー (注 10)	ハードエラーが発生しました	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。

注 4 : XL-6100 のみ表示されます。


注 5 : XL-6700 のみ表示されます。

注 7 : XL-6100/6700 のみ表示されます。



注 10 : XL-5320/5720/6100 のみ表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 紙詰まり (注 5)	〔 C13 〕 紙詰まりが発生しました	カバー A を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 1 内を確認してください。
	〔 C22 〕 紙詰まりが発生しました	カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 2 内を確認してください。
	〔 C23 〕 紙詰まりが発生しました	カバー A を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 C31 〕 紙詰まりが発生しました	カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 3 内を確認してください。
	〔 C32 〕 紙詰まりが発生しました	カバー A / B を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 C33 〕 紙詰まりが発生しました	カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 C40 〕 紙詰まりが発生しました	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 4 内を確認してください。
	〔 C41 〕 紙詰まりが発生しました	カバー B / C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 C42 〕 紙詰まりが発生しました	
	〔 C43 〕 紙詰まりが発生しました	カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 C50 〕 紙詰まりが発生しました	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 5 内を確認してください。


注 5 : XL-6700 のみ表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 紙詰まり (注 5)	[C51] 紙詰まりが発生しました	カバー B / C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[C52] 紙詰まりが発生しました	
	[C53] 紙詰まりが発生しました	カバー A / B / C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[C54] 紙詰まりが発生しました	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 5 内を確認してください。
	[C61] 紙詰まりが発生しました	両面ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[C82] 紙詰まりが発生しました	カバー A / B を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 2 内を確認してください。
	[C83] 紙詰まりが発生しました	カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[C84] 紙詰まりが発生しました	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[C85] 紙詰まりが発生しました	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 4 / 5 内を確認してください。
	[C86] 紙詰まりが発生しました	両面ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[C92] 紙詰まりが発生しました	給紙トレイの用紙をセットし直して、オンラインにしてください。
	[C93] 紙詰まりが発生しました	カバー A を開閉した後、給紙トレイの用紙をセットし直して、オンラインにしてください。
	[E11] 紙詰まりが発生しました	カバー A を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[E12] 紙詰まりが発生しました	
	[E16] 紙詰まりが発生しました	
	[E31] 紙詰まりが発生しました	

注 5 : XL-6700 のみ表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 紙詰まり (注 5)	〔 E36 〕 紙詰まりが発生しました	カバー A を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 E82 〕 紙詰まりが発生しました	両面ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 E86 〕 紙詰まりが発生しました	両面ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 F21 〕 紙詰まりが発生しました	カバー D を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	〔 F22 〕 紙詰まりが発生しました	
	〔 F23 〕 紙詰まりが発生しました	
	〔 F26 〕 紙詰まりが発生しました	
	〔 F31 〕 紙詰まりが発生しました	
	〔 F32 〕 紙詰まりが発生しました	
	〔 F36 〕 紙詰まりが発生しました	
 カートリッジエラー (注 5)	〔 J31 〕 プロセスカートリッジが正しくセットされていません	プロセスカートリッジをセットし直してください。
	〔 J61 〕 装着されたプロセスカートリッジは使用できません	プロセスカートリッジを交換してください。
	〔 J81 〕 装着されたプロセスカートリッジは使用できません	
	〔 J83 〕 装着されたプロセスカートリッジは使用できません	
	〔 J84 〕 装着されたプロセスカートリッジは使用できません	
	〔 J12 〕 トナーがありません	

注 5 : XL-6700 のみ表示されます。

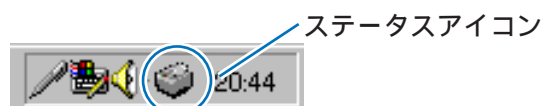
ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
 ハードエラー (注 5)	〔UXX〕 ハードエラーが発生しました	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。
	〔H1X〕 給紙カセット X が故障しました	プリンタのいずれかのスイッチを押すと一時的にエラーを解除できます。他の給紙口を指定して、再度印刷してください。
	〔H27〕 両面ユニットが故障しました	プリンタの電源を切って、両面ユニットの接続を確認してください。
	〔H57〕 拡張スタッカユニットが故障しました	プリンタの電源を切って、拡張スタッカユニットの接続を確認してください。
	〔H97〕 拡張給紙ユニットが故障しました	プリンタの電源を切って、拡張給紙ユニットの接続を確認してください。
	〔H99〕 給紙トレイが接続されていません	プリンタの電源を切って、給紙トレイの接続を確認してください。
注 5 : XL-6700 のみ表示されます。		





▼ Printianavi によるメッセージ表示一覧

■ ステータス表示ウィンドウ

Printianavi の設定で「印刷中のステータス表示」を「表示しない」以外に設定している場合、印刷中にプリンタの状態や印刷状況を表示します。

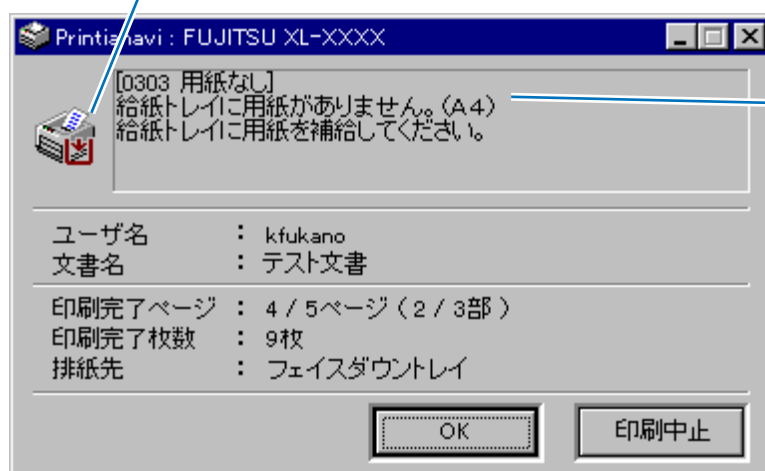
▶ 最小化時






アイコン	説 明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、その他の状態を示します。





▶ ポップアップ時




ステータスアイコン





ステータス内容



ステータスアイコン	ステータス内容
 正常	[印刷中 ...]
 情報あり	[印刷待ち] プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。
	[準備中 ...] 印刷の準備中です。しばらくお待ちください。
	[印刷の再開準備中 ...] 印刷の再開準備中です。しばらくお待ちください。
	[印刷中 ...] (注 1)
 トナー少	[印刷中 ... (トナーニアンプティ)] トナーが残り少なくなりました。
	[印刷中 ... トナーニアンプティ] トナーが残り少なくなりました。 (注 1)
注 1 : 両面印刷、部単位印刷、拡張スタッカへの印刷が指定どおり行えない場合に「XXX の指定は無効です (無効な理由)」のメッセージを 1 つまたは組み合わせて表示します。 なお、各メッセージの理由 (() の中身) には、次の項目のいずれかが表示されます。	
	両面印刷 : 両面ユニットなし、プリンタメモリ不足
	部単位印刷 : プリンタメモリ不足、プリンタメモリオーバー、未サポート装置
	拡張スタッカ : 拡張スタッカ未装着


ステータスアイコン	ステータス内容
 トナー少	<p>〔準備中... (トナーニアエンプティ)〕</p> <p>印刷の準備中です。しばらくお待ちください。</p> <p>トナーが残り少なくなりました。</p>
 エラー、警告	<p>〔印刷設定中...〕</p> <p>プリンタの設定スイッチが有効となっています。</p> <p>〔0300 オフライン〕</p> <p>プリンタがオフラインとなっています。</p> <p>プリンタをオンラインにしてください。</p>
 用紙なし	<p>〔0301 用紙なし〕</p> <p>指定した用紙がありません。(用紙サイズ)</p> <p>給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。</p> <p>〔0302 用紙なし〕</p> <p>給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ)</p> <p>給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。</p> <p>〔0303 用紙なし〕</p> <p>給紙トレイに用紙がありません。(用紙サイズ)</p> <p>給紙トレイに用紙を補給してください。</p>
 カセットエラー	<p>〔0304 カセットなし〕</p> <p>給紙カセットがセットされていません。</p> <p>給紙カセットをセットしてください。</p> <p>〔0305 カバーオープン〕(注 2)</p> <p>上部カバーが開いています。</p> <p>上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。</p> <p>〔0309 用紙交換〕</p> <p>用紙サイズが違います。(用紙サイズ)</p> <p>給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。</p> <p>〔0310 用紙交換〕</p> <p>給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ)</p> <p>給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。</p> <p>〔0311 用紙交換〕</p> <p>給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ)</p> <p>給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。</p> <p>〔0312 用紙サイズエラー〕(注 3)</p> <p>給紙カセット×が正しくセットされていません。</p> <p>給紙カセット×をセットし直してください。</p>
	<p>注 2 : XL-5320/5720 のみ表示されます。</p> <p>注 3 : XL-6100/6700 のみ表示されます。</p>



ステータスアイコン	ステータス内容
 紙詰まり	<p>[0314 紙詰まり](注 4) 排紙部で紙詰まりが発生しました。 紙詰まり各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0315 紙詰まり](注 4) 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0316 紙詰まり](注 4) 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0317 紙詰まり](注 4) プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p> <p>[0318 紙詰まり](注 5) 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。</p>
 カートリッジエラー	<p>[0319 カートリッジなし](注 4) プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。</p>
 エラー、警告	<p>[0320 トレイフル](注 5) 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。</p> <p>[0321 トレイフル](注 6) フェイスダウントレイが用紙でいっぱいです。 フェイスダウントレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。</p> <p>[0322 トレイフル](注 6) 拡張トレイ×が用紙でいっぱいです。 拡張トレイ×の用紙を取り除いて、オンラインにしてください。</p>
<p>注 4 : XL-5320/5720/6100 のみ表示されます。 注 5 : XL-6100 のみ表示されます。 注 6 : XL-6700 のみ表示されます。</p>	

ステータスアイコン	ステータス内容
 エラー、警告	[0330 ユニット確認](注 5) 給紙トレイが外れています。 給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。
	[0331 ユニット確認](注 5) 両面ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。
	[0332 ユニット確認](注 5) 定着器が外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。
	[0350 解像度指定無効](注 3) 印刷できない解像度が指定されました。(Virtual FM) アプリケーションの設定等を確認してください。
	[0351 メモリオーバー] メモリオーバーが発生しました。(ESC/Page) プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。
	[0353 メモリ不足](注 2) プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A4 以下のサイズで再度印刷してください。
	[0354 メモリ不足](注 2) プリンタメモリが不足しています。 プリンタドライバの「文字を高速に印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。
	[0355 メモリオーバー](注 3) メモリオーバーが発生しました。(部単位印刷) プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	[0356 メモリ不足](注 5) プリンタメモリが不足しています。 プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。
	[0357 メモリ不足](注 3) プリンタメモリが不足しています。 プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
注 2 : XL-5320/5720 のみ表示されます。 注 3 : XL-6100/6700 のみ表示されます。 注 5 : XL-6100 のみ表示されます。	

ステータスアイコン	ステータス内容
 エラー、警告	[0371 プリンタリセット] プリンタがリセットされました。 プリンタをオンラインにしてください。
	[0373 プリンタリセット] プリンタが初期化中です。 プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。
	[0390 プリンタ異常] プリンタで異常が発生しました。 プリンタの状態を確認してください。
	[0405 カバーオープン](注 5) 上部 / 背面カバーが開いています。 上部 / 背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	[0406 カバーオープン](注 6) カバー A が開いています。 カバー A を閉じて、オンラインにしてください。
	[0407 カバーオープン](注 6) カバー A が開いています。 カバー A および両面ユニットを閉じて、オンラインにしてください。
	[0408 カバーオープン](注 6) カバー B が開いています。 カバー B を閉じて、オンラインにしてください。
	[0409 カバーオープン](注 6) 両面ユニットが開いています。 両面ユニットを閉じて、オンラインにしてください。
	[0410 カバーオープン](注 6) カバー C が開いています。 カバー C を閉じて、オンラインにしてください。
	[0411 カバーオープン](注 6) カバー D が開いています。 カバー D を閉じて、オンラインにしてください。
	[0412 カバーオープン](注 6) 複数のカバーが開いています。 開いているカバーを全て閉じて、オンラインにしてください。(注 7)
	注 5 : XL-6100 のみ表示されます。 注 6 : XL-6700 のみ表示されます。 注 7 : プリンタのオペレータパネルには、1ヶ所のカバーオープンエラー が、優先度の高いカバー順に表示されます。

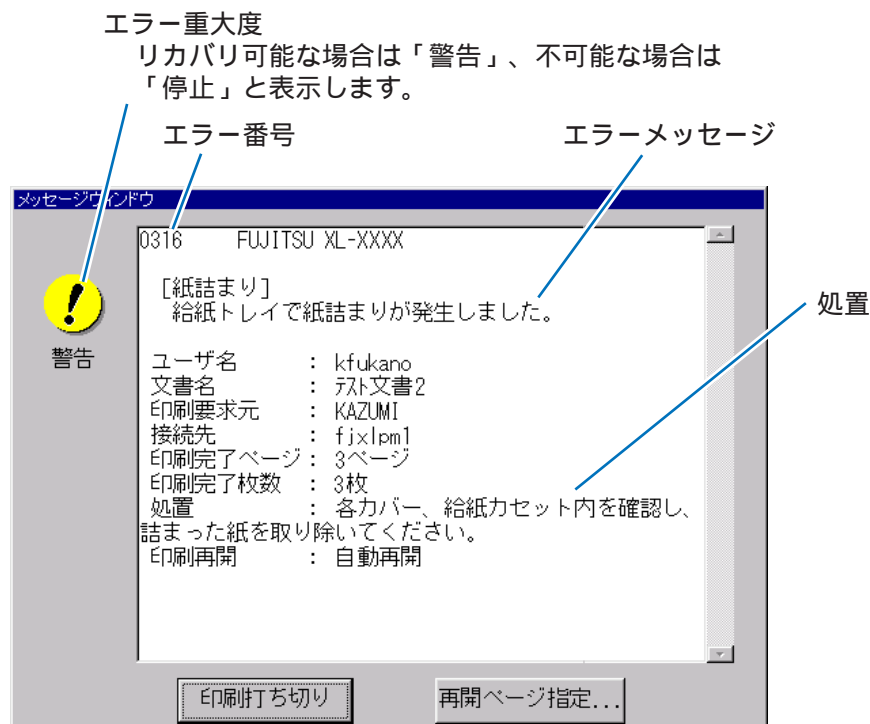
ステータスアイコン	ステータス内容
 カートリッジエラー (注 6)	[0413 トナーなし : J12] トナーがありません。 プロセスカートリッジを交換してください。
	[0419 カートリッジなし : J31] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。
	[0420 カートリッジ交換 : Jxx] 装着されたプロセスカートリッジは使用できません。 プロセスカートリッジを交換してください。
 紙詰まり (注 6)	[0431 紙詰まり : C13] 紙詰まりが発生しました。 カバー A を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 1 内を確認してください。
	[0432 紙詰まり : C22] 紙詰まりが発生しました。 カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 2 内を確認してください。
	[0433 紙詰まり : xxx] 紙詰まりが発生しました。 カバー A を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[0434 紙詰まり : C32] 紙詰まりが発生しました。 カバー A / B を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[0435 紙詰まり : C82] 紙詰まりが発生しました。 カバー A / B を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 2 内を確認してください。
	[0436 紙詰まり : Cxx] 紙詰まりが発生しました。 カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いてください。
	[0437 紙詰まり : C92] 紙詰まりが発生しました。 給紙トレイの用紙をセットし直して、オンラインにしてください。
	[0438 紙詰まり : C93] 紙詰まりが発生しました。 カバー A を開閉した後、給紙トレイの用紙をセットし直して、オンラインにしてください。
注 6 : XL-6700 のみ表示されます。	

ステータスアイコン	ステータス内容
 紙詰まり (注 6)	<p>[0439 紙詰まり : C31]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー B を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 3 内を確認してください。</p>
	<p>[0440 紙詰まり : C40]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 4 内を確認してください。</p>
	<p>[0441 紙詰まり : Cxx]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー B / C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0442 紙詰まり : Cxx]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 5 内を確認してください。</p>
	<p>[0443 紙詰まり : C53]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー A / B / C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0444 紙詰まり : C84]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0445 紙詰まり : xxx]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 両面ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。</p>
	<p>[0446 紙詰まり : Fxx]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー D を開けて、詰まった紙を取り除いてください。</p>
<p>[0447 紙詰まり : C85]</p> <p>紙詰まりが発生しました。 カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット 4 / 5 内を確認してください。</p>	<p>注 6 : XL-6700 のみ表示されます。</p>

ステータスアイコン	ステータス内容
 ハード エラー	[XXXX ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。
	[0750 カセット故障：Hxx](注 6) 給紙カセットXが故障しました。 プリンタのいずれかのスイッチを押すと一時的にエラーを解除できます。他の給紙口を指定して、再度印刷してください。
	[0751 ユニット故障：H27](注 6) 両面ユニットが故障しました。 プリンタの電源を切って、両面ユニットの接続を確認してください。
	[0752 ユニット故障：H57](注 6) 拡張スタッカユニットが故障しました。 プリンタの電源を切って、拡張スタッカユニットの接続を確認してください。
	[0753 ユニット故障：H97](注 6) 拡張給紙ユニットが故障しました。 プリンタの電源を切って、拡張給紙ユニットの接続を確認してください。
	[0756 ユニット確認：H99](注 6) 給紙トレイが接続されていません。 プリンタの電源を切って、給紙トレイの接続を確認してください。
 エラー、警告	[1500 応答なし] プリンタからの応答がありません。 プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。
	[1900 メモリ不足] メモリ不足が発生しました。 プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。
	[XXXX 通信エラー] プリンタとの通信が異常となりました。 プリンタの電源を投入し直してください。
	[XXXX システムエラー] システムエラーが発生しました。 いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。
	注 6：XL-6700 のみ表示されます。

■ エラーメッセージ

Printianaviの設定で「エラー時にメッセージを通知する」を設定している場合、印刷中にエラーが発生したときにエラーメッセージを表示します。



以降のメッセージ一覧表中の自動再開欄の記号は、次の意味を示します。

- プリンタの操作でエラーが解除されると、印刷を自動的に再開します。
- 印刷開始前にエラーを検出した場合は、印刷を自動的に再開します。
- 印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
- × 印刷を再開しません。(印刷打ち切り)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0300	オフライン	〔オフライン〕 プリンタがオフラインとなっています。	プリンタをオンラインにしてください。	
0301	用紙なし	〔用紙なし〕 指定した用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。	
0302	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ)	給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。	
0303	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。 (用紙サイズ)	給紙トレイに用紙を補給してください。	
0304	カセットなし	〔カセットなし〕 給紙カセットがセットされていません。	給紙カセットをセットしてください。	
0305 (注 1)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。	
0309	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 用紙サイズが違います。 (用紙サイズ)	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0310	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0311	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ)	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	
0312 (注 2)	用紙サイズエラー	〔用紙サイズエラー〕 給紙カセット×が正しくセットされていません。	給紙カセット×をセットし直してください。	
0314 (注 3)	紙詰まり	〔紙詰まり〕 排紙部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。	(注 4)
0315 (注 3)	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。		
0316 (注 3)	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。		

注 1 : XL-5320/5720 のみ表示されます。

注 2 : XL-6100/6700 のみ表示されます。

注 3 : XL-5320/5720/6100 のみ表示されます。

注 4 : プリントサーバが Windows 2000/NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0317 (注 3)	紙詰まり	〔紙詰まり〕 プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。	(注 4)
0318 (注 5)	紙詰まり	〔紙詰まり〕 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。		
0319 (注 3)	カート リッジなし	〔カートリッジなし〕 プロセスカートリッジが正しくセットされていません。	プロセスカートリッジをセットし直してください。	
0320 (注 5)	トレイフル	〔トレイフル〕 排紙トレイが用紙でいっぱいです。	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。	
0321 (注 6)	トレイフル	〔トレイフル〕 フェイスダウントレイが用紙でいっぱいです。	フェイスダウントレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。	
0322 (注 6)	トレイフル	〔トレイフル〕 拡張トレイ X が用紙でいっぱいです。	拡張トレイ X の用紙を取り除いて、オンラインにしてください。	
0330 (注 5)	ユニット確認	〔ユニット確認〕 給紙トレイが外れています。	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。	
0331 (注 5)	ユニット確認	〔ユニット確認〕 両面ユニットが外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。	
0332 (注 5)	ユニット確認	〔ユニット確認〕 定着器が外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。	
0350 (注 2)	解像度指定エラー	〔解像度指定無効〕 印刷できない解像度が指定されました。(Virtual FM)	アプリケーションの設定等を確認してください。	
0351	メモリオバー	〔メモリオバー〕 メモリオバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 (ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。	
0353 (注 1)	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(解像度 600dpi)	プリンタドライバの解像度を 300 dpi に設定し直すか、A3、B4、リーガル用紙の場合には A4 以下のサイズで再度印刷してください。	
0354 (注 1)	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。(高速印刷)	プリンタドライバの「文字を高速に印刷する」機能を無効にして、再度印刷してください。	

注 1 : XL-5320/5720 のみ表示されます。

注 2 : XL-6100/6700 のみ表示されます。

注 3 : XL-5320/5720/6100 のみ表示されます。

注 4 : プリントサーバが Windows 2000/NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

注 5 : XL-6100 のみ表示されます。

注 6 : XL-6700 のみ表示されます。

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0355 (注 2)	メモリーオーバー	〔メモリーオーバー〕 メモリーオーバーが発生したため、 印刷を一時停止しています。 (部単位印刷)	プリンタのいずれかのスイッチを 押してください。一部のみ印刷し ます。	
0356 (注 5)	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足している ため、指定した印刷が行えませ ん。(両面印刷)	プリンタのいずれかのスイッチを 押してください。片面印刷で続行 します。	
0357 (注 2)	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足している ため、指定した印刷が行えませ ん。(部単位印刷)	プリンタのいずれかのスイッチを 押してください。一部のみ印刷し ます。	
0371 (注 7)	パネルリセット	〔プリンタリセット〕 プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてくだ さい。	
0373	プリンタソフトリセット	〔プリンタリセット〕 プリンタが初期化中です。	プリンタの初期化終了後、印刷が 開始されます。	
0390	プリンタ異常	〔プリンタ異常〕 プリンタで異常が発生しました。	プリンタの状態を確認してくださ い。(注 4)	
0405 (注 5)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 上部 / 背面カバーが開いていま す。	上部 / 背面カバーを閉じて、オン ラインにしてください。	
0406 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 カバー A が開いています。	カバー A を閉じて、オンラインに してください。	
0407 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 カバー A が開いています。	カバー A および両面ユニットを閉 じて、オンラインにしてください。	
0408 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 カバー B が開いています。	カバー B を閉じて、オンラインに してください。	
0409 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 両面ユニットが開いています。	両面ユニットを閉じて、オンライ ンにしてください。	
0410 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 カバー C が開いています。	カバー C を閉じて、オンラインに してください。	
0411 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 カバー D が開いています。	カバー D を閉じて、オンラインに してください。	
0412 (注 6)	カバーオープン	〔カバーオープン〕 複数のカバーが開いています。	開いているカバーを全て閉じて、 オンラインにしてください。	
0413 (注 6)	トナーなし	〔トナーなし : J12〕 トナーがありません。	プロセスカートリッジを交換して ください。	

注 2 : XL-6100/6700 のみ表示されます。

注 4 : プリントサーバが Windows 2000/NT4.0 の場合、エラーメッセージウィン
ドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメン
トをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

注 5 : XL-6100 のみ表示されます。

注 6 : XL-6700 のみ表示されます。

注 7 : プリントリセットのタイミングによっては、通信エラーとなることがありま
す。印刷を中止したいときは、プリンタをオフラインにしてから、Printianavi
のエラーメッセージ画面で「印刷打ち切り」を実行することをお勧めします。

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0419 (注6)	カートリッジなし	〔カートリッジなし：J31〕 プロセスカートリッジが正しく セットされていません。	プロセスカートリッジをセットし 直してください。	
0420 (注6)	カートリッジ交換	〔カートリッジ交換：Jxx〕 装着されたプロセスカートリッ ジは使用できません。	プロセスカートリッジを交換して ください。	
0431 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C13〕 紙詰まりが発生しました。	カバー A を開けて、詰まった紙を 取り除いた後、給紙カセット 1 内 (注4) を確認してください。	
0432 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C22〕 紙詰まりが発生しました。	カバー B を開けて、詰まった紙を 取り除いた後、給紙カセット 2 内 (注4) を確認してください。	
0433 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：xxx〕 紙詰まりが発生しました。	カバー A を開けて、詰まった紙を 取り除いてください。	(注4)
0434 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C32〕 紙詰まりが発生しました。	カバー A / B を開けて、詰まった 紙を取り除いてください。	(注4)
0435 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C82〕 紙詰まりが発生しました。	カバー A / B を開けて、詰まった 紙を取り除いた後、給紙カセット (注4) 2 内を確認してください。	
0436 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：Cxx〕 紙詰まりが発生しました。	カバー B を開けて、詰まった紙を 取り除いてください。	(注4)
0437 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C92〕 紙詰まりが発生しました。	給紙トレイの用紙をセットし直し て、オンラインにしてください。	(注4)
0438 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C93〕 紙詰まりが発生しました。	カバー A を開閉した後、給紙トレ イの用紙をセットし直して、オン ラインにしてください。	(注4)
0439 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C31〕 紙詰まりが発生しました。	カバー B を開けて、詰まった紙を 取り除いた後、給紙カセット 3 内 (注4) を確認してください。	
0440 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C40〕 紙詰まりが発生しました。	カバー C を開けて、詰まった紙を 取り除いた後、給紙カセット 4 内 (注4) を確認してください。	
0441 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：Cxx〕 紙詰まりが発生しました。	カバー B / C を開けて、詰まった 紙を取り除いてください。	(注4)
0442 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：Cxx〕 紙詰まりが発生しました。	カバー C を開けて、詰まった紙を 取り除いた後、給紙カセット 5 内 (注4) を確認してください。	
0443 (注6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C53〕 紙詰まりが発生しました。	カバー A / B / C を開けて、詰ま った紙を取り除いてください。	(注4)

注4: プリントサーバがWindows 2000/NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

注6: XL-6700のみ表示されます。

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0444 (注 6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C84〕 紙詰まりが発生しました。	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いてください。	(注 4)
0445 (注 6)	紙詰まり	〔紙詰まり：xxx〕 紙詰まりが発生しました。	両面ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。	(注 4)
0446 (注 6)	紙詰まり	〔紙詰まり：Fxx〕 紙詰まりが発生しました。	カバー D を開けて、詰まった紙を取り除いてください。	(注 4)
0447 (注 6)	紙詰まり	〔紙詰まり：C85〕 紙詰まりが発生しました。	カバー C を開けて、詰まった紙を取り除いた後、給紙カセット	(注 4)
0500	通信タイムアウト	〔通信エラー〕 プリンタとの通信が異常となりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	
0520 ～ 0526	パラメータ長 エラー			
0540	未定義コマンド			
0560 ～ 0567	コマンドシーケンス エラー			
5500 ～ 5505	ポートモニタ エラー			
1520	プロトコル異常			
1500	通信タイム アウト (電源断)	〔応答なし〕 プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。プリンタの接続が正常な場合、プリンタ側のパネル操作で、双方向インタフェースが有効 (バイセントロモード：設定) になっていることを確認してください。	
0705	エンジン異常	〔ハードエラー〕 ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	
0730 ～ 0734 (注 6)	エンジン異常	〔ハードエラー：Uxx〕 ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	
0750 (注 6)	カセット故障	〔カセット故障：Hxx〕 給紙カセット X が故障しました。	プリンタのいずれかのスイッチを押すと一時的にエラーを解除できます。他の給紙口を指定して、再度印刷してください。	

注 4: プリントサーバが Windows 2000/NT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

注 6: XL-6700 のみ表示されます。

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処 置	自動再開
0751 (注6)	ユニット故障	〔ユニット故障：H27〕 両面ユニットが故障しました。	プリンタの電源を切って、両面ユニットの接続を確認してください。	
0752 (注6)	ユニット故障	〔ユニット故障：H57〕 拡張スタッカユニットが故障しました。	プリンタの電源を切って、拡張スタッカユニットの接続を確認してください。	
0753 (注6)	ユニット故障	〔ユニット故障：H97〕 拡張給紙ユニットが故障しました。	プリンタの電源を切って、拡張給紙ユニットの接続を確認してください。	
0756 (注6)	ユニット確認	〔ユニット確認：H99〕 給紙トレイが接続されていません。	プリンタの電源を切って、給紙トレイの接続を確認してください。	
1900	メモリ不足 (パソコン側)	〔メモリ不足〕 メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。	×
5900 5901	システムエラー (ポートモニタ)	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×
上記以外	システムエラー	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×

注6：XL-6700のみ表示されます。

ネットワーク用語の解説

■ SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・ SNMP メッセージ

SNMPによるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説 明	メッセージの送信方向	
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ	エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント	マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント	マネージャ

なお、本プリンタでは SetRequest はサポートしていません。

■ MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本プリンタは MIB- および PrinterMIB をサポートしています。プリンタに添付されている CD-ROM には PrinterMIB に対応した ASN.1 形式の「XLprtmb.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これを SNMP 管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後にはサーバにIPアドレスを戻します。IPアドレス設定ユーティリティはDHCPを利用してプリンタへのIPアドレス割り当てを実現しています。

■ BPP (Business Printer Protocol)

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル (TCP/IP を使用) です。

プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、lpr印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

■ LPR (Line Printer Remote)

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。Windows 2000/NT では、UNIX 用印刷サービスまたはTCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。

ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR 印刷ではPrintianavi 機能は使用できません。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IP の規格書として知られています。

LPR Port 印刷について

ここでは、Windows 2000/NT4.0、NetWare5 のときの LPR Port 印刷について説明します。

Windows 2000 のとき

Windows 2000 では、次の手順で LPR Port 印刷を行うことができます。なお、Printianavi 機能は使用できませんのであらかじめご了承ください。

準 備

LPR Port 印刷を行う前に、以下の準備が必要です。

▶ プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。



設定方法については、「[プリンタを LAN に直接接続する \(管理者のみ\)](#)」(164 ページ) 参照

▶ サービスの組み込み

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 [オプション ネットワーク コンポーネント]ウィザードを表示する

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔ネットワークとダイアルアップ接続〕の順に選択し、〔ネットワークとダイアルアップ接続〕フォルダの〔詳細設定〕メニューから〔オプション ネットワーク コンポーネント〕を選択します。

2 「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

〔そのほかのネットワークファイルと印刷サービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか（右側に「0.0MB」と表示されているか）確認します。

組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。

すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

3 「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認する

〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか（右側に「0.0MB」と表示されているか）確認します。

組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。

すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

以降は、〔次へ〕をクリックして画面の指示にしたがって、操作をしてください。

手 順

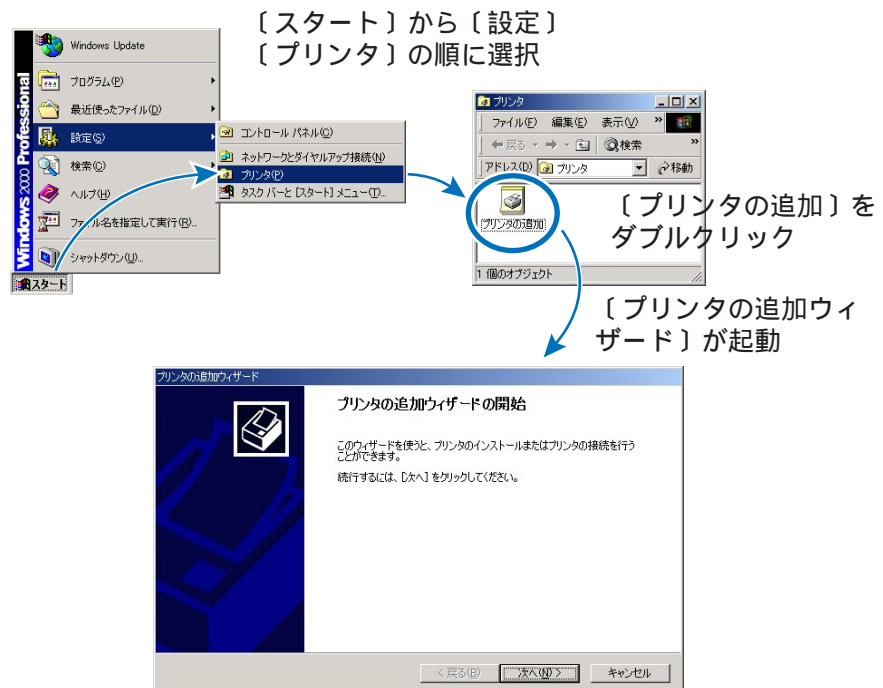
- 1 Windows 2000を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する



終了をクリックする

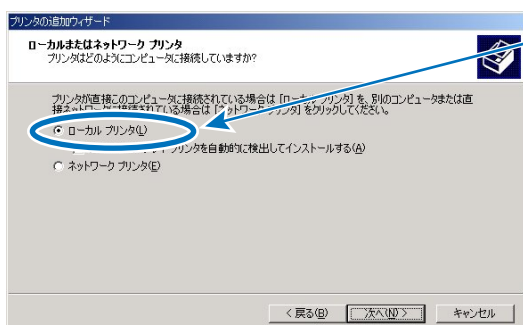
CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、作成したフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてください。

3 プリンタの追加ウィザードを起動する



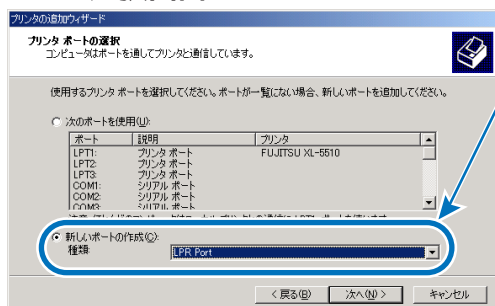
4 画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールする 以降表示される画面において、注意が必要な内容について説明します。

プリンタの接続先の選択画面



「ローカル プリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外す

ポートの選択画面



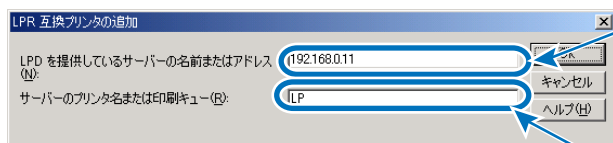
「新しいポートの作成」を選択し、「種類」のリストから「LPR Port」を選択して〔次へ〕をクリックする

〔LPR 互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。
次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する

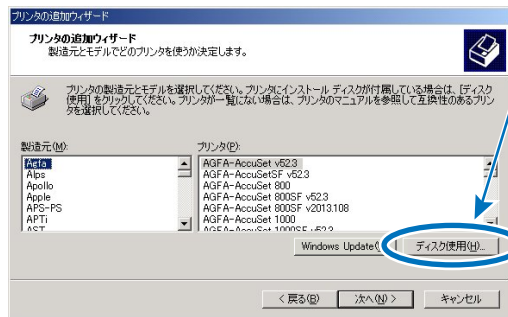
半角 数字 と ピリオド で
「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で
入力します。

「LP」と入力する



「サーバのプリンタ名または、プリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

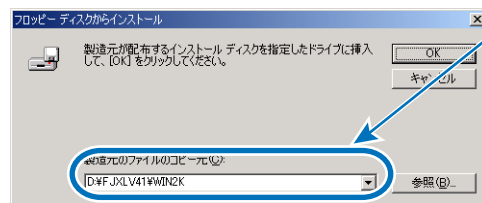
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

CD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするので、〔ディスク使用〕をクリックします。

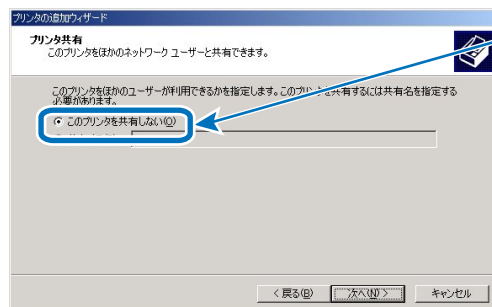
製造元のファイルのコピー元の指定画面



「製造元のファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定する

CD-ROM ドライブが D: のときは、「D:\¥FJXLV41¥WIN2K」と指定します。

プリンタ共有の選択画面

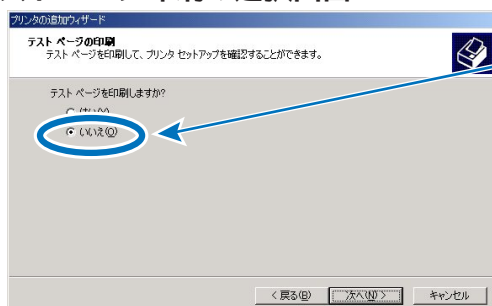


「このプリンタを共有しない」を選択する

共有設定はインストールの後で行います。

ここでは、「このプリンタを共有しない」を選択して先に進んでください。

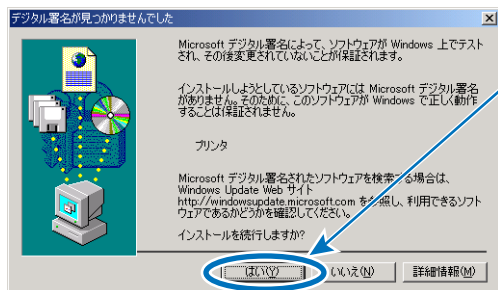
テストページ印刷の選択画面



「いいえ」を選択する

手順 5 ～ 6 を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷に失敗します。そのときは、〔印刷中止〕をクリックしてください。

デジタル署名の警告画面



表示された場合は、「はい」を選択する

5 印刷データのスプール方法を変更する

次の手順で印刷データのスプール方法を変更します。

- 1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順で選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。
- 2 [ファイル] メニューで [プロパティ] を選択し、プリンタのプロパティを表示します。
- 3 [詳細設定] タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

6 双方向通信を無効にし、ポートの構成を設定する

- 1 プリンタのプロパティから [ポート] タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
- 2 [OK] をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

Windows NT4.0 のとき

Windows NT4.0 では、次の手順で LPR Port 印刷を行うことができます。なお、Printianavi 機能は使用できませんのであらかじめご了承ください。

準 備

▶ プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。

➡ 設定方法については、「[プリンタを LAN に直接接続する（管理者のみ）](#)」（164 ページ）参照

▶ サービスの組み込み

「Microsoft TCP/IP 印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んであることが必要です。

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔ネットワーク〕〔サービス〕の順に選択し、「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が表示されることを確認します。表示されない場合は、組み込んでください。

手 順

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する

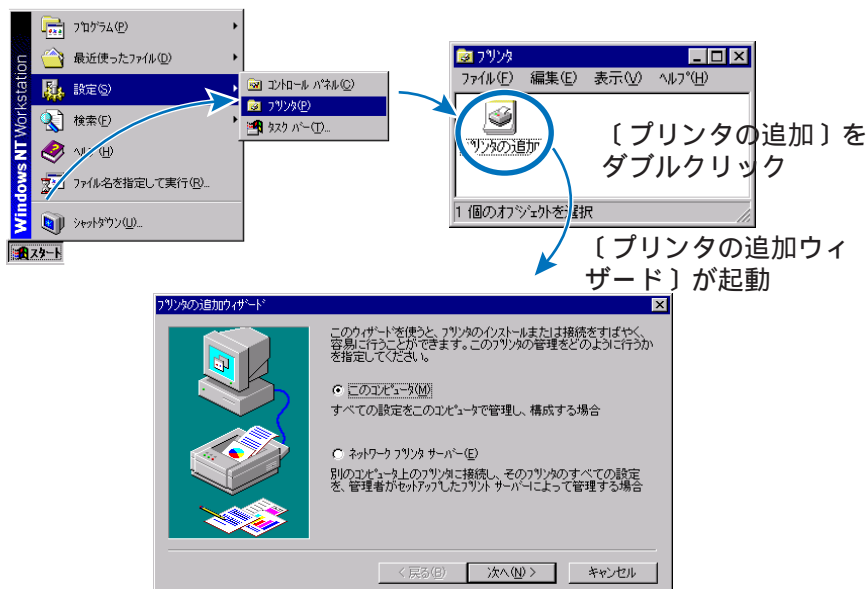


終了をクリックする

CD-ROM から作成したフロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてください。

3 プリンタの追加ウィザードを起動する

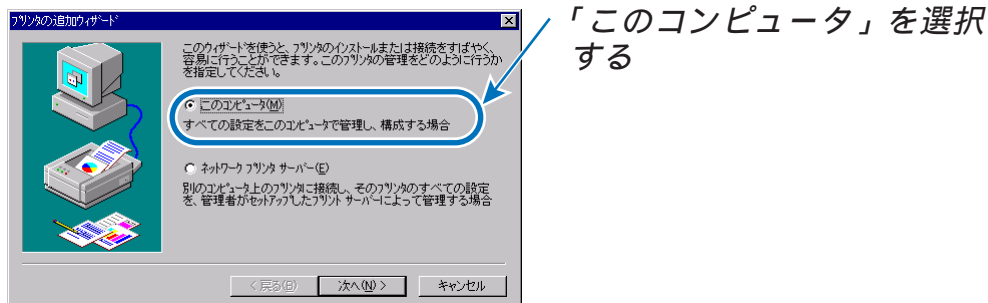
〔スタート〕から〔設定〕
〔プリンタ〕の順に選択



4 画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールする

以降表示される画面において、注意が必要な内容について説明します。

プリンタの管理方法の指定画面



ポートの選択画面



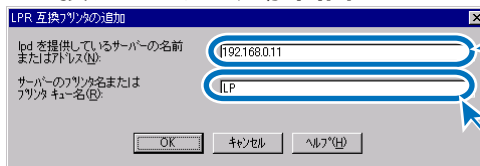
〔ポートの追加〕をクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログボックスの「利用可能なプリンタポート」のリストから「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

〔LPR 互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する

半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する

ガイド

「サーバのプリンタ名または、プリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

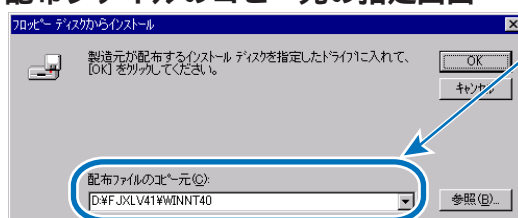
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

CD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするため、〔ディスク使用〕をクリックします。

配布ファイルのコピー元の指定画面



「配布ファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定する CD-ROM ドライブが D: のときは、「D:\FJXLV41\WINNT40」と指定します。

プリンタ共有の選択画面



「共有しない」を選択する
共有設定はインストールの後で行います。
ここでは、「共有しない」を選択して先に進んでください。

テストページ印刷の選択画面



「いいえ」を選択する
手順 5 ～ 6 を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷に失敗します。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

5 印刷データのスプール方法を変更する

次の手順で印刷データのスプール方法を変更します。

- 1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順で選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。
- 2 [ファイル] メニューで [プロパティ] を選択し、プリンタのプロパティを表示します。
- 3 [スケジュール] タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

6 双方向通信を無効にする

- 1 プリンタのプロパティから [ポート] タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
- 2 [OK] をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

NetWare5 のとき

本プリンタは、Novell NetWare5 のNDPSを使用してTCP/IP環境でのLPR印刷が可能です。

ここでは、本プリンタをNovell NetWare5のNDPSで使用する場合はNDPSプリンタの作成手順（管理者のみ）について説明します。NDPSに関する詳細な情報につきましては、Novell NetWare5のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianaviの機能はご使用になれませんのでご了承ください。

準 備

▶ プリンタのIPアドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。IPアドレスは固定で取得するように設定してください。

▶▶▶ 設定方法については、「[プリンタをLANに直接接続する（管理者のみ）](#)」（164ページ）参照

なお、添付ソフトウェアによってIPアドレスを設定する場合は、Printianaviネットワークポートモニタのポートを作成する必要はありません。

▶ NDPSのセットアップ

あらかじめ、NDPSをサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5のマニュアルを参照してください。

手 順

NDPSマネージャの作成を行ってから、NDPSプリンタの作成を行います。

▶ NDPS マネージャの作成

- 1 NetWare アドミニストレータを起動する
¥SYS¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMN32.EXE を実行してください。
- 2 〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする
- 3 〔NDPS Manager〕をクリックし〔OK〕をクリックする

4 NDPS マネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリュームを設定する

NDPS マネージャ名 適当な名前を入力します。

常駐先サーバ 右の〔参照〕をクリックし、適当なサーバを選択します。

データベースボリューム 右の〔参照〕をクリックし、適当なボリュームを選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

▶ NDPS プリンタの作成

1 〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする

2 〔NDPS Printer〕をクリックし、〔OK〕をクリックする

3 NDPS プリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する

NDPS プリンタ名 適当な名前を入力します。

プリンタエージェ 「新規プリンタエージェントを作成する」
ントのソース を選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

4 NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する

NDPS マネージャ名 右の〔参照〕をクリックし、先ほど作成した NDPS マネージャを選択します。

ゲートウェイタイプ 「Novell プリンタゲートウェイ」をクリックします。

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

5 NDPS マネージャをロードする

「NDPS マネージャがロードされていません。ロードしますか？」という意味の警告が表示されます。ここでは〔OK〕をクリックし NDPS マネージャをロードしてください。

6 プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novell ポートハンドラ」を選択し、〔OK〕をクリックする

7 接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する

接続タイプ 「リモート (IP 上で LPR)」を選択します。

ホストアドレス 本プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタ名 「LP」と入力します。

設定が終わったら、〔完了〕をクリックしてください。

8 〔プリンタドライバの選択〕画面で、接続したプリンタを選択する

一覧にない場合は「なし」を選択してください。(ブローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。詳細は Novell のマニュアルを参照してください。)

プリンタの選択が終わったら、〔続行〕をクリックし、〔OK〕をクリックしてください。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

▼ セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

■ ポートの選択画面に「Printianavi Network Port」が表示されない

《現象》

プリンタを TCP/IP の LAN 環境に直接接続して使用したいが、プリンタドライバインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対処》

Printianavi ネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、それぞれの操作を行ってください。

Printianavi ネットワークポートモニタがインストールされているか確認する〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔アプリケーションの追加と削除〕をダブルクリックします。インストールされているアプリケーションの一覧に、「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されるか確認してください。

- ・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されないときインストールとポートの作成を行います。

➡ インストール方法については、「[ネットワークポートモニタをインストールする](#)」(174 ページ) 参照

- ・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されたとき
仮のポート (LPT1 など) でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティからポートを追加します。

➡ ポートの追加方法については、「[印刷先ポートの追加と変更](#)」参照
Windows 98/95 は [35 ページ](#)、Windows 2000 は [48 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [66 ページ](#)

■ 「Printianavi Network Port」を複数作成したい

《現象》

1台目のプリンタはPrintianavi ネットワークポートモニタのインストール時に作成したポートを使用した。2台目以降のプリンタのポートを作成したい。

《対処》

仮のポート（LPT1 など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティから「Printianavi Network Port」を追加します。

➡ ポートの追加方法については、「印刷先ポートの追加と変更」参照
Windows 98/95 は [35 ページ](#)、Windows 2000 は [48 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [66 ページ](#)



プリンタにIPアドレスを割り当てる際にIPアドレス設定ユーティリティを使用すると、ポートの作成を同時に行えます。

➡ 「添付ソフトウェアによる設定」（[168 ページ](#)）参照

■ プリンタドライバのインストール中に警告画面が表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告画面が表示されることがあります。ここでは、注意が必要な3つの画面について説明します。

《現象》

「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

《対処》

製造元とモデルの選択画面で〔ディスク使用〕をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとする则表示される画面です。

インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付の CD-ROM のドライバをインストールし直すことをおすすめします。

▶▶▶ 「プリンタドライバのインストール」(27 ページ) 参照

このまま Windows の CD-ROM をセットしてインストールを続行すると、OS 添付のドライバがインストールされます。

OS 添付のドライバは、最低限の印刷は可能ですが Printianavi 機能およびさまざまな便利な印刷機能がお使いになれません。

▶▶▶ お問い合わせ

OS 添付のドライバをインストールしたときは、ドライバを削除してからインストールし直してください。

▶▶▶ 「プリンタドライバの削除」参照

Windows 98/95 は 38 ページ、Windows 2000 は 51 ページ、Windows NT4.0 は 69 ページ、Windows 3.1 は 80 ページ

《現象》

〔バージョンの競合〕というメッセージが表示された

《対処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示される画面です。

〔はい〕をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現象》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対処》

クライアントのOS (Windows) 用のプリンタドライバが、サーバ側に追加 (または代替) インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示される画面です。


クライアントのOS により、次の操作をしてください。

クライアントが Windows 98/95/NT4.0 のとき

- 1 添付のCD-ROM をクライアントにセットして、〔OK〕をクリックします。
- 2 プリンタの製造元とモデルを選択する画面では〔ディスク使用〕をクリックし、CD-ROM にあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。


クライアントが Windows 2000 のとき

〔キャンセル〕をクリックして、ネットワークインストールを中止します。LPT : などの仮のポートで通常のインストールを行ってから、ポートを変更してください。

 「印刷先ポートの追加と変更」の「サーバ経由で印刷するとき」
(49 ページ) 参照



サーバが Windows 2000/NT4.0 で Windows 98/95/NT4.0 のクライアントが複数台あるときは、追加 (または代替) ドライバをインストールしておく と 便利 です。

 Windows 2000 は「追加ドライバのインストール」
(54 ページ) Windows NT4.0 は「代替ドライバのインストール」(70 ページ) 参照

▼ 運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

■ 印刷できない

《現象》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対処1》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。

次の4点を確認してください。

- ・プリンタの電源が入っていますか。
- ・プリンタケーブル、またはLAN ケーブルが正しく接続されていますか。
- ・プリンタがエラー状態になっていませんか。
プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、オンライン状態に戻してください。
- ・プリンタ切替器を使用していませんか。
プリンタとの通信が正しく行われない場合や、プリンタ故障の原因となる恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対処2》

プリンタをLAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。

LAN 設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。

▶▶▶ LAN 設定の一覧の印刷方法は、「[プリンタをLANに直接接続する（管理者のみ）](#)」（164 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタを使用、またはLPR印刷のとき


次の3点を確認してください。

- ・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

- ・ TCP/IP 状態コードは「 0 」(正常) になっていますか。
「 0 」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。
- 「 1 」のとき IP アドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
- 「 2 」のとき DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
再度、LAN 設定の一覧を印刷してください。
- 「 3 」以上のとき DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。



IP アドレス設定ユーティリティを使って設定した IP アドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。

IP アドレス設定ユーティリティで IP アドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP 自動取得を「無効」に変更してください。

- ・ IP アドレスは正しく設定されていますか。
 IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法については、「[プリンタを LAN に直接接続する \(管理者のみ \)](#)」(164 ページ) 参照

NetWare 印刷のとき

LAN 設定の一覧を印刷し、NetWare 設定の次の 2 点を確認してください。

- ・ NetWare 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、オペレータパネルで「有効」に変更してください。
 詳細については取扱説明書を参照してください。
- ・ NetWare の各種設定が NetWare サーバの設定と一致していますか。
 詳細および設定方法は、「[NetWare 編](#)」参照

《対処3》

プリンタドライバの設定を確認します。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定画面を開き、次の点を確認してください。

- ・印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか
- ・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか

▶▶▶ **「第3章 プリンタドライバの設定」(81ページ)** 参照

お使いの OS によって、印刷先ポートを確認する画面が異なります。

Windows 98/95 のとき [プリンタのプロパティ] の [詳細] ダイアログ

Windows 2000/NT4.0 のとき [プリンタのプロパティ] の [ポート] ダイアログ

Windows 3.1 のとき [プリンタの設定] の [プリンタの接続] ダイアログ

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

- ・「Printianavi Network Port」で接続のとき (Windows 98/95/2000/NT4.0 のみ)

印刷したLAN設定の一覧と、IPアドレスおよびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。

それぞれ次のダイアログで確認できます。

IP アドレス (注) [ポートの設定] または [ポートの構成]
ポート番号 [オプション]

ポート番号がプリンタのポート番号 1 と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

注: ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用するIPアドレスで確認してください。

- ・「LPR Port」で接続のとき (Windows 2000/NT4.0 のみ)

次の 2 点を確認してください。

- [ポート] ダイアログの [ポートの構成] をクリックし、IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
- [ポート] ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずし、双方向通信を無効にしてください。

《対処4》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

Windows 98/95/2000/NT4.0 のとき

- 1 [スタート] から [設定] [プリンタ] の順に選択します。
- 2 [プリンタ] フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。
- 3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。
停止状態のときは、[ファイル] メニューおよび [ドキュメント] メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

Windows 3.1 のとき

- 1 [メイン] グループの [プリント マネージャ] をダブルクリックします。
- 2 表示される画面で、該当するプリンタが「一時停止」と表示されているか確認します。
停止状態の場合は、[再開] をクリックします。

《対処5》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ (XL-2000W、XJ シリーズなど) がインストールされていないか、確認してください。

双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート (LPT1:) に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。

実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE: 」に変更してください。

《対処 6》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 98/95 でプリンタポート (LPT1:) から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。

次の手順で確認します。

- 1 [プリンタのプロパティ] で [詳細] ダイアログを表示します。
- 2 [スプールの設定] をクリックして「このプリンタで双方向印刷をサポートする」と「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。

「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECPプリンタポートが設定されているときは、次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows 98 のとき

- 1 [スタート] から [設定] [コントロールパネル] の順に選択し、[システム] をダブルクリックします。
- 2 [デバイス マネージャ] をクリックし、「ポート (COM/LPT)」の「プリンタ ポート (LPT1)」をダブルクリックします。
- 3 [ドライバ] [ドライバの更新] の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面では [次へ] をクリックします。
- 4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して [次へ] をクリックします。
- 5 「すべてのデバイスを表示」を選択し、「プリンタポート」を選択して [次へ] をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

・Windows 95 のとき

- 1 [スタート] から [設定] [コントロールパネル] の順に選択し、[システム] をダブルクリックします。
- 2 [デバイス マネージャ] をクリックし、「ポート (COM/LPT)」の「プリンタ ポート (LPT1)」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの変更〕の順にクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択します。

4「モデル」の「プリンタポート」をダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Windows 95でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は、Windows 95の修正モジュール等を適用し、プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

■ Printianavi のメッセージが表示されない

《現象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンにPrintianaviのメッセージが表示されない。

《対処》

〔プリンタのプロパティ〕を開き、次の点を確認してください。

➡「第3章 プリンタドライバの設定」(81ページ) 参照

- ・ Printianaviに対応していないプリンタドライバを使用していませんか。
OS添付のプリンタドライバやエミュレーションモード(ESC/PやESC/Page)で印刷している場合は、Printianavi機能は使用できません。
また、古い機種用のPrintia XLドライバでは、新しいプリンタやPrintianavi機能に対応していないことがあります。
添付のCD-ROMに収められたプリンタドライバを使用してください。
- ・ NetWare印刷、またはLPR Port印刷ではありませんか。
Windows 98/95は〔詳細〕ダイアログ、Windows 2000/NT4.0は〔ポート〕ダイアログで印刷先のポートがNetWareのプリントキューやLPR Portの場合は、Printianavi機能は使用できません。
- ・ Printianaviを使用する設定になっていますか。
〔装置オプション〕ダイアログの「Printianaviを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックしてください。

- ・Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
〔Printianavi〕ダイアログの「印刷中のステータス表示」「印刷の終了を通知する」「エラーを通知する」の設定を確認してください。



「Printianavi の設定」(151 ページ) 参照

- ・ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。

〔Printianavi〕ダイアログの「ステータスとメッセージの通知先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「このコンピュータ」に変更してください。

- ・双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。

Windows 98/95 のとき 〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。

Windows 2000/NT4.0 のとき . 〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックします。

- ・ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。

サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi 機能が使用できなくなります。

印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

- ・Windows 2000/NT4.0 で区切りページを指定していませんか。

本プリンタでは Windows 2000/NT4.0 の区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi 機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。

- ・サーバの OS が Windows 98/95/2000/NT4.0 以外ではありませんか。

Printianavi は Windows 98/95/2000/NT4.0 対応です。また、クライアントが Printianavi 対応でも、Printianavi に対応していないサーバの共有プリンタに印刷の際は、Printianavi 機能はお使いになれませんのでご了承ください。

- ・ Windows NT4.0 のサーバから Windows 2000 のクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。
この場合〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレーアウトされ、Printianavi機能が正常に動作しません。
プリンタドライバを削除し、LPT1：などの仮のポートで通常のインストールを行ってから、ポートを変更してください。



「新しいドライバに置き換えるとき」

Windows 98/95 は [39 ページ](#)、Windows 2000 は [53 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [69 ページ](#)、Windows 3.1 は [80 ページ](#) 参照



「印刷先ポートの変更」の「サーバ経由で印刷するとき」

Windows 98/95 は [36 ページ](#)、Windows 2000 は [49 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [67 ページ](#) 参照

- ・ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは正しくインストール、設定されていますか。
サーバ側にメッセージが表示されている場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティがインストールされていないか、正しく起動されていないことが考えられます。サーバ共有プリンタに印刷を行い、Printianavi のメッセージを表示するには、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをサーバとクライアントの両方にインストールしてください。



「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「[インストール](#)」([199 ページ](#)) 参照

また、次のことも確認してください。

- クライアント側の到着通知パネルが起動していること
クライアントの到着通知パネルを起動した後にサーバを起動した場合は、メッセージがサーバ側に表示されないことがあります。この場合は、一度クライアントの到着通知パネルを終了し、再度起動させてください。
- [メッセージ操作動作環境] の [ポート番号] ダイアログで、「メッセージ管理のポート番号」と「到着通知パネルのポート番号」がサーバとクライアントで一致していること
- [メッセージ操作動作環境] の [メッセージサーバ] ダイアログで、「認証したホストをメッセージサーバとする」と「メッセージ通知ホストをメッセージサーバとする」がチェックされている（標準の設定）か、メッセージを通知するホスト名が定義されていること

■ プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現象》

プリンタドライバの設定画面やPrintianaviマネージャから[プリンタ状態表示]が行えない。また、[プリンタ状態を設定値に反映する]で情報の取得に失敗してしまう。

《対処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知などPrintianaviのメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianaviのメッセージが表示されない」(XXページ)を参照してください。

[プリンタ状態表示]および[プリンタ状態を設定値に反映する]でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

- ・プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。
プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。
- ・プリンタドライバを更新せずにPrintianaviネットワークポートモニターのみ新しいものをインストールしていませんか
PrintianaviネットワークポートモニターV3.1L31をインストールした際は、XL-5310/5510/5710/5810/6010およびXL-5320/5720/6700用のプリンタドライバも更新する必要があります。



「旧バージョン・レベルとの混在運用について」(312ページ)

参照

■ 印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現象》

アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違う。

《対処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。

このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

このような場合は、〔プリンタのプロパティ〕（Windows 98/95）や〔印刷設定〕（Windows 2000）、〔ドキュメントの既定値〕（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。

印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

➡ 「第3章 プリンタドライバの設定」（81ページ）参照

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本プリンタ添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

▼ 他の Windows OS から Windows 2000 へアップグレードする場合

Windows 98/95 や、Windows NT4.0 などから Windows 2000 へアップグレードする場合、XL プリンタドライバおよび XL プリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除(アンインストール)してください。Windows 2000 へアップグレード後、再インストールしてください。

削除(アンインストール)を行わずに Windows 2000 にアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処について、以下で説明しますので参照してください。

▶ プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Windows 2000 添付のドライバに置き換えることがあります。

この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できません。

〔プリンタ〕フォルダ、〔サーバのプロパティ〕の〔ドライバ〕リスト、〔デバイスマネージャ〕(表示された場合のみ)から XL プリンタを削除し、パソコンの再起動後、再度インストールを行ってください。

➡ 「プリンタドライバの削除」(51 ページ) 参照

▶ Printianavi ネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Printianavi のポート(Printianavi Network Port)が新規に作成できなくなります。

また、ネットワークポートモニタの上書きインストールもできませんので、アンインストールを行ってから再度最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

▶ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ (またはPrintia LASER プリンタユーティリティ V1.1)

ネットワーク連携ユーティリティ (またはPrintia LASER プリンタユーティリティ V1.1) がインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、ネットワーク連携ユーティリティ (またはPrintia LASER プリンタユーティリティ V1.1) のアンインストールができなくなります。

この場合、添付の CD-ROM の「WORKIT」フォルダにある「Howtodel.txt」を参照して削除処理を行った後、再度最新版のネットワーク連携ユーティリティをインストールしてください。

▼ Windows 2000 環境で使用時の留意事項

■ インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000 環境で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールする際は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

一般ユーザでログオンした状態では、インストール先のフォルダ等へのアクセス権限がないため、正しくインストールまたはアンインストールできない場合があります。

一般ユーザでインストールまたはアンインストールを行って正常に動作しなくなった場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

■ ネットワーク経由でのドライバインストールについて

クライアント/サーバ運用で、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows NT4.0 を使用した場合、サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に機能しません。

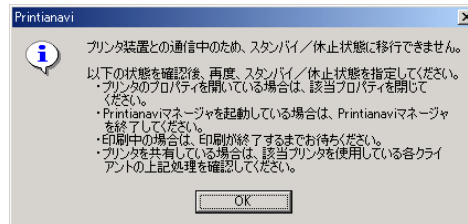
また、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows 98/95 を使用した場合、ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントにローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

■ Windows 2000 クラスタ環境について

Windows 2000 クラスタ環境での動作は保証していません。

ACPI の動作について

本プリンタとパソコンが通信中の場合は、パソコンがACPIによるスタンバイ / 休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。



パソコンをスタンバイ / 休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ / 休止状態の設定を行ってください。

プリンタを他のパソコン (クライアント) と共有している場合は、使用しているパソコン (クライアント) 側からも通信を行わないようにしてください。

- ・印刷中のとき
印刷が終了するまでお待ちください。
- ・プリンタドライバの設定画面 (プリンタのプロパティ) を開いているとき
プリンタドライバの設定画面 (プリンタのプロパティ) を閉じてください。
- ・Printianavi マネージャを起動しているとき
Printianavi マネージャを終了してください。

なお、サーバがスタンバイ / 休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとする、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくなります。このときは、次の操作を行ってください。

- ・プリンタドライバの設定画面の〔プリンタ状態表示〕または〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でエラーになったとき
エラー表示の画面を閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。
- ・Printianavi マネージャの状態表示やネットワークの設定でエラーになったとき
サーバが通常状態に復帰した後に、〔更新〕ボタンをクリックして表示を更新してください。
ネットワークの設定を行う場合は、再度設定してください。

■ 旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-5310/5510/5710/5810/6010 および XL-5320/5720/6100/6700 を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版に更新してください。

■ 特に注意が必要な組み合わせ

特に注意が必要な組合せについて説明します。

▶ Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

Windows 2000環境でPrintianaviネットワークポートモニタV3.1L31以降をインストールする際は、プリンタドライバを必ず最新版に更新してください。古いプリンタドライバと組み合わせると、プリンタの状態を正しく取得できません。

▶ Printianavi マネージャと対応プリンタ

各プリンタに対応するPrintianaviマネージャのバージョンを次の表に示します。

プリンタ	対応バージョン
XL-6100	V3.1L31 以降
XL-6700	V3.1L21 以降
XL-5720/5320	V3.1L20 以降
XL-6010	V3.1L11 以降
XL-5710/5310	V3.1L10 以降

Printianaviマネージャが、お使いのプリンタに対応していないバージョンの場合、プリンター一覧に表示されず、状態表示や管理は行えません。

■ 更新時の注意事項

各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

▶ Printia XL ドライバ

各プリンタに対応したプリンタドライバは、添付の CD-ROM の以下の場所に収められています。

プリンタ	プリンタドライバのある場所
XL-5320/5720/6100/6700	「FJXLV41」フォルダ ソフトウェアライブラリ
XL-5310/5510/5710/5810 /6010	ソフトウェアライブラリ

➡ プリンタドライバの更新方法は、「第 2 章 プリンタドライバのインストール」の「新しいドライバに置き換えるとき」参照
Windows 98/95 は [39 ページ](#)、Windows 2000 は [53 ページ](#)、
Windows NT4.0 は [69 ページ](#)、Windows 3.1 は [80 ページ](#)



ソフトウェアライブラリからは、プリンタドライバのフロッピーディスクを作成して使用します。



「第 1 章 インストールの概要」の「[Printia XL ドライバディスクの作成](#)」([8 ページ](#))参照

▶ Printianavi ネットワークポートモニタ

Printianavi ネットワークポートモニタの更新(上書きインストール)は、通常のインストールと同じ手順で行います。ただし、次の点に注意してください。

- ・ Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- ・ Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。



「第 4 章 Printianavi ネットワークポートモニタ」の「[ネットワークポートモニタをインストールする](#)」([174 ページ](#))参照

▶ Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティの更新は、次の手順で行います。

1 古いバージョンの Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをアンインストールする

➡ 「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「アンインストール」(204 ページ) 参照

Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でアンインストールを行ってください。

2 新しいバージョンの Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールする

➡ 「第5章 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」の「インストール」(199 ページ) 参照

更新は、サーバおよびクライアントの両方で行い、バージョン・レベルを同一にしてください。

▶ Printianavi マネージャ

Printianavi マネージャの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。

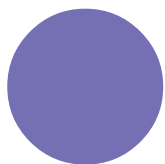
ただし、Printianavi マネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

➡ 「第6章 Printianavi マネージャ」の「再インストール」(229 ページ) 参照

NetWare編

第 1 章

インストールの概要



この章では、NetWare 環境から印刷するための
手順の概要について説明します。

(XL-6100/6700 のみ)

NetWare 環境での印刷設定 316

NetWare 環境での印刷設定

ここでは、NetWare 環境から印刷するための手順の概要を説明します。

お願い

NetWare 環境でご使用になれるのは、XL-6100/6700 のみです。

NetWare 機能をサポートしていないプリンタは、NetWare 環境ではご使用になれませんのでご注意ください。

また、サポートしている NetWare 環境は次のとおりです。

- ・ NetWare 3.xJ
- ・ NetWare 4.xJ (バインダリモードのプリントサーバモードのみ)

NetWare 4.xJ の NDS モードはサポートしていません。バインダリモードのプリントサーバモードでお使いください。

準備

NetWare 環境の印刷設定を行うためには、以下の環境が必要です。

パソコン側：

- ・ Windows 98/95 および Novell NetWare(Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- ・ Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

また、IPX/SPX 互換プロトコル、NetWare クライアントサービスをあらかじめ組み込んでおく必要があります。

プリンタ側：

NetWare プロトコルが有効に設定されている必要があります。

手順

1 ネットワーク設定ユーティリティを管理者のパソコンにインストールする

インストール方法は、[NetWare 編「第2章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ」\(323 ページ\)](#)を参照してください。

2 NetWare 環境で印刷するための設定を行います。

詳細は、[NetWare 編「第3章 NetWare 印刷の設定」\(341 ページ\)](#)を参照してください。

■ プリンタ LAN ポートの NetWare 動作環境設定 (管理者のみ)

- 1 NetWare サーバにスーパーバイザでログインする
- 2 ネットワーク設定ユーティリティを起動する
- 3 プリンタの一覧から環境設定を行うプリンタを選択する
- 4 NetWare プロトコルの設定を選択する
- 5 設定を行う

画面に従って、マシン名、パケット形式、動作モード、動作モード別の詳細設定、NetWare ポート名を設定し、設定内容をプリンタに反映して終了します。



手順3でプリンタの一覧に該当するプリンタが表示されない場合は、LANの設定内容を印刷し、NetWare設定が有効に設定されているか確認してください。NetWare設定が無効となっている場合には、プリンタのオペレータパネルでNetWareプロトコルを有効に変更します。
LANの設定内容の印刷や設定の変更はプリンタのオペレータパネルで操作します。
LANの設定内容の印刷方法については「[第4章 Printianavi ネットワークポートモニタ](#)」の「[プリンタをLANに直接接続する](#)」(164ページ)を、NetWare設定の変更方法については、取扱説明書を参照してください。

■ NetWare プロトコルの設定項目（管理者のみ）

- マシン名 プリントサーバモード時のプリントサーバ名として使用します。
- パケット形式 802.2が初期値です。NetWare サーバが認識できるパケット形式を選択します。
- 動作モード リモートプリンタモードとプリントサーバモードを選択します。
リモートプリンタモードでは、ネットワーク内に対応する NetWare のプリントサーバが起動している必要があります。
プリントサーバモードでは、プリンタ自身が NetWare のプリントサーバとして動作するため、専用のプリントサーバを起動する必要はありません。ただし、NetWare ファイルサーバに1ユーザとしてログインします。
リモートプリンタモードでは最大8台のプリントサーバに接続して、最大8個のプリントキューを処理することができます。プリントサーバモードでは最大8台のファイルサーバに接続して、最大32個のプリントキューを処理することができます。
- リモートプリンタ詳細 最大8台までのプリントサーバ名の登録とジョブタイムアウト時間を設定します。
- プリントサーバ詳細 最大8台までのファイルサーバ名の登録と、ファイルサーバにログインする際に必要となるパスワードの設定、およびジョブポーリング間隔を指定します。
- NetWare ポート名 PCONSOLE の「プリントサーバ情報」の「プリンタの構成」に使用する名前です。



マシン名、プリントサーバ名、ファイルサーバ名、パスワード、NetWare ポート名に使用できる文字は31文字以内の半角英数字です。

■ NetWare サーバ側の設定（管理者のみ）

▶ お願い

サーバがNetWare 4.xJ(IntranetWare)の場合は、バイナリモードでログインし、プリントサーバモードで使用するよう設定してください。

また、NetWare 4.xJのユーザに対してキューを公開する場合は、サーバにNDSモードでログイン後、キューユーザを追加してください。

▶ 設定の手順

- 1 NetWare サーバにスーパーバイザでログインし、*PCONSOLE* を実行する
- 2 「利用可能な項目」から「プリントキュー情報」を選択する
- 3 「プリントキュー情報」で〔Insert〕キーを押し、任意のプリントキュー名を追加する
- 4 〔Esc〕キーを押し、「利用可能な項目」に戻り、「プリントサーバ情報」を選択する
- 5 「プリントサーバ」で〔Insert〕キーを押し、新プリントサーバ名を入力する
リモートプリンタモードの場合は、任意のプリントサーバ名を、プリントサーバモードの場合はプリンタLANポートに設定したマシン名を入力します。
- 6 手順5で作成したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」の「プリントサーバ構成」を選択する
- 7 「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタの構成」を選択すると表示される「構成完了プリンタ」から「インストールされていません0」を選択する
「プリンタ0の構成」へ移行します。

- 8 「プリンタ0の構成」画面の「名前:」に、プリンタLANポートに設定したNetWareポート名を入力する
- 9 「タイプ:」を選択し、「プリンタタイプ」に移行し、プリンタタイプで「リモートプリンタ、LPT1」を選択する
- 10 [Esc] キーを押して、設定を保存する
- 11 「プリントサーバ情報」に戻り、「プリントサーバ構成」、「プリンタでサービスされているキュー」を順に選択して「定義済みのプリンタ」へ移行し、「プリンタ0の構成」で設定したプリンタポート名を選択する
- 12 サービスキューリストで[Insert] キーを押して、「使用可能キュー」の中から「プリントキュー情報」で設定したキュー名を選択する
- 13 PCONSOLE を終了する
- 14 リモートプリンタモードのときは、PCONSOLE の設定を有効にするため、NetWare のプリントサーバを再起動する
- 15 すべての設定作業が終わったら、プリンタ本体の電源を再投入する

■ クライアントから印刷できるようにするための設定

1 仮の印刷先ポートを指定してプリンタドライバをインストールする

ソフトウェア編「第2章 プリンタドライバのインストール」(27ページ)を参照してください。

印刷先は適当なポート(ローカルポート:LPT1など)を選択してください。

お願い

ここでは、実際に接続されていないポートを仮の印刷先として指定します。テストページ等の印刷は行わないでください。

2 印刷先ポートの変更を行う

詳細は、ソフトウェア編 第2章の「印刷先ポートの追加と変更」(35ページ)と「サーバ経由で印刷するとき」(36ページ)を参照してください。

NetWare編

第2章

Printianavi ネットワーク設定 ユーティリティ

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、プリンタをLAN経由で利用するために必要な設定を、パソコンから行えるようにします。この章では、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの使いかたについて説明します。

(XL-6100/6700 のみ)

本章の中では、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを「ネットワーク設定ユーティリティ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

ネットワーク設定ユーティリティを

インストールする 324

動作環境と制限事項 324

インストールの操作 325

ネットワーク設定ユーティリティの使いかた 327

ネットワーク設定ユーティリティを起動する 327

一覧の見かた 328

各メニューの機能 329

ネットワーク設定の詳細 335

TCP/IP の設定 335

NetWare の設定 337

ネットワーク設定ユーティリティをインストールする

動作環境と制限事項

▶ 動作環境

Printianaviネットワーク設定ユーティリティは、次の環境で使用できます。

- ・Windows 98/95およびNovell NetWare (Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- ・Windows 98/95 および Novell NetWare Client 32

▶ 制限事項

- ・本ユーティリティは、以下のプリンタのみサポートしています。

XL-6100/6700

また、プリンタのNetWareプロトコルが「有効」に設定されている必要があります。

- ・マイクロソフト製のNetWare互換のクライアントサービス(NetWare ネットワーククライアント)をインストールした環境では、互換クライアントがサポートしない関数を使用するため、正常に動作しません。
- ・NetWareファイルサーバの存在しないネットワークでは、使用しないでください。また、ルータ等を使用している場合、そのルータの仕様によっては正常に動作できない場合があります。
- ・プリンタの設定を変更するには、設定変更権限が必要です。
設定を変更する場合にはSUPERVISORでログインし、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動してください。
- ・Printianaviネットワーク設定ユーティリティ、Printianaviマネージャ、およびオペレータパネルから、プリンタのNetWareプロトコルを「無効」に設定すると、本プリンタは、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンター一覧に表示されなくなります。
Printianaviネットワーク設定ユーティリティのプリンター一覧にプリンタを表示して、設定等を行いたい場合には、オペレータパネルから、プリンタのNetWareプロトコルを「有効」に設定してください。
- ・NetWare 4.xJのNDSモードには対応していません。バインダリモードのプリントサーバモードで使用してください。

インストールの操作

ネットワーク設定ユーティリティは、Windows 98/95が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

1 Windows 98/95 を起動する

2 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする



CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



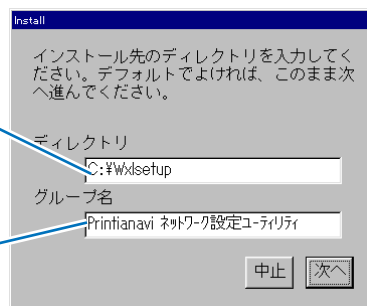
3 〔スタート〕から〔ファイル名を指定して実行〕を選択し、「D:¥WXLSETUP¥INSTALL.EXE」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥WXLSETUP¥INSTALL.EXE」を選択する

(CD-ROM ドライブがD:のとき)

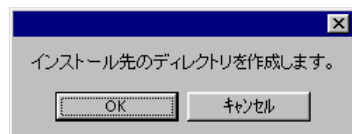
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

本ユーティリティをインストールするディレクトリ

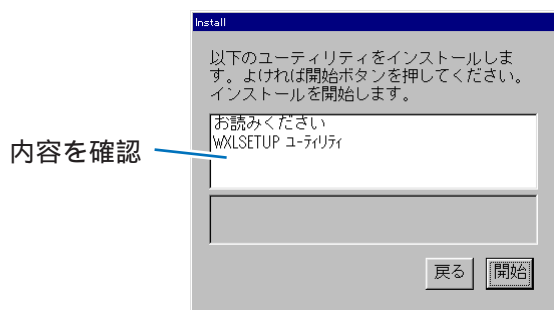
スタートメニューに登録するときのグループ名



4 インストール先のディレクトリと、登録するグループ名を指定し、〔次へ〕をクリックする

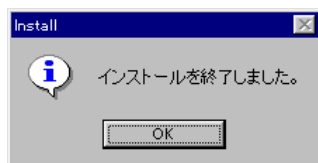


5 [OK] をクリックする



6 インストールする内容を
確認し、[開始]をクリックする

必要なファイルがコピーされます。



7 [OK] をクリックする

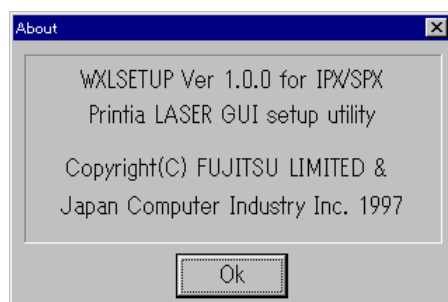
左のウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックしてインストールを終了します。

ネットワーク設定ユーティリティの 使いかた

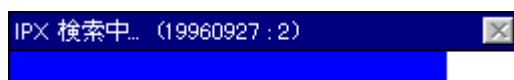
ネットワーク設定ユーティリティを起動し、各設定を行う操作について説明します。

▼ ネットワーク設定ユーティリティを起動する

- 1 {Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ} グループから、{WXLSETUP ユーティリティ} を起動する
{スタート} から {プログラム} {Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ} の順に選択します。



- 2 {OK} をクリックする
本ユーティリティ名称、バージョンなどが表示されます。確認し、{OK} をクリックします。



プリンタの検索を開始します。処理の進行状況が青いバーで表示されます。

検索が終わると、次のような一覧が表示されます。



一覧の見かた

メニューバー

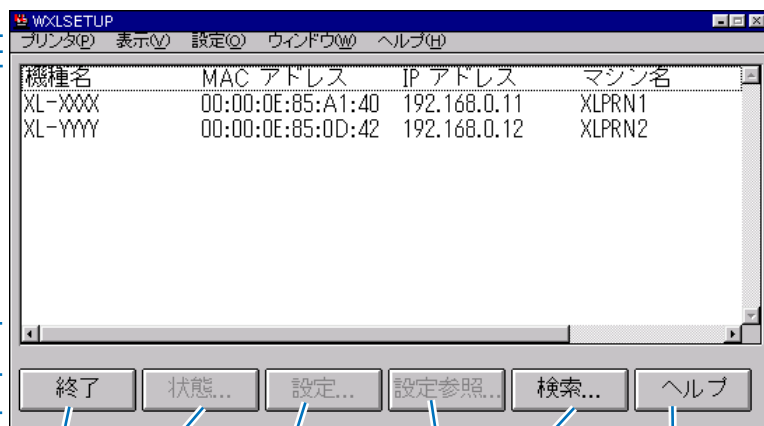
5つのプルダウンメニューがあります。
各メニューについては、次ページをご覧ください。

プリンタの情報

本ユーティリティから設定できる、ネットワーク上のプリンタの一覧を表示します。

ボタン

メニューバーにある機能の一部を、直接実行できます。



〔終了〕

〔プリンタ状態表示〕

〔ネットワーク設定〕

〔再検索〕〔ヘルプ〕画面

〔ネットワーク設定参照〕

各メニューの機能

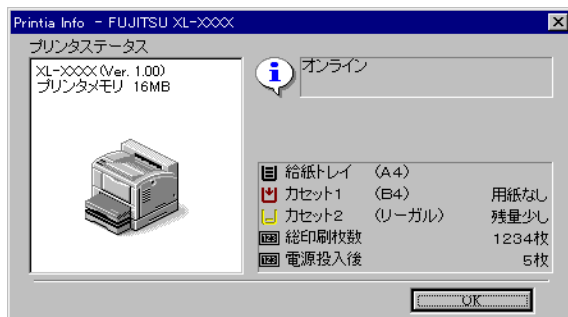
メニューバーから実行できる機能について説明します。

メニュー名に続く ([]) は、同じ機能をもつボタンを示します。

〔プリンタ〕メニュー

プリンタの状態の表示や、プリンタのリセットを行います。プリンタを選択した状態で、プルダウンメニューを選びます。

▶ プリンタ状態表示 ([状態])



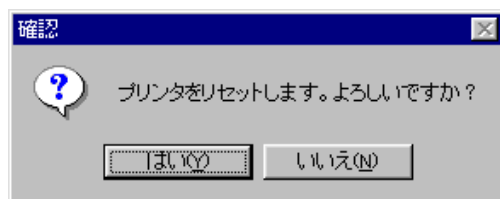
プリンタの現在のステータスを表示します。表示内容は、一定時間ごとに自動的に更新されます。更新の間隔は、〔環境設定〕で変更できます。また、この画面は同時に複数開くことができます。(最大8枚)



ガイド

この機能は、Printia XL ドライバがインストールされているときのみ、動作します。

▶ プリンタリセット



プリンタをリセットします。〔プリンタリセット〕を選択すると、左の画面が表示されます。プリンタをリセットするときは、〔はい〕をクリックします。

▶ 終了 ([終了])

本ユーティリティを終了します。

■〔表示〕メニュー

プリンタおよびネットワークの設定内容を表示します。

▶ システム情報表示



プリンタの内部状態に関するシステム情報を表示します。

▶ 再検索 (〔検索〕)

本ユーティリティを起動したときと同じように、ネットワーク上のプリンタを検索します。

▶ ネットワーク設定参照 (〔設定参照〕)

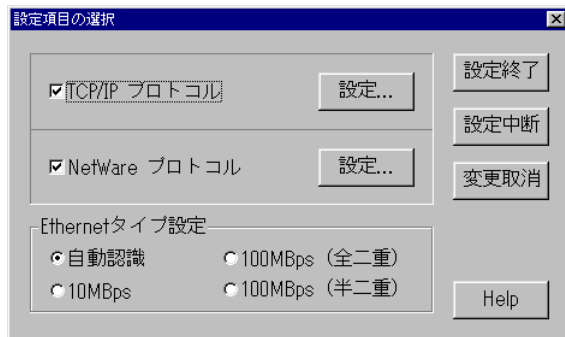


選択中のプリンタのネットワーク関係の設定内容を表示します。

〔設定〕メニュー

ネットワークおよび本ユーティリティの動作に関する設定を行います。

▶ ネットワーク設定 (〔設定〕)



ネットワークに関する各種の設定を行う画面を表示します。

この画面を表示するには、スーパーバイザでログインしている必要があります。スーパーバイザ以外の権限でログインしているときは、パスワードの入力が必要です。

TCP/IP プロトコル TCP/IP を使用するときはチェックします。

この項目をチェックして〔設定...〕をクリックすると、TCP/IP に関する設定画面が表示されます。(「[TCP/IP の設定](#)」(335 ページ) 参照)

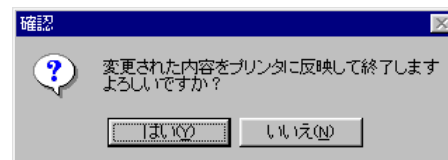
NetWare プロトコル .. NetWare (IPX/SPX プロトコル) を使用するとき

はチェックします。この項目をチェックして〔設定...〕をクリックすると、NetWare に関する設定画面が表示されます。(「[NetWare の設定](#)」(337 ページ) 参照)

Ethernet タイプ設定 ... Ethernet のタイプを選択します。

設定終了 設定の変更結果をプリンタに登録します。

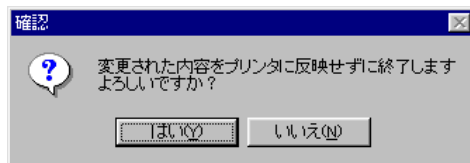
次の画面が表示されるので、変更結果を登録してよければ、〔はい〕をクリックします。



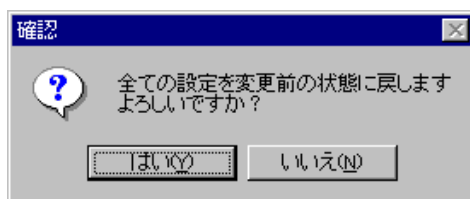
設定変更は、プリンタがオンライン状態(印刷処理中を除く)のときに可能です。

プリンタがオフライン状態(エラー状態を含む)や印刷処理中に設定変更を行うと、「通信エラー」となります。「通信エラー」が発生した場合は、プリンタの状態を確認し、再度、設定変更の操作を行ってください。

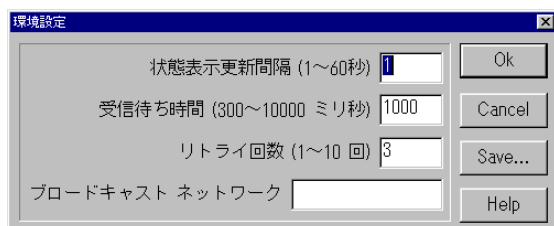
設定中断 設定を中止して、一覧に戻ります。これまでの変更内容は、無効になります。
次の画面が表示されるので、変更を中止してよければ、〔はい〕をクリックします。



変更取消 変更前の設定内容に戻します。これまでの変更内容は無効になります。
次の画面が表示されるので、変更前の状態に戻してよければ、〔はい〕をクリックします。



▶ 環境設定



本ユーティリティの動作について設定する画面を表示します。

状態表示更新間隔 〔プリンタ状態表示〕メニューまたは〔状態〕で表示されるプリンタのステータスを更新する間隔を、1 ~ 60 秒の範囲で設定します。


受信待ち時間 プリンタの状態を受信するまでの待ち時間を設定します。ここで指定した時間データを受信しないときは、プリンタの異常（オフライン）とみなします。300 ~ 10000 ミリ秒の範囲で設定します。

リトライ回数 プリンタの状態を受信できないときに、受信を試みる回数を設定します。1 ~ 10 回の範囲で設定します。

ブロードキャスト ブロードキャストネットワークに接続するときネットワーク は、そのネットワーク名を指定します。

- OK 設定の変更結果を一時的に保存して、一覧に戻ります。変更結果は、本ユーティリティを終了するまで有効です。
- CANCEL 設定を中止して、一覧に戻ります。これまでの変更内容は、無効になります。
- SAVE 設定の変更結果を登録して、一覧に戻ります。保存した内容は、本ユーティリティを次に起動したときも有効です。

▶ パスワード変更



パスワード変更

現在のパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワードの確認:

OK Cancel Help

パスワードを変更します。

「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力します。「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に、新たに設定するパスワードを入力します。

3 か所のパスワードを入力して〔OK〕をクリックすると、パスワードが変更されます。

■〔ウィンドウ〕メニュー

▶ 全てをアイコン化

現在開いているプリンタの状態を表示するウィンドウを、すべてアイコンにします。

▶ 全てをクローズ

現在開いているプリンタの状態を表示するウィンドウを閉じます。

■〔ヘルプ〕メニュー

▶ 目次

ネットワーク設定ユーティリティのヘルプを表示します。

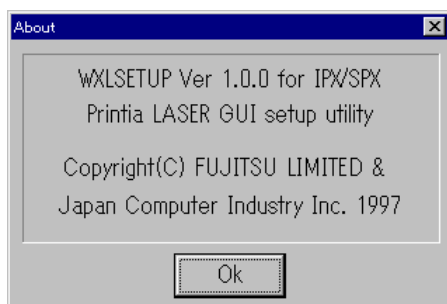
▶ この画面について

現在表示中の画面に関する説明を表示します。

▶ ヘルプの使い方

ネットワーク設定ユーティリティのヘルプの使いかたを表示します。

▶ バージョン



バージョン情報を表示します。


ネットワーク設定の詳細

〔ネットワーク設定〕メニューまたは〔設定〕で表示される画面で〔設定〕を押し、パスワードを入力すると、TCP/IPとNetWareそれぞれについて設定できます。

▼ TCP/IP の設定



IP アドレス プリンタの IP アドレスを設定します。

DHCPによるアドレス取得 ... IP アドレスを DHCP により自動的に取得する
( **ガイド** 参照) ときは、チェックします。

サブネットマスク、.... それぞれ、プリンタのサブネットマスクとゲートウェイ
ゲートウェイ トウェイを設定します。

BPP ポート番号 BPP ポートのポート番号を指定します。
通常は、「9313」のままとします。



IPアドレスを自動取得するには、DHCP サーバ側で次の設定が必要です。

DHCP マネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定します。

開始アドレス、終了アドレス、サブネットマスク、
リース期間（無期限を推奨）

設定が終わったら、スコープをアクティブにします。

さらに、獲得するIPアドレスを固定するために、次の設定を行うことをお勧めします。

〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し、次の項目を設定します。

IP アドレス 設定したいIP アドレス

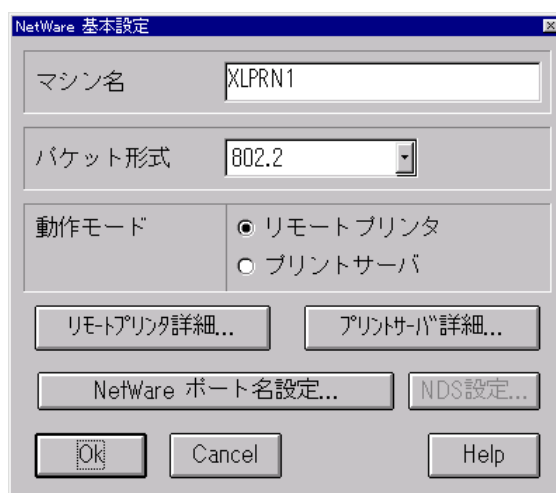
一意のID MAC アドレス

クライアント名 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

▼ NetWare の設定

■ NetWare 基本設定



マシン名 NetWare環境上でのプリンタの識別子を、半角の英数字 31 文字以内で指定します。

パケット形式 使用するパケットのフレームタイプを指定します。
本プリンタには、フレームタイプを自動的に選択する機能があります。この場合、選択に時間がかかることがあるので、ここで設定するようにしてください。

動作モード 使用する動作モードを、「リモートプリンタ」「プリントサーバ」から選択します。
本プリンタには、動作モードを自動的に選択する機能があります。この場合、選択に時間がかかることがあるので、ここで設定するようにしてください。

リモートプリンタ詳細 ... リモートプリンタについて設定するウィンドウを表示します。(「[リモートプリンタ詳細設定](#)」(338 ページ) 参照)

プリントサーバ詳細 ... プリントサーバについて設定するウィンドウを表示します。(「[プリントサーバ詳細設定](#)」(339 ページ) 参照)

NetWare ポート名設定 ... NetWareポート名を設定するウィンドウを表示します。(「[NetWare ポート名設定](#)」(339 ページ) 参照)

■ リモートプリンタ詳細設定



プリントサーバ設定 ... 接続されるプリントサーバを、半角の英数字 31 文字以内で設定します。
プリントサーバが 8 台以上ある場合や、サーバの検索に時間がかかるときは、設定してください。

ジョブタイムアウト時間 プリンタが最後のパケットを受け取ってからプリンタポートを解放するまでの時間を設定します。
4 ~ 255 秒の範囲で設定します。初期値は 10 秒です。

■ プリントサーバ詳細設定

ファイルサーバ設定 ... 接続されるファイルサーバを、半角の英数字 31 文字以内で設定します。

NetWare サーバが 8 台以上ある場合や、サーバの検索に時間がかかる場合は、設定してください。

パスワード プリントサーバとしてファイルサーバにログインする際に使用する、パスワードを設定します。

半角の英数字 31 文字以内で指定します。

ジョブポーリング時間 ... プリントサーバとして動作中にキュー状態を調べる間隔を、2 ~ 255 秒の範囲で設定します。初期値は 4 秒です。

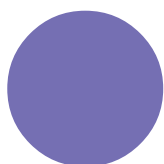
■ NetWare ポート名設定

NetWare プリンタポート名を設定します。

NetWare編

第3章

NetWare 印刷の設定



この章では、ノベル社の NetWare 4.xJ および NetWare 3.xJ 環境下で印刷するために必要な NetWareサーバやプリンタの設定について説明します。(XL-6100/6700 のみ)

本章の内容は、NetWare の基本的な知識や操作方法を理解している NetWare管理者を対象としています。ノベル社の NetWareのマニュアルと併せてご覧ください。

NetWare 印刷について	342
プリントサーバモード	342
リモートプリンタモード	343
ネットワーク設定ユーティリティ使用時の留意事項	345
NetWare 4.xJ 環境での設定 (プリントサーバモード).....	346
プリンタ側の設定	347
NetWare サーバ側の設定	349
NetWare 3.xJ 環境での設定	355
プリンタ側の設定	356
サーバ側の設定	358
トラブルシューティング	362

NetWare 印刷について

NetWare 対応の XL プリントは、ノベル社の NetWare 印刷環境に直接接続して印刷することができます。ここでは、NetWare 4.xJ および NetWare 3.xJ を使用する場合の動作モードについて説明します。



お願い

NetWare 4.xJ の NDS モードには、対応していません。バイナリモードのプリントサーバモードでお使いください。

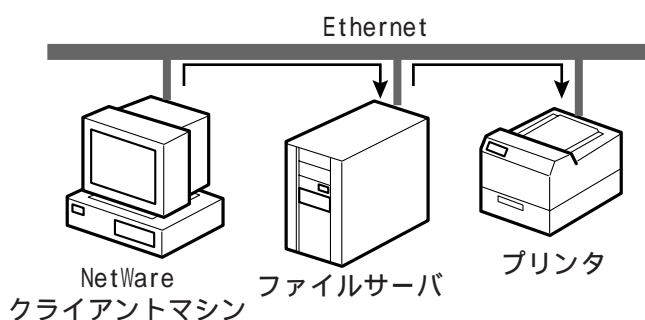
■ 対応プリンタについて

NetWare 対応の XL プリントは、以下のとおりです。
XL-6100/6700

▼ プリントサーバモード

他のプリントサーバ(ファイルサーバ上で動作するプリントサーバ機能やプリントサーバ専用のパソコン)を必要としないモードです。

プリントサーバモードでは、次の順序で印刷を行います。



- 1 NetWareクライアントマシンからファイルサーバ上に印刷ジョブをスプールする
- 2 プリンタがファイルサーバから直接ジョブを取り出す
- 3 取り出したデータを元に、印刷を実行する

▼ リモートプリンタモード

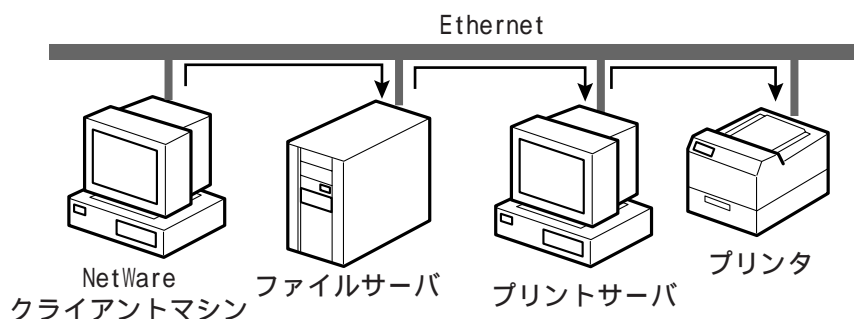
他のプリントサーバ(ファイルサーバ上で動作するプリントサーバ機能やプリントサーバ専用のパソコン)を必要とするモードです。通常のNetWareのプリント機能(PSERVER.NLMまたはPSERVER.EXE)を利用します。

リモートプリンタモードでは、次の順序で印刷を行います。

- 1 NetWare クライアントマシンからファイルサーバ上に印刷ジョブをスプールする
- 2 プリントサーバ(ファイルサーバ上で動作するプリントサーバ機能やプリントサーバ専用のパソコン)がファイルサーバからジョブを取り出す
- 3 プリントサーバがプリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送する
- 4 転送されたデータを元に、印刷を実行する

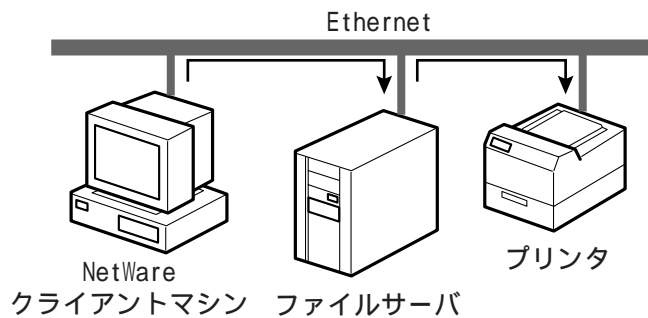
■ PSERVER.EXE を使用した場合のジョブの流れ

1 台のパソコンが専用のプリントサーバになります。



■ PSERVER.NLM を使用した場合のジョブの流れ

ファイルサーバがプリントサーバの機能を持ちます。

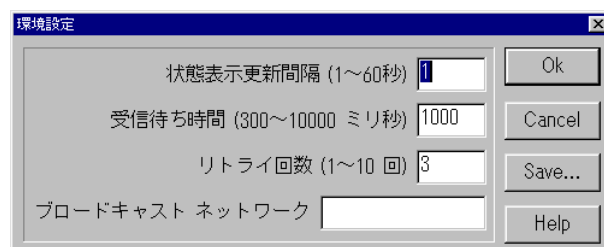


ネットワーク設定ユーティリティ 使用時の留意事項

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティで NetWare に関する設定を行うときは、次の点に留意してください。

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの操作、および設定内容については、「[第2章 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ](#)」(323 ページ)を参照してください。

- ・本ユーティリティは以下のプリンタのみサポートしています。
XL-6100/6700
また、プリンタの NetWare プロトコルが「有効」に設定されている必要があります。
- ・NetWare に関する設定は、スーパーバイザまたはアドミニストレータの権限で NetWare サーバにログインして行います。
- ・アドミニストレータでログインしたときは、アドミニストレータが〔Root〕にいる場合に限り、設定ができます。
- ・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、ファイルサーバおよびプリントサーバが正常に立ち上がった状態で使用してください。
- ・本プリンタの電源は、ファイルサーバ、プリントサーバが立ち上がったから入れてください。電源が入っていない場合、設定が行えません。
- ・ネットワーク上に NetWare ファイルサーバが多数ある場合、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの一覧に表示されないことがあります。このときは、〔設定〕メニューから〔環境設定〕を選択し、「ブロードキャストネットワーク」の項目に、本プリンタが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、〔Save〕ボタンをクリックします。その後、一覧で〔検索〕ボタンをクリックすれば、設定した NetWare ネットワークアドレス内の本プリンタのみが検索されます。



NetWare 4.xJ 環境での設定 (プリントサーバモード)

NetWare 4.xJ 環境で本プリンタをプリントサーバモードで使用する
ときの、プリンタ側とNetWareサーバ側の環境設定について説明します。

必要な設定項目

次の項目について、設定が必要です。

▶ プリンタ側

- ・ NetWare ポート名の設定
- ・ マシン名の設定

▶ NetWare サーバ側

- ・ キュー作成
- ・ プリントサーバの作成 (本プリンタに設定したマシン名を登録)
- ・ プリントサーバのプリンタの構成を設定 (名前に本プリンタに設定した NetWare ポート名を指定)
- ・ サービスキューリストへの登録

設定例

以降の説明では、設定例として、次の名称および設定値を使用します。

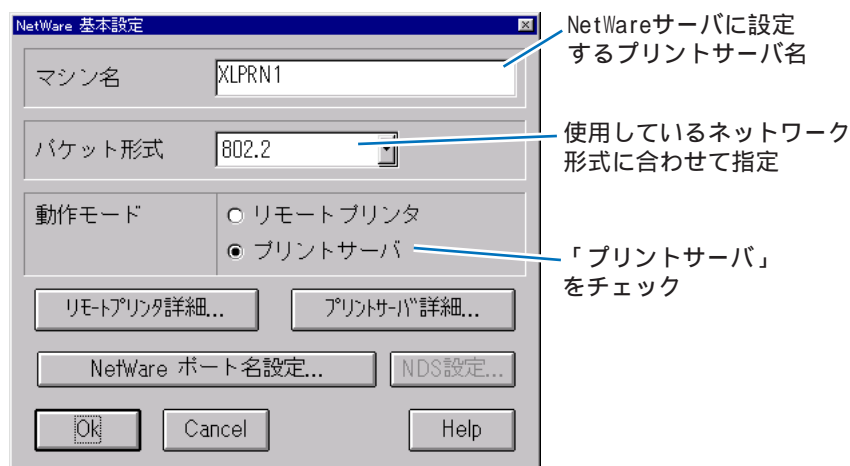
マシン名 (プリントサーバ名)	XLPRN1
NetWare ポート名 (プリンタ名)	XLPRN1-PRN
パケット形式	802.2
サーバへのログインパスワード	なし
印刷ジョブのポーリング間隔	4 秒
ファイルサーバ名	FS1
キュー名(PSERVER)	XLPRN1-Q
ファイルサーバのNDS ツリー	MH
本プリンタを接続するNDS コンテキスト	RD.MH

▼ プリンタ側の設定

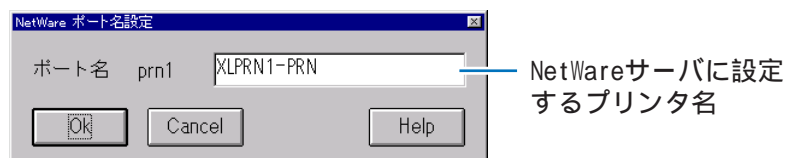
本プリンタをプリントサーバモードで使用する時の、プリンタ側の環境設定について説明します。

Printianaviネットワーク設定ユーティリティの各画面で次のように設定します。

▶ NetWare 基本設定



▶ NetWare ポート名設定



▶ プリントサーバ詳細設定

プリントサーバ詳細設定

ファイルサーバ設定

No.1	FS1	No.5	
No.2		No.6	
No.3		No.7	
No.4		No.8	

パスワード

ジョブポーリング時間 4 (秒)

Ok Cancel Help

プリンタを管理するNetWareサーバのネットワーク名称

プリンタからNetWareサーバに対してジョブを問い合わせる間隔(秒単位)
通常は4秒(デフォルト)のまま使用



ジョブポーリング時間の値が小さすぎると、ネットワークの負荷が大きくなります。また、値が大きすぎると、印刷のレスポンスが悪くなります。

▼ NetWare サーバ側の設定

本プリンタをプリントサーバモードで使用する時の、サーバ側の環境設定について説明します。

以降の説明は、NetWare 4.1J のものです。ご使用のバージョンにより、メニューの表示などが異なることがあります。

■ バインダリモードの設定

本プリンタを NetWare 4.xJ 環境でプリントサーバモード (バインダリモード) で使用する時の、NetWare サーバ側の環境設定について説明します。

```
F:¥>login FS1/supervisor/B
```

1 ファイルサーバにバインダリモードでログインする

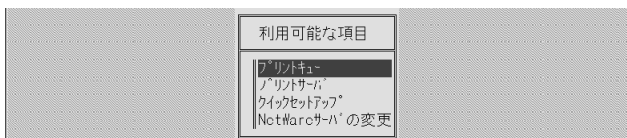
NetWare クライアントマシンからバインダリモードのスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。ここでは、ファイルサーバ「FS1」にログインします。ログインコマンド実行後、パスワードを入力します。



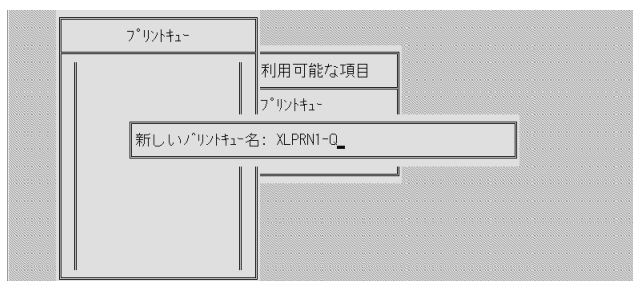
ガイド プリンタに設定した「ファイルサーバ名」と同じファイルサーバにログインしてください。

```
F:¥>pconsole
```

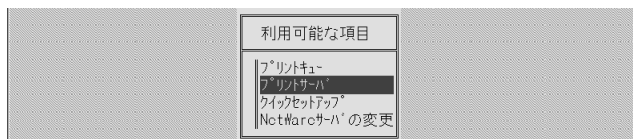
2 PCONSOLE を起動する



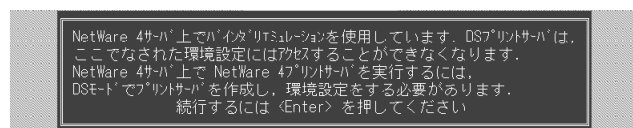
3 [プリントキュー] を選択して、[Insert] キーを押す



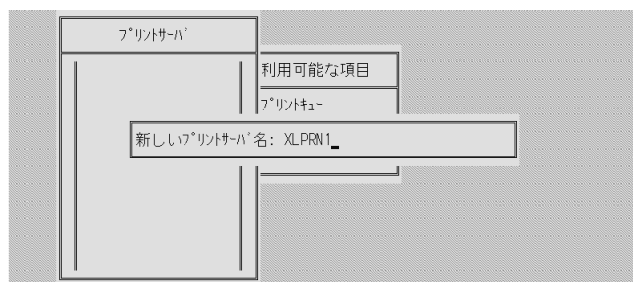
- 4 「新しいプリントキュー名」に任意のキュー名を入力する(ここでは、「XLPRN1-Q」)



- 5 「プリントサーバ」を選択する



- 6 左のメッセージが表示されたら、内容を確認して〔Enter〕キーを押す

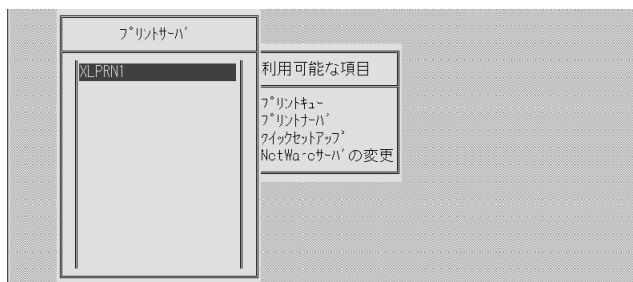


- 7 「プリントサーバ」で〔Insert〕キーを押し、「新しいプリントサーバ名」に本プリンタに設定したマシン名を入力する(ここでは、「XLPRN1」)

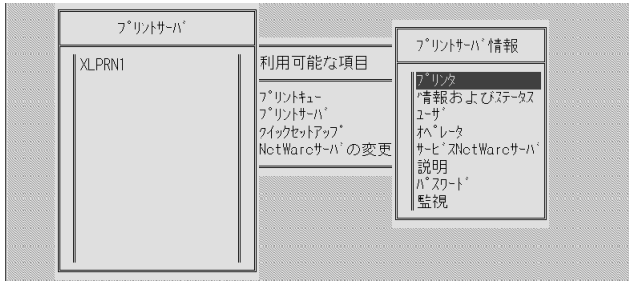
入力した「新しいプリントサーバ名」が「プリントサーバ」に登録されます。



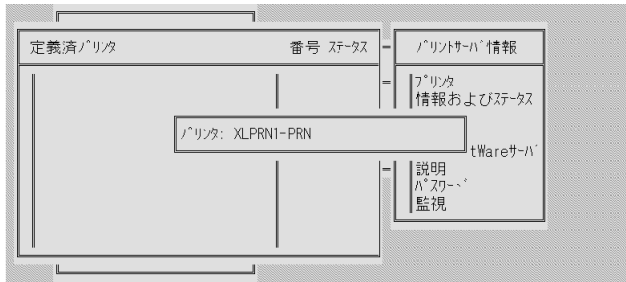
ガイド ファイルサーバに設定する「新しいプリントサーバ名」と本プリンタに設定された「マシン名」は、必ず一致させてください。一致していないと、本プリンタがファイルサーバにアクセスすることができなくなります。



- 8 「プリントサーバ」に登録したプリントサーバを選択する



9 「プリンタ」を選択する

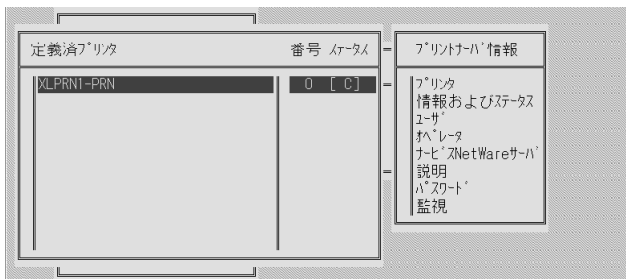


10 {Insert} キーを押して、プリンタに設定した「NetWare ポート名」を入力する(ここでは、「XLPRN1-PRN」)

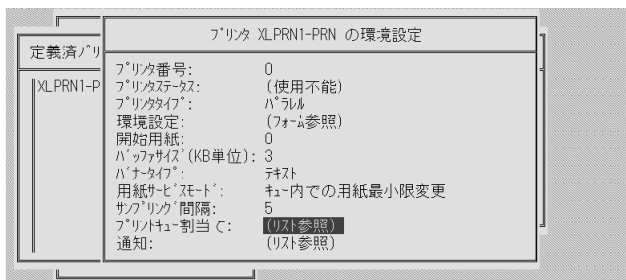
入力した「プリンタ名」が「定義済みプリンタ」に登録されます。



ファイルサーバに設定する「プリンタ名」は、本プリンタに登録した「NetWare ポート名」と一致させてください。一致していない場合は、印刷を実行した際に、ファイルサーバからプリンタに印刷データが転送されなくなります。



11 登録したプリンタを選択する



12 {プリントキュー割当て}を選択する

定義	NetWareサーバのプリントキュー	使用可能なプリントキュー	優先順位	ステータス
XLP		XLPRN1-Q		

13 `[Insert]`キーを押し、「使用可能なプリントキュー」から登録した「プリントキュー」(ここでは「XLPRN1-Q」)を選択する

定義	NetWareサーバのプリントキュー	優先順位	ステータス
XLP	FS1\XLPRN1-Q	1	[C]

14 左のように表示されたら、`PCONSOLE`をいったん終了する

```
F:¥>cx MH
```

15 ファイルサーバからいったんログアウトし、`CX`コマンドを使って、`ADMIN`が存在するコンテキスト(ここでは「MH」)へ移動する

```
F:¥>login FS1/admin
```

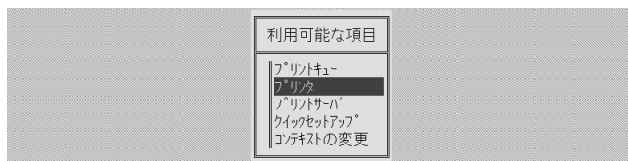
16 `NDS`モードの`ADMIN`でファイルサーバにログインし直す

```
F:¥>cx RD
```

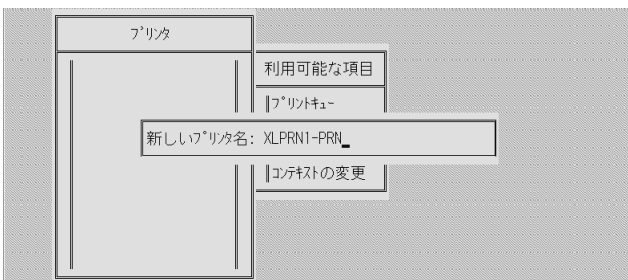
17 `CX`コマンドを使い、バインダリコンテキストで指定したコンテキスト(ここでは「RD.MH」)へ移動する

```
F:¥>pconsole
```

18 `PCONSOLE`を起動する



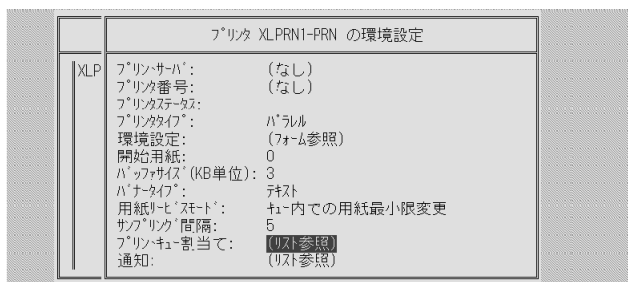
19 「プリンタ」を選択する



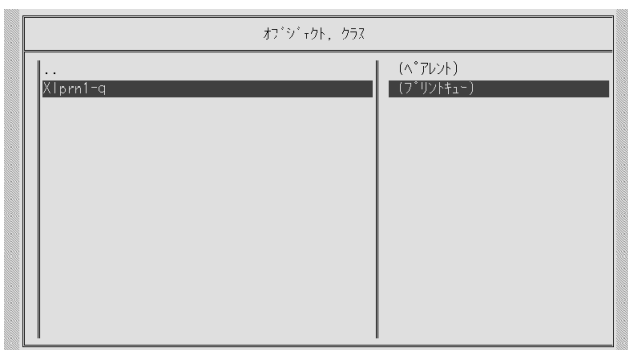
20 {Insert} キーを押し、プリンタに登録したNetWareポート名(ここでは「XLPRN1-PRN」)を入力する



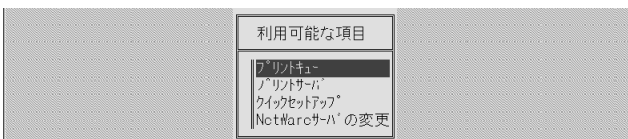
ファイルサーバに設定する「プリンタ名」は、本プリンタに登録した「NetWareポート名」と必ず一致させてください。



21 登録した「プリンタ」を選択し、{プリントキュー割当て}を選択する



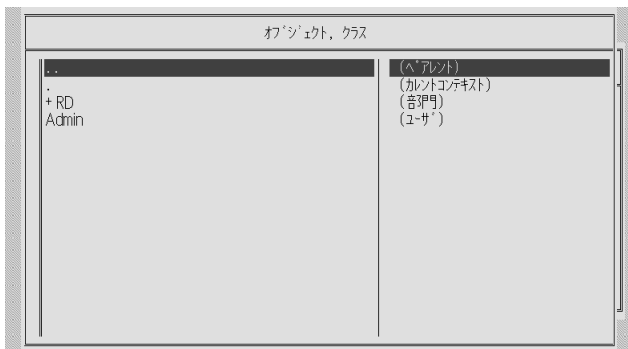
22 プリントキューの一覧で{Insert}キーを押し、バイナリモードで作成したキュー(ここでは、「XLPRN1-Q」)を選択する



23 「利用可能な項目」に戻り、{プリントキュー}を選択する



24 [Insert] キーを押す



25 ユーザまたはディレクトリを指定する

26 PCONSOLE を終了し、プリンタの電源を入れ直す。

プリンタの電源を入れ直した後、ファイルサーバの「NetWare4.1 コンソールモニタ」上に設定したプリントサーバ名(マシン名、ここでは「XLPRN1」)が表示されればファイルサーバへの接続は完了です。

ファイルサーバへ接続されない場合は、再度電源を入れ直してください。それでも接続されない場合は、ファイルサーバおよびプリンタの設定内容を確認してください。

NetWare 3.xJ 環境での設定

NetWare 3.xJ 環境で本プリンタをご使用するときの、プリンタ側と NetWare サーバ側の環境設定について説明します。

必要な設定項目

次の項目について、設定が必要です。

▶ プリンタ側

- ・ NetWare ポート名の設定
- ・ マシン名の設定

▶ NetWare サーバ側

- ・ キュー作成
- ・ プリントサーバの作成（本プリンタに設定したマシン名を登録）
- ・ プリントサーバのプリンタの構成を設定（名前に本プリンタに設定した NetWare ポート名を指定）
- ・ サービスキューリストへの登録

設定例

以降の説明では、設定例として、次の名称および設定値を使用します。

▶ NetWare 基本設定

マシン名（プリントサーバ名）..... XLPRN1
プリンタポート名（プリンタ名）..... XLPRN1-PRN
パケット形式 802.2
キュー名(PSERVER) XLPRN1-Q

▶ プリントサーバモードで使用するとき

本プリンタを接続するサーバ名 FS1
サーバへのログインパスワード なし
印刷ジョブのポーリング間隔 4 秒

▶ リモートプリンタモードで使用するとき

サーバに設定されているプリントサーバ名 PSERVER1
印刷ジョブのタイムアウト 10 秒

▼ プリンタ側の設定

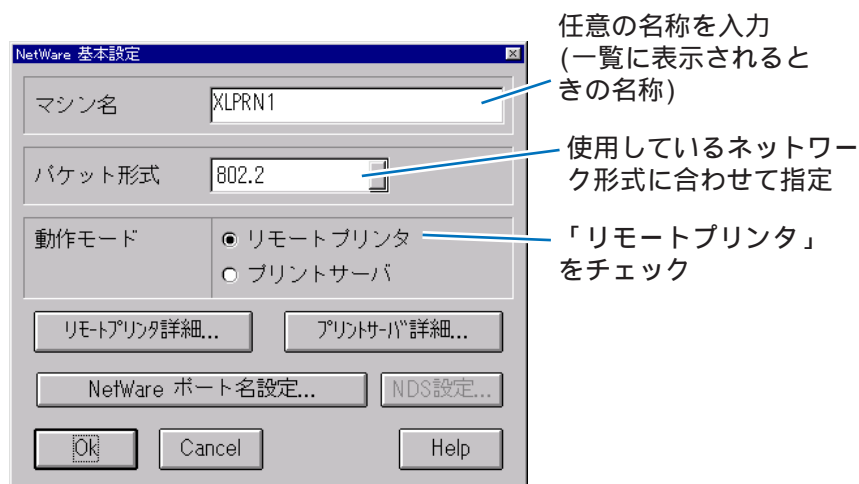
■ プリントサーバモードのとき

NetWare 3.xJ 環境で本プリンタをプリントサーバモードで使用する
ときのプリンタ側の環境設定は、NetWare 4.xJ 環境下のときと同じです。
「[プリンタ側の設定](#)」(347 ページ)をご覧ください。

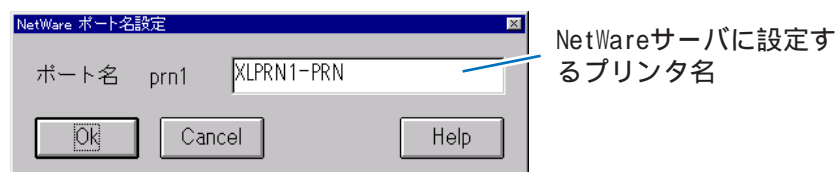
■ リモートプリンタモードのとき

Printianaviネットワーク設定ユーティリティの各画面で次のように設定
します。

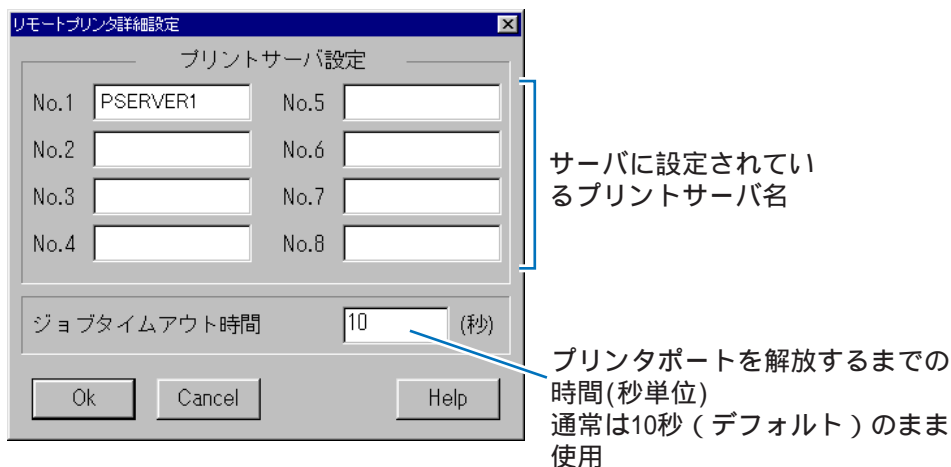
▶ NetWare 基本設定



▶ NetWare ポート名設定



▶ リモートプリンタ詳細設定



ジョブタイムアウト時間の値が小さすぎると、パケットが遅れた場合などにジョブの完了と誤認しやすくなります。また、値が大きすぎるとプリンタの解放が遅くなり、TCP/IP プロトコルやセントロニクスケーブルでの印刷時間に影響を与えます。

サーバ側の設定

NetWare 3.xJ 環境で本プリンタを使用するときの、NetWare サーバ側の環境設定について説明します。NetWare 3.xJ がファイルサーバの場合、プリントサーバモードもリモートプリンタモードもファイルサーバの設定方法は同じです。

```
F:¥>login FS1/supervisor
```

- 1** クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバ(ここでは、「FS1」)にログインする

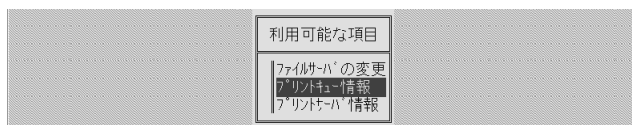


ガイド

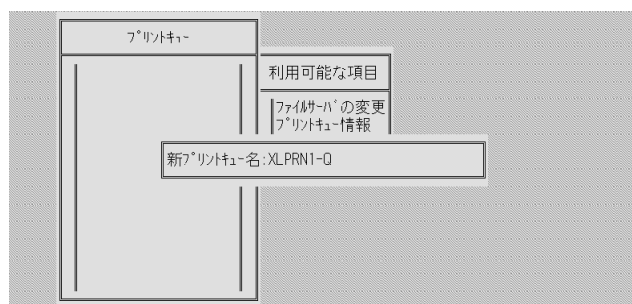
プリンタに設定した「ファイルサーバ名」と同じファイルサーバにログインしてください。

```
F:¥>pconsole
```

- 2** PCONSOLE を起動する

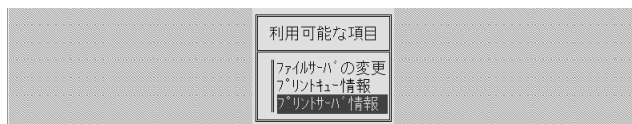


- 3** [プリントキュー情報] を選択する

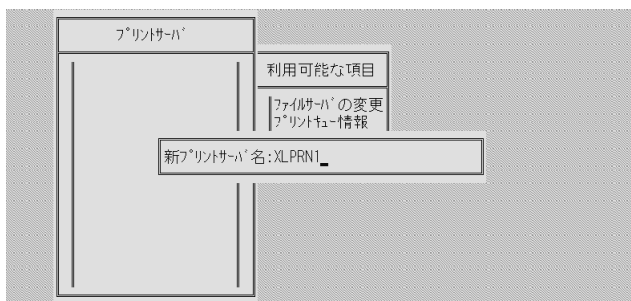


- 4** [Insert] キーを押し、キュー名(ここでは「XLPRN1-Q」)を入力する

入力したキュー名が「プリントキュー」に登録されます。



- 5** [プリントサーバ情報] を選択する



6 [Insert]キーを押し、「新しいプリントサーバ名」を入力する

プリントサーバモードの場合は本プリンタに登録した「マシン名」を入力します。ここでは「XLPRN1」を入力します。

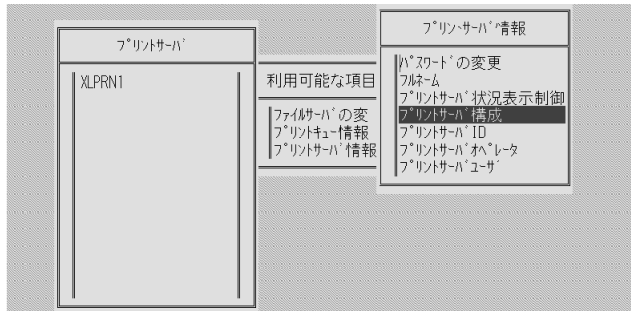
リモートプリンタモードの場合、ここでは「PSERVER1」を入力します。

入力したプリントサーバ名が「プリントサーバ」に登録されます。

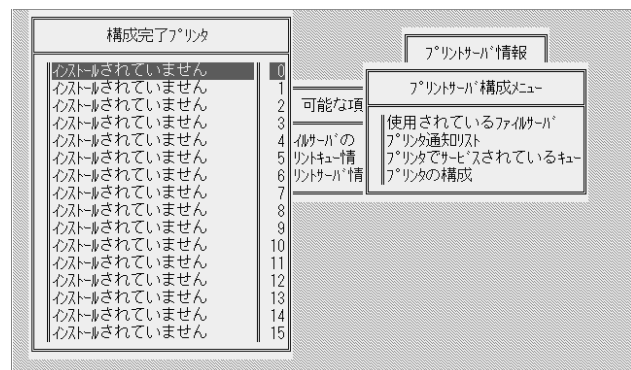


ガイド

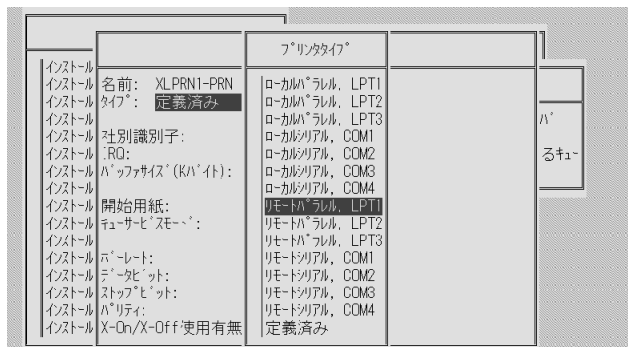
プリントサーバモードの場合、ファイルサーバに設定する「新しいプリントサーバ名」と本プリンタに設定された「マシン名」を、必ず一致させてください。一致していないと本プリンタがファイルサーバにアクセスすることができなくなります。



7 登録したプリントサーバを選択し、[プリントサーバ構成]を選択する



8 [プリンタの構成]を選択し、「構成完了プリンタ」で「インストールされていません0」を選択する



9 「名前」「タイプ」を登録する

「名前」には本プリンタ「NetWareポート名」(ここでは「XLPRN1-PRN」)を登録します。「タイプ」には「プリンタタイプ」に表示される一覧より、「リモートパラレル,LPT1」を指定します。

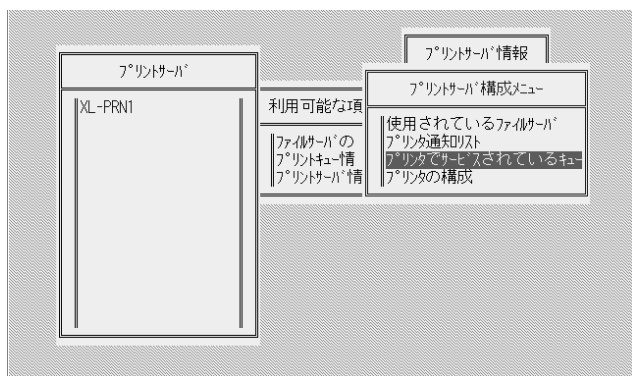


ガイド ファイルサーバに設定する「名前」と、本プリンタに登録した「NetWareポート名」は、必ず一致させてください。

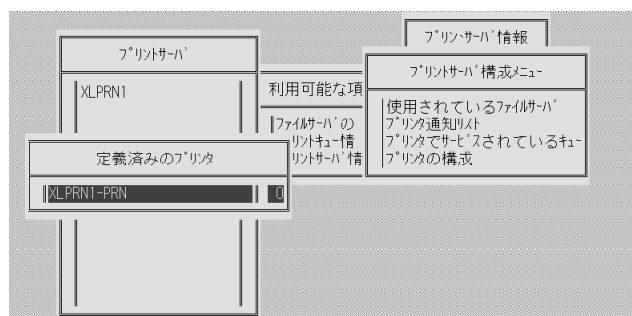
10 [ESC]キーを押して、設定を保存する

「構成完了プリンタ」に、プリンタが登録されます。

11 「プリントサーバ構成メニュー」に戻り、[プリンタでサービスされているキュー]を選択する



12 「プリンタの構成」で登録したプリンタ(ここでは「XLPRN1-PRN」)を選択する





13 **[Insert]**キーを押し、「プリントキュー情報」で登録したキュー名(ここでは「XLPRN1-Q」)を選択し、優先順位を設定する

14 **PCONSOLE**を終了する

```
:LOAD PSERVER PSERVER1
```

15 プリントをリモートプリンタモードで使用するときは、ファイルサーバコンソールでプリントサーバを再起動する

```
:UNLOAD PSERVER
:LOAD PSERVER PSERVER1
```

プリントサーバが起動している場合は、プリントサーバを利用しているユーザがいないことを確認のうえ、プリントサーバを再起動してください。

16 プリントを再起動する

電源を再投入すると、NetWareサーバに本プリンタが接続されます。正常に接続されるとプリントサーバモードの場合は、NetWareサーバコンソール上の「アクティブな接続」に本プリンタに登録したマシン名が表示されます。リモートプリンタモードの場合はプリントサーバコンソールの登録した「プリンタ」の状態に「ジョブの待機中」と表示されます。

トラブルシューティング

本プリンタを NetWare 環境下で使用する際に発生する可能性のある現象について、対処方法を示します。

■ Printianavi ネットワーク設定ユーティリティの一覧にプリンタが表示されない

- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ 「NetWare プロトコル」がチェックされているか、確認してください。チェックされていない場合は、検索されません。プリンタのオペレータパネルで NetWare プロトコルを「有効」にする必要があります。
- ・ 設定内容を初期化し、電源を入れ直してください。

■ Printianavi ネットワーク設定ユーティリティでは認識されるが、NetWare サーバにつながらない

▶ プリントサーバモード/リモートプリンタモード共通

パケットタイプや NetWare 動作モードが正しいか確かめてください。本プリンタは、自動切り替えを行います。ご利用環境によっては多少時間がかかる場合があります。

▶ リモートプリンタモードのとき

- ・ ご利用の NetWare サーバ上で、本プリンタを登録したプリントサーバが正常に稼働しているか確認してください。
- ・ プリントサーバ名が正しく設定されているか確認してください。本プリンタにプリントサーバ名を指定している場合、ご利用のファイルサーバ上で稼働しているプリントサーバ名と一致しているかどうか確認してください。
- ・ NetWare ポート名が正しく設定されているかどうか確認してください。本プリンタに設定した NetWare ポート名とサーバのプリントサーバモニタに表示されているプリンタ名が一致しているかどうか確認してください。また、本プリンタが複数存在する場合は、本プリンタ同士の NetWare ポート名が同じにならないように設定してください。

▶ プリントサーバモードの場合

- ・本プリンタにファイルサーバを指定している場合、利用しているファイルサーバ名が設定した名前と一致しているかどうか確認してください。
- ・NetWare ポート名が正しく設定されているかどうか確認してください。本プリンタに設定したプリンタ NetWare ポート名と NetWare サーバに設定したプリンタ名が一致しているかどうか確認してください。また、本プリンタが複数存在する場合は、本プリンタ同士の NetWare ポート名が同じにならないように設定してください。
- ・NetWareのログインパスワードが一致しているかどうか確認してください。
- ・マシン名がプリントサーバ名と同じになっているかどうか確認してください。

■ Printianavi ネットワーク設定ユーティリティで、プリンタの状態表示がおかしい

旧機種のプリンタドライバを後からインストールすると、状態表示のプログラムが新しいプリンタに対応していないものに置き換わり、状態が正しく表示されなくなる場合があります。

このようなときは、新しいプリンタに対応した最新版のプリンタドライバを再度インストールしなおしてください。

上記の対処でも現象が発生する場合は、さらに本プリンタに同梱のCD-ROM から、再度 Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを上書きでインストールしてください。

索引

A

ACPI の動作について	311
Acrobat Reader	7, 15
について	15

B

BPP	281
BPP ポート番号	335
Business Printer Protocol	281

C

CANCEL	333
CD-ROM の内容	5

D

DHCP	281
によるアドレス自動取得	166
によるアドレス取得	335

E

EMF でスプールする	149
Ethernet タイプ設定	331

F

FUJITSU XL-XXXX ダイアログ	107, 125
-----------------------------	----------

I

IP アドレス	335
プリンタの IP アドレス変更を自動認識する	189
プリンタの IP アドレスまたはホスト名	188

L

LAN ケーブルで接続する	20
LAN 接続プリンタに印刷するとき	
Windows 2000	49
Windows 98/95	36
Windows NT4.0	67
LPR	281
LPR Port 印刷	282

M

MIB	280
-----------	-----

N

N-up 印刷	110, 126
の設定例	127
NetWare	
3.xJ 環境での設定	355
印刷について	342
印刷の設定	341
環境での印刷設定	316
基本設定	337, 347, 356
サーバ側の設定	319, 349
の設定	247, 337
プロトコル	331
プロトコルの設定項目	318
ポート名設定	338, 339, 347, 356
TCP/IP 共通の設定	243
NetWare5 のとき	291

O

OHP フィルム	120
OK	333

P

Printia XL	
ドライバディスクの作成	8
ドライバのプリンタステータス	254
Printianavi	
インストーラ	6
ダイアログ	89, 97, 105, 153
によるメッセージ表示一覧	264
の基本機能	9
の設定	151
をネットワークで使用する	196
を有効にする	112, 151
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ	323
プリンタステータス	254
Printianavi ネットワークポートモニタ	12, 163
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	13, 195
アンインストール	204
インストール	199
Printianavi マネージャ	6, 14, 219
の使い方	230
をインストールする	220
を起動する	230
アンインストール	227
インストール	222
再インストール	229
プリンター一覧	252
プリンタステータス	254
PSERVER.EXE	343
PSERVER.NLM	344

R

Request For Comments	281
RFC	281

S

SAVE	333
SNMP	280
設定	245

T

TCP/IP	
NetWare 共通の設定	243
の設定	221, 244, 335
プロトコル	331
を使用する	156

W

Windows 2000	
Acrobat Reader のインストール	15
LAN 接続プリンタに印刷するとき	49
LPR Port 印刷について	282
新しいドライバに置き換えるとき	53
印刷先ポートの追加と変更	48
印刷設定	92
スタートからの設定画面	92
設定画面	90
ダイアログ一覧	94
ネットワークインストール	57
プリンタを共有する	47
Windows 3.1	
新しいドライバに置き換えるとき	80
印刷先ポートの追加と変更	79
設定画面	106
ダイアログ一覧	107
プリンタドライバのインストール	75
Windows 98/95	
Acrobat Reader のインストール	15
新しいドライバに置き換えるとき	39
アプリケーションソフトからの設定画面	83
印刷先ポートの追加と変更	35
スタートからの設定画面	85
設定画面	83
ダイアログ一覧	86
ネットワークポートモニタを起動する	179
プリンタ設定のプロパティ	83
プリンタドライバのインストール	28
プリンタのプロパティ	85
プリンタを共有する	33

Windows NT4.0

Acrobat Reader のインストール	15
LPR Port 印刷について	287
新しいドライバに置き換えるとき	69
印刷先ポートの追加と変更	66
スタートからの設定画面	100
設定画面	98
ダイアログ一覧	102
ドキュメントの既定値	100
ネットワークインストール	73
ネットワークポートモニタを起動する	185
プリンタ設定のプロパティ	98
プリンタドライバのインストール	60
プリンタのプロパティ	101
プリンタを共有する	65

X

XL ドライバディスクの作成	8
----------------------	---

ア

明るさ	144, 145
新しいドライバに置き換えるとき	
Windows 2000	53
Windows 3.1	80
Windows 98/95	39
Windows NT4.0	69
厚紙	120
アドレス	
DHCP によるアドレス取得	335
IP アドレス	335
アンインストール	177, 204, 227
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	204
Printianavi マネージャのアンインストール	227
ネットワークポートモニタをアンインストールする	177

イ

イメージサイズの調整	122
印刷	
するときの基本的な設定	117
するときの設定	109
中のステータス表示について	154
の終了を通知する	155
の調整に関する設定	111, 142
N-up 印刷	110, 126
拡大 / 縮小印刷	110, 121
拡張スタッカを使った印刷	110, 136
きれいに印刷する	111, 142
高速に印刷する	111, 146
縮小印刷	125
白紙ページの印刷	150
複数部数 / 部単位印刷	110, 129
部単位印刷	129
不定形サイズの用紙に印刷するとき	118
便利な印刷機能	110, 121
文字をイメージとして印刷する	149
文字を高速に印刷する	147
両面印刷	110, 133
印刷位置の調整	150
印刷打ち切り操作	11
印刷オプションダイアログ	88, 95, 103, 147
印刷先ポートの追加と変更	
Windows 98/95	35
Windows 2000	48
Windows 3.1	79
Windows NT4.0	66
印刷部数設定ダイアログ	107, 131
印刷方向	118
インストール	174, 199, 222
が終わったら	26
の概要	3, 315
の操作	222
の手順	16

Acrobat Reader 3.0J	15	画面の説明	158, 230
Printia XL ドライバ	9	画面表示の例	4
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	199	環境設定	206, 332
Printianavi マネージャ	220, 222	かんたんバーコード Lite	7
代替ドライバのインストール	70	管理者機能の追加・削除	225
ネットワークインストール	39, 73		
ネットワーク設定ユーティリティの インストール	325	キ	
ネットワークポートモニタを インストールする	174	起動	
プリンタドライバのインストール (Windows 3.1)	75	Printianavi マネージャを起動する	230
プリンタドライバのインストール (Windows 98/95)	28	到着通知パネルの起動	216
プリンタドライバのインストール (Windows NT4.0)	60	ネットワーク設定ユーティリティを起動する	327
		ネットワークポートモニタを起動する	179
		基本情報	243
ウ		給紙	
ウィンドウメニュー	334	/ 排紙方法を指定する	119
		カセット	120, 161
エ		情報	254
エラー		方法	120
時ポップアップ	153	給紙口	
詳細	256	用紙と給紙口の機能の組み合わせについて	113
表示	248	共有	
メッセージ	273	ダイアログ	86, 96, 104
を通知する	155	プリンタを共有する	33, 47, 65
		きれいに印刷する	111, 142
オ			
オプション	188	ク	
の設定	189	クライアント側の設定	208
の装着状態を設定する	160	LAN ケーブルで接続する場合	24
オプション機能を設定する	111, 148	プリンタケーブルで接続する場合	19
オプションダイアログ	107, 125	クライアント専用機の設定	210, 212, 214
		グラフィックスダイアログ	88, 95, 103
カ			
解像度	142, 146	ケ	
拡大 / 縮小印刷	110, 121	ゲートウェイ	335
の設定例	123	検索	330
拡張スタッカ	161	範囲の設定	191
のさまざまな使い方	139	プリンタの検索	190
を使った印刷	110, 136, 138		

コ

構成

ポートの構成	184, 187
高速転送	12
高速に印刷する	111, 146
この画面について	334

サ

サーバ側の設定	206, 358
NetWare サーバ側の設定 ...	319, 349
LAN ケーブルで接続する場合	22
プリンタケーブルで接続する場合	18
サーバ経由で印刷するとき	
Windows 2000	49
Windows 98/95	36
Windows NT4.0	67
サーバで共有しないとき	
LAN ケーブルで接続する場合	20
プリンタケーブルで接続する場合	17
サーバで共有するとき	
LAN ケーブルで接続する場合	22
プリンタケーブルで接続する場合	17
再インストール	229
再検索	330
最小化	153
起動	202
時にタスクバーにインジケータを表示する	209
表示	154
削除	
プリンタドライバの削除	38, 51, 69, 80
ポートの削除	181, 184, 187
サブネットマスク	335

シ

システム情報表示	330
自動起動ダイアログ	209
自動給紙	120
自動再開機能	11

写真をきれいに印刷する	145
終了	329
縮小印刷	125
受信待ち時間	332
出力用紙の選択	119, 121
詳細ダイアログ	86
状態	235, 329
状態表示更新間隔	332
情報	246
ダイアログ	86
ジョブ	
タイムアウト時間	338
の流れ	343, 344
ポーリング時間	339

ス

スケジュールダイアログ	104
ステータス	
アイコン	256
表示ウィンドウ	264
全てをアイコン化	334
全てをクローズ	334
スモーキング	143

セ

制限事項	220, 324
セキュリティ	
ダイアログ	97, 105
について	241
設定	331
参照	330
終了	331
中断	332
の概要	16
NetWare 3.xJ 環境での設定	355
NetWare 4.xJ 環境での設定 (プリントサーバモード)	346
NetWare 印刷の設定	341
NetWare サーバ側の設定	349

ダウンロード	7	トラブルシューティング	362
タスクバーに表示する	202	ソフトウェアに関するトラブルシューティング	294
短辺とじ	135		
		ネ	
チ		ネットワーク	239
長辺とじ	135	の設定を行う	239
		用語の解説	280
ツ		ネットワークインストール	
ツールバー	232	Windows 2000	57
追加		Windows 95	39
印刷先ポートの追加と変更	35, 48, 66, 79	Windows 98	39
ポートの追加	180, 183, 186	Windows NT4.0	73
		ネットワーク情報	
テ		の詳細	243
定型用紙のサイズをチェックする	150	を参照する	239
ディザリング	144, 145	を変更する	240
手差し	120	ネットワーク設定	331
		参照	330
ト		の詳細	335
動作		ネットワーク設定ユーティリティ	323
環境	220, 324	使用時の留意事項	345
モード	337	の使いかた	327
到着通知パネル	216	ネットワークプロトコルの設定	221
コンパクト	202	ネットワークポートモニタ	163
ワイド	202	をインストールする	174
を表示しない	209	を起動する	179
を表示する	209	を設定する	179
登録		ネットワーク連携ユーティリティ 6, 195	
メッセージ到着通知パネルの		の機能	196
スタートアップへの登録	202		
ドキュメントの既定値	100	ハ	
とじしろ		バージョン	334
位置	135	バージョン情報	188
量	134, 135	ハーフトーンカラー	144
トナーセーブする	149	の調整	145
トラップ1～トラップ4	245	排紙方法	120
		設定ダイアログ	108
		を指定する	119

バイナリモードの設定	349
白紙ページの印刷	134, 135, 150
パケット形式	337
パスワード	339
変更	333
を入力する	242
を変更する	242
パソコン側の設定	
LAN ケーブルで接続する場合	20
プリンタケーブルで接続する場合	17
パソコンのメモリを節約して印刷する	149

ヒ

表示

最小化時にタスクバーにインジケータを表示する	209
タスクバーに表示する	202
到着通知パネルを表示する	209
プリンタの状態や情報を表示する	234

表示しない

到着通知パネルを表示しない	209
表示方法	157
表示メニュー	330
表示モードダイアログ	209

フ

ファイルサーバ設定	339
複数部数 / 部単位印刷	110
Windows 3.1	131
Windows 98/95/2000/NT4.0	129
部数	129, 131
部単位	
印刷	129, 131, 132
印刷機能	129, 161
に印刷する	130
普通紙	120
不定形サイズの用紙に印刷するとき	118

プリンタ

側の設定	347, 356
状態表示	329
リセット	329
一覧	231, 234, 252
検索範囲	189
個別情報	231, 235, 239
状態	256
ステータス	254
設定のプロパティ (Windows 98/95)	83
設定のプロパティ (Windows NT4.0)	98
タイムアウト監視時間	189
の IP アドレス変更を自動認識する	189
の IP アドレスまたはホスト名	188
の検索	190
の状態や情報を表示する	234
の状態を設定値に反映する	112, 159
の状態を表示する	112, 157
のプロパティ	85, 93, 101
を LAN に直接接続する (管理者のみ)	164
を共有する (Windows 98/95)	33
を共有する (Windows NT4.0)	65
プリンタ LAN ポートの NetWare 動作環境設定	317
プリンタ側の設定	
LAN ケーブルで接続する場合	20, 22
プリンタケーブルで接続する	17
プリンタドライバ	
の削除	38, 51, 69, 80
に関する設定	112, 160
の機能	109
の設定の概要	109
のバージョンを確認する	162
プリンタメニュー	329
プリンタメモリ	147, 160
プリントサーバ	
詳細	338
詳細設定	339, 348
設定	338

プリントサーバモード	342
の設定(NetWare 4.xJ 環境)	346
ブロードキャストネットワーク	332
プロトコル	

NetWare プロトコル	331
NetWare プロトコルの設定項目	318
TCP/IP プロトコル	331

プロパティ	
プリンタ設定のプロパティ	83
プリンタのプロパティ (Windows 2000)	93
プリンタのプロパティ (Windows 98/95)	85
プリンタのプロパティ (Windows NT4.0)	101

へ

ページ配置	126
ヘルプの使い方	334
ヘルプメニュー	334
変更	
印刷先ポートの追加と変更	35, 48, 66, 79
変更取消	332

ホ

ポート	
ダイアログ	96, 104
に関する設定項目	188
の構成	184, 187
の削除	181, 184, 187
の設定	181, 188
の追加	180, 183, 186
名	188
NetWare ポート名設定	339, 347, 356
ポート番号	189, 210, 244
ダイアログ	210
の設定	207
BPP ポート番号	335
ホスト名	
プリンタのIP アドレスまたはホスト名	188
ポップアップ	153
表示	154
エラー時ポップアップ	153

マ

マシン名	337
マルチソータとして使う	141

メ

メールボックスとして使う	139
メッセージ	
一覧	252
サーバダイアログ	208
操作動作環境設定	201
の表示方法を変更する	112, 153
表示	10
メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録	202

モ

目次	334
文字	
をイメージとして印刷する	149
を高速に印刷する	147

ヨ

用紙	
種類	120
ダイアログ	87, 94, 102, 121, 129
と給紙口の機能の組み合わせについて	113
方向	118
用紙サイズ	117, 121, 125
と向きを指定する	117

リ

リトライ回数	332
リモートプリンタ	
詳細	337
詳細設定	338, 357
モード	343
両面印刷	110, 133, 134, 135
設定ダイアログ	108
ダイアログ	87, 95, 102
両面ユニット	161

レ

レイアウト

ダイアログ 87, 94, 102, 126

枠を付ける 126

Printia LASER プリンタユーティリティ ソフトウェアマニュアル

B5WY-0011-01 Z0-00

発行日 2000 年 7 月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。

本書は、改善のため予告なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。